

課内保存用

※配付厳禁※

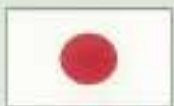


第4回世界のウチナーンチュ大会

The 4th Worldwide Uchinanchu Festival

ジュニアスタディーツアー報告書

Junior Study Tour Report



日本



ブラジル



アルゼンチン



ペルー



ボリビア



メキシコ



キューバ



アメリカ



カナダ



フィリピン



マレーシア



イギリス

第4回 世界のウチナーンチュ大会実行委員会

はじめに

ジュニアスタディーツアーは、海外の沖縄県系人子弟を本県に招待し、県内の中・高校生とともに、沖縄の歴史、文化、自然等について学び、母県・沖縄との絆を深めることにより、県系人社会の発展と次世代のウチナーネットワークの担い手を育成する事を目的とする事業です。

第3回世界のウチナーンチュ大会のプレイベントとして初めて実施した本事業は、海外県人会等からの強い継続要望を受け、平成14年度から継続して実施しております。6回目となる今回は、第4回世界のウチナーンチュ大会のプレイベントとして、例年に比べ規模を拡大して実施し、海外11カ国22の県人会から参加者34名と引率者6名、沖縄県内の中学生11名、高校生22名の合計73名が参加し、様々な体験学習を通して交流を深めました。

学習プログラムでは、渡嘉敷島の海洋学習等を通して沖縄の自然について学ぶ自然学習、首里城等の見学を通して琉球王朝時代の歴史について学ぶ歴史学習、伝統芸能・工芸体験学習を通して沖縄の伝統文化について学ぶ文化学習、平和祈念資料館等の見学や戦争体験者から直接体験談を聞くことにより平和について学ぶ平和学習、マチグワー散策等を通して現在の沖縄について学ぶ社会学習など様々な体験をしました。また、世界に広がるウチナーンチュに関する理解を深めていただくために、移民に関する講話や移民について考えるワークショップを実施しました。これらの学習プログラムを通して、沖縄に関する理解を深めることができたと思います。

また、今回のツアーではエイサー学習をメインにとりいれ、ツアー期間中ほぼ毎日練習に励み、8月6日にはテンプス館前広場でエイサーを披露して頂きました。子供たちのハツラツとした素晴らしい演舞を目の当たりにし、ウチナーンチュのアイデンティティーを強く実感することができました。

参加者の皆さんは、このツアーを通して、母県・沖縄について深く学ぶとともに、お互いの交流を通して友情を育み、世界に広がるウチナーネットワークを実感することができたと思います。

このツアーが「世界のウチナーネットワーク」を考えるきっかけとなり、参加者の皆さんの視野を世界へ広げるとともに、将来、様々な分野で「沖縄と世界の架け橋」となるウチナーネットワークの一員として活躍されることを期待しています。

この報告書は、ジュニアスタディーツアーの記録として写真や感想文等を取りまとめたものです。この冊子が参加者の皆さんの良き思い出となるとともに、将来にわたって交流を推進していくための一助として活用されることを期待しております。

終わりに、ジュニアスタディーツアーの実施に御協力を頂いた多くの関係者の皆様に感謝の意を表し、発刊のあいさつといたします。

平成18年10月

第4回世界のウチナーンチュ大会実行委員会
会長 沖縄県知事 稲嶺 恵 一

ジュニアスタディーツアー報告書

目次

はじめに
報告書目次

■事業概要	1
■スケジュール（日本語版・英語版・スペイン語版）	2
■記録写真	
7月25日（日）～7月28日（金）海外参加者出迎え	5
7月29日（土）オリエンテーション・交流プログラム・ウェルカムパーティー	6
7月30日（日）自然学習（渡嘉敷島）	7
7月31日（月）県庁表敬・伝統芸能体験学習	8
8月1日（火）自然学習（比地大滝）・交流プログラム（キャンプファイヤー）	9
8月2日（火）自然学習（海洋博記念公園・美ら海水族館） 歴史学習（今帰仁城跡）・社会学習（マチグワー散策）	10
8月3日（水）歴史学習（首里城・玉陵・金城町の石畳・識名園）・伝統工芸体験学習	11
8月4日（木）平和学習（平和祈念資料館・平和の礎） 社会学習（琉球ガラス村・泡盛工場）	12
8月5日（金）歴史・社会学習（講話「世界中に広がるウチナーンチュの心」 （ワークショップ「沖縄移民を学ぼう」）	13
8月6日（土）道じゅねー・エイサー披露	14
8月8日（火）学習成果発表会・修了式・さよならパーティ	15
見送り	16
■ジュニアスタディーツアーに参加して	
海外参加者レポート	17
県内参加者レポート	108
海外引率者レポート	144
■資料編	
受入実績（平成13年度～平成18年度）	161
参加者名簿（平成13年度～平成18年度までの海外・県内・県外参加者）	162
ウェルカムパーティー式次第	176
知事表敬式次第	177
第4回世界のウチナーンチュ大会 68日前プレイベント式次第	178
修了式式次第	179
さよならパーティー式次第	180
ジュニアスタディーツアーグループ表	181
世界で活躍するウチナーンチュ	183
協賛広告	184

感想文人名索引

■海外参加者

- | | |
|--|--|
| <p>ガブリエレ エリ 比嘉 (ブラジル) 17
 GABRIELLE ERY HIGA</p> <p>カリナ イズミ 具志堅 (ブラジル) 19
 KARINA IZUMI GUSHIKEN</p> <p>カレン ユミ 宮城 (ブラジル) 23
 KAREN YUMI MIYASHIRO</p> <p>レチシア チエミ 高良 (ブラジル) 25
 LETICIA TIEMI TAKARA</p> <p>マリオ セルジオ いさお 小波津 (ブラジル) 29
 MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU</p> <p>レナタ ちえみ 城間 (ブラジル) 33
 RENATA TIEMI SHIROMA</p> <p>宮平 レオナルド マルティン (アルゼンチン) 34
 LEONARDO MARTIN MIYAHIRA</p> <p>新垣 あかね (アルゼンチン) 36
 AKANE ARAKAKI</p> <p>喜納 パウラ ミカエラ ミユキ (アルゼンチン) 38
 PAULA MICAELA KINA</p> <p>新垣 金城 ジーミ ホルヘ (ペルー) 41
 JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO</p> <p>具志堅 大城 ガブリエラ イサベル (ペルー) 44
 GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO</p> <p>渡嘉敷 国頭 ダニエラ (ペルー) 46
 DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI</p> <p>比嘉 さゆり (ボリビア) 49
 SAYURI HIGA</p> <p>眞榮城 弥生 (ボリビア) 51
 YAYOI MAESHIRO</p> <p>安里 健 (ボリビア) 53
 KEN ASATO</p> <p>ホカマ 栄 (ボリビア) 55
 SAKAE HOKAMA</p> <p>イダルゴ カネド フランシスコ エイジ (メキシコ) 58
 FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO</p> | <p>キヨミ トレス ゴンザレス (キューバ) 60
 KIYOMI TORRES GONZALEZ</p> <p>高田 シャンテル 真由美 (アメリカ) 62
 CHANTELE MAYUMI TAKATA</p> <p>ダニエル マコト バンバード (アメリカ) 67
 DANIEL MAKOTO BOMBARD</p> <p>又吉 まりこ リン (アメリカ) 71
 MARIKO LYN MATAYOSHI</p> <p>ウェットセル ミッシェル ケイコ (アメリカ) 73
 MICHELLE KEIKO WHETSELL</p> <p>デイヨ アレン シュルライン (アメリカ) 77
 DALE ALLEN SCHLEHLEIN III</p> <p>アシュレイ 紀子 シャンコーズ (アメリカ) 81
 ASHLEY KIKO SHANKLES</p> <p>イーアン トーマス ダグラス (アメリカ) 83
 IAN THOMAS DOUGLAS</p> <p>フェングラー 美花 (アメリカ) 87
 MIKA LEILANI FENGLER</p> <p>アーシリー ブルック シングルトン (アメリカ) 89
 ASHLIE BROOKE SHINGLETON</p> <p>クリストファー ジェフリー エドワーズ (アメリカ) 91
 CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS</p> <p>パターソン アンドリュー 義輝 (カナダ) 94
 ANDREW YOSHIKI PATTERSON</p> <p>比嘉 史 (カナダ) 98
 NICHOLAS CHIKASHI HIGA</p> <p>ブライアン メヒア ヤキテン (フィリピン) 99
 YAQUITEN BRYAN MEJIA</p> <p>比嘉 麻耶 (マレーシア) 103
 MAYA HIGA</p> <p>石垣 幸夫 (イギリス) 104
 SACHIO LUCIAN ISHIGAKI</p> <p>石垣 優児 (イギリス) 106
 YUJI ISHIGAKI</p> |
|--|--|

感想文人名索引

■県内参加者

国吉明奈	KUNIYOSHI MEINA	— 108
久手堅憲稀	KUDEKEN NORIKI	— 109
比嘉夏海	HIGA NATSUMI	110
富名腰彩乃	FUNAKOSHI AYANO	— 111
豊見山佐妃	TOMIYAMA SAKI	— 112
前里雅	MAESATO MIYABI	— 114
中村春葵	NAKAMURA HARUKI	— 115
与坂勇姬	YOSAKA YUKI	116
比嘉美幸	HIGA MISAKI	— 117
崎原佑介	SAKIHARA YUSUKE	— 118
島袋正志	SHIMABUKURO MASASHI	120
諸見正太	MOROMI SHOTA	121
津波義弥	TSUHA YOSHIYA	— 122
山内祐奈	YAMAUCHI YUUNA	— 123
喜納亜沙美	KINA ASAMI	124
川節奈那	KAWASETSU NANA	— 125
屋比久まり	YABIKU MARI	126

運天美由紀	UNTEN MIYUKI	127
池原ななえ	IKEHARA NANAE	— 129
上間もえみ	UEMA MOEMI	130
狩俣彩乃	KARIMATA AYANO	— 131
久貝博文	KUGAI HIROFUMI	— 132
大城ひろか	OSHIRO HIROKA	133
岩田彩	IWATA AYA	134
稲福奈実子	INAFUKU NAMIKO	— 135
城田麻莉亜	SHIROTA MARIA	— 136
謝敷アリーニ	JASHIKI ALINI	137
宮城若名	MIYAGI WAKANA	— 138
下地由美子	SHIMOJI YUFUKO	— 139
照屋美友貴	TERUYA MIYUKI	— 140
糸数舞	ITOKAZU MAI	141
金城将吾	KINJYO SYOGO	— 142
平良優圭	TAIRA YUKA	— 143

■海外引率者

与儀上原昭雄 (ブラジル沖縄県人会)	— 144
譜久原アントニオ (ペルー沖縄県人会)	— 146
イノウエ悦子 (ボリビア沖縄県人会)	— 149
フリエタフォンテ伊波 (キューバ沖縄県人会)	— 151
ジャネット亜希子山内 (北米沖縄県人会)	— 153
上原さやか (ニューヨーク沖縄県人会)	— 157

ジュニアスタディーツアー 事業概要

1. 目的

ジュニアスタディーツアーは、海外の沖縄県系人子弟を招待し、県内の児童生徒とともに沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をとおして、母県・沖縄との絆を深めることにより、海外沖縄県系人社会の発展と将来のウチナーネットワークを担う人材の育成に貢献することを目的とする。

2. 事業概要

(1) 実施期間：平成18年7月29日（土）～8月8日（火）

(2) ツアー参加人数（73名）

①海外参加者

13～18歳までの沖縄県系人子弟 34名

※国別内訳（11カ国）

ブラジル	6名	アメリカ	10名
ボリビア	4名	カナダ	2名
アルゼンチン	3名	イギリス	2名
ペルー	3名	フィリピン	1名
メキシコ	1名	マレーシア	1名
キューバ	1名		

②海外引率者

海外参加者の引率及び通訳業務を担う 6名

ブラジル、ボリビア、ペルー、キューバ 各1名

アメリカ 2名

③県内参加者

沖縄県内の中高生 33名（中学生11名、高校生22名）

(3) 学習プログラム

① 自然学習

沖縄の自然や動植物等に触れ合いながらその大切さを学ぶ。

② 歴史学習

沖縄の歴史的な史跡等を巡り、沖縄が琉球王国だった頃の歴史とロマンに触れる。

③ 伝統工芸・芸能体験学習

沖縄の伝統工芸・芸能の体験学習を行う。

④ 平和学習

沖縄の戦跡等を巡りながら、平和の意味を考える。

⑤ 社会学習

沖縄県庁見学、国際通り散策等をとおして沖縄の現状を学ぶ。

※ツアーの特徴（今回は第4回世界のウチナーンチュ大会プレバントとして実施）

・ツアー期間中をとおしたエイサー体験学習によるエイサー習得

月日 時間	7/29(土) 1日目	7/30(日) 2日目	7/31(月) 3日目	8/1(火) 4日目	8/2(水) 5日目	8/3(木) 6日目	8/4(金) 7日目	8/5(土) 8日目	8/6(日) 9日目	8/7(月) 10日目	8/8(火) 11日目
6:30			6:30 起床		6:30 起床		6:30 起床				
7:00		7:00 起床 7:30 朝食	7:00 朝の清掃 7:40 朝食	7:00 起床 7:30 朝食	7:00 朝食	7:00 起床 7:30 朝食	7:00 起床 7:30 朝食	7:00 起床 7:30 朝食	7:00 起床 7:30 朝食		ホームステイ
8:00		8:25 ホテル出発 9:00 泊港出航 (マリンライナー渡嘉敷)		8:30 出発	7:50 出発 8:30 自然学習(海 2)	8:20 出発					
9:00		9:35 渡嘉敷着	9:20 出発	9:30 自然学習(山)	●海洋博記念公園 ・美ら海水族館見学	8:50 歴史学習	9:00 平和学習	8:45 出発			※テンプス館集合
10:00		10:30 自然学習(海 1)	10:00 渡嘉敷港出航	●比地大滝 ・トレッキング		●首里城 ●玉陵 ●金城町の石畳 ●識名園	●平和祈念資料館 ・職員説明～ビデオ	9:30 歴史・社会学習	(学習まとめ、荷物整理)		9:00～10:00 リハーサル
11:00	10:35 引率・主催者ミ ティング	●国立青年の家沖縄 海洋研修場	10:35 泊港着		・イルカショー見学		●公園内散策	●沖縄国際センター ※沖縄の移民 ①講話 「世界中に広がる ウチナンチュの心」 11:00 ②ワークショップ 「沖縄移民を学ぼう」 12:00 昼食 (JICA沖縄)	11:00 チェックアウト～出発		10:00～11:15 学習成果発表会
12:00		①シュノーケリング 12:00 昼食 (ランチBOX)	11:30 ■参加者県庁表敬 ・歓迎セレモニー、記念撮影 12:00 読谷へ出発	12:00 昼食 (ランチBOX)	11:30 昼食(BOX)		●平和の礎見学	昼食 ランチBOX	11:30 テンプス館到着 ～昼食(ランチBOX)		11:20～12:00 修了式
13:00	13:00 全参加者集合 13:30 開講式 ～オリエンテーション ・学習ツール配布 ・諸説明	②大型カヌー ③スーパーフロート ④オープンカヤック	13:30 昼食(むら咲むら)	12:00 昼食 (ランチBOX)	12:20 出発	12:30 昼食 南風原レストラン	●平和の青樹	※ワークショップ再開	13:00 平和通り道ジュネー		12:30 さよならパーティー
14:00		※島内児童らと交流 ・ビーチサッカー	14:00 伝統芸能体験学習	14:00 トレッキング終了	12:45 歴史学習(グスク) ・今帰仁城跡	14:00 伝統工芸体験学習	13:50 社会学習(産業)			ホーム ステイ 旧盆 中日	14:30 終了～解散
15:00	①参加者自己紹介 ②班分け、班長選出 ③言語学習 ④自国の概要紹介		●むら咲むら ①琉球舞踊 ②三線 ③空手	(宿舎にて休憩)	13:45 出発	●那覇市伝統工芸館	●琉球ガラス村	15:00 社会学習(産業)	15:00 社会学習(産業)		15:00 エイサー演舞 テンプス館前ホケッパーク
16:00	16:30 交流プログラム	16:00 島内移動 ～青年の家へ	④サターアダーキー作り		15:30 社会学習(街・人々) ・マチグワー散策	※工芸体験 ①紅型 ②首里織 ③琉球漆器	●泡盛工場		16:00 終了～解散		
17:00	17:30 終了～荷物部屋移動	17:40 夕食	17:30 名護へ出発	17:00 食事 (バーベキュー)	17:30 散策終了	17:30 食事 (海援隊曙店)		16:30 学習終了			
18:00	18:00 ウェルカムパーティー (食事)			18:00 食事 (バーベキュー)	18:00 食事 (シティコート)	18:00 食事 (海援隊曙店)	18:00 食事 (シティコート)				
19:00			食事(タニニュー)	18:30 エイサー講習④	19:30 エイサー講習⑤	19:30 エイサー講習⑥	19:30 エイサー講習⑦	19:30 エイサー講習⑧			
20:00	19:30 パーティー終了 ～ミーティング	19:30 エイサー講習②	20:00 エイサー講習③	交流プログラム ～キャンプファイヤー	19:30 エイサー講習⑤	19:30 エイサー講習⑥	19:30 エイサー講習⑦	19:30 エイサー講習⑧			旧盆ワークイ
21:00		20:30 グループミーティング 引率・主催者同席	20:45 グループミーティング 引率・主催者同席	20:45 グループミーティング 引率・主催者同席	20:30 グループミーティング 引率・主催者 ミーティング	20:30 グループミーティング 引率・主催者 ミーティング	20:30 グループミーティング 引率・主催者 ミーティング	20:30 グループミーティング 引率・主催者 ミーティング	ホームステイ 旧盆 ウケ		
22:00	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝	22:00 就寝			
宿泊先	シティコート	国立沖縄青年の家 (渡嘉敷島)	ホテルタニニュー (名護)	ホテルタニニュー (名護)	シティコート	シティコート	シティコート	シティコート	ホームステイ	ホームステイ	ホームステイ

Junior Study Tour 2006

Day	Jul 29 (Sat) Day 1	Jul 30 (Sun) Day 2	Jul 31 (Mon) Day 3	Aug 1 (Tue) Day 4	Aug 2 (Wed) Day 5	Aug 3 (Thu) Day 6	Aug 4 (Fri) Day 7	Aug 5 (Sat) Day 8	Aug 6 (Sun) Day 9	Aug 7 (Mon) Day 10	Aug 8 (Mon) Day 11
6:00											
7:00		7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	6:30 Wake-up time 7:00 Morning meeting/ cleaning 7:40 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	6:30 Wake-up time 7:00 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	6:30 Wake-up time 7:00 Breakfast 7:30 Departure	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast	7:00 Wake-up time 7:30 Breakfast		
8:00		8:25 Depart for I-Hotel 9:00 Depart from Tomari Port (MarineLiner Tokashiki)	9:00 Departure	8:30 Departure	7:50 Departure	8:20 Departure 8:50 History Study	9:00 Peace Study	8:45 Departure			Homestay *Asseble in Tenbusu Hall
9:00		9:35 Arrive on Tokashiki Is	10:00 Depart from Tokashiki Is. Port 10:35 Arrive in Tomari	9:30 Nature Study (Mountain)	*Ocean Expo Park	*Shuri-jo Castle *Tameshiki	*Peace Memorial Museum Explanation from the museum staff ~video session~	9:30 History/ Social Study	JICA OKINAWA		9:00~10:00 Rehearsal
10:00	10:30 Escorting Staff and Organizers' Meeting	10:30 Nature Study (Sea 1) *National Youth House Okinawa Marine Training Institute *Snorkelling	11:30 Courtesy call for all participants in the prefectural building * Welcome Ceremony * Commemorative photo	*Trekking in the Great Hiji Falls	Orientation in Chraumi Aquarium	*Stone pavements in Kanagusuku town *Shikinaen	*Stroll in the park * Orientation in the Cornerstone of Peace	Okinawan Immigration (Packing)	ⓁLecture "The hearts of Uchinanchu throughout the world"		10:00~11:15 Presentation of learning outcomes
11:00		12:00 Lunch	12:00 Depart for Yomitan	12:00 Lunch	Dolphin Performance Show	11:30 Lunch	12:20 Departure	11:00 Workshop	11:00 Check out Depart by bus		11:20~12:00 Closing Ceremony
12:00		13:00 Participants Assembly 13:30 Opening Speech~ Orientation~	13:30 Lunch	12:00 Lunch	12:45 History Study (Gusuku castles) *Nakijin-gusuku Site	12:30 Lunch	12:00 Lunch (lunch box)	Lunch	13:00 Eisa Performance(Heiwa Dori)		12:30 Farewell Party
13:00		*Super Float *Open Kayak	14:00 Culture Study (Traditional Arts)*Murasakimura	14:00 End of trekking	13:45 Departure	14:00 Culture Study (crafts)*Naha Tenbusu Hall	*Planting Trees of Peace 13:50 Social Study (Industries)	Workshop			
14:00	*Distribution of study tools *Further explanations (1) Participants' self-introduction (2) Group allocation, selection of leaders (3) Language study (4) General introduction of your own country 16:30 Exchange Program	*Big Canoe *Exchange with children on the island *Beach Volleyball *Beach Soccer	(1) Ryukyuan Dance (2) Sanshin (3) Karate (4) Making Sata Andagi (Okinawan donuts)	(Break time in hotel)	15:30 Social Study (daily life:public market place)	*Gallery of Okinawa Traditional Arts & Crafts * Craftwork Experience (1) Bingata (2) Shuri-style weaving (3) Ryukyu Lacquerware	*Ryukyu Glass Village 15:00 Social Study (Industries) * Awamori Factory	13:00 Eisa Performance(Heiwa Dori)	15:00 Eisa Performance(Participation in this local event)	Homestay	14:30 End of Program ~Dismissed~
15:00											
16:00											
17:00	17:30 End of Exchange Program 18:00 Welcome Party ~Dinner	17:40 Dinner	17:30 Depart for Nago	17:00 Dinner (B B Q)	18:00 Dinner	17:30 Dinner	18:00 Dinner	18:00 Dinner	16:30 End of Workshop	Day of Okinawan Obon	
18:00		19:30 Eisa Class (1)	Dinner	18:30 Eisa Class (3)	19:30 Eisa Class (4)	19:30 Eisa Class (5)	19:30 Eisa Class (6)	19:30 Eisa Class (7)			
19:00	19:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:00 Eisa Class (2)	20:00 Eisa Class (2)	19:30 Camp Fire	19:30 Eisa Class (4)	19:30 Eisa Class (5)	19:30 Eisa Class (6)	19:30 Eisa Class (7)	Homestay		
20:00		20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:45 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:45 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	Start of Okinawan Obon (Lunar calander)~Kyu-Unke(preparation for theobn return of the spirits of deceased ancestors)	Last Day of Okinawan Obon (Kyubon Uku)
21:00											
22:00	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime		
Lodging	City Court	National Okinawa Youth Retreat Center (Tokashiki Is.)	Tanyuu Hotel Nago	Tanyuu Hotel Nago	City Court	City Court	City Court	City Court	Homestay	Homestay	Homestay

記 録 写 真

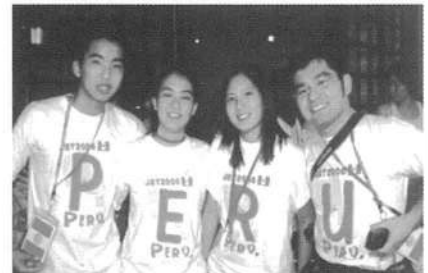
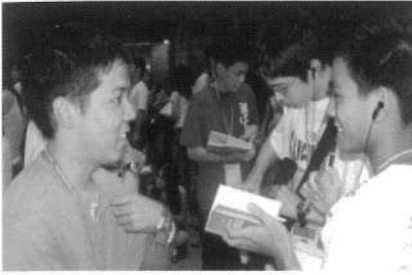
海外参加者出迎え

7月25日：マレーシア・アメリカ・カナダ・ペルー
7月26日：ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・キューバ
7月27日：メキシコ
7月28日：フィリピン・イギリス



7月29日 (土)

オリエンテーション・交流プログラム・ウェルカムパーティー



7月30日 (日)

自然学習 (渡嘉敷島)



7月31日（月）

県庁表敬・伝統芸能体験学習



8月1日 (火)

自然学習 (比地大滝)・交流プログラム (キャンプファイヤー)



8月2日 (火)

自然学習 (海洋博記念公園・美ら海水族館)

歴史学習 (今帰仁城跡)・社会学習 (マチグワー散策)



8月3日 (水)

歴史学習 (首里城・玉陵・金城町の石畳・識名園)
伝統工芸体験学習



8月4日 (木)

平和学習 (平和祈念資料館・平和の礎)
社会学習 (琉球ガラス村・泡盛工場)



8月5日 (金)

歴史・社会学習 (講話「世界中に広がるウチナーンチュの心」)
(ワークショップ「沖縄移民を学ぼう」)



8月6日 (土)

道じゅねー・エイサー披露



8月8日 (火)

学習成果発表会・修了式・さよならパーティー



見 送 り



ジュニアスタディーツアーに参加して



ガブリエレ エリ 比嘉

GABRIELLE ERY HIGA

15歳 2世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



「ジュニアスタディーツアーに参加して」

四月のはじめ、私はジュニアスタディーツアーに参加することになりました。はじめは、ブラジル代表の一人として、責任を重く感じましたが、一緒に行く皆と集まって、いろいろと練習していくうちに緊張感がとれてツアーが始まるのが待ち遠しくなりました。

ついに7月24日が来て、ブラジルの私、いずみ、カレン、ちえみ、レナタ、マリオ、与儀会長、ボリビアの5人、アルゼンチンの3人でブラジルを出発しました。

35時間後、ようやく那覇に到着して、飛行機から降りると、まず、「暑い!」と思いました。「暑いのは慣れているから沖縄は大丈夫だ」と思っていたけど、考えていた暑さの度が全然違いました。

荷物を降ろしてから、たくさんの人たちに迎えられて、カメラマンやリポーターもいてびっくりしました。親戚のおばさんもすぐに見つかって、お家に向かいました。ホームステイ中はおばさんが色々とお気を使ってくれて、本当にありがたく思いました。おいしい料理を作ってくれたりして、苦手だったゴーヤも食べられるようになりました。

7月29日、待ちに待った11ヶ国のウチナーンチュ達とのツアーが始まりました。英語とかは結構話せると思っていたけど、いざとなると言葉がでなくて、ジェスチャーをしてコミュニケーションをとるのが逆に面白かったです。

私達はいろんな観光地や名所に行ったけど、特に印象に残っているのは渡嘉敷島の海、比地大滝、首里城などです。それに、文化学習では三線、エイサー、首里織などをやりました。

渡嘉敷島ではシュノーケリングをやって、サンゴ礁や魚を間近で見れたし、大型カヌーとスーパーフロートにも乗って、最後には地元の子達とビーチバレーとビーチサッカーをやって本当に楽しかったです。

沖縄の伝統芸能を習う企画があって、私が選んだのは三線でした。難しかったけど、なんとか弾けたときは嬉しかったです。ブラジルでも続けてみたいと思いました。

また、比地大滝までのトレッキングは往復4時間かかると聞いて最初は「無理だー」と思いましたが、美

しい自然に囲まれて、疲れも時間が経つのも感じませんでした。昼食は皆で岩に座って景色を見ながら食べたくな気分で食べました。

その日の夜には沖縄尚学高校の皆さんがプログラムしてくれたキャンプファイアードでいろんなゲームやダンスをしてとっても面白かったです。

首里城にも行って、今帰仁城とは違い、まだお城が建っていました。何もかも本当にきれいでできていて、感激しました。しかもお侍さんの格好をした人たちもいてすごかったです。

ツアー中、毎日エイサー講習があって、本場でエイサーをやる事が出来たし、ブラジルでも多くの人達に知られているグループの部長さんが教えてくれて、心から嬉しく感じました。

練習の成果をテンプス館の前で生演奏で発表しました。緊張のあまり、間違えてしまいましたが、終わった後は感動の涙が溢れて止まりませんでした。

さよならパーティーではそれぞれの国のダンスをやって、ブラジルのはAxéというリズムで、皆にステージに上がってもらって、一緒に踊り、すごく盛り上がりました。エイサーの日に目からはれるほど泣きすぎたので、肝心の最終日には全然泣けませんでした。

8月9日、沖縄を発つ日がとうとう来てしまいました。空港には地元のジュニア達と親戚達が見送りに着てくれて、本当につらくて悲しいお別れでした。この貴重な体験は一生の宝物になるでしょう。今でも思い出すと感動します。

5年後のウチナーンチュ大会に再会することを約束したので、その日を楽しみに待っています。スタッフ一同、引率者の方々、沖縄尚学高校の皆さん、沖縄の親戚、このすばらしいイベントに参加した同世代の皆、ウチナーグチも入れて5ヶ国語で心からお礼の気持ちを伝えたいです。

ありがとう、Thank you、Gracias、Obrigado、いっぺんにへーでーびる やいびーたん!!

A experiência do Junior Study Tour

No começo de abril, fui escolhida para participar do Junior Study Tour. No início, senti uma certa pressão

por ser uma das representantes do Brasil, mas fizemos tantas reuniões e ensaios, que logo, a ansiedade tomou conta de mim.

Finalmente chegou o dia 24 de julho. Eu, Izumi, Karen, Tiemi, Renata, Mario e Yogi Kaichou do Brasil, 4 pessoas da Bolívia e 3 da Argentina partimos do Brasil para Okinawa.

Foram 35 horas de vôo e chegamos em Naha, a primeira impressão ao descer do avião foi: “Que calor!”. Eu pensava que, por Brasil ser um país tropical, não me incomodaria com o calor, mas o nível do “calor” de lá é bem diferente.

Após descarregarmos a mala, fomos recebidos por várias pessoas, inclusive repórteres e câmeras. Logo, encontrei minha parente e fomos para sua casa. Durante o Home Stay, ela se preocupou bastante em me agradar, tanto que, ainda agradeço a sua hospitalidade. E com seus pratos deliciosos, consegui comer até o goyá que não gostava.

Dá início no dia 29 de julho, o tão esperado Tour, com os Uchinanchus de 11 países. Quando eu ia conversar, o inglês, idioma do qual não tenho dificuldades, não saía da minha boca e acabava por me comunicar com gestos e mímicas, que, por outro lado, era engraçado.

Conhecemos vários lados de Okinawa: Na parte turística, os pontos que mais me impressionaram foram a praia de Tokashiki, a cachoeira de Hiji e o catelo de Shuri; E na parte cultural, aprendemos sanshin, eisá e shuri-ori.

Em Tokashiki, vi de perto os corais e peixes quando fizemos mergulho, apostamos corrida de canoa, e, por último, jogamos vôlei e futebol com o pessoal da Ilha. Foi realmente muito divertido.

Para aprender sobre a cultura, tivemos 3 opções, e eu optei pelo sanshin. É um pouco difícil, mas quando consegui tocar, fiquei muito feliz. Gostei tanto, que pretendo continuar a aprender aqui no Brasil.

Na trilha até a cachoeira de Hiji, falaram que seria 4 horas de ida e volta. No início pensei: “Não vou aguentar!”, mas fiquei tão encantada com a beleza natural, que não senti cansaço e nem vi o tempo passar. E no almoço, comemos sentados na pedra, apreciando sua linda paisagem.

A noite do mesmo dia, veio o pessoal do Okinawa Shougaku Koukou e fizemos diversas brincadeiras programadas por eles, que, foi muito genial.

Fomos também ao castelo de Shuri, e, diferente do castelo de Nakijin, ainda estava conservado. Era tudo muito bem feito e impressionante, tanto que tinha até senhores vestidos de samurai.

Durante todo o Tour, o que eu realmente gostei foram os ensaios de eisá. Além de poder dançar o eisá em Okinawa, seu local de origem, o nosso sensei era integrante de um grupo do qual o nome é conhecido até no Brasil.

Mostramos o resultado dos tais ensaios em frente ao Tenbusu-kan e, acabei errando por causa do nervosismo, mas no final, caíram muitas lágrimas de alegria.

Na festa de despedida, cada país apresentou sua dança, e a do Brasil foi o Axé. Chamamos todos para subir ao palco e dançamos juntos. E de tanto ter chorado no dia da apresentação de eisá, nessa festa não caiu nenhuma lágrima sequer.

Dia 9 de agosto, chega o dia do embarque. No aeroporto vieram os Juniors e os parentes. A despedida foi profundamente triste. A maioria dos que estavam lá se emocionaram, inclusive eu.

Jamais esquecerei dessa grande experiência e de todos que conheci nessa viagem. A despedida foi dura, mas fizemos uma promessa: nos reencontrar no Uchinanchu Taikai daqui a 5 anos. E espero ansiosa por esse dia!

Agradeço de coração ao pessoal da organização, instrutores, pessoal do Okishou, meus parentes e claro, aos Uchinanchus que participaram desse maravilhoso evento. Como fizemos durante toda viagem, gostaria de agradecer nas 5 línguas, incluindo o Uchinaguchi:

Arigatou, Thank you, Gracias, Obrigada e Nihe Debiru!





カリナ イズミ 具志堅
 KARINA IZUMI GUSHIKEN
 15歳 3世
 ブラジル連邦共和国
 Federative Republic of Brazil
 ブラジル沖縄県人会



「2006年度－スタディーツアー」

信じられないほど素晴らしい旅行でした。旅行期間中の感激は言葉に言い表せないです。

三ヶ月間の準備でした：ビザ申請、練習、集会...そして待ちに待った7月24日が来ました。

空港では家族と別れを告げ、搭乗口へ向いました。私が計画してきた全てが実現したと、この時点で“やっと目が覚めました”。

待合室でアルゼンチンとペルー国の学生と出会い、思ったよりツアーが早く始まりました。初対面は良かったです。

出発してから24時間後に沖縄に到着しました。空港の職員たちは親切に歓迎してくれました。そして...沖縄は聞いていたより気候の暑い島でした。機内から出ると蒸し暑い空気で“ショック”を感じました。

荷物受け取りのターンテーブルに行く途中に出口が見えました。なんと!大勢の人たちが私たちを待ち受けていました。歓迎ポスター、カメラ、映写機、報道機関、親戚、友達と大勢の人たちが待ち受けていました。荷物を手にして一安心して皆の後を着いてゆきました。正直言って、俳優のような感じでした。私たちにスポットライトが向けられ、皆様が手で合図していました。忙しい、心温まる歓迎でした。私の親戚は問題なく見つける事ができました。幾つかの写真をとって、あるテレビ局のインタビューが済んで、“新家庭”に行く事ができました。

ホームステイが始まったときは大変楽しかったです。畳、低いテーブルと実際の日本の家庭に入りました。聞かされた事がない親戚と知り合いました。学校を訪問しましたが、漫画で読んだ通りでした。デパートとレストラン、街路や大踊りを知り、自動販売機の操作も覚えました。私たちが到着した翌日に沖縄ブラジル協会で夕食会がありました。親戚たちも参加して身近に話し合いができて大変有意義でした。

7月29日にツアーの始まりとして全員が集合し、ツアーの説明とグループの割り当ての指導がありました。うまく交流できるように高校生たちが応援に来てくれました。夕食中に幾つかの芸を披露しました。私たちはアシェー (axé) を踊りました。後程、部屋に戻って、

これから三日間ホテルを離れるために荷物の準備をしました。

第1日、港から渡嘉敷島向け出発しました。初めての乗船でした（気分が良くありませんでした）。一日中ビーチで過しました。海のダイビング、バナナボートに乗り、水遊びをして島の若者たちとビーチサッカーをしました。夕方、青少年施設で“セミナー”が行われ、エイサーの練習が始まりました。

第2日、体操をしました。島を後にして沖縄県庁へ向いました。（私は船酔いで顔色が青ざめておりました）。むら咲むらではサンシン（沖縄三線）、琉球舞踊又は空手を習うためグループに分けられました。サーターアンダーギーを作りました。この夜と翌日は名護市のホテルで過ごしました。

第3日、私が待ちかねていたヤンバル（山原）の山道歩きでした!山道を歩いてゆくと、珍しい植物、動物が観察できました。辿り着いたのは、なんと、比地大滝でした。水は冷たく、景色は素晴らしかったです。ホテルに戻ってきて、私達は自分たちでバーベキューを準備しました。夕方は大きな焚き火を焚き、グループ同士で面白い競技をしました。

第4日、大変忙しかったです。美ら海の水族館見学では奇想天外な経験をしました。見たことがない海の生物を觀賞して、初めて、イルカのショーを楽しく見ました（本当に賢いです）。今帰仁城の城跡を見物して、歴史と昔の習慣について学びました。後程、国際通りで、高校生のご案内を頂き平和通りの市場へ行きました。沖縄の特産品を知り、珍しい町歩きでした。陶芸品工房が集中している村に魅せられました!特にシーサーには魅了されました!

翌日はガイド付きで首里城とその周辺を訪問しました。沖縄の昔話を聞きました。この後で、ビンガタ（紅型）、首里織又は、琉球漆器を習うために三つのグループに別れました。私は絵が好きで、紅型を選びました。落ち着いた雰囲気ので絵を塗って、ツアーで一番リラックスできた時でした。“エネルギーの活性化”になりました。

第6日、平和祈念公園へ行きました。わびしい日でしたが（雨も降りそうでした）、知識を身につけました。第2次世界大戦の生存者たちから悲しい話を聞くこと

ができました、又、その戦争時代の背景をビデオで見ました。第2次世界大戦で死亡した人たちの名前を刻んだ礎、平和の火、多くの人たちが自殺した断崖絶壁も見ました。反省すべき一瞬でした。昼食後、ガラス工場を見学しました。出来上がった製品は素晴らしかったです。その他、お酒の製造過程について学びました。

第7日、ワークショップでした。世界のウチナーンチュ移民の経過について説明を聞き、写真の検討、ポスター作りなどをしました。結果として、更に沖縄文化の知識が深まりました。この日、沖縄の精神が自分の中にあると実感しました。“ウチナーンチュ”である意味がわかりました！エイサーの最後の練習では披露する二つの音楽をおさらいしました。毎日、楽しく練習しました。パーランクーは複雑でしたが楽しく覚えました。

第8日、最も悲しく、また、楽しい日でもありました。皆と最後の昼食が終って、国際通りへ行きエイサー披露の準備をしました。一週間の練習期間にも拘わらず結果は良かったです。他の団体の演舞も観て、一緒になって踊りました。辛抱強くエイサー踊りを教えてくれた国吉先生にお礼の言葉を伝え、全員が涙を流しました。涙を流しながらも沢山の写真を撮りました。夕方になって再び親戚の家に戻りました。

ホームステイの期間中、お盆に参加できました。素晴らしい経験をしました。ブラジルの儀式とは異なります。親戚から昔話を聞いて親近感を覚えました。彼らと共にこのイベントを過ごせたのは光栄でした。

沖縄最後の日の前日に修了式が行われました。修了証書を頂き、各自挨拶を述べ、送別会が行われました。各国の参加者はそれぞれの踊りを披露しました。ブラジルは参加者全員が舞台上でAXÉを踊りました。楽しかったです。ツアーの期間中にお世話になった上司にお礼の気持ちを込めた挨拶しました。

皆は涙を流しましたが、幸せなお別れでした。

沖縄の最終日は忙しかったです。台風予報が入り出発が早められ急ぐ事になりました。悲しく、最も急いだ別れになりました。大勢の友人たちと親戚たちが空港に来てくれて一人一人と感謝の気持ちを言い表す十分な時間がありませんでした。アルゼンチンとボリビア国の友人等と別れの際は悲しみましたが、帰国は落ち着いて穏やかでした。

ツアーを主催して下さった皆様方、指導して下さいました上司の方々、協力下さいました方々に厚くお礼を申し上げます。皆様のお陰でツアーが実現しました。この好機を与えてくれたブラジル沖縄県人会に感謝の気持ちを表します。県人会が実施するスタディーツアーを通じ祖父母の故郷を知る事ができ、これにも増して、家族から常に言い聞かされていた沖縄文化の知識の取得ができ、日本語も習いました。皆様に感謝し、厚くお礼を申し上げます。このツアーで得た経験

は一生忘れません！

他国の人たちを知り友達になった事は私にとって決定的な意義があり、心深く刻まれました。皆の心の中のウチナーンチュを感じました。(習慣を忘れないように...)

ありがとうございます。

THANK YOU
GRACIAS
MUITO OBRIGADO
ニヘーデービル

Junior Study Tour 2006

Esta foi uma viagem incrível e inesquecível. Não há palavras para expressar tudo que senti durante este período.

Foram 3 meses de preparativos: vistos, ensaios, reuniões... Até que finalmente o tão esperado 24 de julho chegou.

No aeroporto correu tudo bem e, após nos despedirmos de nossas famílias, passamos o portão de embarque. Foi neste momento que me dei conta de que tudo que estávamos planejando virava realidade. “A ficha finalmente caiu” .

O tour começou mais cedo do que esperava, pois, logo na sala de espera, encontramos os estudantes da Argentina e do Peru. O nosso primeiro contato foi muito bom.

Embarcamos e, após mais de 24 horas, chegamos em Okinawa. Fomos muito bem recebidos pelos funcionários do aeroporto e... Okinawa, mais do que me falaram, é uma ilha realmente quente. Ao sair do avião, o mormaço que estava do lado de fora foi um “choque” que superou as minhas expectativas.

Ao nos encaminharmos à esteira para a retirada de nossas malas, avistamos o portão de saída. Nossa, havia muitas pessoas a nossa espera! Faixas, placas, câmeras, filmadoras, imprensa, parentes e amigos, toda uma multidão aguardando-nos. Depois de achar toda a bagagem, respirei fundo e passei seguindo os demais. Sinceramente, me senti como se fosse um artista, foram muitos flashes sobre nós e pessoas acenando. Foi uma recepção calorosa e bem agitada. Achei meus parentes com facilidade e, após algumas poses para as fotos e uma entrevista a uma emissora de televisão, finalmente fui a minha “nova casa” .

O período inicial de Homestay foi muito divertido. Morei numa verdadeira casa japonesa, com tatami, mesa baixa e tudo o mais; conheci parentes, alguns dos quais não havia ouvido falar; visitei uma escola, era realmente como havia lido em mangás; fui às lojas de departamento e restaurantes; conheci ruas e avenidas e aprendi a mexer nas máquinas de bebida. Houve, no dia seguinte a nossa chegada, um jantar na Associação Brasil de Okinawa. Os parentes também puderam comparecer, o que foi muito bom pois pude conversar com aqueles os quais não falei muito no aeroporto.

No dia 29 de julho todos nos reunimos para dar início à programação, recebendo explicações e a divisão em grupos. Colegiais vieram nos auxiliar com brincadeiras para que interagíssemos e, durante o jantar, foram feitas algumas apresentações, inclusive a nossa dança de axé. Mais tarde, todos nos recolhemos para os quartos para prepararmos as malas para os três dias fora deste hotel.

No primeiro dia nos encaminhamos ao porto, rumo à ilha de Tokashiki. Foi a primeira vez que andei de barco (não foi uma sensação muito boa). Passamos o dia na praia: fizemos mergulho, andamos de banana boat, brincamos na água e jogamos futebol de areia com os jovens da ilha. Ao entardecer, fomos a um complexo juvenil, onde apresentamos o “seminário”, tivemos o nosso primeiro treino de eisa e passamos a noite. Na manhã do segundo dia fizemos um pouco de taissô e, após deixarmos a ilha, fomos à Prefeitura de Okinawa (eu estava pálida devido ao enjôo que senti no barco). Na vila de Murasaki nos dividimos em grupos para aprendermos sanshin, dança ryukyuu ou karatê e o preparo de satandagui. Passamos a noite deste dia e do dia seguinte em um hotel na cidade de Nago.

O terceiro dia foi, para mim, o tão esperado dia da trilha na montanha de Yambaru! Pudemos ver plantas e animais diferentes ao longo do caminho, o que foi muito divertido e, ao final, foi maravilhoso ver a cachoeira Hijiootaki ao vivo. A água era gelada e a paisagem linda. Ao retornarmos ao hotel, fizemos nosso próprio churrasco e, ao anoitecer, houve uma competição muito engraçada entre os grupos, além de uma grande fogueira.

O quarto dia foi bem cheio. Visitar o aquário Chura Umi foi uma experiência fantástica! Vi animais aquáticos que nunca havia visto antes e pude, pela primeira vez, assistir a um show de golfinhos (são animais realmente inteligentes). Conhecemos as ruínas do castelo de Nakijin e aprendemos um pouco sobre a história e costumes antigos. Mais tarde, na Avenida Kokusaidoori, fomos guiados por colegas no mercado da Heiwadoori. Um passeio muito interessante conhecendo artigos típicos da província. Fiquei muito fascinada com a viela que só produz produtos de cerâmica, principalmente shiisaas!

No dia seguinte fomos ao castelo de Shuri e seus arredores, acompanhados por um guia, ouvindo explicações sobre a antiga história de Okinawa. Após isso, fomos separados em três grupos para aprender bingata, shuriori ou ryuukyushikki. Por gostar muito de desenho, optei por bingata. Foi realmente o momento mais relaxante do tour pois pintar em um ambiente tranquilo “recarregou as energias”.

No sexto dia fomos levados ao Parque Memorial da Paz. Foi um dia melancólico (inclusive, parecia que iria chover), mas de muito aprendizado. Pudemos conhecer a triste história de um sobrevivente da II Guerra Mundial, assistir a um vídeo de cenas desta época e visitar o museu Memorial da Paz, onde pude ler alguns relatos de outros sobreviventes. Ter visto as lápides dos falecidos durante a II Guerra, a Chama da Paz e o penhasco de onde muitos se suicidaram, foram momentos de verdadeira reflexão. Após o almoço, conhecemos uma fábrica de vidro e vimos como realmente são maravilhosas as peças lá feitas, além de aprendermos todo o processo de fabricação de saquê.

O sétimo dia de programação foi um workshop. Ouvimos explicações sobre o processo de imigração de uchinanchus pelo mundo, analisamos fotos, fizemos cartazes, enfim, adquirimos mais conhecimento sobre a cultura de Okinawa. Este foi o dia em que senti realmente que Okinawa estava dentro de mim. Acho que entendi o significado do que é “ser uchinanchú”! No último treino de eisa, repassamos as duas músicas que iríamos apresentar. Todos os dias treinamos com muita alegria, pois era muito divertido aprender

a tocar o parankuu, apesar de um pouco complicado.

O oitavo dia foi o mais triste e o mais alegre de todos. Após o nosso último almoço juntos, fomos à Avenida Kokusaidoori nos prepararmos para a apresentação de eisa. Todos foram bem, mesmo com apenas uma semana de treinos. Assistimos a outras apresentações e também dançamos juntos. Ao prestarmos homenagens ao professor Kuniyoshi, que pacientemente nos ensinou eisa durante o tour, a maioria chorou. Tiramos muitas fotos, mesmo com lágrimas nos olhos. No fim da tarde, retornei à casa dos parentes.

Durante este período de Homestay, pude participar do Obon. Foi uma experiência incrível, uma cerimônia diferente daquela que fazemos no Brasil. Ouvi histórias antigas sobre a família e me senti mais próxima dos parentes de Okinawa. Foi muito bom ter tido a oportunidade de passar este evento com eles.

No penúltimo dia em Okinawa foi realizada a cerimônia de encerramento. Recebemos o certificado de participação, cada um fez um discurso de agradecimento e houve a festa de despedida. Todos os países apresentaram alguma dança típica e o Brasil encerrou com todos dançando axé juntos no palco. Foi realmente divertido. Fizemos homenagens aos superiores que nos ajudaram durante a programação e cantamos. Foi uma despedida feliz, mas com muitas lágrimas.

O último dia em Okinawa foi muito agitado. Devido à previsão da vinda de um tufão, o vôo de volta foi antecipado e tivemos que embarcar às pressas. Foi a despedida mais triste e mais rápida que tive que fazer. Apesar de muitos amigos do tour e parentes comparecerem ao aeroporto para despedirem-se, não tive tempo para agradecer tudo o que haviam feito por mim. A volta até o Brasil foi tranquila, apesar de ter chorado quando nos separamos dos amigos da Argentina e da Bolívia.

Gostaria muito de agradecer aos organizadores, colaboradores e supervisores que nos orientaram neste tour, sem vocês nada disto teria se realizado; agradecer também ao Okinawakenjinkai do Brasil que me deu esta oportunidade, graças a existência desta fundação, pude, através deste evento, conhecer a terra - natal de meus avós e aprender muito

mais sobre a cultura de Okinawa; a minha família que sempre me incentivou a aprender sobre Okinawa e a língua japonesa; obrigada pela paciência e companhia de todos. Realmente, esta foi uma experiência que nunca irei me esquecer! Ter tido a chance de conhecer pessoas de outros lugares e ter a amizade delas foi algo que marcou muito em mim. Pude sentir o espírito de uchinachú em todos. (Para não perder o costume...)

ARIGATOUGOZAIMASU

THANK YOU

GRACIAS

MUITO OBRIGADO

NIHEDEEBIRU.





カレン ユミ 宮城

KAREN YUMI MIYASHIRO

16歳 4世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



「報告書」

沖縄は小さな島ですが美しさは壮大です。年上の人たちから沖縄の話を聞いたとき事実だとは思えませんでした。今はスッカリ逆転してしまい、極楽だと信じています。

住民は心温かいと彼等は言うておりました。私は実際に確認しました。確かに、町を歩いていても未知の人と友情が芽生えます!

訪問した所々は心地良く、楽しく、興味深かったです。

渡嘉敷島から旅が始まり、待ちに待った有名な沖縄のビーチを知りました。海は碧く澄んでおりました…本当に沖縄のビーチは極楽のようです。沖縄の青年たちとサッカーの試合をして、一点ゴール!楽しかったです。

美ら海水族館見学では、見たことがない色とりどりの魚を観察しました。壮大な水族館を観賞しました。忘れ難いです。

琉球舞踊の基本踊りを習い、ビンガタ、サーターアングギーの沖縄の郷土料理作りを実践し、この好機に恵まれ、嬉しかったです。

ところで、平和祈念資料館への訪問は、最も意味深く、学ぶ事が多く、知識を身につけることができました。場所は美しく、融和感がありましたが、写真、ビデオ、模型、劇化及び文書などを通じ戦争時の無残な現実が伝えられていました。多くの知識を得て、帰途、バス内で世界をもっと良い所にしなくてはならないと自分に言い聞かせました。提示内容を読みますと、その当時の日本人たちの苦難は並大抵のものではなかったようです。それでも、彼等は励ましの言葉を伝えました。読んだ一つには“激戦中にあっても、少しでも命を守って下さい”。

エイサーを習う好奇心は常にありました。沖縄で披露が出来ました!練習が始まった時点からテンプスホールで披露するまでの期間は感動的で、楽しかったです。

沖縄郷土料理は美味しいです!好きではないゴーヤー料理も美味しかったです!

今回の旅行で沖縄の親戚たちと過ごす時間が限られていた事が大変残念でした。しかし、お陰様で会

うことができました。彼らとの連絡が絶えないように心がけます。

ブラジルに帰ってきて、叔父から“沖縄の精神”が身につけてきたと言われて、嬉しかったです!又、沖縄へ行ける機会を待ち遠しくしております。沖縄は私の記憶と心に刻まれています。

Relatório

Okinawa é uma pequena ilha,mas é grandiosa em questão de beleza.Quando os mais velhos me contavam sobre como era Okinawa eu não imaginava que fosse tudo verdade,hoje com a cabeça totalmente mudada,acredito que lá pode ser mesmo o paraíso.

Eles me falavam que o povo de lá era caloroso e eu comprovei isto,pois nós podemos até fazer amizade com um desconhecido na rua!

Todos os lugares que visitei foram muito prazerosos,divertidos e interessantes!

Começando pela nossa viagem para Tokashiki onde finalmente conheci a famosa praia de Okinawa e pude comprovar que a água do mar é um pouco esverdeada e cristalina...Realmente parece o paraíso as praias de lá.Adorei também ter a oportunidade de jogar futebol com os meninos de Okinawa,conseguindo até marcar um gol!

O aquário Chura Umi também foi inesquecível,pois nunca havia visto peixes coloridos como os de lá.Ver o aquario principal,que é imenso,foi como já disse inesquecível.

Gostei muito de ter a oportunidade de aprender passos básicos de ryukyubuyo,fazer bingata,preparar e comer os famosos bolinhos de Okinawa chamados satandaguis.

Porém o lugar que mais aprendi e gostei foi o Memorial da Paz,pois apesar do local ser muito bonito e nos transmitir uma paz interior,apresenta os horrores da guerra,por meio de fotos,vídeos,maquetes,dramatizações e textos.Eu,após entrar no ônibus,senti que deveria fazer um mundo melhor,pois através de

tantas informações que nos são dadas lá, você percebe o quanto era difícil a vida dos japoneses naquela época, mas mesmo assim eles transmitiam mensagens positivas, como uma que li, que dizia: "Mesmo que você esteja na meio de uma batalha, tente viver o máximo possível, mesmo que seja por mais uma hora."

Sempre tive o interesse de aprender pelo menos algum passo de eisá e lá pude até mesmo fazer uma apresentação disto! Foi realmente emocionante, prazeroso e divertido desde o primeiro treino até nossa apresentação no Tenbusu Hall.

A culinária é simplesmente saborosa! Até mesmo o goyá!

A única coisa que não gostei nessa viagem foi o pouco tempo que tivemos para poder ter contato com nossos parentes okinawanos, que me receberam muito bem. Mas graças a essa viagem pude conhecê-los e com certeza tentarei o máximo possível manter contato com eles.

Ao voltar para o Brasil e contar sobre a viagem, meu avô me disse estar com o "espírito okinawano" e fiquei muito alegre ao saber disto! Espero voltar muitas e muitas vezes para esta ilha que ficará em minha memória e coração para sempre.





レチシア チエミ 高良
 LETICIA TIEMI TAKARA
 17歳 3世
 ブラジル連邦共和国
 Federative Republic of Brazil
 ブラジル沖縄県人会



2006年度－スタディーツアー

7月24日の夜、私と引率者のアケオ・ヨギ氏及びもう五人のブラジル青年たちがボリヴィア国とアルゼンチン国の人たちと合流して沖縄向けサンパウロ空港（クンビカ）を出発しました。

沖縄に到着するまで約24時間にわたる旅でした。スチュワーデスの対応は親切でした。ニューヨーク経由で成田空港に着陸しました。機内から出た瞬間にいきなり湿った暑い空気に包まれました。羽田空港向けのバスに乗りました。羽田空港に着くまで変わった事を沢山観察しました。タクシーが違っている事、道路の方向と車の運転手席が反対なこと等。

沖縄に着いた26日に、皆様方はあたたかく出迎えてくれ、歓迎ポスターも提示され、拍手喝采して迎えてくれました。その日、あるテレビ局のインタビューもありました。先祖の地に来て感激しました。

直ぐに親戚と出会い、マクドナルドへ行き、ブラジルでは見られない美味しいえびのサンドイッチを頂きました。その後、叔父の家へ向かいました。

叔父の家に入って融和な感じを受けました。各部屋と応接間に畳が敷いてあって、ブラジルとは違って木製の障子で区切られていました。

27日、古波蔵近辺にある商店街へ行きました。その直後に沖縄ブラジル協会による歓迎会が行われ、多くの親戚たちと知り合い、珍しい料理を味わいました。

28日、宜野湾にある百円コーナー（100Y）に行き、多彩な品物と品質が優れている事に驚きました。

百円コーナーを出て興南高等学校へ向いました。8年生と10～15名の生徒たちからブラジルに関して様々な事を問われ、その中で、ブラジル人は家庭に鰐をペットとして飼っているかと尋ねられました...

同日、パチンコを知りました。大きな場所にスロットマシンのような変わった機械が数多くありました。町内数ヶ所にあります。スケート場は残念ながら閉まっておりました。もちアイスクリームを販売機で買って食べました。変わった味で、美味しかったです。

29日よりプログラムが始まりました。ホテル CITY CURTに出向き、交流に参加する青年たちと知り合いました。様々なゲームとダンスが行われました。

ブラジルのサンバに似た“AXÉ”踊りを披露する好機に恵まれました。

宿泊部屋が分配され、その日は沖縄のマリアとアメリカのミッシェルと部屋を分かち合う事になりました。

翌日、渡嘉敷島へ船で向いました。目覚しく美しい島です。様々な活動に参加して、その中でも、特に海のダイビングは素晴らしく、海中生物の多様性の生息を観察して、様々な色をした海中生物の生態を身近に観賞しました。それこそ、雄大な光景でした！全く極楽の世界でした。

同日、皆が集まり第一回目のエイサー練習が始まりました。

宿泊所では六人の女性と一緒に部屋になりました。沖縄が四人、アメリカ人が一人とアルゼンチン人が一人。

31日、渡嘉敷島から戻り、沖縄県庁を訪問して直ぐに沖縄県知事と対面しました。感激しました！

次いで、読谷のむら咲むらに行き、ここでは三味線を習いました。素敵な所で大変気に入りました。安里屋ユンタを先祖の地で聞き、弾き習い、光栄に思いました。特別なひとときでした！踊りと空手と、各自の体験が出きました。又、皆が集まって沖縄のサーターアンダーギーを作りました。

この後で、名護へ行き、第二回目のエイサー練習を行いました。楽しかったです。宿泊所ではペルー人が一人、ブラジル人が一人と沖縄が二人と部屋を共にしました。

翌日、ヤンバル（山原）へ行き、そこには清流の小川と小石、森林と野生動物、そして透き通った水の滝がありました。美しく、穏やかで、リラックスできました。

ホテルに戻って来ました。ゲーム遊びがありました。人の温かい心を意味して焚き火を燃やし、周りで踊りました。グループの団結と友情が一層に感じました。

その夜、みんなとお風呂に入りました。変わった感じで、リラックスできて、気持ち良かったです。お風呂場には幾つかの仕切りがあって、沢山のシャワーも設置して、みんなは裸で入ってきて他の人たちと一緒に風呂に入る事が不思議でした。（幸いに私はビキニ水着で入れました）。

2日、美ら海水族館を見学しました。水族館はとて

も壮大で美しい場所です。そこにいた生き物は珍しかったです。暗がりでも光るものもあれば、大きすぎて変わった形のものもありました。可愛いイルカのショーも一時として目を離さずに一つ一つの動きを観察しました。

水族館から今帰仁城へ行きました。この城の石垣の長さは1500mに及び完成まで百年かかりました。多くの人たちには単なる城跡ではありますが、私としては珍しく、何千何百年の歴史が偲ばれました。昔のヒノカン（火の神）は自宅の外側の小さな家に祀って、線香のにおいがしていました。不思議な事に、現在はキッチンに祀ってあります。戦争の攻撃に耐えた数々の住宅を見学しました。今でも手工業があって、シーサーはそのうちの一つです。

最初のホテルに戻り、部屋の同僚者は同じで最終日まで一緒でした。

この日から船が出入りする港近辺にある広場でエイサーの練習が始まりました。

日暮れが美しい所でした。日増しに、青年参加者たちの団結心が強まりました。

翌日は首里城を訪問しました。650年の歴史があって四回も攻撃され壊滅しました。1992年に再建されました。他に見られない唯一の美しさです。中国、日本及び沖縄と混じりあった建築様式です。

次いで、玉陵（タマウドウン）を訪問しました。実はここは先祖の大きな墓地です。先祖に対する住民の尊重心が見受けられました。

那覇でビンガタ（紅型）を習いました。調和のとれた色を布の上に塗料を塗った工芸品です。この芸術は精神を安定させます。綺麗です。首里織を選んだ人もいれば琉球漆器を選んだ人もいました。

4日、糸満の平和祈念資料館を見学しました。生存者から戦争の悲惨な話を聞き取りました。平和の火及び平和の広場を通り、その当時、犠牲になった住民、兵士たちの名前が刻み込まれた平和の礎がありました。戦争中に自殺した人々の断崖絶壁も見て私は心を打たれ一生忘れる事はしません。戦争の痛ましさ、その現実を知りました。

この後、琉球ガラス工場を見学しました。色々な形を取り、珍しく、創造力に満ち、綺麗な出来上がりでした。

泡盛工場も見学して、工場に入った瞬間お酒の匂いがしました。製造と準備方法を観察して大変珍しい体験でした。

翌日はJICA沖縄国際センターへ行き、沖縄の精神、方言及び知識について話し合いました。最後のエイサー練習をし、翌日に平和通りで披露しました。初めてエイサー踊りをする私には大変光栄な参加でした。その他にも素晴らしい催し物がありました。楽しく、深く感動し、陽気、平等主義、団結心のウチナーンチュの心を実感しました。

このイベントにおいて私は他では得られない貴重な知識を得ました。一時一時が大切に思えて、毎日、毎日と新しい知識を得、多くの珍しい物も見ました、又、長年の歴史が植えつけられた、珍しく素晴らしい場所も訪問しました。

住んでいる国は別で、67名の青年たちの習慣が異なっている、文化は同一であります。音楽も同様です。ブラジル日系人同士で有名なソングを歌い始めたら、徐々に、青年たちが同じ歌を歌いながら近寄ってきました。正に、ウチナーンチュです。今回のイベントで得た貴重な経験は一生の財産となって、常にブラジルのウチナーンチュ青年たちへ伝える事を試みます。

忘れ難い有意義な好機に恵まれ、沖縄県庁、ブラジル沖縄県人会に深く感謝し、厚くお礼申し上げます。いつも守って、支えてくれた与儀昭雄氏。私の家族並びにナカマシ、マリ先生へ、ありがとうございました。

皆様、本当にどうもありがとうございました。

Ippe Nifedebiru!!!

Thank You!!!

Muchas Gracias!!!

Muito Obrigada!!!

JUNIOR STUDY TOUR 2006

Na noite do dia 24 de julho eu, Akeo Yogui e mais cinco jovens brasileiros, encontramos o pessoal da Bolívia e Argentina e juntos partimos do aeroporto internacional de São Paulo (Cumbica) rumo à Okinawa.

A partir daí, foram mais ou menos 24 horas de viagem até chegar a Okinawa. As aeromoças eram bem simpáticas. Passamos por Nova York e desembarcamos no aeroporto de Narita, quando sai do avião, senti um golpe de ar quente e úmido. Logo após pegamos um ônibus para Haneda, até chegar lá, vi coisas bem diferentes: os táxis, o sentido das pistas e o lado do motorista são ao contrário.

Dia 26, quando cheguei em Okinawa, as pessoas nos receberam com bastante entusiasmo, foram bem receptivas e simpáticas, mostravam cartazes de boas vindas e nos aplaudiam. Uma emissora de tv me entrevistou nesse dia. Senti-me contente por estar na terra dos meus antepassados.

Logo encontrei meus parentes, e fomos ao Mac Donald's, onde comi um delicioso lanche de camarão, pois por aqui não existe. Depois fui à casa de meu tio. A casa era bem aconchegante, os quartos e a sala havia tatames, e umas divisórias feitas de madeira e feltro quadrado, bem diferente do que há no Brasil.

Dia 27, fui à um shopping que não havia cobertura perto de Kohagura. Logo após havia uma recepção de boas vindas oferecida para nós pela Associação do Brasil de Okinawa, onde conheci muitos parentes, e comi pratos muito diferentes.

Dia 28 fui a uma loja (100 Y), localizada em Guinowan, fiquei surpresa com a variedade e qualidade dos produtos.

Dessa loja, parti para a escola chamada Konankoukou, em uma sala de 8^o série havia cerca de 10 a 15 alunos que tinham muita curiosidade de saber sobre o Brasil. Perguntaram várias coisas, uma delas foi se os brasileiros criavam crocodilos como animais de estimação...

Neste mesmo dia conheci o pachinko, um enorme lugar de jogos, com muitas máquinas, tipo caça níquel, há vários deles espalhados pela cidade. E uma pista de gelo, infelizmente estava fechada. Comi moti de sorvete comprada naquelas máquinas de autocompra (hanbaiki) muito gostoso e diferente.

Dia 29 começou a programação, parti para o hotel City Curt, onde inicialmente conheci os jovens que iriam participar do intercâmbio, ocorreram vários jogos e danças de integração. Tivemos a oportunidade de apresentar o “axé” parecido com samba uma dança típica do Brasil.

Foram separados os quartos e as pessoas na qual cada um iria dormir. Nesse dia dividi o quarto com Maria de Okinawa e Michele dos EUA.

No dia seguinte pegamos um navio e partimos para Tokashikidima, é uma ilha surpreendentemente linda. Participamos de várias atividades divertidíssimas e uma delas, foi o mergulho ao mar, aonde vimos as diferentes formas de vida aquáticas ao vivo e a cores. Foi magnífico! Senti-me no paraíso! Neste mesmo dia treinamos Eisa juntos pela 1^a vez.

Pousamos em um alojamento desta vez dividi o quarto com 6 meninas, sendo 4 okinawanas, 1 norte americana e 1 argentina.

No dia 31 partimos de Tokashikijima para a prefeitura de Okinawa onde conheci o governador pessoalmente. Foi emocionante!

Em seguida, fomos à Yomitan no Murasakimura, um maravilhoso lugar onde comecei aprender a tocar samisem. Adorei. Senti-me privilegiada em ouvir e aprender a tocar o asadoyayunta na terra dos meus antepassados, foi um momento muito especial! Uns opinaram em fazer odori e outros karate. Logo se reuniram todos e preparamos sataandagui, um bolinho típico de Okinawa.

Logo, partimos para Nago onde teve o 2^o treino de eisa que foi muito divertido.

Dividi o quarto com 1 peruana, 1 brasileira e 2 okinawanas.

No dia seguinte fomos à Yambaru, onde possuía um pequeno rio de águas claras e pequenas pedras, muitas árvores e animais silvestres do local, e uma belíssima cachoeira com águas cristalinas. Um lugar bem tranquilo, relaxante e muito bonito.

Voltamos ao hotel. Houve jogos de entretenimento, acendemos uma fogueira que significava o calor humano, dançamos ao seu redor e cada vez mais eu sentia a união e a amizade entre o grupo.

Nessa noite, junto com as meninas entrei no ofurô. É uma sensação diferente, relaxante e gostosa, um ambiente tranquilo com vários chuveiros e sem divisórias o que eu achei estranho é que as pessoas entram nuas no recinto, tomam banho e entram no ofuro junto com as outras (pra minha felicidade, pude entrar de biquíni!).

No dia 2 fomos ao aquário de churaum. O lugar é enorme e muito bonito, correspondente ao mar. Os seres que havia eram especiais. Uns brilhavam no escuro, outros eram super grandes e muitos de formas curiosas. Assisti ao show dos golfinhos muito meigos e originais nenhum instante poderia desviar a atenção, para não perder nenhum movimento.

Do aquário partimos para o castelo de Nakijim este cercado por um muro de 1500 metros que demorou 100 anos para construir. Para muitos são apenas ruínas, mas para mim é um lugar raro onde está carregado de sentimento e anos de história. O hinokan antigo se localizava fora da casa dentro de uma casinha e ainda possuía cheiro de senko, é interessante porque como nos dias de hoje, permanece perto do fogão. Fomos às ruas onde havia casas que resistiram a guerra, na qual ainda fabricam peças artesanais, o shisa é uma delas.

Voltamos ao hotel de início, cuja as companheiras de quarto eram as mesmas, na qual permaneceram até o fim da estadia. Neste em diante treinamos eisa em uma praça ao lado do porto, onde atraca os barcos. O lugar fica muito bonito no pôr do sol, foi uma sensação maravilhosa e a cada dia fortalecia a união entre os jovens participantes.

No dia seguinte fomos ao castelo shurijo, um local de 650 anos de história onde já foi destruído 4 vezes e a última reconstrução foi 1992, beleza única, e sua arquitetura e designer é uma mistura de traços chineses, japoneses e okinawanos.

Em seguida, visitamos o tamaudun é um lugar onde

ficavam os ancestrais, na verdade é um grande cemitério. Senti o respeito que o povo daquela época tinha com relação aos seus antepassados.

Em Naha pratiquei Bingata, uma arte de pintura em tecidos que harmoniosamente suas variadas cores e maneiras de pintar nos tranqüilizam e no final ficam muito bonitos. Alguns escolheram shuriori e outros ryukyu.

No dia 4 visitamos o museu de guerra em Itoman, e ouvimos tristes relatos de um sobrevivente. Passamos na chama e na praça da paz onde há várias lápides com nomes de quem morreu nessa época. Vi um penhasco, que devido a guerra as pessoas se suicidavam. Estes principalmente foram o que mais me comoveu e jamais esquecerei. Pois naquele momento senti a sofrida realidade da guerra.

Depois fomos a uma fábrica de vidros de Ryukyu, a maneira que moldavam as peças era muito curioso tornando-as belas e bem criativas.

Visitamos uma fabrica de awamori, ao entrar lá já senti o aroma do sakê. Foi muito interessante o método e os cuidados usados para a preparação do produto.

No dia seguinte fui ao centro internacional de Okinawa onde foi exposto o importante sentimento, o dialeto e os conhecimentos sobre a província. Houve o último ensaio de eisa, pois no dia seguinte iríamos apresentar no heiwadoori. Para mim foi uma honra, era a primeira vez que eu praticava eisa. Houve também apresentações belíssimas. Tudo foi muito divertido e me emocionei profundamente, senti presente o verdadeiro sentimento utinanchu, alegre, igualitário e unido.

Neste evento vivi, aprendi e sente coisas extraordinárias e únicas. Cada momento era especial e precioso, todos os dias aprendia e via muitas novidades, visitei lugares raros de beleza espetacular, na qual, esta empregado sentimentos e anos de história. Entre 67 jovens, independente de morarem em diversos países, obtendo costumes diferentes, as culturas são as mesmas. As músicas também, pois comecei a cantar uma musica famosa entre os nikesis brasileiros e aos poucos ajuntavam vários jovens de várias províncias cantando a mesma música. Realmente os utinanchus são todos iguais. Levarei para a vida inteira esta importante experiência que obtive neste evento, tentarei sempre transmitir para os jovens utinanchus brasileiros.

Agradeço ao governo de Okinawa, a associação Kenjin do Brasil, por proporcionarem esta oportunidade inesquecível. Ao Akeo Yogui por estar sempre dando

assistência quando precisava. A minha família e a minha sensei Mari Nakamashi que desde o inicio me ajudaram.

A todos, hontoni domo arigatou gozaimashita.

Ippe Nifedebiru!!!

Thank you!!!

Muchas Gracias!!!

Muito Obrigada!!!





マリオ セルジオ いさお 小波津

MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU

16歳 3世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

カンボグランデ沖縄県人会



2006年度－スタディーツアー

今回ジュニアスタディーツアーに参加する機会に恵まれ、厚くお礼を申し上げます。沖縄文化の学習は私の一生の財産として残り、次に来る世代へ伝え、又、その世代がこのような好機に恵まれますよう期待しております。

沖縄に着き次第、朗らかな皆様方は未知の私たちに快く受け入れ、暖かい歓迎が伺われて安堵しました。親戚の家まで向かう道のりは心地良く、沖縄がとても美しく見えました。ところがこれは後ほど知った素晴らしい沖縄全土の中の十分の一にしか過ぎませんでした。これが幸せなあなたかみを持っている住民の姿の秘訣ではないでしょうか。

親戚と共に過した日々は良い経験になりました。ブラジルと日本の習慣の相違、特に沖縄の習慣は各家族によって存続している事がわかりました。宜野湾の町を歩き、多くの朗らかな人たちと出会い、沖縄の民についてもっと深い知識を得ました。又、予想もしていなかった知らない親戚たちと出会い、今では私の身内の一人になりました。

ツアーのスケジュールは最高でした!“歓迎パーティー”から“さよならパーティー”まで、忘れる事が出来ない経験ばかりで、素晴らしい地を訪れ、優れた人たちと知り合いました。

“歓迎パーティー”で日程を見てその素晴らしさが予想できました。歓迎会では気楽に参加者たちと対面できました。披露、踊りそして話を交わした人たち。他の国の言葉も興味深かったです。

訪問は渡嘉敷島から始まりました。島は美しく、海からもその美しさが見えました。島の一番の美しさはビーチでした。透明で綺麗な海には珍しい海中動物がいました。その他に、カヌーを漕ぎ、泳いで海水魚も観ました。又、島の住民たちとビーチサッカー遊びをして楽しかったです。時は早く流れ去り、知らずに一日が終ろうとしていました。その後、エイサーの練習が始まって、国吉先生と初対面しました。やり手人柄が良い人です。エイサーは少し難しかったです。が最初から調子よく徐々に理解して覚えました。

翌日は沖縄県庁を訪れました。儀式が行われ、沖

縄県稲嶺恵一知事と懇談しました。スタディーツアーの幾人かの参加者が演説をしました。知事と幾人かの高官と記念写真を撮りました。県庁訪問後に昼食を済ませ、沖縄文化が満ちたむら咲むらを見学しました。空手、三味線及び琉球舞踊を習うため三つのグループに別れました。私は空手を選びました。興味深く、楽しかったです。しかしながら、三味線と琉球舞踊にも魅了されました。皆、習った事に喜びを感じていたようです。この後、皆が集まり沖縄郷土料理のサーターアンダギーを作り美味しく頂きました。夕方にはエイサーの練習がありました。

第四日目は沖縄の自然環境を知りました。目的の比地滝までの山道を歩きました。この道のりに疲れましたが、珍しい動物と植物を観賞して大変有意義な山道歩きでした。勿論、比地大滝は素晴らしかったです。気持ちの良い気候でした。同日、エイサーの練習後にバーベキューをして楽しく過しました。グループ活動で焚き火を焚き、皆で面白いゲームをし、焚き火の周りで踊りました。最高でした。

翌日の朝、沖縄の海の生物を知るため美ら海水族館へ行きました。この美しい場所には生物の他にも観察する事がたくさんありました。同所で色々な演技をするイルカのショーがありました。その後、今帰仁城跡を訪れました。城跡内に案内されましたが、戦場の跡が今も残されており、昔が偲ばれました。同日、那覇市のマチグワァー(市場)へ行き、社会見学をして、平和通りなどの有名な場所について知りました。この後でエイサーの練習をしました。

七日目は世界と沖縄県民の平和の尊さと大切さを学びました。平和祈念資料館見学で戦争の背景に関するビデオを見ました。更に、戦争の生存者の証言も聞きました。平和の火、この戦争で死亡した人たちの名前が刻まれている平和の礎がありました。次いで、ガラス工場と沖縄の有名な泡盛工場を見学しました。夕方にエイサーの練習がありました。

翌日は、一寸した冗談を言いながら、前原信一様からウチナンチュ移民と沖縄の人の精神について学びました。この後でエイサーを練習して、踊りは上達していました。

私たちがエイサーを披露する日に質問書の書き入

れがありました。その後、テンブス那覇に向かいエイサーの披露準備をしました。次いで、平和通りで披露し、終り次第テンブス那覇に戻り披露し、最後にテンブス那覇前広場の舞台上でヒデカツの太鼓で感動的な披露が行われました。カチャーシー踊りはとても楽しかったです。先生にエイサーを教わって感謝しています。引き続き、思い出としてプリクラで様々な写真を撮りました。町を散歩して宿泊所に帰り、休みました。ホームステイの最終日は那覇の町を歩き、新たなところを知りました。

“さようならパーティー”では、各自の演技の披露があって二つの歌を歌いました。ニライの風と島んちゆぬ宝でした。別れの挨拶を済ませ、各自が親戚の家に戻っていきました。

私はウチナンチュです

首里城と今帰仁城の城跡のような城は沖縄の歴史を教えてください。空手と琉球漆器は沖縄文化を伝えてくれます。沖縄ソバとサーターアンダギーは沖縄の美味しい郷土料理です。渡嘉敷島は沖縄の美しさを表現しております。だけど、ウチナンチュとは、それだけを知る事ではなく、このような美しい地にきて名誉を感じ、興味深い文化に染まり、更に、幸福に精一杯生きて“イチャリバチョーデー（行きあえば兄弟になる）”!の精神を持つ事です。

私の心の底に刻まれていたウチナンチュの精神が、エイサー踊りを通じ、自分自身と周囲にもその精神の発散ができました。過した期間中はエイサー踊りに一番深く感動させられました。ブラジルで既にエイサー踊りの練習はしていましたが、沖縄では多くの人たちが奨励し、参加も多く、踊る喜びも与えてくれました。

世界のウチナンチュと出会って大変光栄でした。私にとっては、単なる友達ではなく、兄弟であって、一生心の中にある兄弟です。

スタディーツアーに参加できて感謝の気持ちで一杯です。完璧で、新しい兄弟たちが与えられ、祖父母の故郷を知り、文化と出会い、私を満たしました。どんなにお金があっても得た知識は買えません。見学、訪問した所、習ったこと、特に知り合いになった兄弟たちと、このように二度とない好機に恵まれ、深く感謝しております。

スタディーツアーの目的がウチナーの文化を普及させる事だったとしたら、既にこの目的は達成しました。というのは、自宅に戻ってきたらエイサーの練習、三味線が弾きたく、ウチナー口をオーバーから教わる希望をもちました。今では、ウチナンチュである事に誇りと名誉を感じています。

沖縄で知り合った兄弟たちと親切的な住民たちが懐かしく思えます。毎日が特別な日になり、特にエイサー

踊りの日は皆と別れたこともあって感動的で一層特別な日になりました。ヒデカツと共にした演技と先生の琉球国祭り太鼓の披露を観ることができ感激しております。この日は九日間一緒に学んで、楽しんだグループとの別れでもありました。親戚の家に戻ってきたら、二度と戻ってこない、忘れる事ができない旅行が終わりに近づいて悲しくなりました。私は知り合った兄弟たちと沖縄で過した日々を胸の奥にしまい、一生忘れない事にしました。

沖縄が大好きになりました。五年先のウチナンチュ大会に参加を予定して、近い将来皆に会える事を望んでいます!

私はこの旅行によって成熟し、より発達した人になりました。それに感謝するだけです!

ジュニアスタディーツアーの主催者の方々、どうもありがとうございました。沖縄の住民たちへ、ありがとうございました。新しい兄弟たちへ、どうもありがとうございました!皆が懐かしく思えます!皆から生きる人生の尊さを教わりました!ニフェーデービル チョーデー!

JUNIOR STUDY TOUR 2006

Primeiramente gostaria de agradecer a oportunidade única de poder viajar a Okinawa e aprender mais sobre a cultura okinawana, um aprendizado que ficará comigo para o resto de minha vida e que poderei passar às próximas gerações, gerações que espero que tenham a mesma oportunidade que tive.

Logo que cheguei a Okinawa já pude perceber o calor e a hospitalidade de um povo divertido, simpático e muito alegre, que estava disposto a nos receber sem, muitas vezes, nos conhecer e que me fez sentir, muito rapidamente, que estava em casa. Ao tomar o caminho até a casa de meus parentes já pude perceber que Okinawa era um lugar lindo e muito agradável, porém o que eu vi não era nem um décimo do que esta maravilhosa ilha tinha a me mostrar. Mas ainda tinha uma dúvida: O que faz esse povo ser tão feliz e tão especial?

Conviver com meus parentes foi uma ótima experiência, porque pude perceber a diferença de costumes do Brasil e do Japão, em especial Okinawa, mas ao mesmo tempo vi que muitos costumes foram preservados pela minha família. Pude também conhecer mais sobre o povo okinawano já que, ao andar pela cidade de Ginowan, conversei com muitas pessoas e todas elas foram muito agradáveis e simpáticas. Gostei também de poder conhecer parentes que eu nunca imaginei poder ver e que agora já fazem parte da minha vida.

Para mim o Tour e sua programação foram o melhor possível! Desde o “Welcome Party” até o “Sayonará Party” passei por experiências inesquecíveis, vi lugares maravilhosos, conheci pessoas fenomenais.

Ao começar pelo “Welcome Party” já pude perceber que a programação que viria seria excelente, pois essa festa foi ótima para que pudéssemos nos conhecer e nos sentir a vontade. Adorei as brincadeiras, as apresentações, as danças, e as pessoas que conversei. Foi muito interessante também conhecer outras línguas e outras pessoas .

Ao começar o passeio já fomos para a ilha de Tokashiki, uma ilha muito linda, até mesmo no mar já se podia admirar a ilha por sua beleza, mas as partes mais bonitas eram as suas praias, com águas claras e muito limpas, com animais marinhos muito lindos e interessantes. Em uma praia tão linda ainda tivemos a oportunidade de fazer várias coisas, como remar nas canoas, nadar juntos aos peixes e ainda jogar futebol de areia junto aos moradores da ilha, foi muito divertido, essas atividades fizeram o tempo passar muito rápido, fazendo o final do dia chegar sem que percebêssemos , porém ainda teve o treino de eisa, onde conhecemos melhor quem seria o nosso professor, o Sr. Kuniyoshi, uma pessoa muito boa e muito capaz. Foi muito bom desde o primeiro treino, tivemos algumas dificuldades mais aos poucos fomos aprendendo e entendendo o EISA.

No dia seguinte fomos ao Palácio do Governo, onde houve uma cerimônia na qual encontramos com o Sr. Inami Keichi, governador de Okinawa, houveram também alguns discursos por parte de alguns integrantes do Junior Study Tour, logo após isso tiramos uma foto com todos os jovens junto ao governador e mais algumas autoridades. Ao sair do Palácio do Governo, almoçamos e nos dirigimos ao Murasaki Mura, um complexo repleto de cultura okinawana que nos fez sentir que voltamos no tempo, lá o grupo se dividiu para que pudéssemos aprender sobre três coisas diferentes, o karatê, o shamisen e o ryukyu buyo, optei pelo karatê, que foi muito interessante e muito divertido, porém também queria ter praticado tanto o shamisen quanto o ryukyu buyo, creio que todos gostaram do que aprenderam. Após isso, nos reunimos e todos juntos aprendemos a preparar o satandagui, um prato típico da culinária de uchiná que realmente é muito gostoso. E ao final do dia tivemos mais um treino de eisa.

No 4° dia conhecemos mais sobre a natureza de Okinawa, para isso fizemos uma trilha em uma montanha onde o destino era a cachoeira Hiji. O

passei foi muito cansativo, mas valeu a pena, porque conhecemos muitos animais e plantas diferentes, sem mencionar a beleza da cachoeira Hiji e o clima agradável daquele local. Neste dia ainda tivemos mais treinos de eisa seguido de um barbecue muito gostoso e divertidíssimo. Depois fizemos o Camping Fire, uma atividade de grupo onde acendemos uma fogueira e fizemos várias brincadeiras divertidíssimas, nas quais podíamos ver nossos amigos passarem por testes e jogos muito engraçados e ainda dançamos ao redor da fogueira várias danças, foi muito especial.

Na manhã seguinte a programação foi conhecer sobre o mar de Okinawa e os seres que lá habitam, então fomos ao Aquário Okinawa Chura Umi, um lugar lindo, com muitas coisas a serem observadas, além dos animais. Havia belos animais e alguns também muito grandes. No mesmo local ainda vimos um show de golfinhos maravilhoso com várias demonstrações de habilidades tanto dos treinadores quanto dos animais. Mais tarde nos dirigimos às Ruínas do Castelo de Nakijin, lá fomos guiados para dentro do que seria os restos de uma guerra e que ainda foram preservados, consegui sentir parte do espírito e sentimento ali deixado. No mesmo dia ainda fomos ao Machiguá, onde fizemos um passeio na cidade de Naha com o intuito de conhecer a sociedade e alguns pontos urbanos famosos, como o Heiwa dori. Para finalizar um dia tão longo tivemos um treino de eisa.

No dia seguinte visitamos vários pontos onde passava e morava a realeza de Okinawa, como o Castelo Shuri e o Parque Shikina-en, lugares onde se pode perceber uma forte influência chinesa em relação à estrutura destes locais. Após isso fomos ao Tenbusu, na Kokusai Dori, lá aprendi a fazer o Ryukyu Shiki, que achei muito interessante apesar de ser tão difícil. Ao final do dia tivemos mais lições de eisa.

O 7° dia foi marcado por um certo respeito e aprendizado sobre a importância da Paz, para o mundo e para o povo okinawano. Fomos ao memorial da Paz, assistimos a um vídeo sobre as guerras que ocorreram em Okinawa e ainda assistimos ao depoimento ao vivo de um sobrevivente desta guerra. Vimos o Fogo da Paz e o cemitério onde ficam os nomes das pessoas que morreram nesta guerra. Ainda fomos ver como funciona a fábrica de vidros e depois fomos à fábrica de Awamori, uma bebida muito famosa de Okinawa. Ao final do dia houve mais treino de eisa.

O próximo dia foi muito interessante porque através de algumas brincadeiras e do conhecimento do Sr. Maehara Shinji aprendemos sobre a emigração Uchinanchú e sobre o sentimento sobre a identidade de

cada um de nós e dos okinawanos. Após isso treinamos de novo eisa e depois de tanto treino estávamos conseguindo aprender todas as coreografias.

O dia da nossa apresentação de eisa começou com uma reunião para responder alguns questionários. Depois nos dirigimos ao Tenbusu, onde nos preparamos para apresentar o eisa, em seguida nos dirigimos ao Heiwa Dori onde foi nossa primeira apresentação, logo depois nos dirigimos ao Tenbusu para apresentarmos mais uma vez e depois fomos à frente do Tenbusu para apresentarmos uma última vez, última, mas a mais emocionante apresentação, ao som de Hidekatsu, foi muito divertido, porque ainda teve um Kachyashi e agradecemos o nosso professor de eisa por tudo que ele nos ensinou, foi um momento emocionante. Em seguida fomos à uma casa de Purikura onde tiramos várias fotos para guardar de recordação, ainda passeamos pela cidade e depois fomos para casa. Descansei.

No ultimo dia de Home Stay andei pela cidade de Naha e conheci novos lugares.

No “Sayonará Party” fizemos treinos sobre como seria a programação e depois fizemos nossas apresentações individuais e cantamos duas canções, Nirai e no Kaze e Shimanchu nu Takara, nos despedimos e fomos para casa de nossos parentes.

Watashi wa UCHINANCHU

Lugares como o Castelo Shuri e as Ruínas de Nakijin nos ensinam a história de Okinawa, o karatê e o ryukyu shiki nos ensinam sobre a cultura de Okinawa, sobá e o satandagui nos mostram a culinária de Okinawa, a ilha de Tokashiki nos mostra a beleza de Okinawa, mas ser Uchinanchú, não é só conhecer tudo isso, ser Uchinanchú é sentir honra de vir de um lugar tão lindo, é se apegar a uma cultura tão interessante e também conseguir viver com tanta vontade e felicidade e ter um espírito e um sentimento de “Ichariba Choode”!

Dentre as várias coisas que fiz e que vi nesses dias, o que mais me tocou foi o EISÁ, porque senti no eisa uma forma de ressucitar o espírito Uchinanchu que estava dentro de mim e que através do eisa eu consegui também deixar esse sentimento se espalhar no meu corpo e ao meu redor. Mesmo já tendo treinado eisa no Brasil, sinto que foi muito mais especial, porque em Okinawa o povo incentiva e participa muito mais nos dando mais prazer em dançar.

Estou muito feliz por ter conhecido tantos Uchinanchu do mundo inteiro, e posso dizer que, para mim, eles

não são apenas amigos, eles são irmãos, irmãos que ficarão em meu coração para o resto da vida.

Estou muito agradecido por ter participado deste programa, porque ele foi perfeito, através dele ganhei novos irmãos, conheci a terra de meus avós, e conheci a cultura que me completou. Agradeço realmente também porque sei que essa foi uma oportunidade única, e que nem todo o dinheiro do mundo poderia comprar o conhecimento que recebi, os lugares que vi, as coisas que fiz e principalmente os irmãos que conheci.

Se o objetivo do Junior Study Tour era disseminar a cultura de Uchiná, esse objetivo foi alcançado, porque assim que cheguei em casa fiquei com vontade de treinar eisa, tocar shamisen e aprender uchinaguchi com a minha Obá. Agora sinto muito mais orgulho e honra de ser Uchinanchú!

Sentirei muita falta de tudo o que passei em Okinawa, dos irmão que conheci e de deste povo tão acolhedor. Todos os dias foram especiais e ficarão marcados em mim, contudo o dia da apresentação de eisa foi o dia mais especial, pois, para mim, foi nesse dia em que nos separamos, contudo foi um dia muito emocionante, porque além de apresentarmos o resultado de nossos esforços nos treinos, ainda tivemos o privilégio de assistir tocar junto com Hidekatsu e assistir a apresentação do nosso sensei com o Ryukyu Koku Matsuri Daiko. Esse dia foi emocionante também porque foi a primeira separação do grupo após ficar 9 dias juntos, aprendendo e se divertindo juntos. Ao chegar na casa de meus parentes senti um enorme vazio por dentro e uma tristeza, pois sentia que estava próximo o fim de uma viagem inesquecível e que este tempo jamais voltaria e eu não sabia o que fazer, a única coisa que eu pude fazer foi guardar todos esses irmãos e tudo o que passei em Okinawa no lado mais profundo de meu coração para que jamais sejam esquecidos, e jamais serão esquecidos.

Gostei tanto de Okinawa que pretendo daqui a 5 anos voltar a esta terra maravilhosa no próximo Uchinanchu Tai Kai e espero encontra- los nesse futuro!

Sinto que esta viagem me fez crescer por dentro me tornando assim uma pessoa melhor e com mais vontade de viverm então só tenho a agradecer!

Muito obrigado aos organizadores do Junior Study Tour, muito obrigado ao povo de Okinawa e muito obrigado aos meus novos irmãos! Sentirei muita falta de todos! Todos essas pessoas fizeram a minha vida ser muito mais especial e ter um significado ainda maior! Nihedebiru Choode!



レナタ ちえみ 城間

RENATA TIEMI SHIROMA

17歳 3世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

カンボグランデ沖縄県人会



2006年度－スタディーツアー

ジュニアスタディ ツア は、私達にとって沖縄の自然、文化、歴史を知るうえで最高の機会でありました。Welcome Party ではたくさんの友達と友好を結び、喜び、そしていろいろな事を知るうえでのスタートでありました。

沖縄の歴史について、首里城や今帰仁城跡などを訪問しました。その他いろいろな所を訪ねました。南部戦跡を訪ねて初めて戦争について知りました。渡嘉敷島では海岸の素晴らしさ、とくにボートで眺めた海の美しさはなんとも言えませんでした。本部の海洋博では、たくさんの魚、大きな水槽、そして海豚（イルカ）のshowを見ました。また、やんばるの山中では動物のほか滝など、私達に感銘を与えるものばかりでした。

文化と言えば三味線を弾き、紅型を染め、サタアンダギを作り、ガラス工場そしてエイサも習いました。稲嶺県知事訪問の時は、県知事がどれほど若い人達を激励し、沖縄の伝統を守って行こうとしているかを知りました。沖縄の伝統、習慣が失われつつある現在、その伝統を引き継いでいくのは若い人達であるとの期待が持たれています。今度のこの行事で、私達はいろいろな国の人達と知り合うことができました。この催しの最後は、私達にとって涙、涙の別れでした。大学を卒業したらまた沖縄を訪問しようと思います。楽しくて、また、とても良い勉強になりました。沖縄の事を忘れないし、それはいつまでも私の胸に刻まれると思います。私は本当のウチナンチュの子弟であることを知りました。

お世話になった親戚の皆さん、そしてウチナンチュの皆さんと知り合う事ができました。皆さん本当にありがとうございました。

マタヤ サイ

JUNIOR STUDY TOUR 2006

O Junior study tour foi uma grande oportunidade para conhecer a história, natureza e cultura de Okinawa.

O Welcome party foi apenas o começo de muitas alegrias, amizades e principalmente aprendizagem

que iríamos passar.

Em se tratando de história, visitamos o castelo Shurijou e as ruínas do castelo de Nakijin, foi ai que tomamos conhecimento dos costumes de antigamente e também conhecemos o memorial da paz onde aprendemos sobre a guerra.

Na ilha de Tocashiqui fiquei encantada com o mar, principalmente quando mergulhamos com os peixes e andamos de canoa. No aquário em Motobu, fiquei fascinada com a variedade de peixes, com o maior aquário e o show de golfinhos. E na floresta em Yambaru que possui os animais exclusivos de Okinawa e uma cachoeira maravilhosa, pude perceber que a natureza da ilha de Okinawa fascina a qualquer um.

E falando de cultura, gostei bastante de tocar sanshin, fazer bingata, satandagui, visitar a fábrica de vidro e awamori e principalmente aprender eisa.

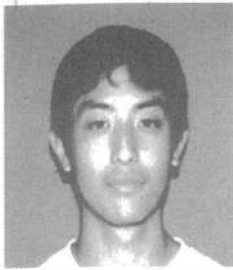
Fiquei também bastante surpresa quando visitamos o governador Keich Inamine, porque percebi o quanto ele incentiva os jovens a manterem a tradição de seus antepassados por isso o último dia foi só de estudo, aprendi o que é ser uchinanchu porque esse espírito esta acabando e para os mais velhos isso é tão importante que os únicos que podem ainda resgatar esse espírito são os jovens.

Esse intercâmbio também foi uma grande oportunidade para conhecer pessoas novas de diferentes países, apesar do pouco tempo adorei os parentes e os uchinanchus(ICHARIBACHOUDE) que foi uma grande alegria, porque percebi o quanto são divertidos, acolhedores e simpáticos.

O fim dessa viagem foi uma grande tristeza e choradeira, mas com certeza depois da faculdade voltarei.

Diversão com aprendizagem a gente nunca esquece, por isso essa viagem ficará para sempre na minha memória e o que levarei para o resto da minha vida é que sou uma verdadeira uchinanchu.

MATAYASAI



宮平 レオナルド マルティン

LEONARDO MARTIN MIYAHIRA

17歳 2世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



ジュニアスタディーツアーに参加して

こんにちは、私はアルゼンチンの宮平ひろゆきレオナルド、18歳です。現在電子工学部の大学生です。この15日間沖縄で過ごさせていただいた事をまとめることは難しいですが、一言で言うとおつという間に過ぎいった日々でした。わたしの体験はとても感動的な事ばかりで、それを言葉にする事はとても難しいです。

初めて外国へ出たという事もあり、たった2週間の短期間で色々体験したり、人々と知り会ったり、勉強したり、新しい事を学んだりしたのは生まれて初めての事でした。一番印象に残ったのは、地図で見た沖縄と私が体験した沖縄は全然違って、夢にも想像できないような沖縄の文化を知る事ができました。帰る頃になって気がついた事は、沖縄の事を全部知るためには一生この島に住まなければならないという事でした。

ジュニアスタディーツアーが始まり一番心配だった言語は、3ヶ国語（スペイン語、日本語、英語）であまり問題なくコミュニケーションが取れたので嬉しかったです。それからウチナー口も覚えるように努力しましたが、元々分からなかったのが難しかったです。残念ながら多くは覚える事が出来ませんでした。

沖縄の自然の中で素晴らしい風景とさんご礁、きれいな海で泳ぐ事ができた事はとても最高でした。沖縄文化体験ではエイサーが一番よかったです。それに三線、サーターアンダギー作りもとても楽しかったです。

歴史については、今帰仁城、首里城を見学し、なぜ昔は「琉球」だったのか、また戦争についての話を聞いて、沖縄独自の文化が少し分かったような気持ちになりました。また私にとって平和祈念公園での祖父のお墓参りは、両親や親戚のおじさんたちに対しても、とても大切な事でした。

このツアーのお陰で沖縄の文化に興味を持ち始めたので、アカネさんとミュキさんと一緒にアルゼンチン沖縄県人会の青年部に参加することにしました。元ジュニアスタディーツアー参加者と会って、楽しい時間を過ごして、ほかの国の青年部の人と連絡を取ったりしています。

この企画のコーディネートをされた皆様、一緒に付

き添っていただいた方々、県庁の皆さんが、私たちがいつも気遣ってくれたお陰でジュニアスタディーツアーを無事に終えることが出来ました。親戚の皆さんも初めて会った皆さんも、初めて会う私たちを快く受け入れてくださり、その事が、私が最高の体験をする事できた理由の1つだと思っています。

短い期間でしたが、1日1日充実した日々を送る事が出来ました。ボランティアスタッフの皆さんにももう一度お礼を言いたいです。世界でも、沖縄にしかない特徴、特に人間性について、親切さと温かみをとても感じました。

私の近い将来の目標として、2011年に開催される「第5回の世界のウチナーンチュ大会」へ参加することを決めました。

皆さんいろいろとお世話になりました。本当にありがとうございました。

Junior Study Tour 2006

Hola, soy Leonardo Hiroyuki Miyahira de Argentina. Tengo 18 años y ahora estoy en la facultad estudiando ingeniería electrónica. En este reporte voy a contar brevemente todo lo vivido durante los 15 días que estuve en Okinawa, que sinceramente fueron unos de los mejores de mi vida y prácticamente se me pasaron en un abrir y cerrar de ojos.

Fue la primera vez que salí de mi país y nunca pensé que en un viaje de un par de semanas iba a hacer tantas cosas como conocer las culturas de todo el mundo, hacer una gran cantidad de amigos, aprender tradiciones de Okinawa, conocer hermosos paisajes y muchas otras cosas que ahora voy a detallar mas profundamente. Lo que mas me sorprendió fue poder encontrar todas estas cosas en un lugar aparentemente tan pequeño, pero estando allí darte cuenta de que es totalmente diferente a lo que uno pensaba. Al final del viaje recién me dí cuenta de que para conocer y entender en su totalidad un lugar tan maravilloso como Okinawa, con una cultura propia tan extensa se necesita vivir una vida entera allí.

Una de las primeras cosas que pude aprovechar en el viaje fue el manejo de las tres lenguajes que se hablar: Español, Nihongo e Inglés. Desde el primer día que llegué ya tuve que usar constantemente el japonés y cuando nos juntamos todos los chicos para iniciar el tour ahí empecé a hablar el inglés. No me resultó fácil pero con bastante esfuerzo me pude comunicar con cualquier integrante del viaje y me sentí muy afortunado de poder hacer eso. Veía a muchos que les costaba un poco comunicarse en otro idioma, y en esos casos, como por ejemplo con mis compañeros de cuarto (donde me tocó estar con un Japonés y un estadounidense) yo trataba de ayudarlos y alentarlos para que pueda hablarse entre ellos y me sentía muy contento de poder hacer esto.

Durante el viaje también intente aprender un poco de uchinaguchi pero eso me resultó mucho mas difícil porque sabía muy poco acerca de esto, pero igual pude aprender a decir algunas palabras. Fue una gran ayuda cuando otros compañeros se esforzaban en entender lo que yo trataba de decirles en japonés o en inglés y me ayudaban a corregir mis errores. Y ya por el final del viaje varios me decían que había mejorado mucho y eso me ponía muy contento.

Una de las cosas que nunca voy a olvidar es el hermoso paisaje que hay en Okinawa. Me encantó visitar las playas donde a lo lejos se podían divisar pequeñas islas con sus respectivas montañas y al lado se podía ver toda la naturaleza del mar con sus corales y con sus aguas cristalinas, que te permitían ver la enorme cantidad de peces de diferentes formas y colores. También pude apreciar toda la flora y la fauna en la caminata hasta las cataratas donde me divertí muchísimo cuando todos nos metimos al agua. El acuario fue unas de las cosas que mas me impactó donde pude ver juntas todas las especies de peces que viven en las profundidades del mar de Okinawa.

También me encantó poder practicar diversos tipos de artes okinawenses como Eiza, que fue una de las actividades que mas disfruté en el tour. Además de esto pude realizar sanshin, ryukyushiki, preparar satandagui y presenciar las fábricas de vidrio y de awamori.

Me gustaron mucho también las visitas a los castillos de Nakishin y Shuri, ya que pude aprender mucho sobre Okinawa como por ejemplo de dónde se formó, de por qué antes se llamaba Ryukyu, de las guerras que tuvo y el por qué de muchas otras cosas que me ayudaron a entender un poquito mas la cultura Okinawense. También quiero agradecer a la gente de Jica por habernos enseñado tanto durante la visita que

les hicimos. Cuando fuimos al monumento de la paz también aprendí muchas cosas y muy agradecido por poder visitar allí la lápida de mi abuelo, que fue algo muy importante para toda mi familia, en especial para mi papá y mis tíos.

Todas estas experiencias que viví durante el tour me permitieron despertar un gran interés por la cultura y la gente uchinanchu. Por esta razón, ahora con Akane y Miyuki estamos integrando el Seinembu de C.O.A. (Centro Okinawense en la Argentina). En este grupo hay muchos chicos que fueron al Junior Study Tour años pasados y me divierte hablando del viaje con ellos. La verdad que me pareció un buen grupo, bastante organizado y muy amigables. También me pareció muy bueno uno de los objetivos que tiene, que es el de poder relacionarse con otros Seinembus de otras zonas e incluso de otros países. Espero que esto se pueda lograr con éxito y podamos aunque sea mejorar un poco la comunidad Uchinanchu en todo el mundo.

Para finalizar este reporte quiero agradecer a la Prefectura de Okinawa que permite que todos los años se pueda realizar este proyecto tan importante. A los coordinadores que organizan todo esto y que nos acompañaron y cuidaron todos los días que estuvimos allí. También quiero agradecer a mis familiares, que quizás algunos están leyendo esto, por haberme recibido con los brazos abiertos, y que aunque fue muy poco tiempo que estuve con ellos, pude disfrutarlos al máximo. A la gente del volunteer staff que nos organizaron varias actividades. A los chicos que integraron el Junior Study Tour, a los cuales nunca voy a olvidar, por haber hecho tan divertido el viaje. Y por último a toda la gente de Okinawa que me sorprendió el buen trato y la calidez con que nos recibieron, que supongo que debe ser una de las únicas en el mundo con estas características. Mi meta para el futuro sería poder ir al 5to Uchinanchu Taikai en el 2011 y poder encontrarme con alguno de los chicos del Tour y poder revivir todas las cosas que hice y poder hacer muchas más.

¡¡GRACIAS A TODOS Y ESPERO QUE NOS PODAMOS ENCONTRAR EN UN FUTURO!!



新垣 あかね

AKANE ARAKAKI

17歳 1世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic
在亜沖縄県人連合会



ジュニアスタディーツアー

アルゼンチンの新垣あかね、17歳です。

ジュニアスタディーツアーに参加できた事は本当にいい経験だったと心から思っています。私は両親、祖先の国で多くの事を学びました。いろいろな国の人たちと出会い、観光地や城跡を見学し、そして両親の出身地や自分のアイデンティティーについて気づき、知る事ができました。

この2週間で沖縄の習慣、文化、美術、踊り、生活、自然、風景など、一気に自分の目で見て体験し、学びました。そして沖縄はとても興味深い歴史ある島でもっともっと調べたくくなりました。

体験学習で私は、空手と紅型を教わりました。そして皆でエイサーを練習し、最後はてんぶす前広場で発表しました。踊っている時はとても緊張感があって、そしてとても楽しかったです。何とも言えない幸せな気持ちでした。エイサーはアルゼンチンに帰ってからも続けていきたいです。

見学した場所で快く出迎えて下さった皆さん、沖縄尚学高校の皆さん、お世話してくださった方々、親戚、コーディネーター、ボランティアスタッフの皆さんが、いつも笑顔で親切にやさしく世話をしてくださった事で最高に楽しむことが出来ました。私達に与えて下さった皆さんの気持ちが何よりも嬉しかったです。一生忘れません。本当にいろんな体験をさせていただいたので、少し成長出来た気がしています。沖縄へ行く前まではあまり気がつかなかったことは、自分がウチナンチュとして生まれてきたんだという意識です。それには驚き、感動し、とても嬉しく思いました。

本当に短い期間でしたが皆と親しむことが出来て、今後もその気持ち、思い出を失いたくないです。もちろん皆さんに再会できることを祈っています。山ほどの思い出のお土産を持って帰ることが出来たので、それをこれからも宝のように守って行きたいです。

「いちちゃりばちよーでー」という言葉(心)は忘れません。

皆さん、心からお礼を申し上げます。沖縄が大好きです。

そしてアルゼンチンにも必ず来て下さい。お待ちし

ています。

Junior Study Tour

Quisiera agradecer profundamente, de todo corazón, a todos aquellos que hicieron posible este tour maravilloso.

Agradecerles por haberme dado esta oportunidad tan importante para mi de volver a mi país de descendencia, lugar donde me crié de muy chica, allí donde pertenecen mis padres ,mis abuelos, mis tíos...

Agradecerles también por haberme dado la oportunidad de participar en el Junior Study Tour, pudiendo así aprender y poder relacionarme con gente de diferentes países.

Tuve la oportunidad de conocer mi pueblo, a mis familiares que desde hacia tiempo no los veía, pude recorrer diferentes lugares, conocer mi origen, mis raíces y mi identidad.

También quisiera agradecerle a mis padres por todo el esfuerzo y sacrificio que realizaron por mi, y de esta forma pudiese lograr este viaje tan deseado y haberlo disfrutado al máximo.

A la gente del okisho, por tanta buena onda que nos ayudaron muchísimo con la integración al grupo.

Y por último un agradecimiento enorme a toda la gente del staff, que nos tuvieron tanta paciencia y fueron tan amables con nosotros.

Gracias por la excelente atención!!!

Todos hicieron posible que se cumpliera mi sueño tan esperado de volver a Okinawa, lo cual pensé jamás poder lograr.

En este tour pude disfrutar y aprender mucho sobre sus costumbres, su cultura, el arte, la danza, su forma de vida, las comidas, su naturaleza, sus paisajes, entre otros; lugares impactantes y hermosos como la isla de Tokashiki, el castillo Shuri, las Ruinas del castillo de Nakijin, Tamaudon, La Catarata Hijiootaki, el Museo Conmemorativo

de la Paz (visitamos el parque y La lápida de la Paz) me impactó muchísimo, fuimos al acuario Churaumi... Me encanto todo!!! Okinawa tiene muchas historias interesantes que llama mucho la atención y me gustaría saber más acerca de ella.

Tuvimos la oportunidad de practicar, en mi caso karate, hicimos bingata, y tuvimos clases de eisa-, de este último, del cual disfrute muchísimo, fue una de las actividades que más me gusto y me gusta, y pienso seguir practicándolo en la Argentina al igual que nihongo.

Luego de tanto esfuerzo y práctica tuvimos nuestra presentación de eisa- en el Tembusukai, tuve muchas ansias pero me divertí y lo disfruté al máximo!!!

Una de las cosas que también me llamó mucha la atención fue la gente, son todos muy amables, siempre te reciben con una sonrisa, son muy humildes y nobles. Me pude relacionar ampliamente con cada uno de ellos por su forma tan especial de ser.

En este tour viví momentos de alegría, de emoción, diversión, felicidad, conocimiento y responsabilidad. Este tour fue muy importante para mí, ya que por todo lo vivido pude crecer como persona, pude darme cuenta lo importante que es ser uchinanchú, lo importante que es no perder las costumbres, aunque soy nacida en Tokio, llevo la sangre de un uchinanchú, es un orgullo y un placer enorme!!!

Gracias a este tour pude encontrarme con mi "yo" okinawense, despertando mis sentimientos, mi espíritu, y mi pasión por Okinawa.

Aprendí a valor muchas cosas a las cuales tal vez, antes, no le daba demasiada atención. Despertaron mi interés y curiosidad por seguir aprendiendo y a saber valorar más las cosas.

Sería bueno que a través de los años esta beca del Junior Study Tour se conserve, dándole la oportunidad a millones de jóvenes a descubrir sus identidades y sus raíces. Para que puedan encontrarse con su "yo" okinawense. Para que con el tiempo no se pierda la importancia del sentimiento uchinanchú en las nuevas generaciones.

Ruego porque pronto haya un reencuentro, sé que es muy difícil y depende de cada uno, pero sé que si nos lo proponemos habrá nuevamente uno!!!

Logré encariñarme con mucha gente en tan poco tiempo, logré hacer muchas amistades y no me gustaría que se perdiera el contacto.

Siempre que recuerdo todo lo vivido... la llegada al aeropuerto, el welcome party, los nervios, el encuentro con todos, todas las actividades que hicimos, las clases

de eisa-, las escapadas de cuarto en cuarto en los hoteles, los chistes, las charlas, la fogata, el sayonara party... me caen las lágrimas y ya no los tengo a mi lado para que me den un abrazo...

Gracias a todos por aportar lo mejor de cada uno, haciendo de este tour un recuerdo inolvidable.

Estoy muy feliz de haber compartido momentos de mi vida con todos ustedes y agradezco a ustedes por haber compartido momentos de su vida conmigo!

A pesar del poco tiempo que estuvimos juntos, son muchos los recuerdos hermosos e inolvidables que me llevo de cada uno y de Okinawa.

A pesar de la distancia siempre los voy a llevar dentro de mi corazón, todos mis recuerdos, todo lo vivido, será un tesoro más en mi vida.

Nuevamente muchas gracias!!! Voy a estar siempre agradecida con todos ustedes!!!

Les recuerdo que esto no fue un adiós, sino un hasta pronto!!!

Nunca me voy a olvidar de todos ustedes!!!

Los quiero muchísimo!!!

Recuerden siempre la palabra: icharibacho-re!

Nos volveremos a ver!!!

Arigatou – Gracias – Thank you – Obligado/a – Nifue-de-biru!

..están todos bienvenidos a la Argentina!!!!!!!!!!!!!! lo vamos a estar esperando..."

I LOVE OKINAWA





喜納 パウラ ミカエラ ミユキ

PAULA MICAELA KINA

16歳 3世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



ジュニアスタディーツアー

アルゼンチンの喜納みゆきです。父方の祖父母は本部町出身です。母方の祖父母の出身は宮城島(与那城・うるま市)です。

まず始めに、ジュニアスタディーツアーという企画があるお陰で今回ツアーに参加する事ができ、とても光栄に思っています。一生の思い出になる体験となりました。

私は沖縄の文化についていろいろ学びました。私自身、沖縄の文化を学んだ事によって自分のアイデンティティーが今まで思っていたよりもウチナーンチュである事に気が付きました。

祖母たちの生まれ育った場所、「沖縄の島」に着いた時、私は強く感動しました。その時から、沖縄の自然、文化、社会、祖先を知る事、そして自分自身をもっと知っていく私の学習が始まりました。

このイベントに参加した事で、私の夢が叶えられました。この気持ちは言葉に出来ない気持ちです。これを体験する人達(日系人)だけが分かる気持ちだと思います。

言葉が十分に通じなくても友達を作る時には問題はありませんでした。我々の中では、同じ境遇の中にある者として、通じるものがあり、国や文化、言葉の壁も気が付くと越えていました。皆が、努力してコミュニケーションを取るようになっていました。また、そのためのイベントの計画についてもよく考えられていたと思います。例えば、歓迎会の日にしても、皆が知り合える活動が考えられていて、そして実際行われ、そして私たちはスムーズに1つのグループとなる事が出来ました。私はそれがとても印象に残りました。

次の日は県庁に行って、稲嶺県知事に挨拶をする事が出来ました。この企画のお陰で夢だった沖縄に来る事が出来たという事で、私は知事に心からお礼を言いました。

沖縄の自然については透き通ったとてもきれいな海に大変驚きました。浜辺でサッカーやバレーボールをしながらの沖縄の学生達との交流もとても楽しかったです。

水族館見学の時も珍しい海の魚や貝をたくさん見

て説明を聞き、沖縄の自然の特徴を知ることが出来ました。どれも、とてもめずらしく面白かったです。

文化体験で私は紅型と空手を体験しました。紅型はとても興味深くまた機会があればやりたいです。サーターアンダギーの作り方も教えてもらいました。とても美味しかったです。

沖縄の歴史について、今帰仁城、首里城、識名園、金城町の石畳に見学に行きました。ワークショップの時、歴史と社会の講義がありました。ウチナーンチュの感情と文化交流について話しを聞きました。私はそこで、自分のアイデンティティーはウチナーンチュだとはっきりと確信しました。その講義には大変満足しました。とてもよかったです。

そして私の人生の目的やプロジェクトが少し変化しました。イベントのあと、自分自身が少し変わった事を感じています。何か新しいことに挑戦したくなりました。

沖縄の社会についてマチグワァーや、琉球ガラス工房、泡盛の工場、市場を見学しました。珍しかったのは、アルゼンチンではあまり見る事の出来ない、沖縄の物や、食材のお店がたくさん立ち並んでいる事でした。まるで沖縄の物が1箇所に全て集まっているような感じがしました。

今年のジュニアスタディーツアーの参加者たちは全員でエイサーを学び、ちょうどウチナーンチュ大会の年に当たるので、ウチナーンチュ大会のプレイメントにも参加することが出来ました。エイサーの練習は毎日続き、時にはホテルに帰ってからも練習しました。それはとても楽しかったです。

エイサーを教えてくれたトシヒロ先生はとても親切で、ユーモアもある人で、楽しく教えていただきました。私も国へ帰ったら友達に教えたり、エイサーのクラスを開いてみたいです。

そして、最後のパレードの日はとても素晴らしい1日となりました。てんぶす館前で踊っていた時は言葉では表す事の出来ない気持ちになりました。皆これが最後だと言う事を知りながら、精一杯踊りました。しかし、最後だと思う事は間違いだと思っています。私はもう一度沖縄へ帰って、そしてまた友達と会います。同じ様な体験は出来ないだろうけど、沖縄にいる時の私の

気持ちは変わる事はないと思います。

別れの日は嫌でもやって来ました。大勢の親類や友達やお世話になった方々と別れるのは、本当につらくて飛行機に乗ったとたん涙を止めることができませんでした。私はこの2週間のいろんな気持ちのおさらいができていませんでした。今も一緒にいなくても心にはこの気持ちを一生残すつもりです。

これからも沖縄の文化を継承するためにも、このイベントはとても大事だと思います。世界のウチナーンチュと交流ができて、祖先を知る事が出来、私みたいに色々な体験が出来るチャンスが他の若者達にもあれば最高だと思います。

沖縄で私にこの体験をさせてくださった日本、沖縄県、JICA、在亜沖縄県人連合会、両親、親戚の皆さん、友達の皆へ心からお礼を申し上げます。この経験は今までの私の人生の中で最高の思い出となっています。沖縄で学んだたくさんの事をアルゼンチン国で頑張っ伝えていきます。

Junior Study Tour

Mi nombre es Miyuki Kina y soy de la Argentina. Mis abuelos paternos son de Motobu, mientras que mis abuelos maternos son de Miyagi (Yonashiro - Urumashi).

Antes que nada, quiero agradecer profundamente a todas las personas que hicieron posible el Junior Study Tour y por haberme dado la oportunidad de participar en este evento. Realmente estoy muy feliz de ello, ya que fue una experiencia que me cambió la vida.

Aprendí mucho sobre la cultura de Okinawa, pude conocer el lugar en donde mi abuelo vivió, e hice amigos de muchas partes del mundo. No sólo eso, sino que también me sentí muy identificada con la cultura y comprendí que soy mas uchinanchu de lo que pensaba. Pisar Okinawa por primera vez me hizo sentir la emoción más fuerte de mi vida. Saber que a partir de ese momento iba a conocer mis raíces y, de alguna forma, conocerme a mi misma también. ¡El tour no hubiese podido ser mejor! Desde pequeña anhelaba visitar Okinawa y aprender sobre su cultura. Y en este tour cumplí mi sueño acompañada de personas que tenían dentro de sus corazones el mismo sentimiento con respecto a Okinawa; era el lazo que nos unía a todos. Es un sentimiento indescriptible que sólo quienes vivimos esta experiencia podemos entender. A pesar de algunas dificultades con los idiomas, eso no nos impidió entablar amistades. Me di cuenta de que más allá de las diferencias, la amistad y el compañerismo siempre estuvo presente entre nosotros.

Todos poníamos voluntad para comunicarnos y ese esfuerzo fue muy importante. ¡Quiero que sepan que siempre voy a atesorar todo lo que aprendí en este tour y el haberlos conocido!

El día del encuentro nos recibieron con una linda fiesta de bienvenida, con actividades para que poco a poco nos pudiésemos ir conociendo todos.

Al día siguiente fuimos al Kenchô, donde el gobernador Inamine nos recibió cálidamente y pudimos presentarnos ante él. Quisiera expresarle mi más profundo agradecimiento por permitir que el Junior Study Tour sea posible.

Con respecto a la naturaleza de Okinawa, tuvimos la posibilidad de visitar la Isla de Tokashiki, donde exploramos el mar, haciendo snorkeling y otras actividades. El mar transparente me dejó sorprendida, realmente fue algo hermoso. Allí también conocimos a chicos de un colegio de Okinawa, mediante un intercambio estudiantil, y jugamos con ellos volley y futbol en la playa. También fuimos a la cascada Hiji, donde aprendimos sobre la naturaleza y conocimos especies exclusivas de Okinawa. Al día siguiente, fuimos al Acuario Chura Umi donde era increíble la rareza de algunas especies marinas. ¡Realmente estuvo muy interesante y divertido!

Con respecto a la cultura, tuve la oportunidad de aprender dos artes tradicionales de Okinawa: Bingata y Karate. La primera me resultó particularmente interesante, ya que me gusta mucho todo lo relacionado con las artes plásticas y de verdad quiero volver a realizar un Bingata en alguna otra ocasión. También aprendimos a preparar satandagui, ¡estuvo muy rico!.

Con respecto a la historia de Okinawa, visitamos las ruinas del castillo Nakijin, el castillo Shuri, el Parque Shikina, el camino de piedra en Kanagusuku y Tamaudon. Las construcciones eran visualmente impresionantes y muy hermosas. El día del Workshop nos contaron sobre historia y sociedad, donde nos hablaron acerca del sentimiento uchinanchu y de los intercambios culturales. Aquí reflexioné acerca de mi verdadera identidad y mis propios objetivos, y entendí que mis costumbres eran más okinawenses de lo que pensaba. Incluso cambió también un poco mi forma de pensar respecto a mis metas y proyectos de vida. Después de este tour, siento que muchas cosas cambiaron en mí y que surgieron muchas actividades nuevas que quiero realizar. El día del Workshop me divertí mucho con los juegos. Quedé satisfecha y muy contenta.

Visitar el Museo y Parque de la Paz me permitió resignificar la importancia de la paz. Contemplé los largos monumentos que llevaban grabados los nombres de quienes sufrieron las consecuencias de la guerra, entre ellos, mi tío abuelo.

Con respecto a la sociedad de Okinawa, recorrimos el Machiguwa, el taller de vidrio de Ryukyu y la fábrica de Awamori. Quiero destacar el paseo por el mercado, ya que hubo muchas cosas que me llamaron la atención: la exótica mercadería (o al menos lo era para mí) y la cantidad de locales con adornos y manjares típicos de Okinawa. ¡Era fantástico recorrer y tener al alcance de mi vista todo Okinawa en un mismo lugar! Este año, todos los integrantes del Junior Study Tour tuvimos la posibilidad de bailar Eisa y formar parte del Pre-evento del Uchinanchu Taikai 2006. Estoy muy feliz y orgullosa de haber tenido esta oportunidad, es una de las enseñanzas que más recordaré. Además de las prácticas diarias, algunas noches continuábamos el Eisa en el hotel. ¡Eso fue muy divertido! Esta fue una de las actividades que más cerca me hicieron sentir de la cultura okinawense. Todos nos esforzábamos mucho para hacerlo bien y nos ayudábamos entre nosotros. Esa sensación de fraternidad que había entre todos fue muy hermosa. Quiero agradecerle a Toshihiro-sensei por habernos enseñado y apoyado permanentemente. Fue muy amable con todos nosotros y, con su buen humor, nos hacía reír en todo momento. Quisiera enseñarle a mis amigos y empezar clases de Eisa en la Argentina, ¡Realmente quedé muy entusiasmada!

El día del desfile de Eisa fue grandioso. Tuve un sentimiento de unión único. Lo que sentí cuando estábamos bailando en Tenbusu no se puede explicar con palabras: estábamos todos, dando lo mejor de nosotros, sabiendo que esa iba a ser la última vez que bailábamos juntos. Pero siento que estaba equivocada: sé que en algún momento de mi vida voy a regresar a Okinawa y que voy a reencontrarme con mis amigos. No será lo mismo, pero los sentimientos no cambiarán. Ese no fue un “adiós”, sino un “hasta pronto”, porque sé que si realmente quiero, voy a poder volver a verlos. Aunque no quería ese momento, llegó el día de la despedida. No tuve sólo que despedirme de mis compañeros, sino también de Okinawa. Durante este tour pude conocer a muchos familiares con quienes me encariñé mucho. Fue muy doloroso regresar y no me sentía preparada para ello. No pude evitar llorar cuando subí al avión: estaba abandonando mi tierra. Despedirme de mis amigos uchinanchus fue también difícil. A mis compañeros y amigos, quiero que sepan

que, a pesar de que ya no estemos juntos, siempre van a estar en mi corazón. Ellos hicieron mucho por mí y realmente se los agradezco. ¡Los extraño mucho!

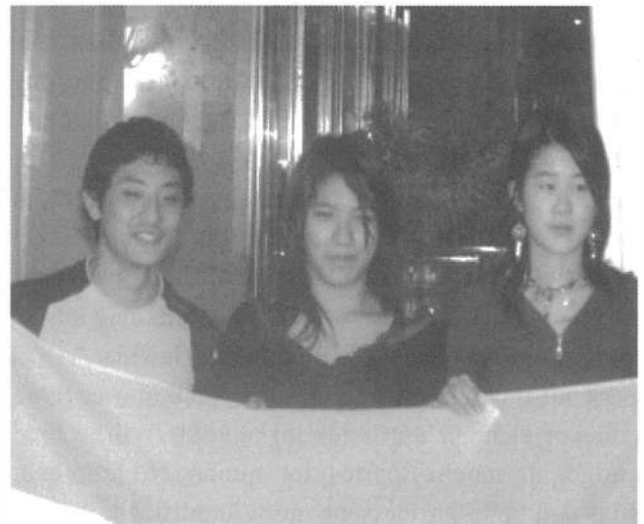
Quiero pedir por favor que el Junior Study Tour se siga realizando, para preservar la cultura de Okinawa, continuar estrechando vínculos entre los uchinanchu del mundo, dar la posibilidad a otros jóvenes de conocer sus raíces y disfrutar de una gran experiencia como la vivenciada por mí.

Nuevamente, muchas gracias a todas las personas que hicieron posible este Junior Study Tour y por haberme dado esta gran oportunidad. Nunca voy a olvidar esta experiencia ni a todos los que estuvieron a mi lado. Realmente siento que Okinawa es mi patria. Y estoy dispuesta a transmitir todo lo que aprendí.

Todos los recuerdos, las amistades, los aprendizajes son ahora mi gran tesoro.

ニフエ デ ビル!

Hasta siempre,





新垣 金城 ジーミ ホルヘ

JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO

17歳 4世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



ウチナンチュであることを誇りに思う

初めに、沖縄県、実行委員会事務局並びにペルー沖縄県人会には、この素晴らしいプログラムに参加させていただいたことに対して、感謝を申し上げます。また、通訳のスタッフさんにも感謝を申し上げます。なぜなら、通訳のスタッフさんのお陰で、全ての説明を理解する事が出来たからです。そして、いろいろと面倒を見てくれた引率者の方、特に普久原アントニオさんに感謝を申し上げます。そして、面白い交流プログラムを作ってくれた沖縄尚学高校の皆さんにも有難く思っています。

沖縄に到着した際には、家族の皆さん、そして実行委員会スタッフの皆さんの温かい歓迎を受けました。ホームステイ先への滞在は、短い期間でしたがとても良かったです。この間には、今まで会ったことがない親戚に出会い、長い間に会っていない親戚と再会できました。そして、ホームステイ先の叔父さんが僕を温かく迎えてくれました。彼らにも本当に感謝を申し上げたいと思っています。

JSTプログラム：

7月29日(土)：歓迎レセプションでは、参加者の僕たちが、一人一人自己紹介しました。そして、沖縄尚学高校が企画してくれた素晴らしい交流プログラムに参加しました。踊りやゲームで、内気さを忘れ、少しずつ友達になってきました。これほど様々な国に沖縄県系人がいるとは、想像もしませんでした。最初は、ルームメイトとのコミュニケーションが出来ませんでした。何とか言葉の壁を乗り越えました。

7月30日(日)：最初の朝食をとりました。それから泊港に行き、そこから渡嘉敷島に出発しました。今まで写真でしか見たことがなかった沖縄の海を自分の目で見る事ができました。シュノーケリングの体験で珊瑚や色々な魚が見れました。本当に凄かったです。思った以上に綺麗でした。そして、カヤックをしたり、スーパーフロートをしたり、サッカーもしました。そして、また海で泳いだりしました。そして、この日に泊まる場所に行きました。この日には、最初のエイサーの練習をしました。とても興味深く、面白かったです。

そこでは、参加しているメンバーがスペイン語、ポルトガル語、日本語での会話を交わして、友情を深めました。

7月31日(月)：起きてから、ラジオ体操をしました。それから、沖縄本島に戻って、県庁を訪問しました。そこでは、稲嶺県知事が出迎えてくれました。それから読谷村に行きました。そこで、美味しい沖縄そばを食べました。そして、三線、空手、舞踊の体験をしました。僕は三線のクラスに入りました。以前に練習した事がありましたが、覚えていませんでした。しかし、前よりは簡単感じて、もっとやりたいと思いました。それから、名護のホテルに行きました。とても綺麗で、お風呂も付いていました。毎日のようにエイサーの練習もしました。

8月1日(火)：比地大滝に行きました。とても綺麗な場所でした。僕は、沖縄がこんなに緑豊かな島だと思いませんでした。とても良い体験で、川で泳ぎました。とても楽しかったので、何人かが洋服を脱がずに水に入り込みました。ホテルに戻って、バーベキューをしました。そして、また沖縄尚学高校がやってきて、踊りやゲームでとても感動的な時間を過ごしました。

8月2日(水)：沖縄美ら海水族館を見学しました。とても素晴らしい場所で、巨大なガラスがあり、様々な魚がいました。イルカのショーも見ました。そして、今帰仁城の遺跡も見学しました。ペルーのマチュピッチュ遺跡で使っていた石垣の組立技術が、遙か遠い沖縄でも使われていたことを知って、とても感動しました。マチグワででの日常生活も見ることができました。

8月3日(木)：写真でしか見たことが無かった首里城を自分の目で見ていました。そして首里城の歴史を聞いて、沖縄の昔の首都でもあり、中国と日本間の貿易の中心地であったことを知りました。それから、紅型、織物、琉球漆器の体験をしました。僕は、琉球漆器の体験を選んで、皿を作りました。このような皿をお祖父ちゃんの家で見たこともあって大事に飾っています。

8月4日(金)：平和祈念資料を見学しました。戦争の生存者からの体験話を聞き、とても衝撃を受けま

した。とても悲しかったが、生きる力をもっている沖縄の人々のことを知って、自分が沖縄県人の子孫であることを誇りに思うようになりました。そして、ガラス工場と泡盛の工場も見学しました。

8月5日(土)：沖縄の歴史についての話し合いをしました。戦前、戦後そして現代の世界のウチナーンチュについてのワークショップもしました。海外に移民した人たちの苦勞と努力を興味深く聞いていました。それから、エイサーの最後の練習をしました。雨が降っていても、良いエイサー演舞の披露会をするためにみんなが頑張りました。一緒に過ごせる最後の夜だったのでみんなが起きていました。

8月6日(日)：ツアーの最終日を迎えました。荷物の整理をしたり、エイサー演舞の披露に向けて、最後の振付けをチェックしました。エイサーを披露するのはとても良い経験でした。しかし、“さよなら”を言う日でもあったので、とても寂しかったです。エイサーの“トシ”先生が泣くのを見た時は、とても悲しかったです。そして、ホームステイ先の親戚が迎えに来てくれました。

8月7日(月)：親戚と一緒に沖縄のお盆を体験しました。そして、親戚廻りをして、別れを告げました。道では、子どもから大人まで、エイサーを見て、楽しんでいる事がとても興味深かったです。

8月8日(火)：さよならパーティー、修了証授与式の日でした。日本語での成果発表をしました。ちょっと難しかったが、やって良かったです。そして、幾つかの余興もありました。最後に「さよなら」を言うのは、辛かったです。またいつ再会できるかわかりませんが、メールで連絡をとっていきたいと思っています。この日は僕の誕生日だったので、さよならパーティーが終わっても、もう少し友達と残って、写真を撮りました。それから、散歩したり、食事もしました。親戚の家に着いたら、誕生ケーキが用意されていました。とても感動し、今までで一番の誕生日になりました。

翌日にそれぞれの国に帰りました。

僕にとっては、このツアーがとても忘れられない体験になりました。様々なことを体験し、これからの人生に大変役に立つと思います。短時間で一生の友達が出来ました。前よりは、僕がウチナーンチュであることを誇りに思っています。これからは、沖縄で体験した事、学んだ事をペルーで広めていきたいと思っています。

ありがとうございました。

EL ORGULLO DE SER UCHINANCHU

Ante todo agradecer a la prefectura de Okinawa , al Comité organizador, a la Asociación Okinawense del Perú, por darnos la oportunidad de participar en este programa tan interesante. A los traductores, gracias a ellos entendí todo lo que nos explicaban. A los tutores, en especial a Antonio Fukuhara quien realizó un excelente trabajo. Al colegio que nos ayudo mucho con las dinámicas, juegos, bailes.

Tuvimos una bienvenida muy acogedora desde que estábamos sacando las maletas nos saludaban la familia, el grupo organizador.

Los días de home stay fueron muy bonitos ya que pude conocer a mi familia que nunca había visto y otros que no veía hace mucho tiempo. En la casa de mis tíos donde me quede, me trataron muy bien siempre buscaba que me sienta bien como en casa. Les estoy muy agradecido.

El tour:

29/07 à fiesta de bienvenida, nos fuimos presentando uno por uno, después se hicieron dinámicas de rompe hielo para ir conociéndonos más, también fue un colegio q nos hizo juegos, dinámicas, bailes que nos ayudaron mas a conocernos. Habían muchos países donde no me imaginaba que habían descendientes okinawenses. Con los compañeros de habitación al comienzo era un poco difícil comunicarnos pero al final llegamos a entendernos.

30/07 à desayuno. Luego fuimos al puerto de Tomarin, desde donde partimos a la isla de Tokashiki, teníamos una vista impresionante veíamos el mar no solo por fotos sino que ya lo estábamos viviendo. Practicar snorkeling fue una experiencia muy bonita ver los corales, los peces fue impresionante. Todo esto superó todas mis expectativas, también hicimos kayak, superfloap, jugamos fútbol, tuvimos tiempo de meternos al mar de nuevo. Luego fuimos al albergue donde nos quedamos a dormir. Fue el primer ensayo de eisa. Estuvo muy interesante y divertido. Ahi nos pudimos juntar un grupo que hablábamos castellano, portugués y algunos de Okinawa para conversar y hacernos mejores amigos.

31/07 à En la mañana hicimos Radio Taiso. Luego partimos de regresamos a la isla principal de Okinawa. Fuimos a la prefectura donde nos recibió el Gobernador Inamine. Luego fuimos a Yomitan donde comimos soba (oishiiii!!!). También practicamos Sanshin, Karate y Buyo. Yo entré en las clases de

Sanshin. Había practicado antes pero ya no me acordaba, pero me pareció más fácil y me gusto mucho. Después fuimos al hotel de Nago. Estaba bonito, tenía ofuro, como todos los días, también ensayamos eisa.

01/08 à Fuimos a la cascada de Hijiotaki. Un lugar muy bonito. No pensé que en Okinawa pudiera haber tantos bosques. Fue un experiencia muy bonita en la catarata nos pudimos meter al agua. Estaba tan divertido que algunos se metieron con todo y ropa. Cuando regresamos al hotel hicimos parrillada, después otra vez el colegio nos apoyo con más juegos y bailes fue un momento muy emocionante!

02/08 à Visitamos el acuario Chura Umi. Es un lugar muy hermoso con unos vidrios gigantes y una variedad de peces. También vimos el show de delfines. Luego fuimos a las ruinas de Nakijin, en Peru tenemos Machu Pichu y no pensé que al otro lado del mundo también utilizaban esas técnicas para construir. Después conocimos el mercado donde puede ver más o menos como era la vida diaria de un okinawense.

03/08 à Fue impresionante, fuimos al castillo de Shuri jo donde podía ver algo que solo lo había visto por fotos, también nos contaron su historia que era el centro del comercio entre China y Japón, antes era la capital de Okinawa. Practicamos lo que es Bingata, textilera y laqueado. Fue muy bonito ver y hacer los platitos que hay en la vitrina de casa y que ojichan, obachan tanto cuidan.

04/08 à La visita al museo conmemorativo de la paz, me impactó la historia que nos contó un señor que vivió durante la guerra, ver las imágenes, fue un momento triste pero me hizo sentirme orgulloso de ser descendiente okinawense. Vimos como hacían los vasos, copas, botellas todo esto en la fábrica de vidrio, luego también la fabrica de awamori.

05/08 à Una bonita charla sobre la situación durante y después de la guerra y en la actualidad de los okinawenses en el extranjero, como los trataban, los abusos que se les cometían, y como han salido adelante gracias al esfuerzo. También fue el últimos ensayo de eisa. Todos daban lo mejor a pesar de la lluvia para que salga bien la presentación. En la noche a la hora de dormir todos queríamos quedarnos despiertos porque sabíamos que era la última noche juntos

06/08 à Ultimo día del tour ,acomodar las maletas, presentación del eisa. Muy bonita experiencia, un día muy triste porque ya era la despedida. Ver al profesor Toshi llorar fue muy emotivo. En la tarde la familia nos recogía.

07/08 à Estábamos con la familia el día del Obon. Fui a despedirme de mi familia, me gusto mucho ver que en las calles bailar eisa y ver desde niños hasta adultos. 08/08 à Fiesta de despedida, entrega de diplomas, pequeño discurso en japonés un poquito difícil, presentación de números de algunos países participantes, como toda despedida fue muy triste decir adiós y no saber cuando nos volvamos a ver pero siempre seguimos en contacto por email. Al terminar me dijeron para quedarnos un rato más y que me tenía que quedar porque era mi cumpleaños, salimos a tomarnos fotos, caminar, comer. En casa de mis tíos también había una torta y creo que ha sido el mejor cumpleaños de mi vida.

El día siguiente ya partíamos cada uno a su país.

Todo esto fue una experiencia inolvidable, muy nutritiva aprendí muchas cosas que se que me van a servir para toda la vida. En tan poco tiempo hice grandes amigos que se que son para siempre. Ahora me siento mucho más uchinanchu, estoy orgulloso de serlo. Espero poder transmitir todo lo aprendido aquí en Perú.





具志堅 大城 ガブリエラ イサベル

GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO

17歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



チムグクル

私は、初めて沖縄の空港に着いた日の事をよく覚えています。とても長い旅の後でやっと沖縄に到着した時、夢のように信じられなかったのです。遠くからジュニアスタディーツアーのスタッフのみなさんが笑顔や拍手で迎えてくれて、私はとてもうれしくて、沖縄の人たちの明るさと温かさを実際に感じました。そして空港に迎えに来てくれた親戚に出会えて、とても嬉しかったです。10年ぶりに会う親戚の家でホームステイの期間一緒に過ごす予定でした。

ジュニアスタディーツアーが始まったのは7月29日でした。みんなでシティコートホテルに集まりました。初めてジュニアスタディーツアーの参加者のみんなと出会って、とても変な感じがしました。私はペルーから一緒に来た人たちしか知らなくて、いろんな国から来た人達みんな違う言葉で話しているのを見て、混ざり合った気持ちになりました。「この人たちと一緒に次の9日間を過ごすんだ」と思いました。

みんなの自己紹介の後には私たちが少しずつ知り合うためにいろいろなゲームをしました。その日の夜にはウェルカムパーティーがありました。そこでみんなと仲良く始めましたが、言葉の壁があつてとても難しかったです。私は前に日本に住んでいたので日本語は話せましたが、英語で話すのが苦手とても恥ずかしくて話しませんでした。だけど、だんだんみんなと仲良くなりた気持ちが増えてきて、少しずつ話し始めました。

このツアーではたくさんの友達もできましたがそれだけではなく、沖縄の文化をたくさん学ぶことができました。私が一番楽しんだのは、7日間のエイサー練習でした。初めてエイサーを踊る私は、毎日みんなと一緒に一生懸命エイサーを習って、とても楽しめました。最後にはその習ったエイサーをみんなの前で発表して、とても感動しました。エイサーのほかにも三線を少し習いました。難しかったけど面白かったです。それから伝統工芸体験があつて、私は漆器を選びました。また、沖縄県知事の稲嶺恵一様と一緒に写真を撮る事が出来ました。それから「世界に広がるウチナーンチュの心」と言う講話があつて、「自分はウチナー

ンチュだ」と心から感じられました。

沖縄の歴史も勉強しました。その中で一番印象に残ったことは平和祈念資料館を見学したことです。戦争を体験した人から彼の戦争体験談を聞いてとても感動し、たくさんのことが学びました。

それから沖縄の自然を勉強しました。渡嘉敷島の海でシュノーケリングをしたり、バレーボールで遊んだりして、とても楽しかったです。沖縄の海は本当に美しかったです。そして山を登って比地大滝まで行きました。すごく疲れましたが本当によかったです。それから私がとても楽しみにしていた美ら海水族館にも行きました。イルカショーもすばらしかったです。

この九日間はとても早く過ぎ、気づかない間に沖縄のいろんな事をを学んで、私は自分のことをウチナーンチュだとすでに心から感じていました。この短い間に私と同じようなウチナーンチュに出会えました。みんなとは言葉の壁がありましたがそれでもたくさんの友達ができ、みんなを大好きになりました。

最後の日はジュニアスタディーツアーが終わるのが嫌でした。みんなと別れるのがつらくて寂しかったです。沖縄にさようなら言いたくなかったです。私はこの経験を一生忘れません。そしていつかまたみんなと会える日を期待しています。イチャリバチョーデー！

最後にこのジュニアスタディーツアーを開催して頂いた沖縄県庁とペルー沖縄県人会へ感謝の気持ちを伝えたいです。それからペルー沖縄県人会にも深くお礼申し上げます。そしてスタッフのみなさんや引率者たち、いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。ニフェデービル！

Chimugukuru

Recuerdo el día en que llegamos al aeropuerto de Okinawa, luego de un cansado viaje, no podía creer que al fin me encontraba en la isla de mis sueños, Okinawa. Al ver al Stuff del Junior Study Tour saludándonos desde lejos, recibiéndonos con aplausos y sonrisas, se me fue todo ese cansancio del largo viaje y sentí la alegría y el calor de Okinawa, del cual había escuchado hablar muchas veces. Pronto reconocí a mis

tíos y mis primas que me fueron a recibir al aeropuerto y con quienes me iba a quedar en el Home stay y me sentía muy emocionada ya que hacía más de 10 años que no los veía.

El programa del Junior Study Tour comenzó el sábado 29 de julio en el hotel City Court. Fue la primera vez que nos encontrábamos todos reunidos y era extraño. No conocía a nadie más que a los chicos de Perú y sentía una mezcla de emociones al ver a tantos jóvenes de diferentes países, hablando distintos idiomas. Aquellos con quienes iba a pasar los próximos 9 días. Luego de nuestra primera reunión en donde todos hicimos una breve presentación personal, tuvimos varias actividades que nos ayudaron a integrarnos. En la noche de ese mismo día tuvimos la fiesta de bienvenida y fue ahí donde empezamos a conocernos, aunque era difícil por la barrera del idioma. Mi ventaja era que podía comunicarme con los jóvenes de Okinawa, ya que viví por unos años en Japón y dominaba el idioma Japonés. Sin embargo, al principio yo no me atrevía a hablar en inglés porque me daba mucha vergüenza, pero con el paso del tiempo mi deseo de conocer más a mis compañeros fue creciendo y fui perdiendo el miedo.

En este tour, además de hacer lindas amistades, aprendí bastante sobre Okinawa y su cultura. Una de las cosas que más me gustó en este tour fue el taller de Eisa que tuvimos por 7 días. Era la primera vez que bailaba Eisa y realmente disfruté mucho de cada ensayo que tuvimos todos juntos. Al final hicimos una presentación de Eisa y fue muy emocionante. También aprendí a tocar un poco de Sanshin, lo cual me pareció muy interesante a pesar de lo difícil que es. Nos enseñaron un poco de artesanía y yo aprendí laqueado. Visitamos la prefectura y tuvimos el honor de tomarnos foto con el gobernador de Okinawa Keiichi Inamine. Asimismo tuvimos un taller que trataba sobre el sentimiento Okinawense en el mundo y nos ayudó mucho a identificarnos como Uchinanchus y sentir ese orgullo de serlo.

También estudiamos sobre la historia de Okinawa y lo que más me impactó fue cuando fuimos al museo de la paz. Escuchamos el testimonio de un hombre que vivió a guerra en Okinawa, recorrimos el museo escuchando las explicaciones y realmente aprendí mucho en esta visita.

Además conocimos la naturaleza de Okinawa. Fuimos juntos a la isla de Tokashiki, a la playa más hermosa que he conocido, e hicimos snorkeling, kayak, jugamos voley y nos divertimos mucho. Hicimos una larga

caminata por las montañas hasta llegar a la catarata Hijiootaki, fue bien cansado pero realmente valió la pena. Conocimos el acuario Chura Umi, del cual había oído bastante y había estado esperando con muchas ansias porque era la primera vez que iba a uno. Vimos el Show de delfines y quedé encantada.

Los 9 días se pasaron rápidamente y sin darme cuenta había aprendido bastante sobre Okinawa y entonces yo ya era una Uchinanchu de corazón. En todo este tiempo pude conocer muchos jóvenes uchinanchus como yo. A pesar de que no todos hablábamos el mismo idioma logramos formar buenas amistades y yo me encariñé mucho con ellos.

Después de todo lo vivido se me hacía muy difícil despedirme de Okinawa y de mis nuevos amigos uchinanchus. Sé que nunca olvidaré esta hermosa experiencia, una de las mejores experiencias que he tenido, y espero que algún día nos volvamos a encontrar. Ichariba choode!

Finalmente, quiero agradecer a la prefectura de Okinawa y a la Asociación Okinawense del Perú por brindarme la oportunidad de participar en esta maravillosa experiencia que me ha ayudado mucho a crecer como persona. Asimismo agradezco al staff del Junior Study Tour y a los tutores de los diferentes países por hacer todo lo posible para que este tour resulte tan provechoso como resultó. Nifedebiru!





渡嘉敷 国頭 ダニエラ

DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI

16歳 4世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



お疲れ様でした！！

沖縄に着いてから一番感じたのは、“あつい”ということでした。沖縄の暑い夏だけでなく、親戚やツアーのスタッフさんの温かい歓迎の気持ちで熱くなりました。暑さに慣れた後は、一番の問題になったのが言葉の壁でした。しかし、沖縄の暑さと同じように慣れてきて、どうにか親戚とコミュニケーションをとれるようになりました。初対面だった沖縄の親戚が、最初から昔から知っているように出迎えてくれました。ホームステイ先での期間は短かったが、レストランやカラオケやボーリングに出掛けました。親戚のもてなしを肌で感じる事ができて、とても嬉しかったです。

ジュニアスタディーツアーの始めの頃は、楽しみが半分で不安な気持ちが半分でした。みんなが知らない人たちで、様々な言葉を話していました。しかし、歓迎レセプションでやった踊りやゲームでその不安な気持ちが吹っ飛んでいきました。みんなが、最初から時間を上手く利用し、仲良くしたい、良い思い出を作りたいとすごく感じました。ルームメイトが違う言葉の話しましたが、それを超えて、お互いに理解し合って、友達になりました。ツアー期間中にはあまり会話をしませんでしたでしたが、最後の別れがとても辛かったです。

JSTのお陰で、私の先祖の文化や歴史について、少し理解できました。特に平和祈念資料館を訪問し、戦争の恐ろしさが分かりました。生存者のお話を聞いたことは、本で読むより価値があったと思います。渡嘉敷島の透明な海を見て、とても感銘を受けました。シュノーケリングの体験が前からやりたかったけど、思った以上に面白かったです。渡嘉敷島の美しい背景をもっと楽しみたかったが、島を離れる時になりました。

比地大滝への道が暑さで大変でしたが、とても楽しかったです。歩きながら、森の小さな生き物を見つけました。滝に着いたら、とても感動しました。川で歩いた時にスニーカーやズボンを濡らしたが、やってよかったです。ペルーにない沖縄美ら海水族館を見学できてよかったです。全ての行き先が魅力的で、時間が長く感じました。みんなと一週間以上一緒にいるような感じでした。

首里城は、ペルーに居た頃から雑誌でしか見たことがなかったが、訪問出来てよかったです。なぜ、沖縄の代表的な場所の一つであるかと良く分かりました。美幸ちゃんのガイドで那覇の市場を散策して、沖縄の暮らしをもう少し知る事が出来ました。彼女のお陰で、沖縄のシーサーが忘れられません。

沖縄の伝統芸能や工芸についても、三線体験や紅型制作の習い事ができました。もちろん、毎日のエイサーの練習も忘れる事ができません。エイサーの練習は疲れましたが、エネルギーの源でもありました。練習時間を過ぎて、何人かが自由時間を利用して遅くまで練習していました。その合間に、サンバの練習もやっていました。沖縄で得た知識を忘れる事ができないと思っています。なぜならば、体で覚えたからです。そして、体験したことをペルーでも伝えたいと思っています。

お盆の時に見たエイサーも格好良くて、踊り手たちの活力を感じました。みんなが大きな家族のようで、自分の家にいるような感覚でした。

エイサー演舞を披露したのは、ツアーの一番感動的な瞬間でした。もちろん、さよならパーティーも感動的でした。エイサー演舞を披露した事で通っていた人々に見てもらって、短期間で覚えたエイサーを自慢できたと思います。そして、「ニライへの風」の演奏やエイサーの先生、“トシ”さんのエイサーを見て、感動しました。その瞬間に、もうみんなと離れる時間がやってくると感じました。時間を戻す事が出来なくて、少し挫折感を味わいました。沖縄のお土産としては、自分で作った紅型、エイサーで使ったパーランクーや衣装があります。しかし、一番の“お土産”は、沖縄で得た知識やたくさんの友達です。沖縄でできた友達と連絡を取り合っていて、再会できる日を楽しみにしています。

このツアーで出会った人たちのお陰で素晴らしい体験になったと思います。沖縄の文化や参加した皆さんの国の文化を学ぶ事が出来て、いつかその国々にも訪問したいと思うようになりました。私は、こんな短時間で友だちができるなんて思えませんでした。一番寂しいのは、仲良くなったみんなと別れる時がくる事です。この素晴らしいプログラムJSTがこれからも実施され、

他の子供たちにも恩恵を受けて欲しいと思っています。本当に参加できて良かったと思っています。私の人生のスペシャルな2週間をくださった沖縄県、スタッフの皆さん、そしてペルー沖縄県人会に感謝を述べたいと思います。

ありがとうございました。

OTSUKARESAMA DESHITA!!

Mi primera impresión de Okinawa fue sensorial, el calor. No solo por parte del estrepitoso verano, sino también por una calurosa bienvenida de parte del staff del Tour y de nuestras familias, quienes algunos sin conocernos, no dudaron en ir a recogernos a Naha. Luego de adaptarme al clima, mi mayor problema se convirtió en el idioma. Pero, al igual que con el calor, me pude acostumbrar, y luego, no fue más que un tropezón a lo largo del camino. Mi familia, aunque no me conocía, me trató como si me conocieran desde siempre. En los pocos días que estuvimos juntos me pasearon por todos los restaurantes, tiendas, y hasta fuimos al karaoke y al bowling. La energía que tenían era contagiosa e inagotable.

Al comenzar el Junior Study Tour no sabía que esperar. Eran todos desconocidos hablando diferentes idiomas, pero todo se hizo más fácil con la ayuda de los bailes y juegos en la fiesta de bienvenida. Desde el principio supimos aprovechar el tiempo y se notó que todos queríamos hacer amigos y llevarnos un gran recuerdo de este viaje. Mis compañeras de cuarto no hablaban el mismo idioma que yo, pero eso más que una dificultad se volvió un reto que supimos afrontar; igual pudimos comprendernos y nos hicimos muy amigas. Aunque durante el Tour hablábamos poco, fue muy difícil despedirme de ellas al final.

Con el JST he aprendido un poco más acerca de la cultura de mis antepasados, especialmente cuando fuimos al Museo Conmemorativo de la Paz donde no solo entendí un poco más sobre la guerra sino que vivimos las experiencias de un sobreviviente que, para mí, tiene más valor que un libro.

Las playas cristalinas de Tokashiki me impresionaron bastante. Me gustó mucho practicar el snorkelling, algo que nunca había hecho antes pero que siempre había querido intentar. En la lancha de regreso me despedí del maravilloso paisaje de la isla ansiosa por ver más. El camino hacia las cataratas fue agotador debido al calor, pero divertido, ya que encontrábamos pequeños animales y sin darnos cuenta, ya estábamos frente al agua. Atravesé el río, mojé mi pantalón y

mis zapatillas, pero se puede decir que la aventura valió la pena. Del mismo modo disfruté mucho la visita al acuario Chura Umi ya que no hay ese tipo de atracciones en Perú. Todas las visitas fueron fascinantes, los días se hacían largos y parecía como si hubiéramos estado juntos mucho más que una semana. Visitar el castillo de Shuri me gustó mucho, ya que es algo representativo de Okinawa y hasta antes de viajar, solo lo había visto en revistas. El paseo por los mercados de Naha fue interesante ya que pude conocer un poco más acerca de la vida diaria de los okinawenses, gracias a Misaki, mi guía personalizada, amiga que me hará acordar de los shiza para siempre. Pude aprender un poco más del arte Okinawense al tocar sanshin y hacer bingata, sin olvidar las prácticas de eisa a diario, que aunque agotadoras, me daban mucha energía. Era tanta las ganas de practicarlo, que muchos de nosotros nos quedábamos después de las horas de ensayo a seguir bailando por nuestra cuenta. Hasta nos enseñaron a bailar samba! Siento que con estos conocimientos podré acordarme siempre de Okinawa, y enseñarlos a los demás para que descubran la rica cultura que engloba.

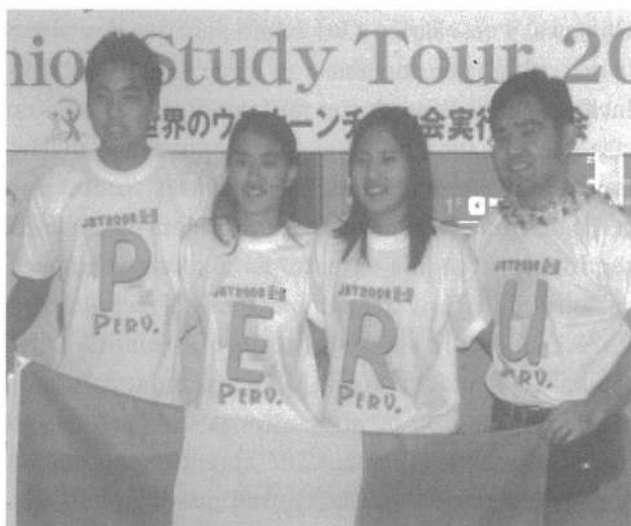
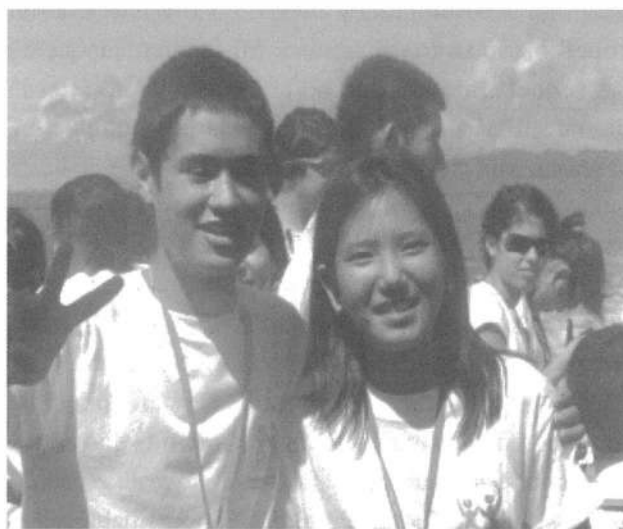
Incluso aún de regreso con mi familia vi el desfile de eisa que se baila por Obón y me impresionó mucho la vitalidad que transmiten los bailarines. Todos eran como una gran familia y de alguna manera me hicieron sentir como acogida en casa. Es algo que yo nunca había vivido antes y que siempre quisiera recordar.

La presentación de eisa fue lo más emotivo del viaje, sin contar la fiesta de despedida. Tuvimos la oportunidad de mostrar a todas las personas lo que habíamos sido capaces de aprender con mucho empeño en tan pocos días, y creo que logramos una buena presentación. Simplemente me encantó la interpretación del tema Nirai e no kaze y ver el baile de Toshi, nuestro profesor, me llenó de emoción. En ese momento todos ya sentíamos que la despedida se acercaba y que el viaje llegaba a su final, me sentí frustrada al no poder hacer nada para retroceder el tiempo y vivir todo de nuevo.

Me he llevado muchos recuerdos como la tela pintada, el uniforme y los instrumentos de eisa, pero lo más importante que me llevo son los conocimientos y las conexiones adquiridas en este viaje que ojalá nunca se pierdan en nuestras memorias. Debemos tratar de mantenernos en contacto aunque estemos en diferentes partes del mundo, recordando todos los buenos momentos que vivimos juntos con la esperanza de volvernos a ver.

Esta ha sido una experiencia que la misma gente lo ha hecho inolvidable para mí. He aprendido de Okinawa y también de las culturas de los demás países que participaron, que espero nunca olvidar para cuando vaya a visitarlos! Nunca pensé que era posible hacerse tan amigo de alguien en tan poco tiempo; lo que es un poco triste ya que cuando justo se conoce a alguien, ya es hora de despedirse. Espero que este JST lo continúen haciendo en el futuro para que más jóvenes se beneficien de él. Estoy segura que a estas personas tan especiales no podré olvidar fácilmente, y aguardo con ansias el reencuentro en el futuro . Sin embargo, creo que valió la pena cada grano de arena puesto con esfuerzo y por eso agradezco a todos, a la prefectura de Okinawa, al staff y a la Asociación Okinawense del Perú, por darme la oportunidad de hacer de esas dos semanas en Okinawa las más especiales que he tenido hasta ahora.

Muchas Gracias!





比嘉 さゆり

SAYURI HIGA

13歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加して

私はジュニアスタディーツアーに参加する事が出来たのでとてもうれしいです。

最初は、家族を離れ、全然知らない所、そして良く知らない親戚の家でホームステイをすることなどがとても不安でしたが、沖縄へ着き、空港で迎えにきていた親戚の方々に会うと何とかすぐに落ち着きました。

ジュニアスタディーツアーでは、私のおじいちゃんやおばあちゃんの生まれ育った沖縄の歴史や文化を学ぶ事が出来て良かったです。

ウェルカムパーティーでは、みんなと仲良く話す事が出来るのかと心配でドキドキしていました。でも、みんなやさしい人たちが私にやさしく声をかけてくれ、ゲームなどを行っている内に仲良くなっていました。

渡嘉敷島では、沖縄の海を見る事が出来ました。沖縄の海はとても綺麗でした。

私たちは県知事にお会いする事が出来て、とてもラッキーだと思います。

読谷のむら咲むらでは沖縄の伝統芸能である琉球舞踊や、空手、それから三線などと、いろいろと学ぶ事が出来ました。私は三線が好きなので三線に決めました。三線はとても簡単でした。その後、みんなでサーターアンダーギーの作り方を教えてもらい、作りました。とてもおいしかったです。

名護の比地大滝に行くことも出来ました。山登りは楽しかったけれど疲れました。夜は、みんなで楽しくバーベキューを作り、とてもおいしく食べました。その後、キャンプファイヤーをしました。沖縄尚学高校の生徒の皆さんが考えたプログラムでとても楽しい思い出が出来ました。

「美ら海水族館」には、今まで見た事のない魚がたくさんいました。有名なジンベイザメが見れて本当にうれしかったです。イルカショーはおもしろかったです。工芸体験もしました。私は紅型を習いました。とても楽しかったです。

今帰仁城跡に行った時は、沖縄の歴史を聞いてとても勉強になりました。

マチグワー散策では、沖縄の人たちの仕事、生活などを見学でき、壺屋焼物博物館に行く事が出来ま

した。

首里城や識名園、それから玉陵にも行き沖縄の歴史について沢山勉強することができました。

ツアー七日目、平和祈念資料館に行きました。戦争を体験した人が、戦争についていろいろと話を聞かせてくれました。とても悲しくて泣きそうになりました。その後、平和の礎の見学をしました。続いて、琉球ガラス村と泡盛工場の見学に行きました。

ツアー八日目、私達は沖縄の移民について勉強しました。それからOTVキャスターの前原信一さんの講話もありました。私の国への移民についても詳しく勉強したかったです。でも沢山勉強することが出来ました。

テンプス館前でエイサーを踊った時、見ている人が沢山いたのでドキドキしました。でもとても楽しかったです。もう皆とエイサーを踊ることが出来ないと思ったら悲しくなりました。

さよならパーティーでは皆悲しそうでした。皆と歌った「島人の宝」絶対に忘れる事が出来ません。またみんなに会うことが出来たら嬉しいです。

空港にみんながいるのを見たときはとても嬉しくて泣きそうでした。

このツアーで私は「平和」の大切さを学ぶ事が出来ました。

ジュニアスタディーツアーは、世界中の移住者のために続けなくてはならない行事だと思います。世界中のウチナンチュ達が自分のおじいちゃん、おばあちゃんの生まれ育った沖縄に行けるチャンスを下さった方々にとても感謝しています。この二週間で学んだことは決して忘れません。

Mis impresiones del Junior Study Tour

Me siento muy feliz de tener la oportunidad de participar en el Junior Study Tour.

Al principio me sentía muy preocupada si podía desenvolverme sola en un lugar desconocido, el home stay en una familia que apenas conocía, pero al llegar al aeropuerto de Okinawa, todas mis preocupaciones

se dispararon cuando mis familiares me recibieron en el aeropuerto, y me sentí muy feliz.

El Junior Study Tour, fue un viaje donde pude conocer la Historia y Cultura de mis abuelos y abuelas.

Al inicio del tour tuvimos el Welcome Party. Yo me sentía muy preocupada si podía comunicarme con los demás participantes, pero a través de las distintas dinámicas de grupo, nos fuimos entrando en confianza. En Tokashiki pudimos conocer el hermoso mar de Okinawa.

También me siento muy afortunada porque tuve la oportunidad de conocer al Gobernador de Okinawa en persona.

En Murasakimura de Yomitan, aprendimos las artes tradicionales como: Danza de Ryukyu, Karate y Sanshin. Como a mi me gusta el Sanshin, opté por tomar el taller de Sanshin. Fue muy fácil. Después hicimos el Saataa Andagui entre todos y nos salio muy delicioso.

Fuimos también a las Cataratas de Hiji. La subida a las montañas fue muy bonita pero cansador. Llegando de la caminata, en la noche asamos carne entre todos (Barbecue Party), nos deleitamos con ello y pasamos a encender la fogata. Gracias al interesante programa que nos habían preparado los alumnos de Secundaria de Okinawa Shogaku, tuvimos una velada muy animada que siempre quedará en mi recuerdo.

En el Acuario de Churaumi, había especies de peces nunca conocidas hasta entonces, pude conocer a los famosos tiburones. El Show de los Delfines fue también muy interesante.

El aprendizaje del arte manual también fue muy provechoso. Yo tomé el curso de pintura Bingata.

En los restos arqueológicos de Nakijn pudimos escuchar y profundizar el aprendizaje sobre la Historia de Okinawa.

Paseamos en el centro comercial de Kokusai Doori, conocimos la vida cotidiana de los habitantes de Okinawa y visitar el Museo de cerámica.

También incluía en el programa las visitas al Castillo de Shuri, la residencia de los reyes llamado: Shikinaen, y el cementerio de los reyes: Tamaudun, todo esto para profundizar el aprendizaje sobre la historia de Okinawa.

El Séptimo día, fuimos al Centro de Exposición sobre la Paz. Escuchamos las experiencias que tuvo un veterano de guerra, fue tan triste que tuve ganas de llorar. Luego de la charla visitamos las lápidas de los caídos en la guerra. Antes de terminar el día visitamos el taller de vidrio de Ryukyu Mura y a la fábrica de

Awamori.

El Octavo día, tuvimos un taller para conocer sobre la emigración de los Okinawenses hacia países fuera de Japón, escuchamos las charlas del Sr. Shinichi Maehara, Director de OTV, de la televisión Okinawense. Yo quería conocer un poco más sobre la historia de la inmigración en mi país.

Bailamos también el EISA en el patio de Tembusu. Había muchos espectadores esperando nuestra función. Yo me sentía muy nerviosa, pero lo hicimos muy bien. Me siento muy triste ya que nunca más vamos a tener la oportunidad de bailar el EISA con mis compañeros del Tour.

El último día fue el Sayonara Party, todos estuvimos muy tristes. Nunca me olvidaré la canción de “Shimanchu nu Takara” que cantamos al unísono todos los participantes. Ojalá tuviera la oportunidad de reencontrarme con todos ellos.

Al llegar al aeropuerto para el viaje de regreso, me sentí muy contenta al ver a todos que vinieron a despedirnos y a la vez muy triste por la despedida.

En este Tour pude aprender la importancia de la “Paz”. Antes de finalizar, pienso que el Junior Study Tour es un evento que se debe continuar para el bien de todos los descendientes de Inmigrantes.

Estoy muy feliz de tener la oportunidad de conocer la tierra donde nacieron y crecieron mis abuelos y abuelas, compartir con Uchinanchus de todo el mundo, y nunca me olvidaré lo aprendido en estas inolvidables dos semanas.





眞榮城 弥生

YAYOI MAESHIRO

13歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加して

「ジュニア・スタディー・ツアーに行く?」と、母に聞かれたとき、「行きたい」と、答えましたが申し込みの後、ジュニア・スタディー・ツアーってなんだろう?と思うと、とても不安になりました。

ツアーに参加することが決まったときは、久しぶりにおじいちゃんやおばあちゃん、また、まだ顔を知らない親戚に会えると思うと、とてもうれしかったです。

飛行機の中では、「沖縄ってどんなところだろう? 田舎みたいなのところかなあ? 沖縄は海にかこまれた島なので津波がきたらどうしよう」と、色々考えていました。

沖縄に着いたとき、空港のロビーではたくさんの人が出迎えてくれました。その中には、テレビ局の人達、そしてツアーのスタッフ、また親戚のおじいちゃん達がありました。前沖縄県派遣教師の大城先生とひろ子先生に会えたときは、涙があふれて止まりませんでした。7月29日からツアーが始まりました。県内から33名、外国から34名計67名がツアーに参加しました。

次の日、渡嘉敷島に行きました。渡嘉敷島は沖縄より田舎でしたが、海はとてもきれいでした。初めてシュノーケルの体験をしました。サンゴは色々な色をしていて、一つ一つが木みたいで、全体が「海の森」の様でした。熱帯魚もたくさん見ることができ、とても良い体験になりました。

読谷村のむら咲きむらでは、文化学習で伝統芸能をしました。私は空手、琉球舞踊、そして三線の中から三線を選びました。初めて三線を弾き、むずかしかったですが、良い音になってとてもうれしかったです。他の国の人の中には、三線の経験のある人もいてすぐに上手に弾いている人もいました。

二日目の自然学習では海洋博記念公園・美ら海水族館を見学しました。とても大きな建物で中はとても広かったです。水槽の中では、ジンベエザメがゆうゆうとほかの魚達と一緒に泳いでる姿がとても印象に残りました。また、とても大きな口だったので「どうやって餌をあげんるんだろう」と、不思議に思いました。社会学習では、マチグワー散策に行きました。そこは、どこまで続いているのかと思うほど長いアーケードが

ありました。また、迷いそうになるほど道が入り込んでいて一人だと迷子になるだろうと思いました。

平和学習では、平和祈念公園を見学しました。資料館で戦争のビデオを見た時は

「やっぱり戦争はないほうがいい、戦争にあった人達はとてもかわいそうだなあ、今みたいに平和のほうがもっと幸せだ」と、感じました。

その後、平和の礎を見に行きました。そこは、戦争で亡くなった人達の名前がたくさんあり、その中で私のひいおじいちゃんの名前を見つけた時には、嬉しい気持ちと悲しい気持ちの複雑な気持ちになりました。私は、初めてひいおじいちゃんに手を合わせる事ができましたが、一緒にいた私のおじいちゃんは悲しそうな顔をしていました。ボリビアに帰ったら、おばあちゃんに、「ひいおじいちゃんの名前がきざまれてあった」と、いうことを伝えようと思いました。

ツアーの終盤、国際通りで今まで練習してきたエイサーを町の人へ見てもらいました。練習のかいがあって、本番は私自身楽しく踊ることができました。

最後に先生にみんなで五ヶ国語で、「ありがとう」と、言いました。私は、「もうエイサーの練習はないんだ」と、思うと涙が出てきました。楽しくて感動したエイサーでした。

このツアーで残念だったことは、おじいちゃんとボリビアのことを色々話したかったけど、それができなかったことです。でも、ツアーの中でとても気の合う友達ことができました。その人は、マレーシアのまやさんといって、とても日本語の上手い人で、やさしかったです。まやさんのことは、絶対に忘れません。

一番印象に残った場所は、平和祈念資料館です。その中では、戦争で倒れている人、男の子の足から骨が見えている写真等が展示されていてとてもかわいそうだと思います。作られている壕の中に入っていくと、戦車が来る音がして、とても恐くなってきました。いつもの生活の中で、忘れかけていた「平和」という大切なもののありがたさをあらためて感じました。

私はこの資料館で見たこと、聞いたことを学校の友達や後輩、また、まだこのことを知らないボリビアの人達へ話してあげたいと思います。

Mis impresiones participando en el Junior Study Tour

¿Quieres participar en el Junior Study Tour?

Cuando mi madre me preguntó, yo sin vacilar contesté que sí. Sin embargo, después de presentar mis documentos de solicitud, me sentí muy insegura ya que no conocía exactamente cómo era este tour.

Cuando ya tuve la certeza de que iba a viajar, pasaron por mi mente el encuentro con mis abuelos y otros familiares que no conozco aún, y me sentí muy contenta de tener la oportunidad de reencontrarme con ellos.

En el avión que me transportaba hasta Okinawa, pensaba “Cómo será Okinawa, será un lugar urbanizado, campo, qué haré si viene un Tsunami?”

Pero al llegar al aeropuerto de Okinawa, encontré a muchas personas que vinieron a recogerme: personal de la Televisión, Staff del Tour, mis abuelitos, y, cuando vi al Profesor Oshiro y su esposa Hiroko no pude evitar las lágrimas.

El Tour empezó el 29 de Julio. Participaron 33 estudiantes de Okinawa, 34 participantes extranjeros llegando a un total de 67 participantes.

Al día siguiente fuimos a la isla de Tokashiki. Esta era una comunidad mas pequeña comparado con el lugar inicial, pero el mar era muy hermoso. Por primera vez en mi vida tuve la oportunidad de bucear en ella, los corales eran de distintas formas y colores y cada una parecía un árbol, que en su conjunto era como que estuvieras viendo un bosque dentro del mar. También habían peces de distintas especies que daban una vista espectacular dentro del mar.

En Murasakimura en la ciudad de Yomitan, aprendimos las artes tradicionales de Okinawa. Entre karate, Danza de Ryukyu y Sanshin, yo escogí el sanshin. Era la primera vez que intenté tocar este instrumento. Un poco difícil al principio pero con gran esfuerzo conseguí sacarle los sonidos. Entre los participantes algunos ya conocían este arte y lo hacían muy bien.

El segundo día de aprendizaje sobre la Naturaleza, fuimos al Acuario de Churaumi, era una infraestructura enorme, donde nadaban tranquilos los tiburones gigantes abriendo sus grandes bocas. Tuve la curiosidad por saber cómo alimentan los encargados de mantenimiento a estos animales gigantes del mar.

El programa incluía también el paseo por el mercado de Kokusai Doori. Esta avenida era tan grande que nunca llegábamos al final, las calles tan enredadas que si caminaba sola me iba a perder.

En el aprendizaje sobre la Paz, visitamos el Parque Memorial de la Paz. En el Museo, vimos videos con imágenes de la guerra, y sentí la importancia de vivir en paz, cuán afortunada soy de vivir tranquila y feliz.

Después visitamos las lápidas donde se encuentran los nombres de las personas que fallecieron en la guerra. Entre los miles de nombre allí escritos, pude encontrar la de mi bizabuelo. Sentí como una confusión de sentimientos entre alegría y tristeza. Junté mis manos y recé frente al nombre de mi bizabuelo, pude observar que mi abuelo tenía un semblante muy triste. Recé prometiendo a mi bizabuelo comunicar esta experiencia única a mis familiares de Bolivia, especialmente a mi abuela.

La fase final del Tour, era la presentación del Eisa, actividad que vinimos practicando todos los días. En primer lugar bailamos en Kokusai Doori para mostrar a las personas que estaban allí comprando y luego frente al Gobernador. Gracias a las prácticas pude bailar con mucho entusiasmo.

Una vez terminada la presentación, agradecemos en 5 idiomas a nuestro profesor del Eisa. Cuando me di cuenta que “ya no vamos a practicar juntos como vinimos haciendo durante estos días” de pronto sentí una emoción tan grande que no pude evitar las lágrimas. Era un espectáculo y un evento muy emotivo donde fuimos protagonistas todas nosotras.

Lo que sentí mucho fue que no tuve mucho tiempo para compartir con mis familiares en Okinawa para hablar sobre mis familiares en Bolivia.

Sin embargo en el tour pude hacer muchas amistades, y encontrar amigas con gustos en común. Una de ellas es Maya de Malasia, ella hablaba muy bien el japonés y era muy buena. Creo que nunca la voy a olvidar.

El lugar que más me impresionó fue el Museo de la Paz. En ella pude observar fotos de personas heridas en la guerra, niño con la pierna herida donde se observaba el hueso que salía de la herida abierta. También en la reconstrucción del refugio se podía oír el sonido de los tanques que se acercaban y me entraba un pánico tormentoso. Sentí que nunca tendré que olvidar esta experiencia, que vivo en un ambiente de paz y tranquilidad, agradecí nuevamente la felicidad de tener un entorno sin guerra. Regresé a Bolivia prometiendo transmitir esta experiencia a mis amigos de mi escuela, a los Bolivianos que no conocen esta Historia para explicarles la importancia de vivir en Paz.



安里 健

KEN ASATO

13歳 2世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加して

僕は、7月24日から沖縄県のジュニア・スタディー・ツアーに参加しました。

出発前の僕の沖縄に対するイメージは、とっても狭いんだろうな、ということでした。沖縄を地図で見ると、とっても小さかったからです。でも、思ったよりとっても大きくて、真っ青な海が見えて海へすぐ入りたくなりました。

このジュニア・スタディー・ツアーの中で、一番苦労したのは、他の国からの参加者の多くが日本語、スペイン語を話せなかったことです。僕たちも英語を話せないのも、伝えたいことを伝えられないこともありました。でも、ジェスチャーを使ったりしてなんとか伝えるように努力しました。

7月29日は、ウェルカム・パーティーでした。そこでジュニア・スタディーのみんなと初めて顔を合わせました。最初の印象は日系人でも日本語を話せない人もいるんだなあ、ということと、見た目はまったく外国人の人も結構いるんだなあ、ということでした。

次の日は、船で渡嘉敷島へ行きました。その海は沖縄で一番きれいだそうです。海へ入ると、不思議な気持ちになり、出るまでずっと「本当に沖縄の海へ入っているんだなあ」と、実感し感動していました。

次の日に平和の礎にいきました。そこでは、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃん、兵隊に捕まらないように、崖から飛び込んで亡くなった人もいます。僕は、とっても悲しかったけど、おじいちゃんが、手に拳銃の弾を撃たれながら助かった話を聞いていたので、礎に名前がなくてよかったなあ、とも思いました。

僕は、「日本の戦争はとっても大変だったんだなあ、また、兵隊が崖から飛ぶとき、どういう気持ちだったんだろうなあ」と、思いました。

達は、旧盆エイサーに参加するために練習を7月30日からはじめました。本番では、練習の成果を沖縄の人に見せることができました。

他の国の人たちは、あまりエイサーをしたこと

がなかったせいか、とまどっていました。僕は学校でやったことのある曲だったので、スムーズに行うことができました。

8月8日は、みんなに会うことの出来る最後の日でした。

残念だったことは、勉強会や、イベントなどに時間をほとんど費やされ、ツアーの仲間とゆっくり話す時間がなかったことです。せっかく一緒のツアーだったので、ほかの外国のウチナーンチュともおしゃべりしたかったです。

僕はこのツアーの中で「みんなと協力することの大切さ」を学びました。それは最後の日、みんなと協力してエイサーをすごくかっこよく成功させ、会場から大きな拍手をもらったときに感じました。

これから、ボリビアのオキナワをもっと良くするために、少しずつ協力することの大切さを友達や後輩へ伝えていきたいと思っています。

Junior Study Tour

Yo participé en el Junior Study Tour desde el 24 de Julio del 2006. Mi impresión sobre Okinawa antes del viaje, era de una comunidad muy pequeña. Esto porque en el mapa, la Prefectura de Okinawa se ve muy pequeña. Sin embargo, al llegar allí sentí que era muy grande, y me impresionó mucho el mar azul, tanto que tuve ganas de entrar y nadar en sus aguas.

Lo más difícil en el Junior Study Tour fue que muchos de los participantes no hablaban el Japonés ni el Español. Yo, particularmente no sabía hablar Inglés por eso, no pude comunicarme bien y expresar lo que quería decir. Pero, a través de los gestos, conseguí entablar comunicación.

El 29 de Julio era el Welcome Party, allí me encontré con todos los participantes. Me

impresionó que habían muchos Nikkeis que no hablaban japonés, también muchos descendientes de japoneses que tenían facciones extranjeras.

Al día siguiente fuimos a Tokashiki, donde dicen que

es el lugar que tienen el mar más hermoso de Okinawa. Me impresionó mucho sus aguas cristalinas, al entrar en el mar me hizo sentir que yo realmente estaba en Okinawa

Fuimos también a las Lápidas donde se encuentran los nombres de las personas que fallecieron en la Guerra. Supe que muchas personas se habían lanzado al mar desde altos peñascos para evitar ser capturados por el ejército americano. Yo me sentí muy triste escuchando estas historias.

Recordé la historia que me contó mi abuelo que había recibido un tiro en la mano durante la guerra pero que consiguió sobrevivir. Me sentí contento que no hubiera el nombre de mi abuelo en la lápida.

Pensé en las atrocidades que se cometieron durante la guerra, en lo que sentían los soldados japoneses cuando se lanzaban al vacío para no ser capturados, todo ello me hizo pensar mucho sobre la Paz.

En el Tour también ensayamos el Eisa a partir del 30 de Julio para presentarlo en el Obon. Gracias al esfuerzo de todos y cada uno de nosotros, pudimos hacer una buena presentación.

Parece que para los participantes de otros países era muy difícil aprender esta danza. Para mí, fue fácil, ya que tuvimos la oportunidad de aprenderlo en mi escuela, y justamente era la pieza que nos habían enseñado, creo que lo hice muy bien.

El 8 de Agosto era la última vez que podíamos encontrarnos entre todos.

Lo que pensé que sería bueno era que tuviéramos más tiempo para compartir entre los participantes, ya que el Tour tenía un programa apretado y no teníamos tiempo suficiente para hablar sobre las actividades que desempeñan otros Uchinanchus de diferentes lugares del mundo.

Participando en el Tour, aprendí la importancia de “Cooperar” entre todos para llevar adelante un objetivo. Esto se demostró en la presentación del Eisa. Logramos cooperar y conseguir hacer un esfuerzo en conjunto. Yo lo sentí cuando escuchamos los aplausos del público que vinieron a vernos y pienso que fue un éxito.

Aprendí mucho en el Tour, y pienso aportar con lo aprendido para el progreso de mi comunidad Okinawa y mi país Bolivia, enseñando a mis amigos la importancia de la “Cooperación”





ホカマ 栄

SAKAE HOKAMA

14歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2006

僕は、2006年度のジュニア・スタディー・ツアーに参加することができ、大変幸せに思います。当初は、買い物や、沖縄県の親戚を訪問するツアーかと思っていて、文化や歴史の学習をするとは思っていませんでした。両親から、学習に行くのだと言われましたが、正直言ってあまり事前学習はしないで参加しました。

沖縄へ出発する前は、ツアー中に発表するサンポーニャの練習に行かなければなりません。三日間の練習の内、僕は二日間参加しました。サンポーニャは、僕が生まれて初めて演奏する楽器でしたが、幸いにして習得することができました。

さあ、沖縄県へ向け出発のときです!!僕と一緒にツアーに参加したのは、健、さゆりと弥生でした。また、悦子という名前の引率者も一緒でした。僕は彼女を知っていました。なぜかという、僕が通う日本語学校の先生をしているからです。

沖縄へ到着すると、親戚が迎えてくれました。僕はみんなを知りませんでした。空港でどうしていいか迷っていると、僕の名前が聞こえて、親戚が誰だか知ることができました。親戚の家へ着くと、そこにはヨウコおばさんと、おばあちゃんと空港で迎えてくれた親戚がおりました。

ホームステイ先で、僕は一部屋を与えられました。

数日後、沖縄県の首都、那覇市へ連れて行ってもらいました。ツアーの参加者はシティー・コートという、すてきなホテルに集合することになっていました。僕は、誰も知らなくてドキドキしておりました。突然、大きなホールへ案内され、オリエンテーションを受けました。そこでは、ツアー参加に必要なルールなど、必要なことを説明されました。グループも発表されました。僕は“F”グループでした。嬉しかったのは、飛行機で一緒だったアルゼンチンの友達と一緒にだったことでした。

部屋も割り振りされました。ツアーの間、いつも違う仲間と同じ部屋になるよう配慮されていました。きっと、全員と仲良くなれるための配慮だと思います。

開会式が始まりました。その頃には、いろんな国の人と友達になっておりました。しかし、終わったらみ

んなそれぞれ部屋へ帰らないといけませんでした。僕はその頃からほとんどの参加者と友達になっていました。特にペルーの参加者、アルゼンチンの参加者、県内参加者などです。

夜はいつも新しい友達とおしゃべりをして、遅くまで起きておりました。

翌日は渡嘉敷島へフェリーで行きました。楽しかったです。渡嘉敷のビーチへ到着し、シュノーケリングをしました。これは、水中へ潜ることですが、底まではいけません。なぜかという、息をするためのチューブをくわえているからです。

ビーチではサッカーの試合もしたし、カヤック、カヌーにも乗りました。

夕方になると、宿泊施設へ行きました。広い施設でした。10名くらい眠れる大きな部屋がいくつもありました。手洗いも完備されていて、よく日本のテレビで見ると、床にふとんを敷いて寝ました。

その日からエイサーの練習が始まりました。エイサーは、僕にとって楽しい活動の一つでした。それは、みんなと一緒に練習できるからです。

もうひとつ僕にとって楽しかったことは、バスでの移動でした。いつも違うグループとバスに乗ることになっていました。僕はいつも大きなバスに当たったので、ラッキーでした。

名護のホテルでも宿泊しました。大変きれいなホテルでした。そこでは、キャンプファイヤーも準備されていました。たくさんのレクリエーションがあって、僕は、パン食い競争に参加しました。

バーベキューも僕たちで作りました。あまりおいしくはできませんでしたが、肉を焼いたりしているときは、とっても楽しかったです。

水族館へも行きました。僕の人生の中で、最高の水族館でした。それは、とても大きくて、ある場所では、魚が僕たちの頭上を泳いでいるところがあるので。僕は海の底にいるような気持ちでした。

イルカショーへも行きました。こんなに頭のいい動物が係りの人の指示に従って、高く飛んだり、踊ったり、歌ったりすることを見て感動しました!

その日のエイサーの練習は、とてもうまくいき、僕自身大満足でした。

しかし、エイサーは一つの演目でなく、もう一つ覚えなれないといけなと言われてました。そのことを言われた日に、大雨が降り、練習場所を移動しなければいけませんでした。

また、伝統芸能の学習もありました。空手、三線、琉球舞踊の内、一つを選ぶことになっていました。僕は空手を選びました。一時間練習したあと、丸くて、あまくて、おいしいお菓子を作りに行きました。講師の先生は小さく作るよう指導しましたが、僕たちは大きく作りました。そうしたら、ものすごく大きなサーターアンダギーが出来上がりました！

伝統工芸学習では、紅型を選びました。布に絵柄を塗っていく技法です。

ボランティアの高校生の案内で国際通りも散策しました。暑かったけど楽しかったです。

平和資料館へも行きました。平和の礎には、戦争で亡くなった方々の名前が刻まれておりました。ある戦争経験者の体験談も聞きました。

食事についてもたくさん楽しみました。僕が最もおいしいと思ったのは、さしみとか、日本のごちそうを楽しむことが出来たバーのような場所でした。五名で一つのテーブルを囲み、広くて楽しいところでした。

JICA国際交流センターへも行きました。そこでは、世界への移民の話の話を聞きました。その後、ゲームなどを通して学習し、写真をもとにいろいろと勉強する作業がありました。

最も重要だと僕が感じたことは、沖縄県知事へ表敬訪問したことです。県知事よりお言葉をいただき、握手することができて感激です。

エイサー発表の日は雨が降りました。最初に国際通りを道ジュネーしました。その時も雨は降り止まず、少し濡れました。

発表が終わったらみんな感動のあまり泣きました。その後、それぞれホームステイ先に帰りました。

お盆には、僕のひいおばあちゃんへ何度か手を合わせました。

最後にツアーの仲間と再会できたのは、さよならパーティーのときでした。その日、ポリビア組は、民族楽器サンポーニャの演奏を発表しました。あとは涙と写真の連続でした。

いよいよ別れのときです。僕はみんなと連絡を取り合うことを約束して、別れました。

今ポリビアに帰ってきて、みんなと交流をしております。またみんなと会うことができることを祈っております。

僕は、沖縄でまたツアーの仲間と会いたいです。しかし、今度僕が行くとき、それは暑くない、冬に沖縄を訪問し、みなさんに会うこととします！

Junior Study Tour 2006

Yo gané el viaje al JUNIOR STUDY TOUR 2006 y me sentí muy feliz al respecto. Yo pensé que iba a ir a comprar cosas, y visitar a mis parientes, no pensaba en conocer historia ni cultura, pero mis padres me habían dicho que iba a Japón a conocer y estudiar su historia y cultura, yo no les hice caso y no fui preparado para estudiar.

Yo tuve que ir a clases de zampona, porque era el instrumento que íbamos a tocar en Okinawa. Eran tan solo tres días de clases, y yo solo había ido dos veces, era mi primera vez tocando ese instrumento, pero logré dominarlo.

Había llegado el momento de ir a Okinawa, ¡¡Yo estaba muy emocionado!! Mis compañeros de viaje eran Ken, Sayuri y Yayoi, también nos acompañaba una tutora llamada Etsuko, yo ya la conocía, porque era maestra en la escuela japonesa.

Cuando llegamos a Okinawa, mis familiares me recibieron, yo no los conocía, estaba perdido en el aeropuerto, pero luego mencionaron mi nombre y supe que ellos eran mis familiares.

Yo llegue a su casa, y estaba la señora Yoko, mi abuela y ellos.

Yo dormía en una sala. Me quede unos días y después de eso, fuimos a NAHA la capital de Okinawa. Todos los participantes del Junior Study Tour teníamos que encontrarnos en el hotel City Court, era un hotel muy bonito. Yo no conocía a nadie estaba muy nervioso.

De pronto todos fuimos a un salón, y en ese salón nos orientaron, dándonos las reglas del tour y todas esas cosas. Yo estaba en el grupo "F", estaba con una amiga argentina que conocí en el aeropuerto.

Nos habían asignado las habitaciones, siempre nos tocaba con personas diferentes porque querían que nos relacionemos entre todos.

Empezó la fiesta de inauguración, yo ya había hecho muchos amigos de diferentes países, pero cuando terminó, tenía que volver a nuestras habitaciones. Yo me había vuelto amigos de todos en ese momento, especialmente de los peruanos, argentinos y los japoneses que vivían en Okinawa.

Siempre nos quedábamos hasta tarde despiertos, porque siempre nos quedábamos hablando con los nuevos amigos que uno hacia.

El día siguiente fuimos a la isla Tokashiki en barco, era muy bonita.

Fuimos a la playa, y hicimos snorkeling, es como bucear pero no te podías ir hasta el fondo, porque

usábamos unos tubos para respirar.

También jugamos fútbol e hicimos kayaking y canotaje. Después fuimos a un alojamiento para dormir, era muy grande y bonito. Los cuartos grande donde dormíamos unas diez personas, tenían un baño y dormíamos en el piso como sale en la tele.

Ese mismo día empezaron los talleres de Eisa, eso fue una de las cosas más divertidas para mí, porque todos los practicábamos juntos. Otras de las cosas divertidas eran cuando estábamos en el bus, siempre con grupos diferentes y por suerte nos tocaba casi siempre en el bus grande.

Fuimos a un hotel en Nago, era muy bonito. En ese hotel hicimos una fogata donde hacíamos varias actividades, y yo participe en una de ellas que era comer pan.

También hicimos una parrillada nosotros mismos, aunque no estaba muy rico, nos divertimos un montón preparándola.

Fuimos también al acuario, es el mejor acuario al cual he ido en mi vida, porque además de ser grande, había una zona donde los peces pasaban por arriba, se sentía como si estuvieras abajo del mar.

También fuimos a un show de delfines; fue muy emocionante ver a animales tan inteligentes que podían saltar, bailar y cantar cuando sus entrenadores les ordenaban.

Ese día practicando eisa me salio muy bien y estaba muy feliz.

Pero unos días después nos dijeron que teníamos que aprender otro baile de eisa, y en el ensayo del segundo baile, empezó a llover fuertísimo y tuvimos que ir a otro lado a practicar.

Fuimos a un lugar donde podíamos elegir en hacer karate, sanshin y una danza, yo elegí karate. Solo duro una hora y después fuimos a cocinar unas bolitas ricas y eran dulces, la señora nos había dicho que las preparemos chicas pero no le hicimos caso y nos salieron gigantes!!

También fuimos a un lugar donde hice bingata, un arte japonés de pintar sobre tela.

Los chicos de una secundaria nos llevaron por una caminata en el “kokusai dori” fue muy divertido y caluroso.

Fuimos a un museo de la paz, donde habían lapidas con los nombres de las personas que habían muerto en la guerra, y un sobreviviente nos contó su experiencia. La mejor comida fue cuando fuimos a un bar, y comimos sashimi y muchas exquisiteces japonesas. Éramos cinco en una mesa y había muchas mesas.

También fuimos a un lugar que era JICA creo. Ahí un señor nos hablo sobre la emigración okinawense en el mundo, hicimos varios juegos y nos divertimos mucho explicando sobre unas fotografías y mucho más.

Una de las cosas mas importantes fue haber estado con el gobernador, el nos dirigió unas cuantas palabras y tuvimos la oportunidad de darle la mano.

El día de la presentación de eisa empezó a llover, pero primero hicimos un desfile por el mercado, pero seguía lloviendo y tuvimos que bailar bajo la lluvia.

Luego todos lloramos, y nos volvimos a las casas de nuestros parientes. Fui a rezar unas cuantas veces a mi tatarabuela por el día del obon.

Cuando volví a ver a mis amigos, era el día de la fiesta de despedida, en la cual el grupo boliviano toco zampoña, un instrumento boliviano, y después de la fiesta todos empezamos a llorar y sacar fotos.

Llego la hora de irnos y me despedí de todos y prometí comunicarme con ellos, y hasta ahora lo sigo haciendo. Yo quisiera ir otra vez y ver a todos mis amigos allá, pero que no haga mucho calor, así que voy a ir en invierno!!!!





イダルゴ カネド フランシスコ エイジ

FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO

18歳 4世

メキシコ合衆国 United Mexican States

メキシコ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2006

2006年「ジュニア・スタディー・ツアー」の主催者である沖縄県の方々、そして在メキシコ沖縄県人会役員の皆様に対し、私がこの行事に参加する機会を与えてくださったことに心から御礼申し上げます。

沖縄県系4世である私にとって、エイサー、琉球舞踊、お盆祭り、独特の音楽、そして沖縄そばやゴーヤーなどの沖縄郷土料理という、西洋では全てが知られてる訳ではない沖縄文化の概要は、大人たちが話してくれる沖縄の伝統とはまた違い、それらを知ることができたのは、素晴らしい体験となりました。

諸外国からの参加者が集って行われた、交流イベントのための活動運営は素晴らしく、感銘を受けました。話す言葉は違いますが、目的は共に時を過ごしてお互いを知り合うことであり、その家族的な雰囲気の中で、主催者の方々と時間を過ごすことができました。

数々の観光スポットも訪れることができました。憧れの島である渡嘉敷に行ったときには、とてもきれいなビーチでシュノーケリングの基本を学び、その他にも様々な活動を行いました。また、美しく印象的な滝を見る遠足にも出かけました。そして、あの偉大な水族館に行くことができたのは本当に素晴らしく、沖縄の海の世界に片手で触れることが出来たような気分でした。

今帰仁城跡も見学しました。そして平和公園では、戦争がもたらしたものの、死んでいった人々、大理石に刻まれた戦没者の名前に、心を強く打たれました。戦争がどういうものなのかを私たちに思い出させてくれました。

沖縄伝統のお酒である泡盛、そして一見とても簡単そうであるけれども、実は芸術作品であるガラス工芸など、沖縄の伝統をより深く知ることができました。エイサーのワークショップは、はじめは大変複雑なものと感じましたが、努力の末学んだことの証しとして発表することができ、最後にはとても素晴らしい体験となりました。

このプログラムを通じて学んだことを携え、私の国メキシコで、胸を張って沖縄人先祖の文化を伝えていきます。本当にありがとうございました。

Reporte del Junior Study Tour

Primero que nada quiero agradecer a todo el staff que hizo posible la realización de este evento, así como a la prefectura de Okinawa como a Okinawa Kenjin kai de México, y por darme la oportunidad de conocer y vivir un poco de mis raíces. Pero mas que nada quiero agradecerle a toda esa gente que me hizo pasar el mejor tiempo de mi vida, agradecerles toda su paciencia, su esfuerzo y su dedicación pero sobretodo, su amistad.

En general fue una maravillosa experiencia que no terminaría de escribir nunca pero quiero que sepan que desde que llegue a Okinawa me sentí como en casa al ver que había muchas personas esperándome.

Luego fue increíble ver todo ese esplendor en la naturaleza, fue algo que no seria capaz de imaginarme jamás, la isla Tokashiki fue maravillosa, el mar tan claro y tranquilo, y el hecho de estar con personas tan agradables, hicieron de esta una experiencia inigualable.

La organización de todos los eventos fue excepcional, todo sucedió como tenia que ser, me encanto el hecho de hacer amigos, de tener a alguien con disfrutar todo y compartir toda esa alegría.

Además de todo me fascinó a prender, aprendí mucho sobre la historia de Okinawa, muchas costumbres que en México no existen o son muy diferentes, aprendí a hacer el satandagui, el laqueado, conocí mucha comida que en mi vida había visto, aprendí que soy uchinanchu y no japonés.

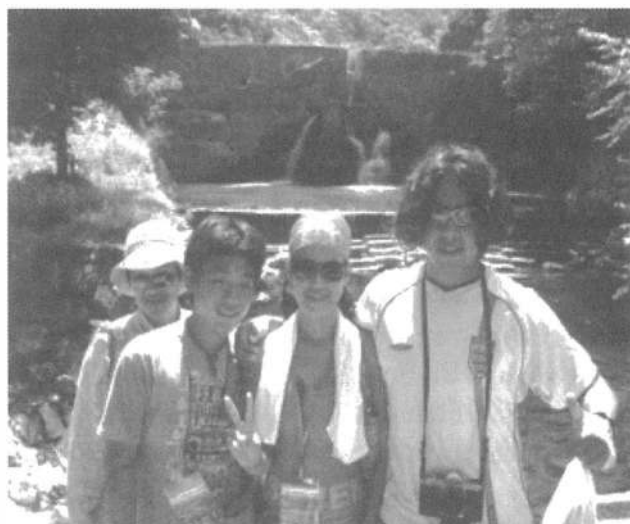
También conocí las ruinas de un castillo y uno todavía en pie pero también aprendí sobre la guerra y lo destructiva que es para el ser humano, esta fue una de las lecciones más fuertes de mi vida.

En pocas palabras les quiero decir a todos los que participaron en este Junior Study Tour, que aprecio mucho todo lo que hicieron y que siempre van a estar en mi corazón.

Espero con ansias volver a encontrarme con toda

esa gente que me hizo vivir semejante experiencia y decirles lo orgulloso que estoy de decir a todo el mundo que Yo fui a Okinawa y fui parte de este Junior Study Tour.

Me despido asegurándoles que, tal como dije en mi discurso de despedida voy a difundir toda mi cultura en mi país y tengan por seguro que regresare a Okinawa y espero verlos de nuevo.





キヨミ トレス ゴンザレス

KIYOMI TORRES GONZALEZ

18歳 4世

キューバ共和国 Republic of Cuba

キューバ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーの印象と 未来への交流促進

私は、このイベントの初日における参加者の紹介、ウェルカムパーティーの様子等を見て、期待していたとおり参加国と沖縄のダンス、習慣、象徴的な場所、料理、そのほかの伝統芸能等が本格的に勉強になると確信していました。

訪れた場所は厳選されており、とっても驚きました。その一つは渡嘉敷島でした。その歴史、景色、動物等で感激しました。そして、シュノーケリング等の体験をしてとても面白かったです。

沖縄県知事を近くから見ることができ、また、本人に歓迎していただいたことは一生忘れません。むら咲むらで習った琉球舞踊は居心地が良く、また、美味しいサーターアンダーギーを作って味見してみるのも良かったです。そして、比地大滝を初めて見て面白かったです。世界的に貴重な固有種の動植物を育む豊かな森に囲まれた地域で、自然に作られるすべての美しさを楽しみました。

私もみんなも、バーベキューとキャンプファイヤーをした夜が最も忘れられない思い出となっております。すごく楽しむ事が出来ました。美ら海水族館の見学は、素晴らしい経験でした。まるで海中にいるような感じのする水族館で、見たことのない生物種を観賞する事ができ、これらの生き物を大事にするべきだと思いました。

今帰仁城跡の歴史を知ることができ、その時代にいるような感じがしました。散策途中で雨が降ってきて全部は見学できませんでしたが、「雨によって最後まで見るができなくなったが、皆さんが来た事に対する祖父母の嬉し涙だ」とガイドさんが説明してくれました。

沖縄県民にとって、とても重要な“マチグラー”を散策して沖縄の食文化について学ぶとともに、店の主人とのやりとりを通して県民との交流ができました。

首里城の歴史や当時の装飾品、貴重品などを知ることにより、面白くて素晴らしい沖縄のメインスポットだと思いました。紅型制作体験は、本

当に印象的でしたが、琉球漆器、首里織もすべて体験したかったです。平和祈念資料館への訪問は、少し寂しかったけど大事だと思いました。戦争体験者である長田氏の話聞いて、沖縄の全てが焦土と化した地獄の日々について知る事が出来ました。

琉球ガラスは、色、サイズ、形が一つ一つ違う作品となっており、印象的で不思議な技術だと思いました。泡盛工場の構造と歴史には気を引かれました。

そして、移民の講習会もとても重要だったと思いました。なぜなら、「移民の歴史」について知る事ができ、また、「ウチナーンチュの心」に関する理解を深めてから帰国することにより、次世代へ継承していくことを学んだからです。

エイサーの披露は素晴らしく、最高でした。短期間の練習で習得し、生で演舞したのは感動的でした。あの時の鳥肌、止まらない嬉し涙と感動を忘れません。

家族と会い、一緒に過ごす機会を与えてくださり言葉で表せないほど感謝しています。自分のルーツや旧盆についても知ることができました。

最後に、生涯忘れられない体験と夢を叶えさせていただいた皆様、素晴らしいプログラムを組んでくださった委員の皆様、一緒に過ごして下さった方々、通訳の方々、訪れた場所のスタッフの皆様、お世話になった学校、沖縄県知事、沖縄県についていろいろ教えてくださったことと、このような大きなイベントで母国であるキューバを紹介させていただいたことを感謝します。

一生涯感謝します。

Las impresiones del Tour y continuación de intercambio en el futuro.

Desde el primer día de este evento, y después de realizadas las presentaciones y la fiesta de bienvenida; me dí cuenta que realmente iba a aprender y conocer todo lo que tanto ansiaba como bailes, costumbres,

lugares simbólicos, comidas, y demás tradiciones de Okinawa, así como de los otros países participantes a través de intercambio.

Los lugares visitados creo que fueron muy impresionantes y muy bien escogidos; como la Isla de Tokashiki, donde quedé asombrada con su historia, con sus paisajes, la variedad de animales y la oportunidad que me dieron de practicar snorkeling y de participar en otras actividades todas muy llamativas.

Tener de cerca al Gobernador de la Prefectura de Okinawa y que nos haya hecho la bienvenida personalmente es inolvidable; así como lo que pude aprender en Murasaki Mura, como el baile de Ryukyu que fue super acogedor y aprender a elaborar la tradicional fritura satandagui y probar su delicioso sabor.

Fué muy interesante conocer las Cataratas de Hijiootaki ya que tiene especies únicas en el mundo que hacen que el lugar sea muy especial, y que pudiera apreciar toda la belleza que la naturaleza es capaz de crear y todo lo que puede brindar. La parrillada y la fogata hacen que sea una de las noches más inolvidables, creo que al igual que yo todos la disfrutamos muchísimo.

La visita al acuario Chura Umi es sin duda algo espectacular y lleno de vida que hace que yo me sienta en el medio del mar, me permitió conocer especies que nunca había visto y a valorar el cuidado que debemos tener con su hábitat y con los animales marinos.

Las ruinas del Castillo de Nakijin me hicieron sentirme en aquellos tiempos y me gustó conocer su historia, aunque la lluvia impidió terminar el recorrido, pero no importó porque dijo uno de los guías que eran nuestros abuelitos llorando de alegría.

Fué muy importante el recorrido por el mercado y por las calles ya que nos relacionamos con las personas de Okinawa y conocimos su forma de alimentación y comercio.

La visita al Castillo de Shuri fue muy interesante y genial, ya que es uno de los lugares más representativos de Okinawa aprender toda su historia, ver la decoración de aquellos tiempos, los objetos valiosos, entre otras cosas.

Conocer y hacer con mis propias manos el arte de de la Bingata es realmente impresionante, es toda una fuente de inspiración, aunque me hubiese gustado aprenderlo todo (laqueado, textilería)

La visita al Museo Conmemorativo de la Paz es un poco triste, pero a la vez muy importante porque así pude conocer todo sobre la guerra; y con el testimonio

del señor Takata trasladarme a aquellos días de infierno donde todo lo bello de Okinawa era polvo y carne quemada.

El vidrio de Ryukyu es un arte impresionante y muy curioso, sus diversas formas, tamaños y colores.

La fábrica de awamori me llamó mucho la atención por su organización y por su historia.

El taller fue muy importante e interesante porque así pude conocer toda la historia sobre la emigración, y como fortalecer el sentimiento okinawense en mí y así traerlo a mi país y fundirlo en las nuevas generaciones.

La presentación del baile Eisa fue sin dudas espectacular y lo mejor, poder demostrar todo lo aprendido y en tan poco tiempo, con la música en vivo y todos los bailes que hicieron para nosotros realmente me llegó a lo más profundo de mi corazón, nunca lo voy a olvidar como se me herizaba la piel, y la lágrimas de la alegría y la emoción no dejaban de caer.

La oportunidad tan grande que me dieron de ver a mi familia y convivir con ellos es algo inolvidable, algo que se me hace difícil describir con palabras, una oportunidad única de saber cuales son mis raíces, de aprender sobre el Obon Antiguo y como se desarrolla.

Por toda esta experiencia tan linda y tan inolvidable quiero agradecer a todos los que hicieron realidad este sueño, a todos los organizadores de este programa tan bien organizado y tan exquisito; a todos los que estuvieron con nosotros, a los traductores, al personal de los lugares visitados, a las escuelas que nos atendieron al gobernador Keichi Inamine y a la prefectura de Okinawa por haberme dado la posibilidad de representar a mi país, Cuba, en un evento de esta magnitud y por obtener los conocimientos que hoy tengo.

Le estare eternamente agradecida !!!!!

arigato gozaimasu

obrigado

thank you

gracias



高田 シャンテル 真由美

CHANTELLE MAYUMI TAKATA

16歳 5世

アメリカ合衆国

United States of America

ハワイ沖縄連合会



ジュニアスタディーツアー

今年の夏、第四回世界のウチナンチュ大会のジュニアスタディーツアーに参加することが出来ました。ツアーはすばらしい体験で、ツアーの成功で世界の人々はさらに沖縄に興味をもつようになると思うので、ハワイから一人の代表者として参加できた事に誇りをもっています。そして、ツアーの参加者達は海外に住んでいるウチナンチュ達に話を伝えて、海外に住んでいるウチナンチュの若者は自分のルーツを敬い始めると思います。

スタッフの皆様のお陰でこんなすばらしい体験をすることが出来ましたので、友達や家族に沖縄の文化と社会について話をする前に、ツアーのスタッフの皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ハワイ代表者として選ばれた時から、7月29日を楽しみにしていました。ツアーは今年のウチナンチュ大会のイベントなので、多いに期待していました。だから、シティコートというホテルに着いた時に思ったとおりに大きなイベントだと実感しました。最初のミーティングやウェルカムパーティーで参加者達は私にいい印象を与えました。説明パンフレットを見る事によって、私の期待は更に高まりました。そして、参加者達の自己紹介を聞きましたが、彼らの声に興奮の気持ちがいっぱい詰まっていて、楽しむ事ができました。

ウェルカムパーティーもとても楽しかったです。参加者達と熱心に踊ったり、ゲームしたりする時に、本当に楽しめました。一番良かった活動は高校生の踊りを見たり、そして私もステージで新しい友達と踊る事でした。踊りが大好きなので、ウェルカムパーティーは良かったです。そのパーティーはツアーの面白さのスタートだったと思いました。

祖母は以前から渡嘉敷島の美しさについてよく話してくれ、また、私も渡嘉敷島の美しさに関する本をよく読んでいたので、二日目をとても楽しみにしていました。初めはボートに乗るのは少し不安でしたが、全然大丈夫でした。海は静かで、島はとても美しかったです。良かったです。私はハワイ出身ですが、あまりビーチに行きません。しかし、渡嘉敷島の海はとても美しく、水は冷たかったので、一日中水泳とカヤッキン

グとシュノーケリングをしました。渡嘉敷島のビーチと国立青年の家沖縄海洋研修場で、友達との友情のきずなが強くなったので感謝しています。

次の日、県知事に会った後、読谷村のむら咲むらに行きました。私は以前から三線の弾き方を習いたくて三線教室を希望していたので、とても興奮して楽しみにしていました。でも、弾き始めた時にその興奮はフラストレーションになりました。本当にむずかしかったです。しかし、他の参加者も同じように頑張っ習得しようと努力している事に気が付いたら、フラストレーションは消えてしまいました。私達は最後まで励まし合い、決してあきらめませんでした。その頑張りには賞賛すべきものだと思います。

その後、サーターアンダギー作りをしました。私は料理をする事とサーターアンダギーを食べるのが好きなので、サーターアンダギーの料理学級を楽しみました。作り方は想像以上に簡単で、世界中から参加している新しい友達と一緒に料理をすることができて、いい思い出になりました。私達はアンダギーを星とかハートとかアルファベットのよう形に作ったりしました。そうすることにより、更においしく感じる事ができました。

やんばるの山にトレッキングする前に、タニューホテルで仲間達と浴衣を着て素晴らしい夜をすごし、あまり寝なかったのが大変だと思いました。寝不足もあり、3時間のハイキングはそれ程楽しい事とは思えませんでした。でも、ハイキングをはじめると、景色はとても美しかったです。自分が疲れていた事を忘れませんでした。比地大滝で友達と写真をとり、水で遊んだりして、とてもいい体験をしました。比地大滝の美しさは印象的でした。ハワイでは普段は自然環境について意識する事がなかったので、やんばるの美しさを実感する事で、自然について、より敬意を払うになりました。

五日目はツアーで一番忙しくて、一番大変な日だったと思います。美ら海水族館と今帰仁城跡と国際通りに行きました。この場所で沖縄の過去と現在についてたくさん学ぶ事ができたので、とても良かったです。水族館でいろいろな海の生き物とイルカのショーが見られたので、とても楽しかったです。今帰仁城跡は印象的な場所でした。昔から保持された建造物はとても

古い様相でしたが、それらはまだとても大きな存在感を示していました。国際通りではタニユーホテルと一緒に楽しんだ高校生がが僕をしてくれたので、とても楽しかったです。

次の日はとても忙しかったです。識名園と首里城と玉陵と金城町の石畳に行きました。これらの場所は私を過去に戻してくれて、自分のルーツが良くわかるようになりました。これらの美しく歴史的な沖縄独特の景観を見る事によって、ウチナーンチュは特別だと感じるようになりました。将来、海外のウチナーンチュ達が私と同じように首里城とか識名園とかを見学してほしいと思いました。

次の日、私達は平和祈念資料館を訪れ、とても謙虚な気持ちになりました。第二次世界大戦を実際に体験した人のお話を聞く事と展示品を見る事でとても心を打たれ、私のルーツを感じました。また、戦争を経て現在までに人間がどれくらい進歩したかもわかりました。平和祈念資料館に行く前はそれほど感動はしな思っていました、実際に参加すると奥深さに気付かされ、とてもいい経験ができた一日になりました。そして、前原さんのウチナーンチュについての講義もとても感動しました。情熱的な気持ちで講義をするのはとても影響され、海外のウチナーンチュ達は沖縄の社会にどんな役割があるかと考え始めました。前原さんの講義を聞きながら、たくさんメモしました。前原さんの印象的な講義を聞いた事はとても大切な体験でした。その夜に私は日記をつけました。「となりの庭の芝生は青い」ということわざを思い出しました。その意味で沖縄から離れて海外に住んでいるウチナーンチュが文化的遺産をどうして大切にすることをわけるようになりました。

ツアーのいろいろなことが楽しかったですが、最高の活動はエイサーの踊りでした。エイサーが大好きだったので、一生懸命練習した踊りを実際に演舞した事はとてもいい経験でした。よく間違えましたが、一週間しか練習しなかった、まだ良かったと思っています。ホームステイ先の家族に褒められ、また、みんなで一生懸命エイサーを踊ったことについて誇りに思っています。しかし、みんなとまた会う時はツアーの最後の会議と分かったので、少しさびしくなりました。このツアーはとても大切な体験だったので、みんなは泣きました。ツアーは本当に楽しくて、たくさんいい思い出を作ったので、みんなは普通の生活に戻りたくありませんでした。だから、その時はとても悲しかったです。

その日から二日後、修了証書をもらい、ツアーの最後の思い出を作りました。皆さんのスピーチを聞いた事と修了証書をもらった事はうれしかったが、もうツアーの終わりだったので、少し悲しかったです。

「楽しい事もいつかは必ず終わる」と思ったら、悲

しくなりました。他の参加者の顔を見ると、喜んでいようだったので、ビックリしました。皆がジュニアスタディーツアーが終わってしまうという事を考えずに、最後まで楽しくすごしていました。出会った友達と別れても、連絡できるので修了式が最後の別れだと思わなかったです。でも、修了証書をもらい、ツアーのビデオを見たら、大切な友達と別れなければならないと気付き、また、悲しくなりました。その夜「第二の故郷である沖縄から帰国して、新しい友達との別れは悲しくない事だ。これからは皆と連絡できるから安心！パーティーは最高でした！」と日記に書きました。ジュニアスタディーツアーは皆にとっても大冒険となつて、大切な学習でした。このパーティーはツアー期間中でみんなが得た経験の素晴らしい締めくくりとなりました。

ジュニアスタディーツアーは深い印象を与えました。参加出来た事は自分のルーツに触れるきっかけとなり、この体験が、いろいろな面で勉強になりました。このツアーを通じて、ハワイのウチナーンチュ社会にもっと関わりたいという気持ちが芽生え、また、ウチナーンチュの人々は自分のアイデンティティに対して誇りを持って欲しいと強く思うようになりましたので、このツアーは成功だったと思います。2週間という短いツアー期間を終え、ハワイに帰ってきたのですが、既に学校の「ジャポキ」という日本沖縄クラブを通してハワイの沖縄祭りでボランティアをする事を計画しています。このクラブに参加出来る事を誇りに思い、ウチナーンチュの社会に影響を与えられるように、クラブのメンバーとしてもっとがんばりたいと思っています。ツアーに参加した事により私が計画している他の目標は、エイサーをする事です。沖縄でエイサーを習った事はとても楽しかった、今後も習い続けたいと思っています。私の曾お婆さんの「はるこ」はとてもすてきな琉球舞踊の踊り手であり先生でしたので、このツアーの前に琉球舞踊を習いたかったのですが、エイサーは琉球舞踊より好きなので、今はエイサーを習いたいです。もしかしたら、将来また沖縄でエイサーを実行出来ると思っています。

しかし、私の主な目標は、再度ツアーに参加する事です。シャペロンをしている、海外のウチナーンチュ達が自分のルーツに触れる手助けができればと思っています。

ジュニアスタディーツアーは有意義なイベントだと思、今後、このツアーが成功するようにお手伝いがしたいです。ツアーの元参加者の友達も同じ気持ちを持っており、2名で力を合わせてツアーのために一生懸命頑張りたいと思います。

このような機会が与えられた事に、本当に感謝しています。ツアーは私を成長させ、将来、未知の世界にも挑戦できるような人間にしてくれました。このプログラ

ムに対する気持ちを説明するには言葉が足りませんが、ツアーは今までの人生の中で一番良い経験となりました。

Junior Study Tour

This summer I was given the honor of being a participant in the Junior Study Tour, a pre-event for this year's Worldwide Uchinanchu Festival. I am very proud to have been the single representative from Hawaii not only because the tour was a great experience, but because I believe that the tour's success will further the world's interest in Okinawan culture. Due to the excellent group of participants that were chosen for this tour, I know that Uchinanchu youth around the world will begin to honor and treasure their heritage because of the stories we Junior Study Tour participants will tell them.

But before I tell my friends, family and anyone interested in my stories of the Junior Study Tour, I would like to tell them to you, the people who made everything possible. For you are the most important factors in this tour. Without you, I wouldn't be able to reflect on these great experiences.

Ever since I was told that I would be participating in the Junior Study Tour I couldn't wait until July 29th, 2006. I had high expectations in mind since it would be a pre-event for this year's Worldwide Uchinanchu Festival, an event that I had heard a lot about. When I arrived at City Court for the first time, I was not disappointed. The first meeting, the welcome party and the participants impressed me. Seeing the informational pamphlets for the places we would be going to heightened my anticipation. I enjoyed hearing everyone introduce themselves because you could hear the tone of excitement in their voices.

The welcome party was a lot of fun. I'm usually not one for doing weird dances and playing games but when everyone encouraged me to participate with such enthusiasm it made me really want to enjoy them. The parts that I enjoyed the most were watching all of the performances by the high school students and dancing up on the stage with my new friends from all around the world. I love to dance and being able to have fun in that way on the first day of the tour set a good tone for the rest of the tour.

My grandmother had told me about the beauty of Tokashiki Island and I had read about it as well so the second day of the tour was one of the days that I was really looking forward to. I was a little unsure about the boat ride at first, but it didn't turn out to be

that bad. It was smooth and the ocean and the many islands that we passed were just beautiful to look at. Even though I'm from Hawaii, I usually don't go to the beach but Tokashiki's beach was so beautiful and the water felt so good that I spent nearly the entire day in the water swimming, kayaking and snorkeling. At Tokashiki Island I really bonded with my new friends at the beach and at the youth retreat for which I am really grateful.

The next day, after meeting the governor of Okinawa we ventured off to Murasaki Mura in Yomitan which was also full of great experiences. I got very excited because I knew that I had signed up for sanshin, something that I had always wanted to learn how to play. But when we actually started to learn the song, my excitement turned into frustration. It was much harder to play than I had expected. But that frustration melted away as I noticed that everyone else was having a hard time. We encouraged each other until the end and we all never gave up which I thought was admirable.

When we went to make Sata Andagi after that, I was really excited because I love to cook and I love to eat Sata Andagi! The recipe was easier than I had expected and it was a lot of fun cooking with the kids from around the world. We all managed to re-invent the shape of our andagi as well by making star, heart and alphabet shaped andagi. I think that the shapes made them taste better as well!

After spending an awesome night at the Tanew Hotel in Nago hanging with friends while wearing our yukatas, trekking in up in the mountains of Yanbaru to the Great Hiji Falls seemed like it would be an impossible feat. Sleep deprivation was beginning to kick in and a three hour hike didn't sound like much fun. But once we started the hike, I didn't even think about how tired I was. All I could think about was how beautiful the scenery was. I really enjoyed the waterfall because we all had fun taking pictures with our friends and playing in the water. Seeing the beauty of Yanbaru made me gain more respect for the natural environment which I don't get to see as much in Hawaii.

Day five was probably the busiest, most tiring day of the entire tour. We visited the Churaumi Aquarium, the Gusuku castles and finally Kokusai Street in Naha. We learned so much about Okinawa's past and present at these sites which I really enjoyed. The aquarium was a lot of fun because we were able to watch a dolphin show and see a lot of great marine life. The Gusuku castles were really a sight to see. The structures that

still remain are very ancient looking but they still have a great presence that I found to be truly extraordinary. Kokusai street was a lot of fun too because our tour guides were the high school students that we had a lot of fun with at the Tanew hotel. I enjoyed hearing them explain to us about the culture of the bustling microcosm of Kokusai street.

The next day was much like the previous day in that it was very hectic. We visited Shikinaen, Shuri castle, Tamadun and the stone street in Kanagusuku. These sites helped me to better connect with my roots by allowing me to connect with the past. Seeing the unique Okinawan culture in such beautiful historic sites such as these made me see why being Uchinanchu is so special. I would love for other people to see these gorgeous sites in hopes that they too will uncover what I uncovered.

The next day was a very humbling day for me since we visited the Peace Memorial Museum. Hearing someone's first hand experience of the war and seeing the exhibits was very moving and it really made me think about where we came from and how far we've gone since that point in history. I didn't think that I would be as moved as I was but I'm glad that I was to that extent because it awakened something inside me that has opened my eyes to the world.

Another part of the tour that had the same effect on me was the lecture that we got on being Uchinanchu by Mr. Maehara. Hearing him talk about the subject with such passion was very influential and it really made me question the roles that we overseas Uchinanchu play in the Okinawan community. I took a lot of notes during this lecture and I was honored to have been able to hear such a wonderful lecture by such a passionate man. That night I wrote a lot in my journal about my feelings about why overseas Okinawans treasure their heritage so much. I wrote: "I think that it is because people treasure something more if they've been deprived of it. It is human nature to want something you don't have and since Okinawan immigrants don't have Okinawa at their fingertips, they treasure it more."

Even though I enjoyed all parts of the Junior Study Tour, the Eisa performance in Naha was the best. I really enjoyed learning Eisa so being able to perform what we worked so hard on was a great experience. We all made a lot of mistakes, but I think that it was still very good for just a weeks worth of practice. My family was proud of me and I was proud of everyone else since they performed with their utmost effort.

However, it was all very bittersweet since the next time that we would all meet again would be at the sayonara party. I was touched by the fact the people were crying after our performance because that showed me that they thought our time at the Junior Study Tour was special. We all truly enjoyed being there and it was really sad that we were all going to be returning back to our normal lives soon. Seeing everyone smiling through their tears of sadness is something that I will always remember.

Two days after that, we received our certificates of completion and we created the last of our Junior Study Tour memories. Hearing everyone give their speech in Japanese and seeing everyone get their certificates made me feel sad because the end was coming and there was nothing any of us could do about it. "All good things have to come to an end at some point," I kept on telling myself. The surprising thing though was the fact that it seemed so joyous. No one was focusing in on the fact that after that day there would be no more Junior Study Tour 2006. We all just focused on making the best of our time there which was great. It also didn't really feel like good bye because everyone really seemed as if they would make that extra effort to keep in touch. But seeing the video of the tour and getting our certificates reminded us that this was nearly the end and we would all be going our separate ways soon. This made me a little sad because we had all become such great friends. That night I wrote in my journal: "Our sayonara party was really awesome all the way to the end because even though it was good bye, nobody felt the sadness of departing from what many came to think of as their second home. This party was instead a celebration of our growth and the journey that it took us on which was a great way to end the tour on a happy positive note!"

The Junior Study Tour has had a profound effect on me. Participating in this tour has truly awakened the Uchinanchu soul within me and I have truly matured because of our experiences. I really do believe that this tour was a success because I feel the need to be more involved with the Uchinanchu community and I really feel passionate about trying to get people to be proud of being Uchinanchu. Even though I've only been home for two weeks, I have already signed up to volunteer at our local Okinawan festival this September through my school's Japanese Okinawan club called JapOki. I'm very proud to be a member of this club and I want to become more active within it so we can further our influence on our community here in

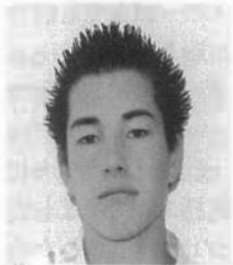
Hawaii.

Another thing that I am planning on doing now because of my Junior Study Tour experience is Eisa. I really enjoyed learning Eisa in Okinawa so I want to continue to learn it. Prior to the tour I wanted to learn traditional Okinawan dance since my great-grandmother was a brilliant dancer and teacher. But after the first few Eisa practices I decided that Eisa would be my new extra-curricular activity. Maybe one day in the future I'll be able to perform Eisa again in Okinawa.

But the main goal that I have is to return to the Junior Study Tour. I would love to come back as a chaperone so I can help others to find their roots as I did. I believe in the success of this tour and I would love to be one of the people to help the future Junior Study Tours to succeed. One of my friends from the tour shares this same goal and we will work our hardest to be become beneficial aspects of this tour.

I am so grateful to have been given this opportunity because it has truly changed my life for the better. It has turned me into an individual that strives to go beyond the horizon into the unknown. Words truly cannot express my gratitude towards the program. The Junior Study Tour is the best thing to have ever happen to me in my life thus far.





ダニエル マコト バンバード

DANIEL MAKOTO BOMBARD

17歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

北米沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー

2006ジュニアスタディーツアーにおける経験は、私の今までの人生の中で一番素晴らしい経験でした。それはすごく楽しいものでした。また、世界中からの特別な人々に出会いました。それに沖縄の歴史と文化について多くの知識を得ました。それに沖縄が日本だけでなく、世界の中でも重要な所であることが解りました。2006ジュニアスタディーツアーは、私の人生を本当により良いものに変えました。

第一日目に私たちはシティーコートホテルに集まりました。私は大勢の人たちがこのプログラムに参加しているのにびっくりし、感心させられました。その日私たちは一晩中ずっとお互いを知るための活動をしなければなりません。私は内気な性格なので、その活動をこなすのは困難でした。でも私はその活動をしている内に自分が知らない人に話すという手元の課題をちっとも怖がって無かったのを発見しただけでなく、自分が話している人のことをもっと知ろうとしていたことに気づきました。私はその日が私の人の見方と、全然知らない人に対する自分の接し方が変わった日だと信じます。

第二日目に私たちは皆で渡嘉敷島に行きました。私はその島の名前をこれまで一度も聞いたことがありませんでした。私たちはビーチでシュノーケリングやカヤックなどの活動をするようになっていたので、私は海がどういうふうになっているのか、とても興味がありました。私はシュノーケリングをした時に海がどんな風に見えたかで感激しました。珊瑚礁は美しかったし、また魚たちは皆独特でした。その日私は美しい海に囲まれた渡嘉敷島を本当に満喫し、感謝しました。

第三日目に私たちは沖縄の知事に面会しました。私は旅行中にそのような名声のある方に会えて光栄でした。私たちはわが国の旗の前に立つことによってわが国の代表であるという事実を認識しました。その日から私たちは最初のカルチャースタディー活動をしました。私は初めて空手を学ぶチャンスを得ました。空手はとても楽しかったが、また難しいとも思いました。カルチャースタディー活動が終わったあと、みんなでサターアンダギーを作りました。アンダギーは、とてもお

いしくて作るのも面白かったです。本当にその日は楽しかったです。

次の日に私たちは比地大滝にハイキングに行きました。その日は私たちの自然学習の日でした。私は不思議な形をした昆虫の蜘蛛やヤモリを見ました。私たちのグループガイドがカメレオンを眠らせる方法を教えてくれました。ガイドの彼は素晴らしい仕事ぶりで誰もが自国では見たことのないものを見せてくれました。その日の夜、私たちは美味しいバーベキューを食べました。バーベキューの後でキャンプファイヤーとゲームをしました。ゲームを見るのはとても楽しかったので、私はついソーダー気飲み競技に参加しました。私が負けたにもかかわらず、私のグループは2番になりました。グループメンバーと接した本当に楽しい夜でした。

第五日目は2回目の自然学習の日でした。皆で美ら海水族館に行きました。私はきれいな海洋のほ乳類やすごいイルカのショーも見ました。水族館が終わると城（ぐすく）へ行きました。私はどのようにして男性が城主女性の護身者であったかを学びました。男性はお城に入るのを禁じられていたこと、そして男性たちがどのようにお城の周りにいて城主の女性を護衛したかを聞いて面白かったです。またアメリカではあまり行われませんが、女性たちが常に自然の神様にお祈りをしていたことを面白いと思いました。お城の見学の後、私たちは皆で国際通りに行きました。そしてこの道がどんなに沖縄で大切なものであるかを学習しました。

第六日目は歴史学習の日でした。私たちは首里城に行くチャンスを与えられました。私はお城があまり大きいのでびっくりしました。お城のツアーの最中、ガイドが戦争ゆえに首里城がどのようにして何度も立て直されたか、そしてその都度彼らが新しい工芸品を発見していることを話してくれました。首里城見学のあと、参加者は二度目のカルチャースタディーをするチャンスを与えられました。私には琉球漆器を作るチャンスが与えられましたが、それは楽しい活動でした。私が作った琉球漆器を自分の家に持ち帰ってよいと解った時にはびっくりしました。

第七日目は平和学習の日でした。私たちは平和祈念

公園に行き、沖縄戦史について習いました。私たちはビデオを見た後で、子供の時苦しい試練を乗り越えた戦争体験者のスピーチを聞きました。その人の子供の時の経験談を聞いて心を打たれ、感傷的になりました。平和祈念公園を去ってから平和公園に木を植えに行きました。次に訪問した識名園で、すごいことに亀を見る事が出来ました。また識名園のど真ん中に古い家も見つけました。その後、泡盛工場に行く機会を得ました。泡盛(モロミ酢)は強い味がしました。泡盛がどのようにして作られるかを見た時は驚きました。泡盛の味を作り出すのに3年、全部のプロセスに3年半もかかるということを知ることができよかったです。もう一つ面白いことは、彼らが100年物の泡盛を作ろうとしていることでした。平和祈念公園に行った日から、私はより多くの沖縄戦の歴史に関する知識を得ることができました。そして沖縄の人々が過去にどのくらいの犠牲をしいられたか、またそれが沖縄の人々にどのような意味をなすかということも学びました。

第八日目は歴史・社会学習の日でした。私は歴史・社会学習を通して、ウチナンチュとはどういうものであるかをたくさん学びました。私たちは、皆心が温かく、そして気持ちの上では移民だと思っています。なぜなら私たちは自分のことを日本人とは言わずにウチナンチュと言うからです。我々は日常生活を「沖縄の文化」や「だだの日本人ではなくウチナンチュであることを誇りに思うこと」によって豊かにすべきでしょう。この八日間は母を本当にありがたく思う気持ちにさせてくれました。そしてまた私が半分ウチナンチュであることをすごく誇りに思う気持ちにもさせてくれました。

ツアー期間中は私たちは、毎晩みんなで沖縄民族舞踊であるエイサーの練習に参加しました。私はエイサーを一度も見ることが無かったのでとても難しかったが、一生懸命やるべきものだと思います。なぜならエイサーは、沖縄が発祥の地だからです。また、エイサーはとても意味があるもので、言葉では説明できないほど沖縄の人々にとってはとても大事なものだと思います。初めの何日かの晩はぜんぜんステップが解りませんでした。しかし、毎日練習をしているうちに少しずつ解ってきました。四日目には全力でエイサーに取り組むことが出来るようになりました。私はたとえエイサーの練習が終わっても、誰かと一緒にエイサーステップの練習をしている自分を発見しました。

第九日目は私たちがエイサー練習で得た成果を披露する日でした。私たちは平和通りと国際通りを練り歩きました。私たちは一生懸命この日のために練習をしたので、皆と衣装を着てエイサーを披露できたのがとても誇らしく思えました。エイサーを披露した後、ほとんど皆泣きそうになりました。なぜなら皆が一生懸命その日の為にすごく練習をしたからでした。私は

エイサー練習が大好きでした。エイサーはとても個人的で、パーランクーを聞いたら血が騒ぎました。もっと時間があればもっとエイサーを習えたのに残念でした。

最後の日は送別会をしました。その日はあまりに多くの感情が入り混じり、複雑な気持ちになりました。私は旅行のプログラムが終わったのは嬉しかったのですが、もう二度と皆に会えないと思うと悲しかったです。でも一つだけはっきりとしたことは自分が多いに感動させられたことでした。私はツアーが終わったという修了証明書を頂いた時、とても嬉しかったです。私は本当に自分の知識のかぎり世界中から来た人々とコミュニケーションし、自分の能力のベストを尽くして沖縄の文化について学びました。

本当に今度のツアーではたくさんのことを得ました。そして言葉では言い尽くせないほど自分の人生が変わられました。私はいつか日本に住むためにこれから日本語を勉強します。私はとても日本の大学へ行きたいです。私はとても忘れられない経験をしました。世界中から来た幾人かの本当に良い人々に出会いました。普段なら話もしない人々と知り合えて本当に心から嬉しいです。私は今まで以上にもっと自分の家族と沖縄の歴史に感謝するようになりました。私は沖縄の文化とアメリカの文化が全然異なる故に沖縄の文化をとっても愛しています。私を2006年ジュニアスタディーツアーに参加させてくれた人々皆にいくら感謝しても足りません。ツアーに関係したスタッフや参加者がもう居なくて寂しいです。だからいつか皆に会えるよう祈っています。今回のツアーは私の人生を変えるツアーでした。自分がツアー参加者に選ばれたことはラッキーなことでした。本当に忘れがたい経験をさせてくださってありがとうございました。

Junior Study Tour

My experience through the Junior Study Tour 2006 was one of the greatest experiences I have had so far in my life. I had so much fun and met a lot of unique people from throughout the world. I gained a lot of knowledge about Okinawa's history and culture. Also, I understand the importance of Okinawa, not only in Japan, but throughout the world. The Junior Study Tour 2006 really changed my life for the better.

The first day we all gathered in the City Court Hotel. I was amazed of all the people that were going to be involved in the program. That day throughout the night, we had to do activities to get to know one another. I am a very shy person so these activities to me would be very difficult to accomplish. But as I was doing these activities, I found myself not fearing

the task at hand to talk to strangers but I found myself really trying to get to know the person I was talking to. I believe this day was the day that I changed my ways of thinking how people are and how I act towards complete strangers that I don't even know.

The second day, we all went to Tokashiki Island. I never had heard of the Island before, so I was very interested to see what the ocean would look like considering the fact that we were going to do beach activities such as snorkeling and kayaking. I was so amazed of how the ocean looked when I was snorkeling. The coral was beautiful and the fishes were all unique. That day I really appreciated the beautiful ocean that surrounds Tokashiki Island.

On the third day, we all met the Governor of Okinawa. It felt great to meet someone of that stature during the tour. It also was good due to the fact that we all got to represent our countries by standing in front of our countries flag. Later that day we had our first Culture study activities. I had the chance to try karate for the first time. It was a lot of fun but it seemed very difficult to learn. After that was finished, everyone got to make Andagi (Okinawan donuts). They were very delicious and fun to make. I really enjoyed this day.

The next day, we all went to take a hike in the Great Hiji Falls. This day was our nature study. I saw some awkward looking insects such as spiders and lizards. Our group guider even showed me how to put a chameleon to sleep. He did a wonderful job of showing everyone things that no one would usually see back in our home countries. Later that night, we had a B.B.Q. which the food was great. Then after the B.B.Q., we had a campfire with games. The games were so fun to watch and I even participated in the soda chugging competition. Even though I lost and our group took second place, I had such a great night bonding with my group members.

On the fifth day, it was our second part to our nature study. Everyone went to the Chraumi Aquarium. I saw some beautiful ocean mammals and saw a cool dolphin show as well. When we all got through the Aquarium, we went to the Gusuku Castle and learned about how the men were the protectors of the women who stayed in the Castle. It was interesting to hear how the men were not allowed in the Castle but had to protect the women by guarding the outside of the Castle. It was also interesting to learn how women always prayed to the nature spirits, which is something that not many people do in America. After we finished being at the Castle, we all went to Kosusai Street and learned about

the importance of that street in Okinawa.

On the sixth day, it was our history study day. We had the opportunity to go to the famous Shuri-Jo Castle. I was amazed of how big the Castle was. During the tour of the Castle, they explained how it was rebuilt several times since the war and the fact that they are always finding new artifacts to the Castle site. After we left Shuri-Jo Castle, everyone had a chance to do the second part of the culture study. I had the chance to make Ryukyu Lacquerware. It was fun to make. I was shocked when I finished because they let me take my plate home with me.

The seventh day was our peace study day. We went to the Peace Memorial Park and learned about the history of the battle of Okinawa. We had a speaker after the video who told us his experience as a child when he lived through the ordeal. It was very touching and emotional to hear what he went through as a child. When we left the Peace Memorial Park, we all went to the Planting Trees of Peace Park. It was really cool because I saw some turtles and an old house in the middle of the Park. After that, we had the opportunity to go to the Awamori factory. The Awamori had a strange taste to me. But it was awesome to see how they have to process the Awamori. It was also different to learn that it takes over three years to make the Awamori have its taste, and in all it takes about three and a half years to complete the process to making Awamori. One more interesting thing is that they are going to try and make one hundred year old Awamori sake. From this day, I gained more knowledge of the history of Okinawa's battles and how much the sacrifice that people went through in the past means to the Okinawan people.

The eighth day was our history and social study day. I learned a lot of what it means to be Okinawan. We are all warm hearted people and feel like immigrants because we don't want to call ourselves Japanese but Okinawan. We are supposed to enrich our lives with our culture and just to be proud to say that we are Okinawan and not just Japanese. The eighth day really made me appreciate my mom more than ever. It also made me proud of myself that I am half Okinawan.

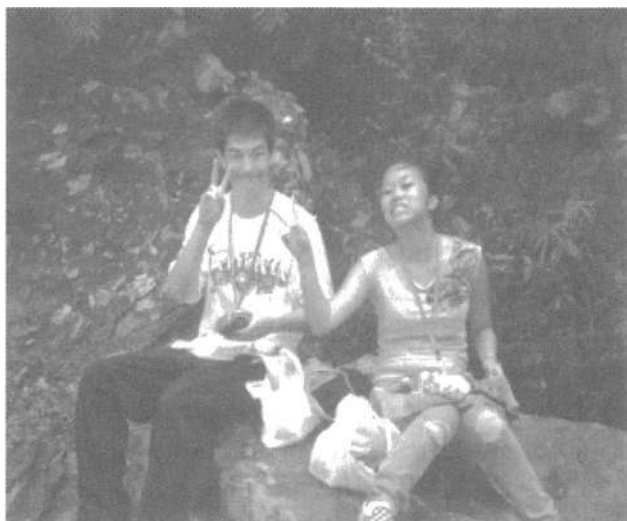
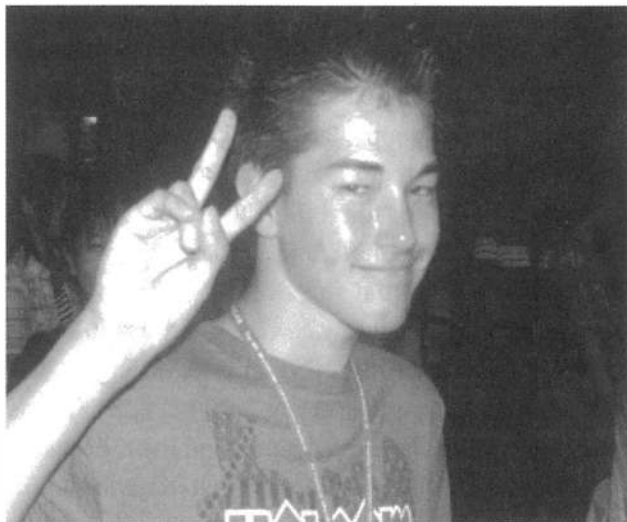
Every night throughout the tour, everyone participated in learning an Okinawa cultural dance called Eisa. Eisa was very difficult to learn at first because it was something I have never seen before. But I knew I had to put everything I had into learning it because Eisa was originated in Okinawa. It is something that you can't explain the importance of because it means so

much to the Okinawan people. The first few nights, I really found myself not getting the steps right. But after every night of practice, I found myself getting better and better. By the fourth night, I really put everything into learning Eisa. Even during the night when Eisa practice was over, I found myself practicing with someone to get the dance right.

The ninth day was the day. It was time to show our families and everyone else what we learned from all the Eisa practices. We performed in Heiwa Dori and also on the Kokusai Street. I felt so proud standing and performing with everyone else in our outfits because everyone tried so hard to learn the two dances that we had to perform. After the performances were finished, almost everyone was crying because we put everything into learning Eisa. I loved learning Eisa. It is so unique and it gets you pumped up when you hear the sounds of the parakun. I wish we had more time on the tour so we could have learned more dances.

On the final day, we had a farewell party. I had so many emotions run through me that day. I was happy to complete the tour program but I also was very sad because I knew I would not see everyone either ever again or in a long time. But one feeling I knew I had was excitement. I was so happy to get my certificate of completion from the tour. I truthfully tried my best to use my knowledge to learn about Okinawan culture and my ability to communicate with people from all over the world.

I gained so much from this tour. Words can't even explain how much this tour has changed my life. I am going to study Japanese because I plan on moving to Okinawa one day. And I really want to try to go to college over there. The experience I had was unforgettable. I met some really good people from all over the world. People I usually would not even try to talk to, I really got to know and I am so glad that I met those people. I appreciate my family and the history of Okinawa more than ever. The culture of Okinawa is so different from the United States and I believe that is why I really love Okinawa. I can't thank everyone enough who got me involved in the Junior Study Tour 2006. I miss everyone who was involved from the staff to the participants. And I hope to meet everyone one day. This tour is a life changer and I can't believe I was lucky enough to be selected to be involved in the tour. Thank you so much for the unforgettable experience.





又吉 まりこ リン

MARIKO LYN MATAYOSHI

16歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

北カリフォルニア沖縄県人会



2006年度ジュニアスタディーツアー

2006年度のウチナンチュージュニアスタディー参加する前は、私はこのプログラムをステレオタイプのものだと想像していました。というのは、お互い同じ言葉を使わない色々な国の子供たちが一緒に行動し生活することは、私は決して馴染まないだろうと考えておりました。私は又、このプログラムはすべて無料で県庁がスポンサーであると聞いておりましたので、現地のスタッフはきっと厳しく、すべて規則で縛られる窮屈な生活を強いられるんじゃないかと考えておりました。そして、食事や宿泊施設もあまり期待できないだろうし、きっと口に合わない粗末な食事を与えられて、そして、設備の良くないホテルか宿舎で寝泊りすることになるだろう。誰も知らない所で、私の家族もいないし、きっと寂しい思いをするのだろうと考えておりました。

ところが、8月9日の沖縄を離れる前に、私のこのステレオタイプ的な幻想はすべて払拭されました。このジュニアスタディーでの経験は私に多くの事を教えてくれました。私の17年間の人生の中で始めて自分がどういう文化的なルーツを持った人間なのか理解できました。私はこのプログラムを通じて知り合えた多くの人々や経験を一生忘れません。

私はこのプログラムの一番重要な点は、自分の文化を理解させたことだと強く信じております。特にエイサー教室は毎回、回を重ねるごとに何か期待させるものがありました。エイサーは好きですが、エイサーを踊るたびに何か感じるものがありました。エイサーは沖縄の文化そのものです。太鼓の音は私の体の隅々まで響き渡りました。エイサーを習って本当に良かったです。このプログラムの中で、私にとっては最高の出来事でした。

私たちはその他に、沖縄の歴史や史跡、料理、そして芸能などを学びました。その中で、沖縄平和祈念資料館はとてもしョッキングでした。戦争体験者がいかにして沖縄戦を生き存えたのか、生存者の生の証言は、私たちの心を強く打ちました。

もう、一つのプログラムである国際通りの散策は楽しいひと時でした。沖縄の人々の日常生活に触れるこ

とができました。時々沖縄のオーバー達と話すことができ、市場のオーバー達と若い人達が一緒に市場のために一生懸命頑張っているのを見る事ができて良かったです。オーバー達は我々にすごく興味を示し、私たちを引きとめ、「沖縄に対して興味を持ってくれてありがとう」、「自分たちのルーツをしっかりと学んでいきなさい」と言われました。ジュニアスタディーツアーに参加しながら毎日自分の事を少しずつわかるようになりました。

その他に大事な事は、他の国の友人たちと情報を交換することでした。私の乏しい語学力では南米諸国や沖縄の参加者達と、どうしたらお互い理解する事が出来るのか、非常に疑問でした。

しかしながら、この不安はすぐ解決されました。不思議な事に何も問題なくお互いの話が通じ合いました。私はおそらくこのプログラムに参加しているすべての仲間たちと知り合えるようになったと自負しております。

私達は、別れがくる日迄にこんなに親しくなるとは夢にも思いませんでした。お互い本当に強い絆で結ばれました。いつも、夜遅くまで、お互いの国の事や悩み事などを話して、すごく仲良くなりました。このプログラムの最後の別れの時、ふつう、私は人と別れるときには、あまり感情を出さないのでありますが、この時は、涙を抑える事が出来ませんでした。8月9日の那覇飛行場では、親しくなった友人達との別れが、こんなに辛く、私の心を悲しませるとは、想像もしませんでした。私はいつまでも彼らの事を忘れません。いつかきっとまた再会できるだろうと願っています。このジュニアスタディーツアーに参加したことは、言葉では言い尽くせない貴重な体験となりました。そして、楽しい日々を過ごさせてもらいました。

私は何方がこのプログラムを企画したのか知りませんが、このように世界のウチナンチュウの子供達を一同に集め、自分のルーツが何であるかを教え、なおかつ、各々が確立したアイデンティティーを持つ事に目覚めさせる、このプログラムを企画した人にぜひお会いしてお礼を述べたい。このプログラムのお蔭で、私は自分自身が今は沖縄にルーツを持つ事を誇りに思うようになりました。

沖縄の文化がある程度理解できるようになりました。

さらに、このプログラムを通じて知り合えた多くの友人達や経験が私に沖縄人としての自信と誇りを教えてくれました。

Junior Study Tour 2006

Prior to the Uchinanchu Junior Study Tour of 2006, I had my own personal stereotypes of what this experience would be like. I expected it to be awkward, since there were multiple kids coming from different parts of the world. I wasn't sure how we were supposed to communicate with each other if there was no common language between the cultures. I also expected the staff to be very strict, cold, and firm. Since this trip was free, compliments of the government, I was anticipating low quality hotel rooms and food. I had a feeling that I would be uncomfortable with no one I knew available for me to talk to and no parents to take responsibility for me. All my previous stereotypes of the trip vanished when I departed Okinawa on August 9th. Throughout this junior tour, I have learned more about myself and about my culture than I have ever learned in my seventeen years of living. I will never forget this experience and the people that I have met.

It is my strong belief that the most important part of this Tour was just the mere learning of one's culture. The Esai classes at the end of the day were always something to look forward to. I have always loved Esai and I have always felt a certain connection whenever I saw a performance. Esai is the heart and soul of Okinawan culture and I was extremely happy to learn it. In a way, it was my favorite part of the Tour. I also loved seeing the various historical and important parts of Okinawa. I think I felt the most impact when we visited the Pease Museum in Okinawa. I was able to hear one soldier's experience of the Battle of Okinawa and his struggle for survival. It was an intense jolt of reality that reminded me of the hardships that my ancestors must have faced during that difficult time in history. I was also very happy to take a stroll through Kokusaidori to observe daily Okinawan social life. It was a pleasure to see both old and young Okinawan people working together to make the market a successful place. There were various occasions when I would stop and speak to some of the elder Okinawan vendors. They were very curious about the Junior Study Tour. They would express their gratitude for my interest in my culture and give comments about how important it was to learn about where you are from.

It seems as if everyday that I was taking a part of the Junior Study Tour, I learned more and more about myself.

Communicating with the other kids from the various countries was also a very important aspect of the tour. I was very apprehensive about how I would speak to the ones from Brazil or even the Japanese kids since my language skills were very limited. However, we managed to establish a stable way to communicate and it worked very well. I can say with confidence that I have gotten to know every person that participated in the tour. I did not realize that I would become so close with the people that were apart of the program, but we really did form a strong bond with each other. There would be nights where we would stay up talking about the difference of our cultures, and would be very intimate. By the end of the tour, I didn't want to say goodbye to them. I have never cried while saying goodbye to someone, but when I departed Okinawa on August 9th, I felt such heartache for having to leave the people that I had become so close with. I miss them with all my heart and I truly hope to meet all of them again one day.

Words will never begin to express how much I enjoyed my time spent in Okinawa with the Junior Study Program. I would like to meet whoever planned this event and thank them personally for coming up with such an enjoyable experience that helps the youth of Okinawa discover who they really are and where they come from. Never before have I been so proud to my culture and known what that really stands for. After the tour and after meeting all the people that helped me discover myself, I can finally say with complete confidence that I am Okinawan.





ウェットセル ミッシェル ケイコ

MICHELLE KEIKO WHETSELL

17歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

ワシントン州沖縄県人クラブ



ジュニアスタディーツアー 2006

空港で家族や友達の歓迎を受けた時、同時に多くのテレビ局のリポーターの人達も来ていたのでそれにはびっくりしました。私は、興奮して心臓がドキドキしていました。

ホームステイ宅は、おばあちゃんの家だったのでみんなと時間が過ごせて嬉しかったです。皆であちこちのビーチに行ったり、また、以前自分の住んでいた家を見る事も出来ました。このツアーの間にこうして、親戚や友達と一緒に過ごせた事は私にとって素晴らしい贈り物もらったようでした。

1日目：シティコートホテルで降ろされた時、少し緊張していました。知っている人がいなかったため動揺していました。そして、ジュニアスタディーツアーの始まりです。私達は指定された席に着きAからFまでのグループに分かれ、一人ずつ自己紹介をして、その人がどこから来たのかを学びました。それが終わると、沖縄県内の中高生たちがいろんなゲームを教えてくれて、そのうちお互い仲良くなりました。ゲームは楽しかったけどそれと同時にいろんな国の言葉を覚えるのは大変でした。歓迎会の食事中、誰かが私にあと五分であなたの出番ですよって言ってきました。何か得意な事をさせられるとは知っていたけれど、それはツアーの終わり頃の事だと思っていたので身震いしていました。でも、すぐ着替えて準備しエイサー太鼓をしました。第一日目から、いろんな気持ちが混ざり合った経験をしました。それからたくさんの友達が出来て、ホテルでの部屋も沖縄の女の子とブラジルから来た女の子と私での共同生活でした。

2日目：朝、3日分の洋服をカバンに詰めて、渡嘉敷島に向かいました。そこで、私はシュノーケリングを体験しました。今まで知らなかった沖縄の海の生物達を楽しみながら学ぶ事が出来ました。それは、まるで私の兄の持っている水槽を見ている様だけど、魚の大きさが10倍の大きさでした。その後、オープンカヤック、カヌーレース、スーパーフロートの中から体験したいことをしました。その中から私は、オープンカヤックを選びました。それも私にとっては初体験だったからです。この3つのイベントはどれに乗っても底が透

明なので海中の魚達を観察しながら楽しめました。自由時間には、水泳したり、ビーチサッカーやビーチバレーボールをしました。夜、宿泊先の青年の家で1回目のエイサーの講習がありました。練習は、体的にはきつかったけど誰一人として寝ぼけるどころか、みんなその時間を使い交流を深めました。今日思った事は、英語を話せない参加者とのコミュニケーションは大変だと思いました。

3日目：午前中に本島に戻りそれから沖縄県庁に行き、知事の稲嶺 恵一氏に会うことが出来ました。そこで歓迎セレモニーと記念写真を写しました。その後、読谷村にあるむら咲むらに行き、沖縄の伝統芸能の一つである琉球舞踊を学びました。一つ一つの動きをきれいに見せるのはとても難しかったです。それから、みんなグループに分かれてサーターアンダーギーを作りました。それは結構簡単に出来て、美味しかったです。その後、今日の宿泊先である名護に向かいました。ホテルで夕食を済ませた後、2回目のエイサーの講習がありました。この日、5人で一緒の部屋に寝ました。このホテルには、公衆の入浴場がありました。沢山の人が行ったけど、私は心の準備が出来ていなかったので行きませんでした。公衆入浴場も初めて学んだ日本の習慣でした。次回は入ってみたいと思います。

4日目：この日は朝早く起き、朝食後すぐ出かけました。向った所は、比地大滝です。トレッキングをしながら、沖縄の山の自然学習をしました。トカゲや蟬などいろんな生き物を見つけました。川の中を歩いたりもしました。いつも熱い太陽の下なので、この日の自然学習は涼しくリラックス出来ました。ホテルに戻ると、地元の高校生達が交流のために来てくれました。そしてみんなでバーベキューをしたり、キャンプファイヤー、ゲームをして楽しい時間を過ごしました。その日、ツアー参加者の二人が誕生日だったのでみんなでお祝いしました。この日の出来事は、ツアー中の思い出の中でも、特に良い思い出になりました。夜は、エイサーの講習を受けました。

5日目：今日は、2回目の海の自然学習の日で、海洋博記念公園の中にある美ら海水族館を見学に行きました。そこで、ナマコやヒトデを手にとって見ることが出来ました。その後、自由な時間があり、水族館

の中を探検できました。それから、みんなでイルカのショーを見て楽しみました。この日私は、この美ら海水族館が世界一大きな水族館だという事を知りました。次に、向った所は今帰仁城跡。そこの歴史を学ぶつもりだったのに、突然の雨のため移動したのです。その後、社会学習のため、那覇市の国際通りや平和通りに行きました。そこでも、地元の学生達と一緒にになり、沖縄の食生活について学びました。市場で売られている豚の頭にはビックリしました。そして、今日も夜はエイサーの練習をしました。

6日目：今日の学習課題は、歴史と文化です。午前中は沖縄の歴史を学ぶため、首里城や識名園に行きました。首里城は今までに何度も建て直し今の素晴らしい城になったと知りました。城内のどこを見ても色鮮やかでまるで映画の1シーンの様でした。首里城に来て思ったことは、琉球王国時代のすごさです。沖縄の歴史を学ぶたび、私たちの先祖の偉大さに、ビックリします。識名園もまた本当に素晴らしい所でした。二ヶ所とも那覇市内にあるのに、中に入るとまるで別の世界にいる感じでした。午後は、文化学習のため、テンプス館ホールと那覇市伝統工芸館に行きました。そこで、紅型、首里織、琉球漆器の3つのグループに分かれ、それぞれ工芸体験をしました。わたしは、琉球漆器に挑戦しました。デザインを器に貼り付けるのに少し時間がかかったけれど、自分のアイデアを入れたりして楽しかったです。夜のエイサーも頑張りました。

7日目：今日は、平和学習のため南部にある平和祈念資料館に行きました。そこでは、戦争を13歳の頃に体験した方の話を聞きました。話を聞きながら、辛くて涙を流している人もいました。戦争が与える傷は今も昔も同じです。本当に戦争はいやなもの。地球上から争いなんて消えてほしいものです。資料館内には沢山の物があり、その一つ一つが戦争のことを語りかけている様でした。資料館を出た後、公園内を回り、沢山の人が飛び降りた崖のそばで、戦争についてそれぞれの思いを語り合いました。その後、平和の礎を見学しました。ツアーの参加者の一人が親戚の名前を見付け、その名前を一生懸命に紙に写していたのが印象に残っています。実は、私のおばあちゃんのお兄さんの名前がそこにあるそうです。次に私達は、沖縄の産業を勉強するため、糸満市にある琉球ガラス村に行きました。そこでは、どのようにガラスのコップなどが作られているかを見学しました。そこには、色鮮やかなガラスの食器や壺、置物が本当に沢山ありました。ガラス村の後、同じ糸満市にある泡盛工場に行きました。そこで、あの有名な泡盛がどうゆう風に見えるのかを見学しました。お酒を瓶に入れるところや、ボトルにラベルを貼ったりするところを見る事も出来ました。今日私は、過去の戦争で辛い思いをした沖縄の人達の事と、現在、沖縄の産業で頑張っている人達

の両方を学ぶ事が出来ました。夜は何時もの様にエイサーの練習をしました。

8日目：今日最初に向った所は、沖縄国際センターです。そこで、歴史・社会学習の講座を受けました。テーマは沖縄の移民で、どのようにウチナンチュが外国に移民していったのかを知りました。そして、世界に広がるウチナンチュの心についての講話を聞きました。その後、みんなでいろんなゲームをしました。そのゲームの一つに聞き取りゲームというのがあり、それは聞いたメッセージを次の人に伝えてものです。そのゲームに沖縄の方言のメッセージを使ったのですが最後まで伝わらなかったです。残念。でも、こうしてゲームを通して沖縄の事を学ぶのもいいです。明日はいよいよエイサーを公演するので、夜の練習にもなんとなく力が入った気がしました。

9日目：朝起きて、荷物の整理をした後ホテルを後にしました。テンプス館で集合した後、そこでエイサーの衣装に着替えて、那覇市の旧盆行事のエイサーに参加して街中をエイサーしながら移動し、最終地点はテンプス館前でした。あちこちで間違ったりもしたけれど、短い間に2曲もエイサーを習得し、みんな頑張ったと思います。私達がエイサーで使った曲は、ミルクムナリと久高マンジュウでした。私達のパフォーマンスが終わり、他のグループの演出を観ている時、みんな泣き出してしまいました。このツアーを通してみんな仲良くなり、その友達との別れが近づいていたからです。この日は、沖縄の旧盆のウンケーの日でした。

11日目：お昼前にテンプス館にてみんな集合しました。そこで、今回のジュニアスタディーツアーの学習成果発表会がありました。海外からの参加者も日本語で自分達が何を学んだのかを語りました。そして、参加者全員、修了証を沖縄県知事の稲嶺 恵一氏から受け取りました。その後私達は、ステージでツアーのスタッフに感謝の思いをこめて歌を歌いました。その時もやっぱり泣き声があちこちで聞こえていました。発表会が終わった後みんなで記念写真を写してから解散しました。

私にとって一番辛かったことは、みんなにさよならを言うことでした。空港のゲートの反対側に行く時間ギリギリまで、みんな泣いていました。私も息がつまり、目からは涙が滝のように流れ出していました。ゲートの反対側に来た時に、もう明日はみんなに会えないのだと思うと悲しかったです。あまり泣きすぎて、もう少しで飛行機に乗り遅れるところでした。今回のジュニアスタディーツアーに参加出来て、こんなに素晴らしい機会を私に与えてくれて、本当にありがとうございます。みんなで過した時間があまりにも楽しかったので、もう少しこのままみんなと一緒にいたいな〜って思いました。私が特に実感したことは、自分の文化や芸術についてもっと学びたいと思ったことです。そ

して、出来れば、沖縄で1年ほど住んでみたいと思います。このツアーで体験した事や出会ったみんなの事は決して忘れてたりしません。それから、こんなに素晴らしいジュニアスタディーツアーという贈り物を私にくれて心から感謝致します。

Junior Study Tour 2006

When I stepped out of the airport to greet my family and friends, I was also greeting many news casts and newspaper reporters. My heart was racing fast from all the excitement.

During the home stay, I was with my grandma. We went to many beaches and I even got to visit my old home. The time stayed with my family was amazing. I think I speak for everyone when I say that it was a great gift that we got to spend time with our family and friends as part of the tour.

Day 1: When I was dropped off at the City Court Hotel, it was a little nerve racking. I didn't know anyone there and was a little lost. Finally, it all began. We took our assigned seats in groups from A-F and began to introduce ourselves one by one, learning about where each person came from. Afterwards, the local high school students showed us how to play mini-games to get to know each other better. It was a lot of fun but very hard at the same time trying to learn the other three different languages. While I was eating dinner, someone came up to me and told me that I would be performing my talent in five minutes. I was so shocked expecting to do it towards the end of the trip, I stood there shaking. I got ready and then performed Eisa Taiko. From day one I experienced many mixed emotions. I also made lots of new friends and shared a room with a Japanese girl and a Brazilian girl.

Day 2: In the morning, we all packed a little bag with three days worth of clothes in it and headed to Tokashiki Island. When we got there we learned how to snorkel. I got to see the marine life in Okinawa which was a lot of fun since I have never experienced this before. It was like looking at my brother's fish tank but the fish were ten times the size. Then we got to pick between kayaking, canoeing, and the super float. I picked kayaking because I have never done it before. All three of the events had a clear bottom so we could look at the marine life a little more while we were all doing our own thing. We were given free time to swim, play soccer, or volleyball. Later that night we went to the youth center where we had our first day of

Eisa practice. It was so exhausting but no one could fall asleep afterwards because we all wanted to spend time getting to know each other. I experienced being with other kids who couldn't speak the same language as me. It was really hard to communicate.

Day 3: On day three we came back to Okinawa's mainland. After we got back we went to Okinawa's Prefecture Building to meet with Governor Keiich Inamine where we had a welcome ceremony and took pictures. Then we headed to Murasakimura where I learned traditional Ryukyuan dances. It was very hard trying to make every move sharp. Then we got into random groups and made Sata Andagi. They were easy to make and very good. Afterwards, we departed for Nago. At the hotel we had dinner then took part in second day of Eisa. We had to share a room with five new people. I like it a lot. And at the hotel we had public bath. I didn't go in it because I was not ready and comfortable but lots of people did. It was something new I learned about the culture and maybe next time I will be comfortable enough to try.

Day 4: We had an early start. We got ready ate and went trekking at Hiji falls. We got to study about many creatures on the hike and even got to cool down by walking in the river. It was relaxing after spending lots of time in the hot weather. When we got back to the Hotel the high school students came to spend time with us B.B.Q. and playing more mini-games around the campfire. We also celebrated two people's birthdays. It was probably one of the best days on the tour.

Day 5: We had our second nature study (sea) at the Churaumi Aquarium. When we got inside one of the first things we got to do was touch some of the marine life. Such as starfish, sea cucumber, and coral. We got to explore the aquarium on our own then all got back together as a group and watched the dolphin show. I learned that the Churaumi Aquarium is the largest aquarium in the world. Next, we left to Nakijin Jyoseki. We learned a little about the history there but we didn't get to spend as much time there as we wanted because it started to rain and we had to leave. Finally, we met back up with the high school students for a tour around the public market place in downtown Naha. When we looking around I saw pig faces and was shocked.

Day 6: We departed from our hotel and went to Shurijo Castle and Shikina-en where we study the history of them. I learned that the castle has been rebuilt several times. I also noticed a lot of bright colors in the castle which made me feel like I was in a movie. It was a

great impact on me to learn about the time during the Ryukyu Kingdom. The more I learned about the history, made me realize how great our aunt sisters were. The Shikina-en is a beautiful and relaxing place to be. Both places are located in Naha City but when you go inside it seems like a totally different world. In the afternoon, we went to the Tenbusu Hall and had our cultural study (craft). There we had bingata, Ryukyu lacquer ware, and shuri ori. I did lacquer ware. It was hard trying to get it to stick to the plate with out messing it up but tons of fun getting to add our own ideas.

Day 7: Today, we went to a peace study at the Peaceful Memorial Museum in southern Okinawa. There was a man that told us a story about when he was 13 and his experience through the war. It was really sad to hear and some kids started crying. The damage that happened from the war back then is still the same today. I wish that there were no wars. Then we got to walk around the museum and look at 32 little exhibits where they each told something different about the war. After we look at those, we went outside and looked around and had a discussion near the "suicide cliff". We went over to Heiwa no ishiji. We also had someone find one of her relative's names and used a pencil and paper to go over it. My grandma's brother's name was in there to but I couldn't find it. Next, we went to the Ryukyu Glass Factory where we got to see them make cups and look around inside at all the different things that they have created. Afterwards, we went to the Awamori Factory in Itoman City where we learned how they make the Awamori and even got to watch them bottling and labeling it.

Day 8: Day 8 we went and learned about the immigration of the Okinawan's and about the Uchinanchu's throughout the world. After we listened for a while, we got to get up and play games. We played a hearing game, a game where we told about our cultures from where were from, and then a game where we got to know about each others nationality. The games were a lot of fun. It didn't even seem like we were learning.

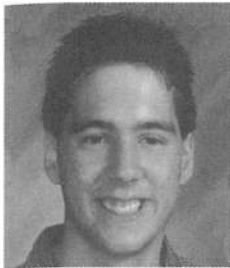
Day 9: Everyone woke up, packed our bags, and departed from the hotel. We had met at the Tenbusu where we got dressed for our last Eisa performance. We marched down Kokusai-dori and then back the Tenbusu where we performed. We messed up here and there but over all it was a great performance for the time we had. Everyone did such a great job for the time we had to learn the two songs. We performed Miruku munari and Kudakamanju. When the performance

was over and we watched other groups go we started crying. It hit everyone that the experience we had on this tour and all our friends was about to be over. Our home stay families came and picked us up for one last night with them.

Day 11: We met at the Tenbusu. Each one of the students from around the world gave their closing speech in Japanese. It was actually quite funny to here us struggling to speak Japanese. We each received our certificate from the governor. Then we all got on stage and gave our thanks to the staff and sang a couple of songs. Some of us started to cry again. When we were done we all took pictures and left once again with our home stay.

Saying our goodbyes was one of the hardest things I have ever done. Everyone started crying while we waited as long as we could before heading to the other side of the gates. I could barley breath from all the emotions I was pouring out. It didn't hit one of the girls that we were actually not going to see everyone the next day until after we got to the other side of the gates and couldn't see everyone anymore. We almost didn't make it to the plane because we had to stop and suck up our tears. I think that this tour was one of the best opportunities that I have ever received. I loved every moment we spent on the tour and wish that I could have stayed a lot longer. This trip made me realize how much more I want to learn about my culture and maybe live there for about one year. I will never forget anyone or anything that I experienced on this trip and want to thank everyone for this wonderful gift.





デイヨ アレン シュルライン

DALE ALLEN SCHLEHLEIN III

15歳 3世

アメリカ合衆国

United States of America

中西部沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー2006

こんにちは、私はデイヨ・シュルラインです。アメリカのウィスコンシン州にあるハチスフォード出身です。私は高校一年生です。祖母はウチナンチュで、父親が東京生まれです。

私はジュニアスタディーツアーの参加者として選ばれたことを知った時に、とても興奮すると同時にナーバスになりました。私はずっと前から沖縄に行きたかったのです。沖縄への旅行は一人で行く事になっていたので最初は怖かったのですが、出発の日まで時間がたくさんあったので心の準備ができました。そしていよいよ出発の日、空港に着いて「さやかさん」(引率者)と他の参加者何人かに会ったら、沖縄に行く緊張感が楽になりました。

私は初めて飛行機に乗ったので、どんなに興奮したかをよく覚えています。アメリカから大阪までは12時間以上かかり、そして飛行機を乗り換えて、沖縄まで2時間半がかかりました。とても疲れたので、飛行機にいる時間はずっと寝ました。

ホームステイ先

長い空の旅が終わってやっと那覇空港に着いて、良かったと思いました。飛行機を降りてからウチナンチュに大歓迎してもらいました。ここで、親戚と初めての出会いになりました。親戚が私の名前を書いているサインを持ち上げました。最初にホストファミリーになる親戚の一人「つねおさん」に会って、ホームステイ先に行きました。親戚の家ではエアコン付きの部屋を与えられ、とても親切に接してくれました。初日の夜は疲れたので12時にすぐ寝ました。

翌日の朝は一生に忘れない旅立ちの始まりでした。この5日間はずっと親戚と一緒にでしたが、日本語がわからなくても皆と簡単にコミュニケーションを取れました。毎日色んなところへ連れて行ってくれて、沖縄の文化などについてたくさん学びました。

親戚が毎日美味しい朝ごはんを作って、様々なところで食事をだしてくれました。沖縄の食べ物は美味しく、全部食べてみました。沖縄の食べ物はとても良

かったです。

親戚が海まで連れて行ってくれた時に見渡す限りの海を見る事ができました。そして、スキューバダイビングをやって、海の底まで見る事ができました。

大叔母が平和祈念公園に連れて行ってくれて、戦争で亡くなった親戚の名前が石に刻んでいる所を見せてくれました。亡くなった親戚のために祈りました。

親戚とよくドライブをしに行くことで毎日忙しかったです。親戚は英語を話さなかったの、時々どこに行くか何をしに行くか分からなかったが、空気を読んで行動することで楽しい時間を過ごす事ができました。

毎日、会ったことないの親戚と会い、食事をして、観光地まで連れて行かれて色々な経験ができました。又サラダとピザを食べて、KFCやマクドナルドまでも食べに行きました。

アメリカにいる家族へのおみやげを買いに行きましたが、なかなか難しかったです。私はジェスチャーを使って買いたいTシャツの色やサイズを彼らに伝えた結果、最後には欲しいものを全部買うことができました。私はショッピングモールの中で、沖縄のお土産専門の小さな店をたくさん見ました。また、小さい家や大きい家を見に行くと、幾つかの家の中も見ました。大叔母の住んでいる家は非常に古くて、昔から残り少ない沖縄の家の一つです。

ジュニアスタディーツアーの前夜にバーベキューをして、私はその主賓でした。トウモロコシ、焼おにぎり、ステーキなどを様々なものが次々と焼き上がりました。日本の食生活にはステーキもあるということでびっくりしました。バーベキューで大勢の親戚が来て、皆がとても優しかったので楽しい時間を過しました。私達は花火で遊び楽しんでいましたが、煙で空気が黒くなりました。従兄たちはドラゴンフルーツを見るためにある牧場にも連れて行ってくれました。

ジュニアスタディーツアーの始まり

ツアーの初日に8日間分の荷物を整理して、そして、従兄たちに参加者の泊まるホテルに送ってもらい、そこでランチを食べました。ホテルでツアー関係者が大きい部屋に集合し、ツアーオリエンテーションを受け

ました。毎日エイサーを練習する予定があり、ツアーの最終日に沖縄県知事の前でエイサーを演舞し、ツアーで得た経験について発表しないといけないことが分かりました。私は人の前でスピーチするのは好きではないので、ここで緊張感が高まりました。

ツアーの期間中カメラマンが参加者に同行し、テレビで私たちのことを毎日見ていたと親戚が言いました。また私たちはツアーの8日間で新聞によく載りました。私たち参加者は指導者などの言葉を分かるように、ヘッドフォンを付けて通訳を聞きました。

ジュニアスタディーツアーの歓迎パーティーはとても楽しかったです。パーティーでツアーの参加者（世界の至るところからの参加者34人と沖縄県内33人の参加者）全員と会いました。パーティーで色んな人と仲良くなって、ツアーの機会を与えてもらうことに対して驚きました。

ツアー期間中に色々なことを経験できたし、それらを全部説明するのはできないので、これから、思い出になった経験について書きます。

ツアーの2日目に高速艇に乗り、30分で渡嘉敷島に着きました。暑い天気の中、シュノーケリング、カヤック、カヌー、水泳、サッカー、バレーボール等、色んなスポーツをしました。渡嘉敷島の海に入って、気持ちが良かったです。

沖縄本島のいたるところに行き、二つお城を見に行きました。一つの城は建設したばかりのように綺麗だったし、数年前から修復されたと聞きました。その城の木材加工が美しいと思い、昔の王様のように城の中を歩いて感動しました。

ツアー期間中に美ら海水族館に行きましたが、建物は大きかったです。様々の見たことのない動物がいました。鯨が大きい水槽のなかにいたことが、一番良かったです。

平和祈念公園へ2回目に行った時に、石に刻まれている親戚の名前を探そうとしたが見つけれなかったです。その日の天気によると台風が近づいていると感じたことを今でも良く覚えています。

ジュニアスタディーツアーの期間中に沖縄の文化についてたくさん習い、一日だけで一生に仲良くなる友達以上の友達ができました。

参加者として、毎日勉強と経験ができたし、ツアーの期間中に決してつまらない時はなかったです。他の参加者と一緒に、沖縄の自然、文化、歴史、又社会の面でも、体験ができました。そして、琉球舞踊、三線、空手や沖縄のドーナツ（サーターアンダギー）の作り方等を習いました。

沖縄の伝統工芸の中で、紅型、首里織、漆器等について勉強しました。

ジュニアスタディーツアーで得た様々な経験は、一生忘れません。アメリカに帰って来た今は、一月に一

回、アメリカに移住したウチナーンチュから三線と日本語を教えてもらっています。私はいつか沖縄に戻り、親戚の前で私が学んだ事を披露したいと思います。私は三線をくれた「つねおさん」に感謝しています。ツアーの行事のなかでエイサークラスが一番良かったと思います。参加者のみんなはお互いに協力しながら、踊りのステップを一生懸命覚えようと思いました。アメリカでエイサーみたいなのは無いし、ステップに慣れるのは大変でしたが、参加者が頑張ったので、早く踊れるようになりました。毎日先生が私たちのために努力してくれたので、感謝しています。彼に教えてもらったことを光栄に思っています。

ツアーの最終日に平和通りの市場に行き、エイサー演舞をしました。雨がザーザー降っていたので屋内で演舞すると思っていましたが、天気が良くなり、無事に一般の人の前で踊ることができました。その後、プラザに移動し、沖縄県知事の前で踊りました。私たちの演舞は大成功だったので、参加者の皆さんはとても感動し、嬉し涙があふれました。

ジュニアスタディーツアーの最終日に送別会があって、参加者全員のホストファミリーがいました。私は皆の前でツアーを通して得た経験について日本語でスピーチをしました。発表する前、非常に緊張しました。しかし、発表がよくできたので、達成感を感じました。

ツアーが終わってからアメリカに帰るまでの2日間をホストファミリーと過しました。沖縄を離れたくなくて、帰国の日に台風のせいで帰りの便がキャンセルされたことはとても嬉しかった。ハリケーンや台風等の暴風を初体験しました。

沖縄県知事をはじめ、ジュニアスタディーツアーの関係者に感謝を表します。ツアーの経験を一生忘れません。私は日本語や英語以外の言葉等はわかりませんが、ツアーで「人とコミュニケーションをするためには言葉だけじゃない」ということが分かりました。ツアー期間中に自分で話したりするよりも、人の話を聞いたりすることで、もっと勉強になったし、人と早く仲良くなったり、友達ができました。きっと、2006年のジュニアスタディーツアーに係わった方々と一生に残る絆がお互いにあることを感じています。

いつか、皆さんと再会できることを希望しています。

今後、毎年沖縄に旅行したいと思います。沖縄にいる親戚から沖縄のことについて色々教えてもらい、皆のことを大切に思っています。ウチナーンチュは世界の中で一番優しくて美しい民族だと思います。

愛、信頼、希望そしてなによりも平和について、教えてくれた沖縄に感謝します。

JUNIOR STUDY TOUR 2006 ESSAY

Hello, my name is Dale Schlelein; I am from Hustisford, Wisconsin, which is in the United States of America. My age is 15 years old and I am a sophomore in High school. My grandmother is from Okinawa, and my dad was born in Tokyo Japan. When I found out that I was going to Okinawa, I was so excited and nervous at the same time. I've wanted my whole life to go to Okinawa. I was scared at first, because I was going alone, but I had a lot of time to get over it! When I got to the airport to meet my guide Sayaka and a couple of the other people that were going to Okinawa, I felt more comfortable flying.

I still remember when I boarded the jet, how excited I was, because this was my first time flying. The flight took 12 hours to get to Osaka Japan, then I took a second plane to Naha, Okinawa, which took another 2 ½ hours and I was so tired. I slept the whole time.

My home stay!!

Finally after a very long flight I saw the Okinawa airport and couldn't believe I was finally there! At the airport I felt very welcomed by the Okinawa people. This is where I for the first time met my family! They were holding up a sign with my name on it. I was greeted by Tsuneo who would be my hostess family. The very first night I was there, I went to my host family, and they treated me well! I had my own bedroom, with air conditioning. It was midnight, so I was tired and went right to sleep.

The next morning is when the trip I would never forget would begin. The first 5 days I was in Okinawa, I was with my family, even though I couldn't understand their language, communicating was easy! Every day they took me to different places and I learned the culture and many things!

My family fed me a big breakfast every morning and was always taking me to different places to eat. I loved all the food and tried everything! Okinawa food was so good!

They took me to see the ocean! I could see miles of ocean. I went scuba diving, and I could see straight to the bottom.

My great aunt took me to the Peace Memorial and showed me where my families names where that died in the war. We then did a worship service to honor their deaths.

We did a lot of driving too! I was busy most of the time, even though, I sometimes didn't know what was

going on, because they couldn't speak any English either, but I went with the flow, and that always was fun.

I remember every day, I would meet more family, and they would take to different places to eat, and visit, so I had a large variety of things to eat and do! I had salad, pizza, KFC, and even McDonalds!

They took me shopping to buy gifts for my American family, and that was hard! I would tell them the size of colors of the T-shirts I was buying; it took a lot of communicating using my hands and pointing, but we finally were able to buy them all!

I saw many small shops, in the mall filled with so many things from Okinawa. I also saw small homes, and a few big homes, and took a tour in a lot of them. There were so many different things to see. My great aunt lived in a home that is very old and one of the last original homes standing.

The last night before I went on my Junior Study, my family had a barbecue, and I was the guest of honor! They grilled out many foods, such as sweet corn, rice patties, and steak! I was surprised to find out that steak was a Japanese food, also. It was fun, there were many family members and they were all so nice. We had fun with sparklers, and fire crackers, and filled the air with smoke. My cousins took me to a farm to see Dragon Flowers too!

My Junior Study Tour Begins!!

Today I had to pack, for the 8 day tour! My cousins took me to the hotel I would be staying at, and then we ate lunch. The whole tour met in a big building and we had a meeting and they told us what we would be doing on the tour. They told us of all the exciting things we would be doing, including learning Eisa dancing everyday. We would have to perform the Eisa on the last day of the tour for the Okinawa Governor Prefecture, along with a speech in Japanese of our experiences!! My heart stopped for a second, because I don't like to speak in front of people!

We were followed by cameras all the time, and my family said they saw us on the News everyday! I was also in many newspaper articles. We wore headphones, also and the translators would speak into them, so we knew what everyone was saying.

The welcome party was so much fun. I met all the other people on the tour. There were 34 juniors from all over the world and 34 juniors from Japan. I made many new friends that day, and was so excited for this opportunity.

On the tour we did so many things that it would take forever to write it all down. So I will write some of my favorite experiences.

The second day, we took a large fast Marine Liner to Tokashiki Island. It only took us 30 minutes to get there. On the island we did many things, such as snorkeling, kayaking, canoeing, and swimming. We also played soccer and volleyball. The day was hot, and the water felt good.

I went all over Okinawa, I went to two castles. One castle was in mint condition! It had been in restoration for several years. The wood work was beautiful! I thought it was so cool to be able to walk the same pathways as the emperors and empresses did centuries ago.

I also went to an aquarium, which was huge. I got to see many species that I've never seen before. The coolest part was the sharks they had in the big tank. I also went to the peace memorial for a second time. I tried finding my family but I had no luck. I can still remember the weather that day at the peace memorial. The weather kept on saying a typhoon was on its way! During my tour, I've learned a lot about Okinawa culture, I made more friends in a day; then I did in a lifetime.

Everyday on the tour, we learned new and exciting experiences. There was never a dull moment. We did a nature study, a cultural study, history study, and a social study. We all did Ryukyuan Dance, learned to play the sanshin, karate, and made Okinawa doughnuts!

Some of the arts we learned were Bingata, Shuri-style weaving, and Ryukyu Lacquer ware.

As you can see, my mind was filled with many things that I will carry to my family and friends for the rest of my life! I have now enrolled in sanshin lessons, once a month! I am taught by a lady who is from Okinawa and lives in America. She is also teaching me Japanese. I want to someday go back to Okinawa and show my family what I have learned! Thanks to my cousin Tsuneo, who gave me a sanshin as a gift to bring home to America!!!

The best part was the Eisa class. I thought as a group, we all worked together and tried to do our best at the dance. I never had done anything close to that in America, so it took a lot of work, but we all learned quickly. Even after class, we would go to the hotel practice our routine! Eventually it was easy, and we were ready to perform it. I thank my Sensei for all the hard work teaching us everyday of our tour. He was

the best, and I am honored to have been taught by him. Our final day of the tour, we visited the market, and performed our Eisa dance to the public. It was raining so hard, we almost had to perform indoors! After the market, we then continued and went to the plaza and performed what we learned to the governor's prefecture. We did great! Everyone was crying, it was a very emotional time for our group.

On the last day of the Junior Study, I was so nervous. We were having a farewell party, and our families were also welcomed. I had to do a speech in front of everybody, about my experience on the tour in Japanese! I did very well; I couldn't believe what I had accomplished!

After the tour, I spent the last couple of days with my family. I didn't want to leave! I was so happy when we went to the airport and our flight was cancelled. A typhoon came through Okinawa! I had never been in a hurricane or typhoon, so I was also able to experience that for the first time.

I would like to thank the Okinawa governor and all the people who helped on the Junior Study Tour. It was an experience I will never forget. Even though, I could not speak Japanese, or other languages, I learned that communication was more than talking. I learned more by not talking and communicating other ways. I learned how to make friends faster and grow closer to them more quickly. I feel bonded to all those who were a part of Junior study 2006 for the rest of my life.

Some day I hope we can meet all together again!!

I would like to return to Okinawa every year. My families are very special to me, and taught me so much. Okinawa people are the most friendly and beautiful people in the world.

Thank you Okinawa for showing me love, trust, hope and most of all PEACE!!





アシュレイ 紀子 シャンコーズ
 ASHLEY KIKO SHANKLES
 14歳 2世
 アメリカ合衆国
 United States of America
 ニューメキシコ沖縄県人会



沖縄

沖縄の様々な場所や史跡を巡ることにより、沖縄がどれほど素晴らしいかを私に教えてくれました。どんなに希望してもなかなかできないことがたくさんありますが、このツアーに参加できたことは、私にとって幸運でした!山々をトレッキングしてたどり着いた比地大滝は見事で美しかったです。景色も本当に感動的でした。困ったこともありましたが、新しい友達が助けてくれて、結局新しい経験ができました。

戦場跡を訪れた時、まさに私たちの祖先の戦う様子が見えたようでした。それは本当に驚きでした。私は沖縄の深い歴史に興味をそそられ、時々うっとりしました!もしあなたがエイサー練習によく注目した場合、戦争のような活気を感じる事ができたでしょう!すごいでしょう!エイサーと言えば、ツアーで最も素晴らしいことの一つはエイサーだと思います。初めてエイサーを頑張って習って、そして成功したことは、本当によかったです。毎日1時間半の体操をするようにつらかったです!でも、ハハハととても面白かったです。みんながいっぱい間違いながらその間違いから学ぶ、それはとても教育的でした。

教育以外にも、深夜のおしゃべり、新しい友達、親戚との再会、会ったことのない親戚との出会い、多くのバスの旅、内輪ネタなど、すごく楽しかったことがたくさんありました!いうまでもなく、指導者たちもとても楽しかったです!さやかさん、あき子さん、國吉先生、そして皆さんが大好きです!色々助けてくれて毎日を挑戦するように励ましてくれました。

特に言語交流において、指導者たちがよく励ましてくれました。日本語の再学習は思ったよりずっと難しかったです。単語や文の構造と位置など、本当に困りました!しかし、これを学ぶことこそが素晴らしかったのです!今も家で話すことにしています!日本語で母と話すのはすごく楽しいです!(姉妹を混乱させるからです)

さて、本題に戻ります!私がこのツアーに参加するたった一つの理由は故郷について学ぶためです!それで、一つのことが別のきっかけとなるのですね!私は楽しんでいながら、同時に学んでいました!私がこの

夏に経験したことを、友達や家族も経験できたらいいと思います。すごいイルカショーを始め、史跡、渡嘉敷島(渡嘉敷島そのものは全く素晴らしくて見事に美しいです!!)、風変りな食べ物、心の温かい人々、そして景色!その景色、海を眺めていると、高い木や建物と共に自然界の色の珍しい変動を見ることができます。景色を眺めるのはとても心地よくて、屋外で永遠に景色を見ていられるようです!しかし、暑くなります!暑さにまだまだ慣れていません!ハ、ハ、ハ。

疲れ果てさせる程の長い旅、よく頑張った日々、そしていうまでもなく新しい食べ物の経験など、今振り返ると、沖縄のことをとても懐かしく思います。歓迎パーティーとさよならパーティー、高校生、世界各地から来た新しい友達、食事、腕相撲、その全部が非常に懐かしいです!いつか近い将来にみんなとまた会いたいです!!指導者を含む大きなジュニアスタディーツアー同窓会のような形で!なぜなら、沖縄の歴史や未来のことを除いて、このツアーが教えてくれたものを一つあげるとしたら、その一つは、血のつながりがなくてもウチナンチュのつながりが確かにあるということです。私たちと未来の世代が、ウチナンチュの心に忠実に世界各国で生きる限りは、私たちの心はいつまでも誇りと名誉と歴史を共にして同じ鼓動を刻むでしょう。今がそうであるように・・・

改めて、このツアーに参加させていただきまして誠にありがとうございました。一生忘れません。このツアーができるだけ長く続いて、私たちの起源と未来をウチナンチュの皆さんに教えることができるように祈念しています!沖縄、そして沖縄の大使の皆様、私を招いてくれて、ありがとうございました。

Okinawa

Going to the many places and historical areas in Okinawa made me realize how amazing Okinawa truly is!!! It's hard to see the things I really want to, so I realized this trip was good luck for me! Trekking through Hiji Mountains, and seeing the amazing falls was truly beautiful... The sights were truly awesome and at first I was shaky on the subject, but my new

friends help me go through. And in the end, I have a new experience.

When we went to the war battle ruins, I could see our ancestors fighting...It was truly remarkable! I was so intrigued by all of the history, sometimes I'd get lost in it! And if you actually pay attention, in our "Eisa" practice, you'd see like a war kind of action! It's crazy! Speaking of Eisa, That was probably one of the most amazing things on the trip...learning something new and working so hard on it, it really feels great when you accomplish that goal! It was so hard, somehow like a workout everyday for like an 1 1/2 hours!!! hahaha it was so funny though! You make alot of mistakes and learn from those, so it was also educational...

But besides the education, there was so many crazy fun things! Like late night conversations, new friends,seeing new and old family! All the bus rides, inside jokes,dancing...Not to mention the teachers! They were so great! I love Sayaka, Akiko, Master Kynyoshi, and all others! Ya'll were very helpful, and encouraged us to challenge ourselves every day! Especially with the language exchange! Relearning Japanese was alot harder than expected, the words and sentence

organization and situating. This was indeed troubling! But it was outstanding to learn this! I still even use it at home! It's so much fun to talk to my mother with it! (especially confusing my sisters)

But back to the subject! I was on this trip for one thing...an education of my homeland! So one thing lead to another! I was learning and having fun at the same time! I really hope my friends or family experience the same things as I have this summer, such as the crazy dolphin show, historical sites, Takashiki Island *which itself is absolutely amazing! and brilliantly beautiful!!! To the exotic foods, warm-hearted people, and the views!!! Wow, the views...Looking into the ocean seeing the exotic and rare-looking color transfers, with the tall trees and buildings...it's so nice to see the scenery, as if you could stand outside forever! But it does get too hot! I'm not quite used to that! ha, ha, ha. Now that I think about the long exhausting trips, challenging and hard working days, and not to mention the new food experiences... I'm beginning to miss all the things in Oki. The welcoming and farewell party, highschoolers, new friends from Around the world, the food eating and arm wrestling contests, all of it!!! I miss it so extremely much! I really hope to reunite with everybody someday in the future!!! And

all the teachers as well like a big JUNIOR STUDY TOUR REUNION! Because if there's one thing that this tour taught me, besides the history and future of Okinawa, is that Uchinanchu are all related, maybe not through our blood. But for as long as we live and our future generations our heart remains to be true Uchinanchu and we are all around the world...Our hearts will always beat the same as they do now...With pride, honor, and history... Once again thank you for letting me be part of this Tour I will never forget this throughout all my life. I hope this tour continues as long as possible and show everyone where we came from and our futures! Thank you Okinawa and the Ambassadors of Okinawa for letting me be a guest in your home..





イーアン トーマス ダグラス

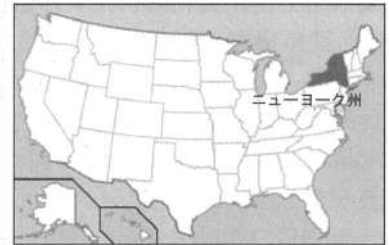
IAN THOMAS DOUGLAS

14歳 3世

アメリカ合衆国

United States of America

ニューヨーク沖縄県人会



My Trip to Okinawa

沖縄に行くことによって僕は違う世界を知りました。ホームステイを通して僕はみんなから歓迎されたり、家族の歴史を聞いたりしました。そういったことによって僕が今まで知らなかった世界を学んだのです。みんな僕を王様のようにもあつかってくれました!

沖縄で僕は、せいしん叔父さんとたかこ叔母さんとお祖母ちゃんと滞在しました。滞在先から従姉妹のけいこ姉ちゃんと彼女の旦那さんの所へ行く途中で珍しい場所を二つ通りすぎました。一つは僕の父が生まれた嘉手納基地です。二つ目は第二次世界大戦でアメリカ人が上陸したビーチです。そのビーチを見てると僕は悲しくなりました、何故ならそこは、美しいビーチなのにたくさんの戦闘があったからです。ホームステイの最初の4日間はとっても楽しかったです!4日目の日にはお祖母ちゃんと叔母さんと叔父さんが僕を「シティコート」まで連れてってくれました。素晴らしくきれいなホテルでたくさんの友達をつくりました。みんなが何を言っているか分からなかったからコミュニケーションするのは難しかったです。歓迎会で挨拶して最初は変な感じだったけど、後からは楽しくなりました。リラックスしてきて踊りだってしました!日本版の「YMCA」や「5,6,7,8」っていう歌にあわせた踊りも習いました。全てがとっても良かったし、食べ物もおいしかったです。光栄にも僕は、韓国空手の型を披露することができました。それは、僕流の自己紹介であり僕の才能の一つをみんなに伝えるということでした。後で僕一人が黒帯をもっていることがわかって自分は特別なんだなっていう達成感を感じました。

歓迎会の後で僕は2人のルームメイトに会いました。一人はボリビア出身の安里健君であと一人は日本出身の正太君です。2人共とてもいい人達だったけど、一つだけ問題がありました。それは2人共暑さには慣れているけれど、僕は寒さに慣れているということです。だから僕はクーラーをつけたかったんだけど、2人はつけたがりませんでした。でも何日かしたら2人ともクーラーをつけるのに慣れてきて、僕は僕で外の暖かい気温に慣れてきました。

次に、僕達は沖縄の端にある小さな島、渡嘉敷島

に行きました。そこで楽しかったことはシュノーケリングをしたことです。いろんな熱帯魚を見るのは楽しかったし海中カメラを使って写真も撮りました。クラウン魚もいました。それからオープンカヤックも楽しかったです。僕もパートナーであるウィスコンシン州出身のデールもカヤックをしたことがありませんでした。でも、アメリカ人の友達との競争では勝ちました。それから、きれいな貝殻を見つけたので家族にも見せようと思って写真を撮りました。沖縄の海はきれいで水は透明だし、とっても青いんです!海に潜らなくても下をのぞけば珊瑚が見ることができるんです。その夜は青年の家に泊まりました。とてもユニークなその部屋は沖縄の伝統的なスタイルで作られていました。

翌日は6時に起きて丘の上で朝の柔軟運動をし、その後は那覇に戻りました。光栄にも沖縄知事と会うことができました。天皇はもう沖縄を支配していません。その後は沖縄空手を学ぶ機会がありました。先生はものすごく上手でした。僕も少しだけピャン・アン・オダンという韓国空手の型を披露しました。この経験を通して僕はもっと沖縄文化を尊敬するようになりました。空手が終わったすぐ後に料理をする機会があって、沖縄ドーナツをつくりました。僕のグループメンバーが僕の名前でドーナツを作ったりして最高でした!

翌朝早く僕達がハイキングした比地大滝への道は危なかったです。滝にたどり着くまでに大きな岩や丘のようなところを登ったりしました。でもそんな大変な思いをした甲斐があるほど滝は素晴らしかったです。沖縄の荘厳な滝は本当にすごかった!その夜にバーベキューとキャンプファイヤーをしました。一番おもしろかったのはミニゲームをしたことです。ソーダーを早く飲んだ人が勝ちというゲームで最後に僕は勝ちました!

翌日は美ら海水族館に行きました。アメリカにいる魚と違う沖縄の魚を見れたのでよかったです。おもしろいことに、ホオジロザメのような大きな魚がいました!その魚はニュージャージーにある僕の家よりでかかったです!

金曜日には僕達は平和学習をしました。平和の礎も見ました。平和の礎は沖縄が真ん中にあるのでそこか

ら沖縄文化が外に流れているというものでした。それから鉄の暴風の展示品も見ました。そこには銃やヘルメット、手榴弾、大砲、軍服などたくさんのアメリカ兵武器が山のように展示されていました。鉄の暴風の展示品を見ると悲しくなりました。たくさんの人が死んだからです。

土曜日の朝は沖縄というアイデンティティについての講座がありました。たくさんをその講座から学んだと思います。僕のアイデンティティは沖縄人だと思うけどアメリカ文化に順応した沖縄人です。移民についても学びました。移民の話も読んだけど読むのがつらくなるほど悲しいお話でした。僕のお祖母ちゃんは10歳の時にお墓に隠れたことがあります。

ツアーの最終日にエイサーを披露するため僕達は毎日練習しました。エイサーはたいていお盆とかお祝いの時にする沖縄の太鼓踊りです。とっても楽しかったです!僕は上手くエイサー踊れたと思うし、アメリカでもエイサーをできればいいなって思います。先生だって僕達があんまり上手に踊ったから感動して泣いてました。それから先生の踊りの後はお祖母ちゃんや家族と一緒に道で踊ったりしました。本番での僕達のエイサーは練習の時より上手にできたと思います。

翌朝にはまたホームステイに戻りました。そしてその夜は僕のために家族が歓迎会をひらいてくれました!たくさん従兄弟達が来てたけど、あんまりたくさんいるので名前が全然覚えられませんでした。そして2日間のホームステイを終えたら、さよならパーティに行きました。パーティはすごく楽しくってアメリカと全然違ういろんな文化の踊りを見れたことが良かったです。その中ではブライアン・ヤキテンのフィリピン舞踊が一番良かったです。それからジュニアスタディツアーの修了証書も貰ったし、新聞のインタビューだって受けました。その後のホームステイでは買い物をしたり家に帰る準備をしたりしてました。ロンドンの事件があったから帰るのはとても怖かったです。

8月9日に僕は最初帰る予定でした。でも空港に行ったら、10時以降の便は全てキャンセルになっていて帰れないこと知りました。びっくりしました。仕方ないから家に帰って旅行会社から連絡を待つことになりました。その夜の10時頃に電話があって、僕は8月の25日まではアメリカに帰れないと言われたのです。2週間も待たなければいけませんでした。2日後にはまた電話があって8月13日には帰れると言われました。

美しい沖縄に滞在できてとても楽しかったです!お祖母ちゃんから後から聞いたら、台風が沖縄に向かっていました。僕は沖縄の文化や歴史、生活様式などたくさんを学びました。たかこ叔母さんやせいしん叔父さんとも楽しく過ごせました。たった何日間で僕はたくさんを学んだのです。いつか僕の子供達が同じように、このツアーに参加できたらいい

なって思います。僕が沖縄で学んだことの一つには、どのように特定の食べ物を食べるか、そしてその食べる順番です。沖縄料理を食べてみたけど、ある料理は他の料理よりもおいしかったです。ツアーを振り返ってみての感想は最高だったなって思います。たくさんの事を学んだ証拠に、僕の大好きな日本語のフレーズでこのレポートを終えたいと思います。「沖縄はすごい!」

My trip to Okinawa

Okinawa was a view into a different world for me. That was evident through my home stay, hearing about my family history, and the way I was greeted when I arrived. They treated me like a king.

During my visit in Okinawa I was able to stay with my Uncle Seising, my Aunt Takako and my grandmother. From there I visited with one of my cousins Keiko and her new husband. During the drive over we passed two very interesting places. Kadena Airbase, this is where my father was born. We also passed a beach that the Americans came up onto during W.W.2. This beach made me feel very sad, I realized how much fighting had taken place despite how beautiful a beach it was. The first four days of my home stay were very fun! At the end of the four days my grandmother, Aunt and Uncle dropped me off at a hotel called "City Court." The hotel was fabulous, it was very beautiful. I made many friends while there. Communicating with others was hard because I couldn't understand what anyone was saying. I was greeted by a welcoming party, It felt kind of awkward at first but after a little while things became much more fun. I started relax after a while, I even danced! We danced the Japanese version of the Y.M.C.A. We also learned a dance to a song called 5,6,7,8. Everything was really awesome and the food was delicious. I was given the honor of performing one of my Korean martial art forms; this was a way to introduce myself and to share one of my talents with the rest of the tour group. I found out later that I was the only martial artist there with a black belt. Knowing this made me feel accomplished and special.

After the party I met my two roommates. One of them was from Bolivia his name was Ken Asato. My other roommates name was Shota he was from mainland Japan. Both of my roommates were very nice. One situation my roommates and I ran into was that they were both use to very hot temperatures and I was used to a cooler temperatures. So I liked the air conditioning but they didn't. After a few days

they got used to the Air conditioner and I got used to the warm temperatures outside. The next day we went to Tokashiki Island. Which is a small island off the coast of Okinawa. My favorite thing that we did there was the snorkeling. I enjoyed getting to see all the tropical fish. I used an underwater camera to take pictures of them. There were clown fish in the water. I also enjoyed the open sea kayaking. Dale, my partner while kayaking was from Wisconsin. Neither had ever been Kayaking before. We raced the other Americans and won. I also found a great looking shell that I took pictures of to show everyone back home. The Okinawan sea is beautiful; the water is so clear and very blue! You could look out and see the coral reefs without being in the water.

That night we stayed in a youth center. The rooms there were very unique. They are based on a traditional style of an Okinawan home. At 6:00am the next morning we went out to a hill to do the morning stretch. Afterwards we traveled back to Naha city. There we had the honor of meeting the governor of Okinawa. Emperors no longer rule Okinawa. Later I had the opportunity to learn Okinawa Karate. The Sensei was amazingly talented. I got to show off a little and perform my Korean form, which is called Peiong Ahn Oh dan. This experience helped me to respect my Okinawan Culture more. Shortly after the karate we got the chance to cook. We made Okinawan Donuts. The group I was in spelled out my name using the donut mix, it was cool! Early the next morning we went trekking to Hiji falls, the Hike was perilous. We climbed up gigantic rocks and large hill formations to reach the falls. When we finally reached them it was worth the hike because they were beautiful. The Majestic falls of Okinawa were awesome! Later that night we enjoyed a campfire and Bar-b-queue. My favorite part of the night was when we played the mini games. Whoever drank a can of soda the fastest won. In the end I became the winner! The next day we went to Churami Aquarium. It was cool to see how different the fish in Okinawa are compared to the fish in the U.S. One interesting thing I saw was the gigantic Whale shark fish! The fish was larger than my home in New Jersey! Friday afternoon we did a peace study, we went to the peace memorial museum. I saw the Cornerstone of peace, which is one of the central points of Okinawa. The Cornerstone of Peace is used as a representation of Okinawan culture flowing out to all sides of the world. I also saw the typhoon of steel exhibit. The Typhoon of steel was a large pile of American soldiers gear, including guns,

helmets, grenades, artillery, and clothing. The typhoon of steel made me very sad to see so many people had died.

Saturday morning there was a lecture about finding your Okinawan Identity. I learned a lot from it. I think my Identity is an Okinawan who adapted to a U.S. Culture. We also learned about Immigration. The story we read was hard to read because it was so sad. My grandmother hid in the tombs herself at the age of ten years old.

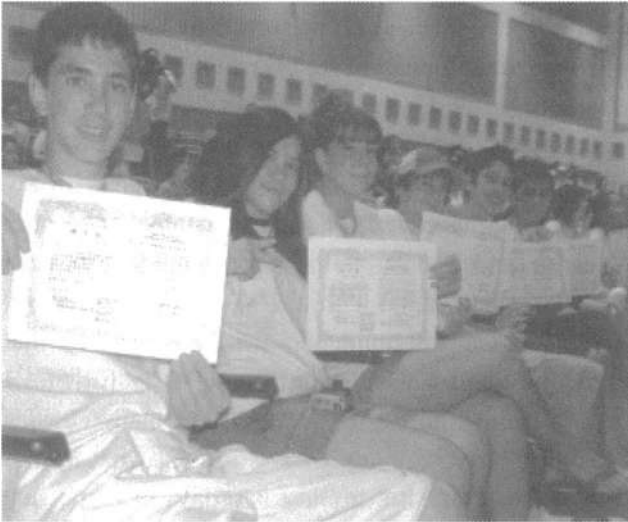
Part of our daily routine was to practice Eisa and learn it for a performance at the end of the tour. Eisa is an Okinawan drum dance that is usually done at celebrations and in the time of Oban. Over all Eisa was very fun! I am looking into an opportunity to do eisa here in the United States. My Eisa performance was fantastic. We did so well we made our Sensei cry because he was proud of us. I also danced with my grandmother and family in the streets after my Sensei preformed. Our performance was much better than we had ever practiced it.

I went back to my home stay the next morning, that night they had a welcoming home party for me! I met all my cousins at the party. I have many cousins I actually have so many I have no idea what any of their names are. After my last two days of home stay I went to the goodbye party. The Party was so fun; I loved watching how different some of the cultures are compared to the U.S. My favorite act of all was Brian Yaquiten's Philippino dance. I received a Certificate of completion for the Junior Study tour! Also I had a newspaper interview at the end of the party. I spent the next few days of home stay shopping and preparing for my return trip home. I was very scared about it because of the recent problems in London.

On August 9th I was supposed to leave. We went to the airport to get on the plane. We were surprised to find that all of the plane rides after 10:00 am had been canceled and we wouldn't be able to get a flight out. We had no choice but to go home and wait for a call from the travel agency. Around 10:00 pm that night we received a call. I wouldn't be able to get back to the U.S.A. until the 25th of August. I would have to wait two more weeks for a flight out. Two days later we received another call from the travel agency saying I could get a flight to the U.S.A. on the 13th of August. Okinawa is a beautiful place and I enjoyed my stay very much!

I later found out from my grandmother who translated it for me that there was a typhoon going to hit

Okinawa. I learned a lot in Okinawa about the Culture, the history, and their at home lifestyle. I had a lot of fun with my Aunt Takako and Uncle Seising. I learned a lot in just a few days. I am looking forward to seeing my children someday going on this very same tour. One thing I learned was in what order to eat and how to eat particular food. I tried to eat the Okinawan foods but some were more enjoyable than others. Looking back I would say my trip was great and I learned so much in the end I still only have one favorite Japanese Phrase to say, "Okinawa wa Sugoy!"





フェングラー 美花

MIKA LEILANI FENGLER

13歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

アトランタ沖縄県人会



2006年ジュニアスタディーツアー

沖縄へのジュニアスタディーツアーは、私の人生で最高の旅でした。会った人や場所を一生忘れないでしょう。沖縄に行く前はかなり緊張してたのを思い出します。誰も知らない、最年少の中の一人、それに日本語もそんなに話せない。沖縄の空港に着いたとき、大勢の人が私達を歓迎に来てくれたのには驚きました。初日のジュニアスタディーツアーはおもしろかったです。ウェルカムパーティーでは、ツアーを手伝ってくれた高校生を含めたくさんの人に会いました。すべての活動が楽しく、その翌日が待ちどうしかったです。

渡嘉敷への船旅は長かったがその価値はありました。ビーチは美しかったがすごく暑かったです。スノーケルをし始めると、水が気持ちよくてそんなに暑さを感じませんでした。スノーケルはすごく楽しく、カラフルな魚と珊瑚を見たとき信じられないほどびっくりしました。ユースセンターでの宿泊は楽しかったです。ルームメイトはそんなに英語を話せなかったので日本語を学べたし、いろいろな人とルームメイトになることで友達も増えました。

渡嘉敷を出て私達は各母国の代表とし県知事に会いに行きました。私はスピーチをしなければいけなかったのでかなり緊張したが、結構うまくいきました。むら咲きむらにも行きました。そこで沖縄そばを食べました。皆それぞれ空手か琉球舞踊か三線を習いました。私は琉球舞踊を選びました。踊りのステップを習うのは難しかったが最後には楽しかったです。私達全員、美味しいサターアンダーギーの作り方も習いました。やっとホテルタニューに着きました。ホテルは丘の上にあり素敵でした。偉大な比地大滝に歩いていきました。ツアーガイドは物知りでナイスですごく良かったです。沖縄の植物、トカゲ、蜘蛛、それから他の野生動物を学習しました。滝は素晴しかったです。その夜はキャンプファイヤーを囲み集まりゲームをしました。とても楽しかったです。

五日目は美ら海水族館と今帰仁グスクとマチグラーに行きました。水族館は非常に面白かったです。沖縄近辺の海洋生物の事を学び、すごく小さいサイズから大きいサイズの魚と哺乳動物を見ることができまし

た。次に今帰仁グスクに行き、そこでお城と私達の先祖の事を学びました。中山が今帰仁グスクを統一し居城した事、いかに今帰仁グスクが遺跡になったかも学びました。それから女性は入っても男性は禁止された場所があったことも学びました。今帰仁グスクを後にし、マチグラーに行きました。高校生が案内してくれて、一般のウチナーンチュの日常生活を見る事が出来ました。豚の頭さえ見てしまいました！

シティコートに戻り、首里城と識名園に行きました。首里城は王家で二、三度再建され、最後には以前の住居の様に復元されました。それから王族が住んでいたと言われる、識名園に行きました。庭園は非常に平和で、美しく、壮大です。

七日目は平和祈念資料館へ行きました。最初に沖縄戦で生き残った男性の話を聞きました。彼のスピーチは感情的で感動しました。沖縄戦と「鉄の風」を学び、資料館のツアーではすごく悲しくなりましたが、沖縄の人々の体験を学び良かったと思います。資料館の場所に崖があり、海の上にあるこんなに美しい崖で大勢の人が死んだのを知りました。

次の行き先は泡盛工場とガラス工場でした。泡盛がどの様に作られたか学び、ガラスの形が作られていくのを見ることが出来ました。ある一日、工芸学習があり、私は漆器を選択しましたがとても素晴らしかったです。私達がした最後のプログラムのひとつはワークショップで、そこで沖縄の移民と私自身のアイデンティティについて学びました。毎日、その日の振り返りシートを書かなければいけませんでした。私たちの大好きなエイサーの講習も毎晩ありました。

ツアーの最終日には、習ったエイサーと美しい歌の公演をしました。皆に別れを告げ、歌うのは非常に辛かったです。私はツアーが終わると沖縄と皆に会えなくなるのがどんなに寂しくなるかについて気がつきました。帰りたくなかったです。私は皆と連絡をとって、同窓会があることを期待しています。

私はツアーの皆を家族と思い、心底ウチナーンチュのような気がしました。私は、この素晴らしい経験を決して忘れません。

2006 Junior Study Tour

The trip to Okinawa for the Junior Study Tour was the best trip of my life. I will never forget all the people and places. I remember how nervous I was about coming. I wouldn't know any of the kids, I would be one of the youngest members, and I didn't know how to speak a lot of Japanese. When I first arrived at the airport in Okinawa I was surprised that so many people came to welcome me and the other members.

The first day of Junior Study Tour was fun. At the welcome party I met a lot of new people including the high school students that helped out with the tour. All the activities were fun and I couldn't wait until the next day. The ride to Tokashiki Island was long, but worth it! The beach was beautiful, but it was really hot outside. Once we finally went snorkeling, the water felt so good and the rest of the day on the beach didn't seem that hot. Snorkeling was a lot of fun. I couldn't believe my eyes when I saw all the colorful fish and coral. Staying at the youth center was fun. None of my roommates spoke a lot of English, and I actually learned some Japanese. I gained more and more friends by rooming with so many different people!

After leaving Tokashiki Island, we went to meet the governor and represented our countries. I was really nervous because I had to present a speech, but it actually turned out well. We also went to Murasakimura. There I had Okinawa soba and everyone either did karate, Ryukyuan dance, or sanshin. I had picked Ryukyuan dance. Learning the steps was difficult, but I had a lot of fun in the end. Everyone also learned how to make Okinawan donuts, which were really good. Finally, we made it to the Tanu in Naha; it was so beautiful up on top of the mountain and the hotel was really nice. We went trekking to the Great Hiji Falls, which was great! My tour guide was very informative and nice. I learned a lot about the plants, lizards, spiders, and other wildlife in Okinawa. The waterfall was amazing!

The 5th day we went to Churaumi aquarium, Gusuku castle, and the market. Churaumi aquarium was very interesting, I learned so much about the sea life around Okinawa, and I was able to see fish and mammals from humongous to very small sizes. Next we went to Nakijin castle, where I learned a lot about the castle and my ancestors. I learned about how Chuzan stationed an administrator at the Nakijin gusuku, where he lived after defeating Hokuzan. We also learned how the Nakijin gusuku came to ruins.

I also learned that women were allowed into places men were not allowed. After going to Nakijin castle, we went to the main market place. The high school students walked our group (F) around, and I was able to see and experience an ordinary day at the market for an average Okinawan. I even saw a pig's head! The next day we had a campfire and played games. It was a lot of fun!

Back at City Court; we went to Shuri castle and Shikina-En. The Shuri castle was a place of royalty and we learned it was rebuilt a couple of times. The last time it was restored to look like it did when it was occupied. After that we went to Shikina-En garden, which was where Ryukyuan royal families lived, and I can see why too. The garden is very peaceful, beautiful, and majestic. The next day we went to the Peace Memorial museum. We first listened to a speech made by a man who survived the Battle of Okinawa. His speech was very emotional and touching. Touring the museum made me sad, learning about the "Typhoon of Steel" and Battle of Okinawa. I am glad to have learned all this though, to know what Okinawa's people went through. There was also a cliff where the museum is; I learned that many people died there on such a beautiful cliff above the ocean.

The Awamori and Glass factory was our next stop. I learned how Awamori is made and was able to see how glass figures are made. On one of the days I chose lacquer ware for my craft project, and it was wonderful. One of the last things we did was the workshops, where I learned about Okinawan immigrants and my own identity. Everyday we had a worksheet to do, reflecting on our day. We also had Eisa class each evening, which I liked a lot.

At the end of our tour we performed the two Eisa dances that we learned and sang a beautiful song that we had learned. It was so hard to sing the song and say good-bye to everyone. At the end of the tour party we each said a small speech in Japanese! It was a lot of fun! After the tour, I realized how much I was going to miss everyone and Okinawa; I didn't want to leave. I am keeping in contact with everyone and I hope that there will be a reunion. I feel like everyone in the tour was a family member and truly felt like an Okinawan at heart. I will never forget this wonderful experience.



アーシリー ブルック シングルトン
 ASHLIE BROOKE SHINGLETON
 17歳 3世
 アメリカ合衆国
 United States of America
 ジャクソンビル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー

私にとってジュニアスタディーツアーに参加した事は生涯忘れる事の出来ない感動的な体験でした。沖縄の歴史や文化を学ぶ事だけではなく世界各国からの参加者との交流が出来ました。このような思い出深い旅を実現させて下さいましたジュニアスタディーツアー関係者の方々（事務局、引率者、スタッフ、ボランティア）の献身的な働きに感謝致します。また、ジャクソンビル沖縄県人会が私をジュニアスタディーツアー参加者として選出して下さり、このような素晴らしい機会を与えていただいた事に心より感謝致します。ジュニアスタディーツアーを通して、島中の有名地を巡り、地域の方々と交流する事によって、沖縄の文化や歴史を学ぶ事ができました。また、首里城や今帰仁城等の歴史的に有名な史跡を訪問し、数えきれないほどの多くの面白い事実を学ぶ事が出来ました。

文化学習で三線練習やサーターアンダギー作りを体験し、工芸学習では琉球漆器の作り方も習いました。参加者全員が毎日エイサーを練習することは特に楽しかったです。一番楽しかった事は最終日にこれまで習ったエイサーを披露した事です。

自然学習で渡嘉敷島や比地大滝を訪問することによって、沖縄の美しい景色を楽しむことができました。渡嘉敷島海岸でのシュノーケリングや比地大滝へのハイキングは素晴らしい体験であったと同時に沖縄の自然環境を学ぶ良い機会でした。

社会学習では活気溢れるマチグワァー散策を通して沖縄庶民の日常生活を興味深く体験しました。又、ジュニアスタディーツアーを通して沖縄の中学生や高校生の方々と交流も楽しかったです。

平和学習では平和祈念資料館を訪問して第二次世界大戦体験者の体験談を聞かせてもらい、そして、第二次世界大戦が沖縄に与えた悲惨な被害やこの戦争が世界各国に及ぼした影響を及ぼしたかを直に学ぶ事が出来ました。

沖縄の移民講話「世界中に広がるウチナーンチュの心」を通して沖縄移民の歴史を興味深く学び、世界中のウチナーンチュネットワークの重要性を感じました。

このジュニアスタディーツアーを通して多くの体験をさせていただき、又大勢の素晴らしい方達とめぐり合う機会を与えていただきました事を感謝致します。

ジュニアスタディーツアーに参加した事は私にとって一生の思い出となるでしょう。このツアーを通してお友達になった方達との交流と再会を願い、何時の日か又沖縄を訪れたいと思います。

Junior Study Tour

Participating in the Junior Study Tour has been such an amazing experience. I was able to not only learn about the history and culture of Okinawa but also meet and interact with wonderful people from all around the world. I am truly grateful to have had the opportunity to be a part of such a memorable event and I know that none of this would have been possible if it were not for the hard work of everyone involved with the tour. I would like to thank the Jacksonville Okinawa Kenjin Kai for nominating me as a participant for the Junior Study Tour, as well as all of the staff and organizers who worked so hard to make the tour a success.

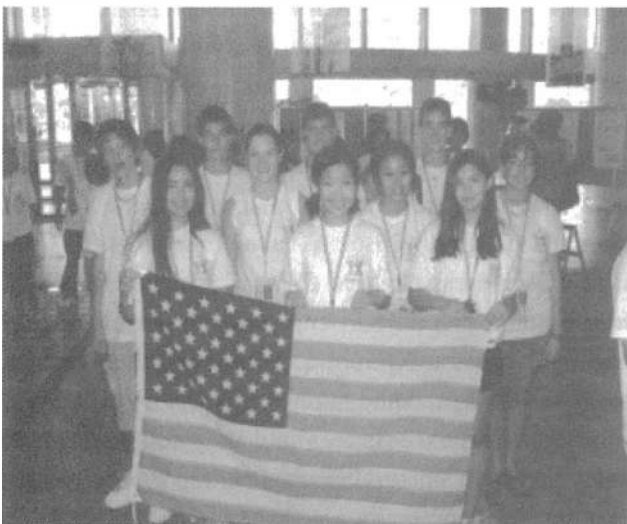
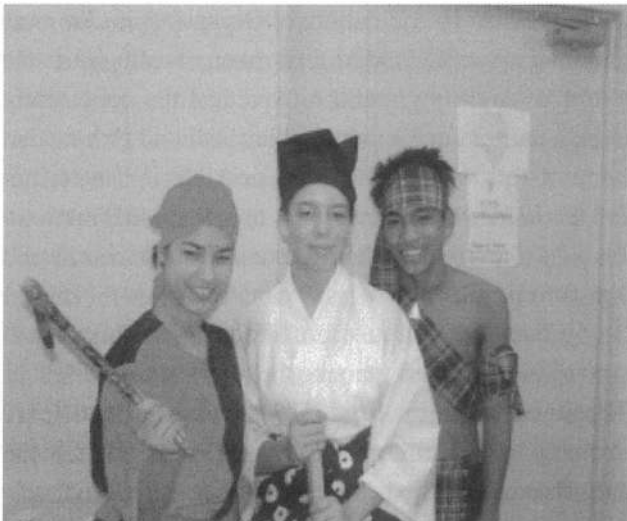
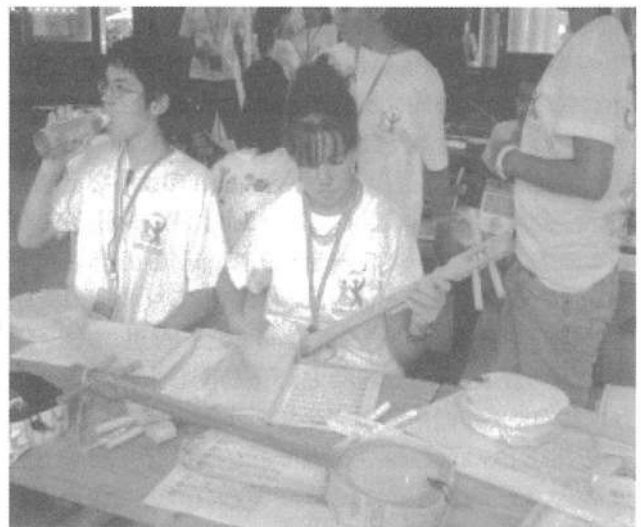
Through the Junior Study Tour, I was able to learn about Okinawan culture and history by visiting famous sites throughout the island and interacting with people from Okinawa. I learned so many interesting facts about historical places such as Shuri-jo castle and the Nakijin-Gusuku site. I was also able to practice with the sanshin and learn about making Ryukyu lacquer ware and Sata Andagi. One of my favorite parts of the tour was learning eisa. I especially enjoyed participating in the eisa performance on the last day of the tour.

By visiting areas such as Tokashiki Island and Great Hiji Falls, I was able to enjoy the beautiful scenery and landscapes of Okinawa. Snorkeling at the beach on Tokashiki Island and hiking in Great Hiji Falls were both amazing experiences and they allowed me to study Okinawa's natural environment.

For me, the most enjoyable part was learning about

the social aspects of Okinawa. The stroll through Machigua Marketplace provided me with a chance to see the daily activities of the people in Okinawa. I also enjoyed interacting with the local high school and junior high school students throughout the tour. The trip to the Peace Memorial Museum allowed me to hear a firsthand account of the Battle of Okinawa during World War II and also examine the impact that war has on different countries. Through the workshop and lecture about “the hearts of Uchinanchu throughout the world,” I was able to learn many interesting facts about Okinawan immigrants and also examine the importance of the Uchinanchu network throughout the world.

This tour has been a truly amazing experience and I am very grateful to have had the opportunity to learn so much about Okinawa and meet so many wonderful people. I know that I will never forget the Junior Study Tour and I hope that I can stay in touch with the friends I’ve made and one day go back to Okinawa again.





クリストファー ジェフリー エドワーズ
CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS
14歳 2世
アメリカ合衆国
United States of America
ミシガン沖縄県人会



第4回世界のウチナンチュ大会 ジュニアスタディーツアー 2006年

このエッセイは僕に影響を与えてくれたジュニアスタディーツアーの感想です。今年のツアーは世界のウチナンチュ大会に当り特別なイベントとなり僕にとって一度きりしか体験できない貴重なものとなった。僕の体験談と思い出をここに記録したいと思う。

2006年7月29日、僕は那覇市内のホテルに入った。三階のフロアで67人の子供達、スタッフメンバー、通訳の方々が集まった。席に着いた後、勝連氏による歓迎のスピーチが述べられた。その他のスタッフの挨拶の後、各自自己紹介、国、学校の名前等。そして、僕らの歓迎会がスタートした。沖縄尚学高校の生徒達により外国語を学ぶゲームをし、それから彼らは僕達にエイサーを披露してくれた。その後のタレントショーで僕は、空手の型を披露した。ほかの子供達の芸も数々登場。

二日目、僕たちは、那覇の泊港から渡嘉敷島に向かう。シュノーケリング、カヤッキングを体験。それは、20人も入る大きなカヌーだ。僕は友達の石垣幸夫君と一緒に遊んだ。その後、皆でビーチサッカーをして遊んだ。その晩、国立沖縄青年の家に宿泊、最初のエイサーの練習がはじまった。渡嘉敷島に一泊した後、次の朝僕らは沖縄本島に向かった。到着後、名護へ出発、途中読谷村のむら咲むらで三線のレッスンを受ける。僕達が名護のタニユーホテルに着くまで二時間半かかった。夕食は日本式で畳の上に座り低いテーブルを囲んで食事した。また、エイサーの練習、その後、僕は日本式サウナを初体験した。

次の朝、僕らはそろって自然学習のオリエンテーションを受け、九時半頃比地大滝に到着。そこでたくさんの自然に触れることができた。比地大滝はとても美しく僕は大感激した。午後の二時半又、他の場所へ移動。その夜沖縄尚学高校の生徒達を交えて、バーベキュー、キャンプファイヤーをしながら楽しんだ、その夜は僕にとって生涯忘れられない思い出となった。

次の朝、朝食の後、ホテルをチェックアウト。美ら海水族館を見学、水族館は非常に美しい。イルカのショー見学それは素晴らしいショーで大満足だった。その後、

今帰仁城を訪れる。景観でもあると同時に僕が感心したのは沖縄の人々が時間を費やして城の修繕に励んだことだ。そして那覇のホテルに戻る前にマチグワアを散策。僕の祖父母は国際通りに住んでいるので前にも散策したことがあるが、壺屋焼きの博物館は初めてだ。それから壺屋焼き通しも散歩した。そこで、八月二日のツアー終了。

八月三日、首里城見学。それは歴史学習の一部でもある。首里城見学の後、琉球王朝時代の王様が埋葬された玉陵の視察。そして織名園に行く。昔、織名園を中国宮廷の役人たちが通そうだ。その後、てんぶす館での文化学習、そこで僕は琉球陶器の膝器塗りに挑戦した。とても楽しい体験となった。

八月四日、本島南部の糸満市にある沖縄平和祈念資料館に到着。戦争で亡くなった僕の親戚達のことを思うととても悲しくなり、ここに僕との絆があるように思えた。平和の礎を見学後、ガイドさんは私達を戦いのあった場所へ連れて行き、彼の戦争体験談を話してくれた。とても怖い話だった。それらの場所を訪れた後、僕の戦争に対する考え方が今までとは違う様になった。次に僕らは琉球ガラス村を見学。そこにはガラス工芸家が働いており、ガラスのあまりの美しさに魅了された。そして、糸満の泡盛工場見学。

八月五日、社会歴史学習、日本の移住と沖縄の移住について勉強した。沖縄県の人口が約136万人であることや沖縄県系人が日本人移民の2割を占める事を学んだ。その日は終了。

八月六日、最後の日の荷物をまとめホテルをチェックアウト。僕らは、てんぶす館の前で集合。国吉先生から教わったエイサーを披露した。また他のグループによるエイサーも見学、妙子さんたち男女のグループによるニライの風が歌われた。それには県知事の稲嶺恵一氏も参加され歌われた。すべて終了した後、エイサーのインストラクター国吉敏弘氏にお礼の言葉を述べた。ツアーに参加した女の子達には泣いている子もいて僕も悲しくなった。その日はお盆の最初の日だが僕らのツアーの最終日でもあった。

八月八日、僕らのためのさよならパーティーが行われた。何人かによるパフォーマンスの後、にらいの風、島んちゅぬ宝を合唱。友達との別れはとても辛いもの

だった。

ホームステイの間、特にお盆の期間、僕は親戚の家々を訪ねた。皆僕に会えたことを喜んでくれて良くしてくれた。104歳になる僕の曾祖父の母にも会えた。その家でウーケイをして僕も仏壇に手を合わせることができた。お盆は僕にとって初めての貴重な体験となった。那覇では綱引きがあり、各市町村ではエイサーが行われ、素晴らしかった。その後、僕のフライトが台風でキャンセルとなった。僕は帰国するまで友達のリョウと豊川さんファミリーたちと一緒に北谷、沖縄市を見物した。

今後の沖縄とのつながりの計画は、まず日本語を勉強することだ。すでに僕の母と沖縄で知りあった友達から勉強している。世界のウチナーンチュ大会には出席できなくて残念だが、来年にでもまた沖縄を訪れたいと思う。高校生の中の一年間沖縄に留学するか、それができなければ沖縄の大学で勉強したい。沖縄とのつながりが切れることほど僕にとって悲しいことはないと思う。これで僕のジュニアスタディツアーの感想と体験談は終わりだが今度沖縄を訪れたときにみんなに会えることを期待しています。

Junior Study Tour 2006 4th World wide Uchinanchu Festival

This essay is an impression of the junior study tour and the affect it had on me. This junior study tour is different because it was the year when the Uchinanchu festival was going on so it was very special occasion. Especially since I can go on the tour only once in my entire lifetime. So this trip was very dear to me. I will recall all my experiences and memories and put them in this paper.

On July 29, 2006 I walked into a room at the City Court Hotel in Naha. There were 67 kids plus there was the Junior Study Tour staff, chaperones, and you can't forget the translators. The room was on the 3rd floor. After every one was seated and everything else was set up Mr. Katsuren started the ceremony by giving his welcome speech to every one. After his speech a few more of the staff said a few words and then one person at a time introduced themselves and there country/school. As soon as the meeting was over we played a bunch of language learning games; and had a welcome party with students from the Sho-Gakko-in High school they also performed Eisa for us too. We also had people perform a special talent if they volunteered. I performed a karate kata and the other people did a lot of other things too.

The second day of our adventure we left for Tokashiki

Island from Tomari Port, Naha. There we went Snorkeling, Sea Kayaking and there was also a big canoe that could hold 20 people. I went sea kayaking with my friend Sachio Ishigaki and also played beach soccer with everyone else. In the evening we left for the Okinawa National Youth Retreat where we would stay the night. We had our first eisa practice too. We stayed one night on Tokashiki Island and in the morning we left for mainland Okinawa. When we got to the mainland we got on busses to head strait to Nago. On the way to Nago we went through Yomitan Village and we visited Murasaki Mura where I took a lesson to play the Sanshin. When we got to the Tanyuu Hotel in Nago it probably took us two and a half hours by bus. We had dinner and we ate like traditional Japanese on tatami and at a low table. That night we had Eisa practice like every night we were on the tour. I also had my first Japanese bath/sauna there.

The next day we embarked on our nature study so we left for orientation in the morning and then at around 9:30 a.m for Hiji-o-Taki. I saw a lot of nature there and Hiji Great Falls was very beautiful. I enjoyed it a lot. We were on the road again by 2:30 p.m. That night we had a barbeque and the students from Sho-Gakko-in high school students came too and we had a bonfire and we played fun games. That night was one of the most memorable nights of my life.

The next morning we ate breakfast and we checked out of our hotel and headed for Churaumi Aquarium which is very beautiful place and we watched the dolphin show it was pretty spectacular as soon we left the aquarium we took the bus to Nakajin-jo ruins. It was very beautiful and I was amazed how the Okinawan people repaired the castle so much. Before we went back too our hotel we walked through Machiguwa Market Place. My grandparents live on Kokusai Dori Street so I have been there before. I also for the first time in my life got too visit the Tsuboya Pottery Museum and walk down Pottery Street. That was the end of the tours for the 2nd of Aug.

On the 3rd we left for Shuri-jo castle which is part of our history study. After the tour of Shuri Castle we walked to the Tamaudon Royal Mausoleum where I got to see where three kings were buried. After we saw the mausoleum we walked down to Shikinaen Royal Gardens which were also very beautiful. We learned that Chinese court officials would walk through these gardens. We also had cultural study that day at the Tenbusu Hall. I did Shikki or Okinawan Lacquer Ware. Which I thought was a lot of fun and also very

beautiful.

On the 4th we disembarked for The Okinawan Prefectural Peace Museum located in Itoman City at the south end of the island. I felt a lot of remorse here since I had Okinawan relatives die in the war so I felt a little connection here. I saw the Heiwa no Ishiji or Corner Stone of Peace and the Okinawan Flame of Peace. Our tour guide also took part in the battle and he told us his story, it was horrifying. I left the peace park a changed person since I never took war so seriously before now I do. We visited the Okinawan Glass Village next and saw all the glass smiths at work it was pretty fascinating. We stayed there for probably 15 minutes before heading off again now we were headed for the Awamori Factory in Itoman City.

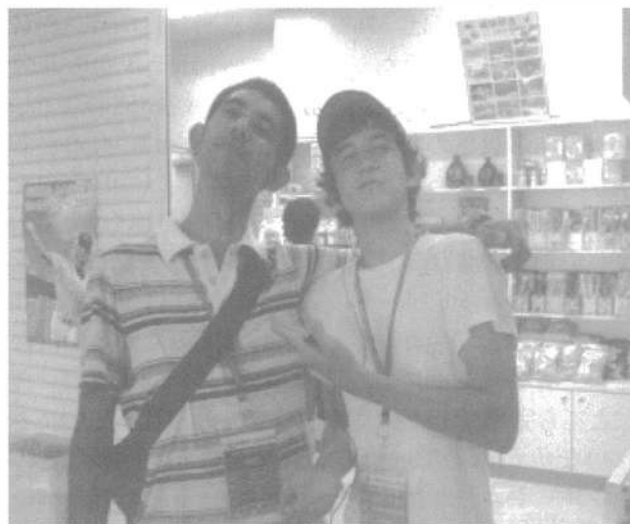
On the fifth we had social/history study. Today we would learn about Japanese immigration and Okinawan immigration. We were told Okinawa's population which is 1.36 million and that Okinawan people make up 20 percent of Japan's emigrants.

On August the sixth our last day we woke up and started to pack, at 11 o'clock we checked out of the hotel and drove to the Tenbusu hall to perform our Eisa that Kuniyoshi sensei taught us. We also watched other Eisa/Taiko groups perform and the man and woman that sung Nirai e no kaze were there to sing. The governor also sang Nirai e no kaze once and said a speech. After all that was over we all said thank you to Toshihiro Kuniyoshi-san our Eisa instructor. A lot of the girls cried too. Our host families were there to pick us up also. Aug. sixth is also the first day of O-bon. That was technically the last day of our tour but we would meet up again on the eighth at the Tenbusu for our going away party. This was really sad because I did not want to leave my friends. Some people had a performance to present so we watched those and we sang Nirai e no kaze and Shimantyunu Takara

During my home stay I visited my family especially during O-bon. I met my 104 year old great great grandmother and experienced ukui too. I also prayed to my ancestors in my relative's house's shrines. My relatives were really nice to me because some of them I haven't seen in along time so everyone was glad to see me. It was my first time in Okinawa during O-bon so I really enjoyed it. It was a very good experience for me. There was also tunahiki in Naha and there was also a lot Eisa all over the city. It was very cool I enjoyed it a lot. My flight was originally scheduled for the ninth of Aug. but do to the typhoon that came close to Okinawa I was able to stay an extra three days

and visit friends and family I also went to Chatan and Okinawa City with my friend Dale.

My future plans to stay connected with Okinawa and the people is to first learn the Japanese language which I am doing right now with the help of my mother and my Okinawan friends that I met on the tour. I will try to visit Okinawa as much as I can I will not be able to make the Uchinanchu Taikai but I want to visit next summer so I might come next year. I talk to my Okinawan friends too through e-mail and phone I also talk to my relatives on the phone. I hope to attend a year of high school there too I am looking into that right now. If that does not happen I will try to attend college there maybe Ryukyu International University. I hope I can do one if not both of those options. I just hope I do not get disconnected from my friends, family, and Okinawa it self that would truly hurt me. I just told you all my feelings and adventures I had well on the Junior Study Tour I hope too see everyone again and re-visit Okinawa.





パターンソン アンドリユー 義輝

ANDREW YOSHIKI PATTERSON

15歳 2世

カナダ Canada

バンクーバー沖縄県友愛会



沖縄ジュニアスタディーツアーレポート

この度の沖縄でのジュニアスタディーツアーは、私にとって、とても思い出に残る、素敵な旅となりました。この旅で私は多くの親切な人々に会うことができ、私の人生の中で一番楽しい旅となりました。

この機会に私を家庭に招いてくれ、まるで家にいるようにくつろがせてくださった新屋さんご家族に感謝の気持ちを述べたいと思います。

初めて沖縄に着いたとき、那覇空港にたくさんの報道陣がいたのにとっても驚きました。このツアーがこんなに大きな企画だとは、思ってもいませんでした。空港を出るのに、30分もかかってしまいました。初めて沖縄の外の熱気に触れたとき、私は、ここはカナダバンクーバーとは違うんだと感じました。

翌日の朝、私はテレビの音で起こされ、私とツアーのみんなが沖縄の朝のニュースに出ていたのにとってもびっくりしました。

ツアーの初日は、楽しい歓迎パーティーがありました。みんなで仲良くなれるようにいろいろな楽しいゲームをしました。その日、私はたくさんの人々と知り合いました。私のルームメイトは、エイリ君と佑介君でした。彼らはとても親切で、私たちはとても仲良くなりました。はじめは部屋の中で私だけが英語を話すのかなと思っていましたが、彼らも英語がとても上手でした。私たちのツアーの初日はとても良いスタートでした。

ツアーの二日目は、みんなで渡嘉敷島に向かった日でした。泊まっていたシティーコートホテルから五分ほど歩いたところに港がありました。短い道のりでしたが、あの暑さのなかでの旅はとてもきついものがありました。船に乗ったとき風がとても涼しくなったのでほっとしました。船は私が思っていたより速く、とても楽しい渡嘉敷島への船旅でした。渡嘉敷島に着くと、すぐバスに乗ってビーチに海水浴にでかけました。

ビーチはとても美しく、私が行って見たかった白い砂浜と青い水の海でした。沖縄でのシュノーケリングはとても完璧でした。海がとても透き通っていてきれいな魚が泳いでいるのが見えました。そして他にもカヌーやカヤック、スーパーフロート、バレーボール、サッカーなどの楽しい遊びで楽しみました。その後、

私たちは国立沖縄青年の家で一泊しました。そこでは布団で寝るとてもきれいな部屋がありました。そこではじめてのエイサーの練習がありました。ミルクムナリという歌に合わせて練習を始めました。初め私はエイサーは楽しくないと思っていましたが、やり始めるととても楽しく練習しました。それが三日目で渡嘉敷島での最後の日になりました。

その翌日、渡嘉敷島を立ち沖縄県知事に挨拶するため沖縄県庁に向かいました。そこではたくさんの報道陣がカメラを持って待っていました。残念なことに私は通訳の器具を持っていなかったのではっきり何が起きているのかわかりませんでした。とても貴重な経験になりました。その後、読谷に向かい、そこで昼食で沖縄そばをたべました。そばがとってもおいしくて今でもまた食べたい気分です。その後、沖縄文化学習の時間があり、琉球舞踊か空手か三線のレッスンを選んでとることができました。私は以前からやってみたかった三線のレッスンをとってみました。すこしむずかしかったですが、楽しい経験でした。しばらく練習した後、みんな上手になりました。みんなが楽しみにしていたサーターアングギーを作るクッキング講習がありました。思っていたより簡単にできてとてもおいしかったです。私とお友達はそれを夜食にしました。

そして私たちは名護市に向かい、とてもきれいな日本式ホテルに泊まりました。毎晩私とお友達はホテルのロビーで遅くまでおしゃべりをして楽しいときを過ごしました。

四日目の朝、私はその日、人生の中で一番疲れる日とは知らずに起きました。みんなで山に向かい、比地大滝までハイキングにでかけました。一人ずつ冷たいアイスティーマをもらってハイキングに出発しました。その時たくさん生き物を見ることができました。私は生まれてからこれまで見たこともない大きなクモを見ました。そのクモはあまりにも大きかったので私は近づくことができませんでした。みんなとても疲れきって、自動販売機が山道を曲がるとあるように願っていました。そしてやっと比地大滝に到着することができました。それはとてもきついハイキングでしたが滝がとても美しかったので頑張った甲斐がありました。

そのハイキングの後、お水が何よりもおいしく思えました。その夜、私たちはバーベキューをしました。焼きそばやお肉、そしてその他にもたくさんのおいしい沖縄料理を食べました。その夜、私たちはキャンプファイアーとパーティーでいろいろなゲームやコンテストをして楽しい夜を過ごしました。

五日目の朝、私たちはいつもより早く起きました。その日は、海洋博記念公園に行く予定の日でした。美ら海水族館では色とりどりの美しい魚を見学し、そしてオキちゃん劇場では面白いイルカショーを見学しました。その後、私たちは歴史学習のため、今帰仁城跡に向かいました。そのスタデイーツアーの途中で大雨が降り出したのを覚えています。私たちはマチグワァーにも行きました。私が行ったことのないようなマーケットでした。オートバイやスクーターが忙しそうに行きかかっていました。その後、マーケットでカキ氷を食べました。暑い日には最高でした。

五日目の木曜日は、今までで一番暑い日でした。私たちは歴史学習で首里城に出かけました。とても美しく再現されたお城で、そこを見学中、私はとても多くの歴史の品を見ることができました。その後、私たちは美術とクラフト学習のためにてんぶす館に行きました。私たちは、琉球紅型、首里織、琉球漆器のどちらかを選んで挑戦しました。私は琉球漆器に挑戦してみました。はじめはとても難しいのかなと思っていましたが、思っていたよりは簡単で、みんなとてもきれいに漆器を仕上げることができました。

次の日は平和学習で平和祈念資料館に行き、いろいろなことを学びました。始めに私たちは沖縄の第二次世界大戦のときの様子をビデオで観ました。ビデオの後、私たちはひとりの男の人の戦争体験談を聴きました。それはとても感動するスピーチでした。その後トロントから来た友達のちかし君と私はその方とお話をすることができました。とても親切な方で、私たちにカナダから来たのかとたずねられ、彼はカナダが好きなのだと教えてくれました。その後、その方は、私たちを案内してくれて平和の礎に連れて行ってくれ、戦争の時に亡くなった人々の名前を彫ってある石碑を説明して見せてくれました。

私たちはバスに戻り、琉球ガラス村に行き、ガラス工芸の現場を見学することができました。そこに少しとどまり、その後、泡盛工場に行きました。とても面白い所でした。そこで、アルコールのっていない泡盛のサンプルをもらい飲みましたが、私にはとてもおいしく感じませんでした。

最後から二日前の日は、学習日である建物に行き、沖縄人の移住のことを学びました。ある男の人が、世界中の沖縄人の心という題でスピーチをしてくれました。

その後、ワークショップがあり、各自の国々の紹介を

したりいろいろのことを学びました。あまり楽しくはなかったのですが、その日はたくさんの事を学ぶことができとてもよかったです。その夜、私たちは七日目の最後のエイサーの練習をしました。

ツアーの最終日、私たちは朝、帰り支度をすまして、その日のエイサーの発表会の準備をしました。エイサーの衣装を着てパーランクーを持ち、始めにマーケットをパレードで歩きました。そして私たちが練習したミルクムナリとクーダーカーという曲に合わせて、一度マーケットで、そしてもう一度県知事の前でエイサーを披露しました。みんなの前でエイサーを踊るのはとても楽しく、みんなはその後涙を流して感動していましたが、私はさよならパーティーは二日後なのにどうして泣いているのか理解できませんでした。でもこの日が私にとってツアーの中で一番思い出に残る楽しい日となりました。さよならパーティーでは、たくさんのお友達が各国々の音楽やダンスを披露してくれて楽しい時となりました。

この沖縄スタデイーツアーは私の一生のなかで行った旅行のなかで一番楽しく思い出に残る旅行でした。私は、沖縄で出会った人々、そして沖縄でしたひとつひとつの事を一生忘れないでしょう。そして、沖縄で出会った人々にまた会える日が来ることを願っています。

最後に、このツアーを実現させてくれたスタッフの方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ありがとう、Thank you, Gracias, Obrigado, フェーデービル。

Junior Study Tour

My trip on the Junior Study Tour in Okinawa was a very cool experience. I met a lot of nice people and it was the most fun two weeks in my life. I would like to thank Mr. and Mrs. Shinya for taking me into their place and making me feel at home.

When I first arrived in Okinawa I was surprised that there were so many cameras there. I didn't expect this tour was going to be that big. It took about half an hour to get out of the airport. When I first stepped outside, a burst of heat just came to me and I knew that this isn't going to be like Vancouver at all. I was woken up by the TV and I was surprised to see that we were on the morning news in Okinawa.

The first day of the tour was a very fun welcoming. We played a lot of fun games that helped us to get to know each other. I met a lot of people that day. My roommates were Eilly and Yusuke. They were nice guys and we got to know each other very well. At first I thought that I was the only one that knew English in

the room but they knew English very well. Our first day was a great start of our tour.

Our second day was the day where we headed for Tokashiki Island. It was a five minute walk from the City Court Hotel to the ferry terminal. Although it was a short walk it still was a killer in the heat. I was relieved to get into the ferry because it was very cool in there. The ferry was very fast, faster than I expected it to be so it was a very fun ride to Tokashiki. When we arrived, we got straight on the bus to the beach to go snorkelling. The beach was very beautiful, the water was blue and the sand was white it was the kind of beach that I always wanted to go to. Snorkelling in Okinawa was perfect. The water was so clear that you can see all the way to the bottom and there was a lot of fish in the ocean. We also did a lot of other things like canoeing, kayaking, “super float”, soccer, volleyball and a lot of fun stuff there. After that we headed our way to the national youth centre in Okinawa where we would stay one night there. They had nice rooms there where you sleep on a futon. We had our very first Eisa lesson there, we started to learn the dance from the song “Miruku Munari”. At first I didn’t think Eisa would be fun but once we got into it, it was very fun!

It was our third day on the tour and our last day on Tokashiki Island. We departed from Tokashiki that day and went to the prefectural building for the courtesy call for the governor of Okinawa. There were a lot of cameras there. I didn’t really know what was really going on though because I didn’t have my transceiver with me, but it was a cool experience. After we got on our way to Yomitan for lunch which we had Okinawa soba, I love it! I’m probably craving some as you read this. It was time for our cultural study where we either get to try ryukyu dance, karate, or sanshin. I chose to try out the sanshin. I always wanted to try one out. I thought it was fun but it was a little hard. Everyone seemed to get fairly good at it after a while. One thing every one was looking forward to was making sata andagi, it was easier to make than I expected, and it was very tasty, we finally had a midnight snack! We now headed for Nago and stayed at a very nice Japanese style hotel. We would have fun every night because we always stayed up late and talked in the main lobby.

It was day four on the tour, I woke up not expecting that I was going to have the most tiring day of my entire life. We all headed off to the mountain where we were going to hike to Hiji falls. We each got a bottle of iced tea for our hike. We found a lot of interesting

creatures. Also on the hike I saw the biggest spider I’ve ever seen! I didn’t really want to get near it. Some of us were dying out there. We were hoping and hoping for a vending machine to pop out around the corner. We finally got to Hiji falls, it was a very beautiful place, it was probably worth the killer hike. I could tell you that water tasted better than anything after that hike. We had our BBQ that day, we had yaki soba and all sorts good Okinawan food. We had another sort of party that night at the camp fire where we played many games and had many contests.

We had an early wake up time on day five. It was the day where we got to go to ocean expo park. There was a lot of colourful fish, we also saw a dolphin show which was really cool. After lunch we went to the History study at Gusuku castle, I remember in the middle of the tour the rain just started to pore. We also got to go to machigua market, it wasn’t like any market that I’ve ever seen before. There was a lot of scooters and motorbikes going right through. Later on we got to have shaved ice there at the market, It was really good and perfect for a hot day there.

Thursday, day five was probably the hottest day. We had another history study at shuri-jo castle, it was a very beautifully made castle and I got to see a lot of different thing while going though the castle. Later on we went over to tenbusu hall for arts and crafts. Our choices were either bingata, shuri-style weaving, or ryukyu lacquer ware. I chose to make the ryukyu lacquer ware. At first I thought it was going to be hard to make but it wasn’t that hard at all and everyone’s turned out looking very nice.

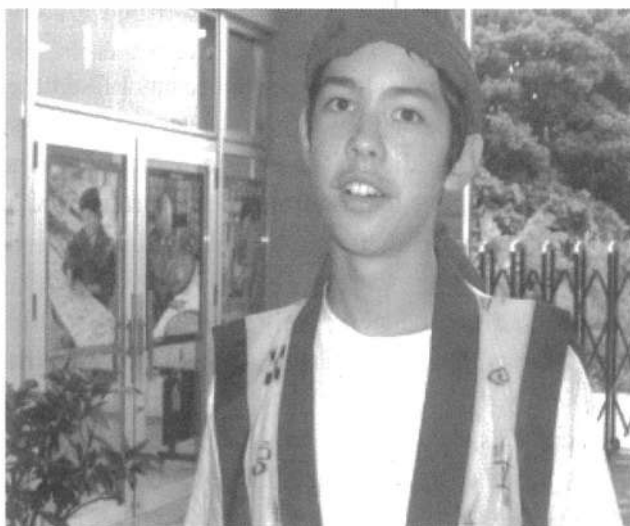
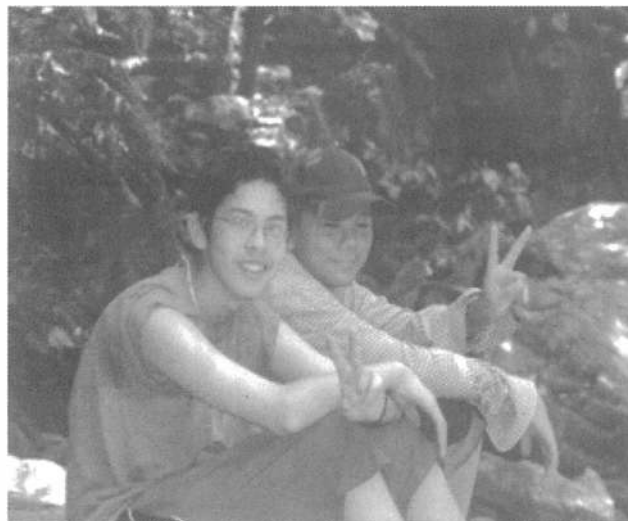
Next day was our peace study tour at the peace memorial museum. We did a lot of different things there. First we watched a video of Okinawa during the years of world war II. After the video was over we got to listen to a mans story of his experience in Okinawa during those years. After his very good speech, Chikashi and I got to meet him, he was a very nice man and he told us how much he loved Canada. He gave us a tour around the place, he showed us the corner stone of peace with all the names of the people of Okinawa who died during those times. We headed back on the bus and made a quick visit to the ryukyu glass village where we got to see people making beautiful glass ornaments, we stayed there for just a little while because we had another stop. Our next stop was the awamori factory, it was an interesting place. They gave us a sample of some kind of drink that I had no clue on what it was, whatever it was it tasted

horrible.

Our second last day was basically our “study day”. We went to this place to hear about Okinawa immigration. This man gave us a lecture on “The hearts of Uchinanchu throughout the world”. for the rest of the class we did a workshop and presented different things about our country. It wasn’t much of a fun day but we learned a lot then. We had our seventh and last Eisa practice before the performance.

It was our last day of the tour. We were already packing our bags in the morning and we were getting set for our big performance. We first marched down the markets with our parankus and eisa uniforms, we had to perform both songs we practiced “Miruku Munari” and “Kudaka” once in the market and once in the real performance for the governor. It was so much fun performing for everyone there. Everyone got very emotional after, I didn’t understand why because we have a sayonara party in two days! But I have to say that this was the most fun day of the tour. At the sayonara party we did many things there, some people performed dances and music from their country, it was a very fun party.

This tour was the most fun thing I have ever been to in my life. I will never forget what we did and the people I met, I hope to see everyone again in the future. I also would like to thank the staff who made this tour happen. ARIGATO, THANK YOU, GRACIAS, OBRIGADO, NI HEI DE BERU!





比嘉 史

NICHOLAS CHIKASHI HIGA

13歳 2世

カナダ Canada

トロント球陽会



ジュニアスタディーツアー

僕の名前は比嘉史（ニコラス）です。僕は最近沖縄への旅行で素晴らしい経験を致しました。今回カナダ国外への初めての旅行であり、オンタリオ州以外の旅行でもありました。

僕はこのジュニアスタディーツアーに対して余り期待をしていませんでしたが、終わってみると楽しさ一杯の旅行だったと思いました。

いろいろな所へ行き沖縄の文化を学びました。そこで沢山の友達と出会えた事も旅行の楽しみでした。行った所は渡嘉敷島、読谷村、比地大滝、沖縄美ら海水族館、今帰仁城跡、マチグアーマーケット、首里城跡、平和祈念資料館、琉球ガラス村、それから泡盛工場等です。

僕が気に入った場所は比地大滝でした。比地大滝に向ってのハイキングの間、長い階段の上り下りで足が痛み、それでも歩く事は嫌でしたが周囲の素晴らしい景色を楽しむ事が出来ました。二番目に好きな場所は首里城跡でした。

僕が経験した伝統芸能、工芸はエイサー、三味線、紅型染め等毎日練習しました。特に三味線を弾くのは楽しい経験でした。でもエイサーはもっと好きでした。参加者全員でエイサーのパフォーマンスをした時、始めは緊張しましたが、一生懸命パーランクーを叩いたり踊ったりしているうちに楽しくなりました。エイサーの衣装とパーランクーのプレゼントを受けた時は嬉しい驚きでした。

沖縄県で従兄弟達や他の親戚方々に会えた事は嬉しいことでした。カナダ国には両親や姉以外の親戚は住んで無く、今回初めて会う親戚がほとんどでした。

祖父が帰国のお土産に三味線をプレゼントしてくれました。最高に嬉しかったです。

ジュニアスタディーの沖縄県への旅行は良い事づくめでした。

次回に誰かがこのような機会を与えられたら僕は勿論参加する事を勧めます。

Junior Study Tour

My name is Nicholas Chikashi Higa, and I recently experienced an incredible trip, a trip to Okinawa. It was my first trip outside of Canada, in fact, my first trip outside of Ontario.

My expectations were low at first, but the fun was redeemed. It was an incredible trip going to many places, and learning about Okinawan culture. The fun also came from the many friends made there.

The places we went to are called Tokashiki Island, Yomitan, Great Hiji Falls, Chraumi Aquarium, Nakijin-Gusuku Castle, Machigua Market, Shuri-jo Castle, Peace Memorial Museum, Ryukyu Glass Village, and the Awamori Factory. My favourite place that we went to was Great Hiji Falls, because of the great scenery while we were hiking. I didn't

like how much we had to walk because my feet were sore from all the stairs that we had to use. My second favourite was Shuri-Jo castle.

The arts and crafts that I did was eisa, which we did every day, sanshin, and bingata.

Sanshin was a really fun experience, but I liked the eisa a little more than the sanshin.

When everybody did the eisa performance, I was a little nervous, but it turned out being pretty fun. I was also surprised that we received the uniform and parank.

It was also great meeting my cousins and family in Okinawa. This is because none of my cousins and family, other than my sister and parents, live in Canada. This was also my first time meeting most of them. (Three of my relatives came to Canada before to visit.)

My grandparents even gave me a sanshin to take home. It was a great surprise.

Overall, this trip to Okinawa was great, and I would recommend going to anyone if they have a chance to receive this opportunity.



ブライアン メヒア ヤキテン
 YAQUITEN BRYAN MEJIA
 16歳 3世
 フィリピン共和国
 Republic of the Philippines
 フィリピン沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー

私はヤキテン M. ブライアンです。私は三世です。私は沖縄で開催された2006年ジュニアスタディーツアーのフィリピン代表参加者です。私は沖縄に行くのは今回が初めてであり、家族と離れるのも初めてでした。私の県人会であるフィリピン沖縄県人会から今年のジュニアスタディーツアーの参加者に選ばれた時、私はワクワクしました。この毎年実施されるスタディーツアーに選ばれて参加することは大変な特権でした。しかし同時にドキドキしました。自分一人で初めて国外にでることは本当に心配でした。

ハイライト

ツアーの最初の日は、私がフィリピンからのただ一人の参加者ということで本当に心配でした。ほとんどの参加県人会は少なくとも二人の代表をこの行事に参加させていたからです。私はたった一人のフィリピン人参加者ということで、ちょっと掛け離れた感じがしました。それに私が日本語を話せなかったのも、他の参加者と交流することは少々困難でした。みんなが日本語を話せるようでした。私が知っている日本語はいくつかの単語で十分ではありません。でも言葉の障害を乗り越えて、私はみんなと会ってたくさんの友人を得ることができました。

オリエンテーションの時、私は何の話をしているのかわからず少々退屈しました。通訳はいたのですが、受信機からではよく分かりませんでした。ゲームの時に緊張がほぐれ、みんな“YMCA”と“5,6,7,8”の拍子に乗って踊りました。最初はぎこちなくおかしな感じでしたが、本当に愉快でした。

2日目の目的地は渡嘉敷島でした。本当に暑い日でした。船に乗っている間は太陽が焼け付くようでした。しかし暑くても気分は上々でした。船に乗ったのは初めてでしたがよい体験でした。渡嘉敷島への旅は景色が美しかったせいか、すぐに着きました。島に着いた時、美しい海水と景色にうっとりしました。ビーチリゾートは本当に素晴らしくて“すごい!”の一言です。あたりはまるで完璧な写真のようです。

リゾートではシュノーケリング、カヌー、カヤック、

ビーチサッカー、バレーボールなどができて、大変楽しかったです。渡嘉敷島へのツアーはすごい経験でした。すべての参加者への歓迎の行事であり、そして沖縄の紹介のようでした。島を廻って沖縄の文化の紹介がありました。私たちは渡嘉敷ではじめてエイサーの練習もしました。エイサーはやさしい踊りではありませんが、それを学ぶ過程はやりがいがあります。私には伝統的な沖縄の舞踊を学ぶ大変よい機会でした。エイサーを学んだことは、このジュニアスタディーツアーのハイライトのひとつでもあります。

次の日は朝早く起きて、沖縄県知事との面談の前に軽い運動をして、朝食をとりました。この面談のために参加者は各国の国旗を持つよう指示されました。私はフィリピンからのたった一人の参加者でしたので、国旗はかなり重く、運ぶのは大変でした。次の日に私たち全員は“むら咲むら”に行き、もっと多くの沖縄文化を知りました。今度は空手の忍耐と沖縄ドーナツ作りをすることで、沖縄について学ぶ機会を得ました。この2つの体験はすこし疲れたけれど大変興味深く、楽しいものでした。私はガイドさんといろいろなドーナツを作って楽しみました。

滝へのトレッキングもしました。その地域に生息する動物についてのオリエンテーションも受けました。滝に到着すると、涼しい水に誘われて水浴びをたくさんしました。本当に泳ぎたかったのですが着替えを持って行きませんでした。そこで靴を脱いで足を浸して冷たい水の感触を楽しみました。そして写真を撮りました。

次は私たちが一泊した名護です。名護では又エイサーを練習し、沖縄スタイルのバーベキューの準備をしました。たき火を明かりにして、“フィッシュ クラッカー イーティング”などのゲームをしました。私は負けました。また“5,6,7,8”の拍子にあわせてダンスをして2人の参加者の誕生日を祝いました。

名護にいる間に美ら海水族館に行きました。大きい水族館に行ったのは初めてでした。様々な海の生き物はとても荘厳でした。イルカショーのアトラクションも良かったです。イルカは歌ったり、踊ったりしました。観客を喜ばすために芸もしました。

私たちは“平和通り”にも行きました。文字どおり

平和の通りです。国際通りにあります。那覇のインターナショナルストリートです。沖縄の学生がこの活動のガイドをしてくれました。

サングラスをしている豚もいて、マチグワァー散策はこの旅を大変楽しいものにしてくれました。平和通りの裏に壺屋があり、有名な壺屋焼が展示されています。ここはまた、沖縄の初期に使われた歴史的な送水ポンプがある場所でもあります。

興味深く参考になる観光地は首里城です。ここは琉球島の王と皇族の住んでいたところでした。戦争中に破壊されましたが城は復旧されました。城から数ブロック離れたところに“玉陵”と呼ばれる王朝の陵墓があります。

次に行った所は平和祈念公園と平和の泉です。ここでは世界大戦における沖縄の被害者の観点（苦難と生存）から歴史について学びました。これらの建造物は沖縄の平和の願いとして建てられました。悲惨な過去から学び、前進し、解放されるということなのでしょう。祈念公園は平和を提唱しています。大戦をすこし回顧した後で、泡盛工場へ行きました。泡盛はウォッカの日本版ですが、ウォッカよりも強いという人もいます。泡盛の歴史をビデオで見ましたが、タイが原産で日本人が時間を掛けて作り上げたものです。米が主な原料で、味は米が創る菌次第です。ツアーはフィルムの上映から実際に泡盛をつくる工程を見せる大変興味深いものです。

ツアーの一番忘れ難い行事は、ジュニアスタディーツアーの参加者がテンブスホール前広場で知事に披露したエイサーです。

閉会の式典では参加者一人一人が、短くても日本語でスピーチをしました。私も自分の任務は果たしましたが、私は書かれたものを読んだだけなので日本語をうまくしゃべったのかどうかはわかりません。各参加者は短いプレゼンテーションも用意しました。私は最初大変心配でしたが同じ参加者の人達が私のダンスをみて楽しんでいるのを見てうまく踊ることができました。私のフィリピンの伝統的なダンスの後で褒められたので私は得意になり嬉しかったです。

閉会の式典はパフォーマンスやプレゼンテーションそして他の代表者たちとの交流のお祝いの機会でした。そしてまたそれは旅の終わりの合図でもあり、別れの時でもあるので感動的なシーンでした。そのほろりとくるような場面を破って私は冗談を言って廻りました。みんな笑ってくれました。閉会の式典はすべての参加者が一緒に曲を歌って幕を閉じました。

学習と感謝

ジュニアスタディーツアーのような一生に一度の機会に参加できたことは、世界中の若い沖縄人が自分た

ちのルーツの他の部分に触れ合うすばらしい機会でした。それは我々の祖父の祖国で我々を引き合わせ、触れさせてくれるいい活動です。もう一人フィリピン沖縄人参加者がいたらこのすばらしいスタディツアーの体験のことを話し合え、またツアー参加中の多くの思い出を分かち合う事ができたのですが残念です。それでも私たち参加者が一堂に会し、私たちの遺産を見つけて沖縄生活を体験することは、大変すばらしいことです。このスタディーツアーの一員となったことで学校の授業を数週間休むことになり、家族と離れて大変寂しい思いをしました。しかし私が得た全ての友達、私が会った多くの人々、そして私が訪ねた場所は、すべて意義深い経験であり、どこにいても私と一緒にです。ジュニアスタディーツアーは私のような3世には目を見張らせてくれるものがありました。

私の中に素晴らしい衝撃を与えてくれました。この体験をしたことで私は沖縄人としての感謝の念を抱くようになり、フィリピン-沖縄人としての独自性を知るようになりました。沖縄人、特にフィリピン-沖縄人の成長に積極的に貢献し、継続して世界中の沖縄人と連携する必要性を認識しました。

私は沖縄県にこのスタディーツアーを可能にして下さったこと、オーガナイザーに私たち全員が最高の体験となるようにして下さったこと、私の同僚参加者に大きな友情の始まりとして下さったこと、暖かく迎えて下さったすべての沖縄の人達に、アリーニと彼女の家族に親切にもてなして戴いたことに感謝いたします。

私の沖縄での体験は私の10代の若い人生に起こった最高の出来事のひとつです。そして私はすべての思い出をずっと大切にしたいと思います。2006年のスタディーツアーは終わったばかりですが世界中の沖縄人の友情の始まりでもあります。

Junior Study Tour

I am Bryan M. Yaquiten. I am a Sansei. I am the Philippine delegate for the 2006 Junior Study Tour in Okinawa, Japan. This is my first time to be in Okinawa and my first time to be away from my family. I was thrilled when my Kenjinkai, the Philippine Okinawan Society, chose me to be the participant for this year's Junior Study Tour. It was really a privilege to be chosen to participate in this annual Study Tour. But at the same time, I am also nervous. To be out of the country on my own for the very first time is a valid reason to be anxious.

HIGHLIGHTS

On the first day of the tour, I was really nervous

because I am the only participant from the Philippines. Almost all participating Kenjinkai sent at least a pair of delegates to be part of this event. I just feel odd being the only Filipino participant. Also, it is a bit difficult to interact with the other participants because I don't know how to speak Japanese. It seems that everybody knows how to speak Nihongo. I only know a few words but it is not good enough. But, the language barrier did not stop me from meeting people and gaining a lot of friends.

During the orientation, I was really bored because I cannot understand what is being discussed. We do have a translator but it's hard to understand through the transceiver. Though the games are really an ice-breaker and made everyone dance to the beat of "YMCA" and "5,6,7,8". It is a bit awkward and funny at first, but it was really entertaining.

The second day is Destination Tokashiki Island. It was really a hot day. I could feel the scorching sun while boarding the ship. But the hot weather did not spoil my mood. It is my first time to be aboard a ship, and it is a welcoming experience. The travel going to Tokashiki seems fast as I was entertained with the beautiful vista. When we arrived in the Island, I was amazed with the inviting clean water of the sea and its beautiful surroundings. The Beach Resort is really breath-taking and all I could say is "WOW." The environment is almost picture perfect. The atmosphere in the Resort made the activities – snorkeling, big canoeing, kayaking, beach soccer, and volleyball, among others, more fun and enjoyable.

The Tokashiki Island Tour was a great experience. It is like a welcome activity for all the participants and at the same time an introduction to Okinawa. We toured the island and were introduced to Okinawan Culture. We even did our first Eisa practice in Tokashiki. Eisa is not an easy dance but the process of learning it is really worthwhile. For me, it is a great opportunity to learn a traditional Okinawa dance. Learning Eisa is really one of the highlights of the Junior Study Tour.

The next day, we were up early for breakfast and for some exercises before the scheduled meeting with the Governor of Okinawa. For this activity, the participants were tasked to hold their country's flag. Since I am the only participant from the Philippines and the flag is quite heavy, I had difficulty carrying it.

The next day, we all went to Murasaki Mura and discovered more about Okinawan culture. This time, I was given the chance to experience Okinawa by trying my patience in Karate and in making Okinawan

Donuts. Both activities are a bit tiring but very interesting and very enjoyable. My guide and I even had a great time making different donut shapes.

We also trekked our way to the Falls. We were first given an orientation about the animals that is present in the area. Upon reaching the falls, the cool water is really inviting me to take a dip. I really wanted to swim but I was not able to bring extra clothes. I ended up taking my shoes off and just feel the cold water through my feet. And took pictures.

The next trip was in Nago where we stayed overnight. We practiced Eisa again in Nago and prepared ourselves for a "BARBECUE" party, Okinawan style. With a bonfire as our light, we played some games such as the "fish cracker eating" where I joined but lost. We again danced to the beat of "5,6,7,8" and greeted the two participants celebrating their birthday.

While in Nago, we visited the Churaumi Aquarium. It was my first time to go to a huge aquarium. The diverse sea creatures with different sizes are really awesome. Another attraction in the area is the Dolphin Show. The dolphins even sang and dance and did tricks to the enjoyment of the audience.

We also toured Heiwadori which literally means Peace Street located in Kokusaidori, the international street in Naha. Okinawan students served as our guide for this activity. The search for the pig wearing shades made the tour more adventurous and exciting. At the back of Heiwadori is Tsuboya where the famous Tsuboya pottery are displayed. It is also the location of the historical water pumps, which were used during the early days of Okinawa.

Another interesting and very informative tourist spot is the Shurijo Castle. This is where the King of the Ryukyu Island and his royal family reside. It was destroyed during the war but efforts have been made to restore the Castle. A few blocks away the Castle is the Tamaudon Cave, which serves as the Tomb of the royal family.

The next stop is the Peace Memorial and the Peace Fountain. We had a review of our history, the World War from Okinawa's victims' point of view - their sufferings and survival. These structures were built as Okinawa's call for Peace. It is their way of letting go of the gruesome past, learning from it and moving forward. The memorial is advocating for peace.

After a brief review of the World War, we went on to the Awamori Factory. Awamori is like the Japanese version of Vodka but others say that it is stronger. As the video showing of Awamori's history, it is originally

from Thailand, which was adapted and developed by the Japanese. Rice is its main ingredient and its taste depends on the mold produced by the rice. The tour is quite interesting, from the film showing to the actual process of making Awamori.

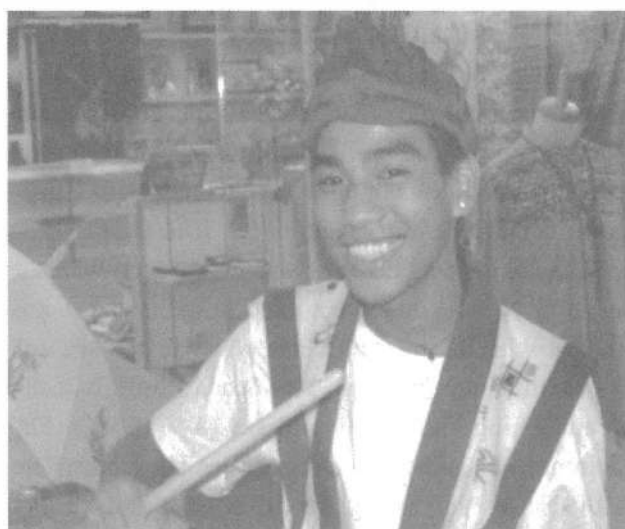
One of the most unforgettable events in the tour is performing Eisa at the Tenbusu Hall as the Junior Study Tour Participants' presentation for the Governor. The closing ceremony requires everyone to have a little speech but it should be in Japanese. I did my part but I am not very certain if I did well in speaking in Japanese even if I was just reading it. Each participant also prepared a little presentation. I was really anxious at first but seeing my co-participants enjoying my dance motivated me to perform well. After my Philippine traditional dance, I received praises, which made me really proud and happy. The closing ceremony is a festive occasion because there are performances and presentation and a lot of mingle with the other delegates. But it is also a moving scene because it signals the end of the tour and a time for farewells. To break the touching scene, I stated joking around which made them laugh. The ceremony ended with a song number from all the participants.

LEARNINGS AND ACKNOWLEDGEMENT

Participating in a once-in-a-lifetime opportunity such as the Junior Study Tour is a great way for younger Okinawans around the globe to be in touch with the other part of their roots. It is a good activity to introduce and expose us to our grandparents' homeland. I just wish I have another Philippine Okinawan participant with me so I have someone to reminisce all the wonderful experiences in the Study Tour. And someone to assist me in sharing all the great memories I had while participating in the Tour. Nevertheless, It is a very interesting chance to bring all of us together and be one in discovering our heritage and experiencing Okinawan life. Being part of this study tour may have caused me to skip school for a few weeks and made me miss my family very much. But all the friends I gained, the people I met, and the places I visited are all significant experience that I will always be with me wherever I am. The Junior Study Tour is an eye-opener for a sansei like me. It has made a dent in me, a remarkable impact. The experience made me appreciate myself as an Okinawan and recognize my uniqueness as a Filipino-Okinawan. It made me realize the need to actively contribute to the growth of Okinawans specially

Filipino-Okinawans and to continue the link among Okinawans around the world.

I am very much grateful to the Prefecture of Okinawa for making this Study Tour possible; to the organizers for making this year's activities the best experience for all of us; to my co-participants for the start of a great friendship; to all the Okinawans who warmly welcomed us; to Allini and her family for their kindness and hospitality. My experience in Okinawa is one of the best things that ever happened to my young teenage life. And I will forever cherish all the memories. The 2006 Study Tour just ended but it is also a start of a good relationship of Okinawans from all over the world.





比嘉 麻耶

MAYA HIGA

16歳 2世

マレーシア Malaysia

マレーシア沖縄会



ジュニアスタディーツアーの感想

私はこの Junior Study Tour を通してたくさんの人に出会う事ができ、沖縄の文化や歴史を知る事ができました。

まず初めに文化を勉強しました。文化学習では三味線と紅型を体験しました。三味線は楽譜とか読み切れなくて大変だったけど、ずっとやりたかったので、できて良かったです。紅型は一つ一つの部分に自分で色をつけていって、はみだしたりして大変だったけど、初めてやってすごく面白かったです。

次に歴史を勉強しました。今帰仁城跡へ行ったり、首里城へ行ったり、沖縄の歴史について色々勉強しました。その中でも一番印象的だったのは、平和祈念資料館で実際に戦争を体験した人の話を聞いた事です。すごくリアルで恐くて戦争のない時に生まれてきてよかったなあと思いました。

自然学習では渡嘉敷島へ行って、透き通った綺麗な青い海を見て、すごく感動しました。みんなでビーチバレーをしたりして、すごく楽しかったです。比地大滝は色んな生き物がいましたが、川は滑るし、疲れるし、暑かったけどすごくいい思い出です。美ら海水族館は本当に海にいるような気持ちになりました。

エイサーは初めてやって、最初はできるかなあって思ったけど、みんなで毎日頑張って練習して全部マスターしたとは言えないけど、やっぱりみんなで頑張ってきたからエイサー演舞が終わった時は、すごく感動して涙がでました。みんなで一つのことをやりとげるのはステキだなあと思います。

私はこのツアーでたくさんの人と友達になる事ができました。みんなそれぞれ言葉や文化は違って、気持ちは一緒なんだなあと思いました。たくさんの方の中から選ばれて私達は出会う事ができて、本当にラッキーだなあと思います。このツアーに参加したのも私達が出会ったのも何かの縁で巡り会えたんだと思います。今はみんなそれぞれ違う場所にいるけどこれからもずっと友達のままです。

最後に、またいつかみんなで会う日までそれぞれの道を歩いていこうね。私はみんなに会えて本当に良かったよ。みんなで笑ったり、泣いたりしてすごした

一週間は絶対忘れないよ。私の一生の宝物だよ。仲良くしてくれて本当にありがと。みんな大好き。みんな Love you。出会いを結んでくれたこの Junior Study Tour に感謝。





石垣 幸夫

SACHIO LUCIAN ISHIGAKI

13歳 2世

英国（グレートブリテン及び
北アイルランド連合王国）

United Kingdom of

Great Britain and Northern Ireland

イギリス沖縄県人会



2006年度ジュニアスタディーツアー

僕は、石垣幸夫です。イギリスのワイト島で生まれ育ち、14歳になります。僕の父は那覇市出身の一世で、母はイギリス人です。

今年の夏、沖縄県からの招待で、2006年ジュニアスタディーツアーにイギリスから参加させて頂きました。スタディーツアーは、僕にとってとても貴重な体験となりました。なぜなら沖縄の独特な歴史、文化を学んだからです。貴重な体験と言うのは、単なる沖縄の歴史、文化、教育的な面だけでなく、ツアーを運営するスタッフ、海外からの沖縄ジュニア達、そして人情味のある心温かい沖縄の地元の人達、そういった素晴らしい人々に出会ったからです。

数年前に一度沖縄を訪問した事があり、今回が初めてではなかったのですが、なぜか初めて沖縄を訪問したように感じたのは、前回の沖縄訪問ではまったく知らなかった事が、今回のスタディーツアーを通して色んな事を学び、吸収することができたからだと思います。

僕はたくさんの体験学習をしました。例えば、渡嘉敷島でカヌーをやったり、幾つかのグループに別れて、空手の練習をしたり、漆器に漆を塗る事を学んだりしました。やんばるの比地大滝で自然学習をしたり、エイサー練習の成果を国際通りと平和通りで披露したりしました。そして、サーターアンダギーの作り方を教わって全員で作ったりしました。サーターアンダギーは、沖縄独特の食文化の一つであると聞き、簡単に作れて、しかも美味しくもあるのはウチナーンチュの知恵だと思っています。

あと、楽しく体験学習が出来たのは、沖縄の気候抜きでは語れないでしょう。夏も短く、冬になると寒さの厳しい僕の住むイギリスに比べて地球の亜熱帯に位置する、海や空の美しい南国の島、沖縄の太陽は僕にとって最高でした。そういったいろんな、自然環境に最適な沖縄でのスタディーツアーの体験学習は、毎日が楽しい日々の連続でした。

僕は、ジュニアスタディーツアーは、毎年、続けて行くべきだと思います。それによって若い世代の世界に居る、沖縄系ジュニア達に沖縄の独特な歴史

と文化の継承と楽しい自然学習、体験学習を与えるチャンスに繋がります。今回のスタディーツアーによって、僕の人生の中で一番楽しい時期を過ごせたように。今回のジュニアスタディーツアー通して、海外及び沖縄県内から参加した生徒達とすでにインターネットを通してメール交換をしており、国際交流の友好の輪も広がりました。メールを見るのが楽しく、これもスタディーツアーの、おかげだと思っています。

最後に、沖縄県知事を始め、僕を招待して下さった県のスタッフの皆様、ツアー運営に携わったスタッフの方々、そして、ホームステイを手助けしてくれた親戚の人達のおかげで、人生の中で楽しいひとときを過ごす事ができ、また、沖縄に関する知識も得ました。生涯、素晴らしい思い出を与えてくれた皆様達に感謝したいと思います。

そして、僕はウチナーンチュジュニアである事に誇りを感じています。

Junior study tour 2006

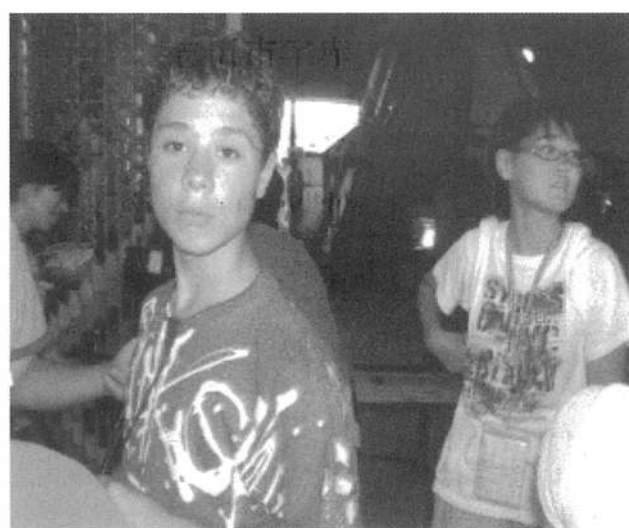
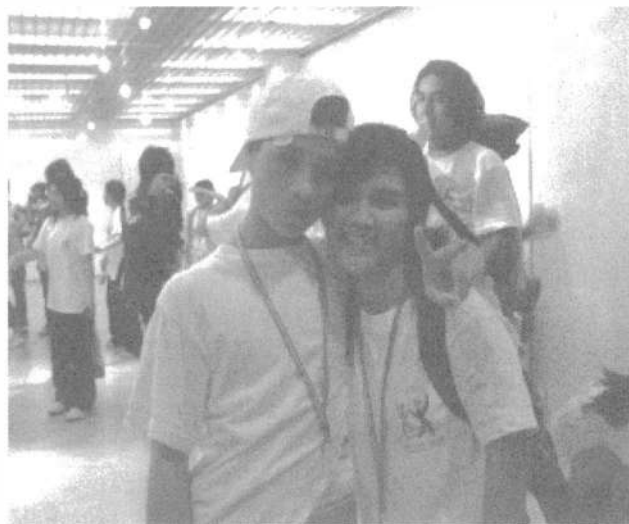
My name is Sachio Ishigaki, I am 14 years old, my father is first generation of Okinawa from Naha and my mother is English. I attended the event to Okinawa from England.

I was very grateful to be invited to the Junior study tour 2006 by the Okinawan prefecture government. The Junior study tour was an amazing experience for me because I learned a lot about the Okinawan culture and history. The reason why the tour was so great, was not only because of the education of Okinawa, but also, I met some wonderful people who were organising the event, students from overseas and the warm hearted Okinawan local people.

It wasn't the first time I had been to Okinawa, but it felt like a first time visit because there was so much I didn't know before such as the unique culture and history.

We were involved in lots of activities during the tour such as canoeing in Toakashiki Island, practising Karate with a group, learning to design a lacquer

ware and cooking sweet tempura which is part of the traditional Okinawan food. This sweet tempura was easy to make and the taste was good to, maybe that is because of the wisdom of Okinawa. We also performed Eisa in Kokusai dori and Heiwa dori. I loved the weather in Okinawa because it was sunny everyday much better than the cloudy weather where I live in England. I enjoyed every single day I was in the tour. In my opinion, the Junior study tour should carry on every year. Therefore more and more of the younger generation who are related to Okinawa have the chance to get the benefit from it, like I did this summer. I had the best time of my life through this event in Okinawa. I already gained a benefit from the Junior study tour and that was expanding my social life. I have received many e-mails through then internet from student from the tour, mainly American, but also from Okinawa, and South America. Since then we are e-mailing each other often, its very fun. Finally I would like to thank the Okinawan governor, government staff who invited me to the tour, event organising staff and my relatives who helped during home stay periods, for giving me this great opportunity to spend the best time of my life in Okinawa and to get to know the knowledge of it. I am very proud to be related to Okinawa and I appreciate everyone who gave me these amazing and wonderful memories.





石垣 優児

YUJI ISHIGAKI

17歳 2世

英国（グレートブリテン及び
北アイルランド連合王国）

United Kingdom of

Great Britain and Northern Ireland

イギリス沖縄県人会



2006年度ジュニアスタディーツアー

皆さんこんにちは。僕はイギリスから、ジュニアスタディーツアーに参加させて頂きました、沖縄二世の、石垣優児です。17歳になります。

僕はスタディーツアーをエンジョイし、最高の気分でした。こんなに楽しい思い出を与えてくれた、イベントに携わったスタッフの皆さんは、本当にいい仕事をしてくれたと思います。

イギリスに帰って来て、毎日、沖縄でのスタディーツアーの楽しい思い出が、脳裏から離れません。一緒に、ツアーを共にした県内、海外の仲間達が身近にない事に淋しささえ感じます。それだけ、スタディーツアーが最高に楽しかったという事は誰にも否定できないでしょう。

一つだけ後悔していることは、沖縄に行く前にもっと日本語を勉強しておけばよかったと思う事です。今回の沖縄訪問までには、もう少し日本語を話せるようにしたいと思います。

イベントも全てが面白くて、一番楽しかったのは、キャンプファイヤーの前でゲーム遊びをして、そして皆でダンスをした事です。僕はダンスはあまり得意ではないのですが、皆で踊っているととても楽しくて最高でした。

ツアーの初日、皆の前でギターを弾くのは初めての事だったので、かなり緊張しました。しかし、終わった後、とても満足感でいっぱいでした。人前でギターを弾いた経験は、必ず将来の自信にも繋がるでしょう。でも、三線がギターより難しいと感じたのは初めての試みだったからでしょうか。

首里城を訪問した時、昔、こういう城に王様が住んでいたのかと思うと学んでいるうちに沖縄の歴史が興味深く感じて来ました。

エイサーの踊り方を教えてもらい、戸惑いながらもやっているうちにだんだん楽しくなり、いつかちゃんと習ってまた仲間達と一緒に踊る機会があればと思いました。

先の大戦の頃、僕の沖縄の祖父母は台湾に居た時期があって沖縄本島の戦火を免れたと聞きました。もし、戦争時に祖父母が沖縄本島に居たら、今現在の

僕自身は存在していなかったかも知れません。なぜなら先の大戦で沖縄住民の4人に1人は、戦争の犠牲になったと聞いたからです。そう思うと、僕がこの世に存在すること自体非常に幸運な事だと思いつつ同時に、罪もない多くの人々の命を奪う戦争がどんなに悲惨であるかを認識し、決して二度と起こしてはならない、なぜなら人命より尊いものはないと思うようになりました。このような事も、スタディーツアーに参加して強く感じました。

ジュニアスタディーツアーはきっと全員が楽しんだ事でしょう。この素晴らしい学習体験は、今後もウチナージュニア達のために続けて行くべきだと思います。なぜなら、独特で貴重な沖縄の歴史と文化を世界に居る沖縄県系人に広める事が出来ると同時に、県内及び海外にいる若い次の世代が沖縄に関する知識を得る機会に繋がるからです。

気候にも恵まれていておいしい食べ物も豊富にあれば、一度訪問すれば皆再び行ってみたいと思うでしょう。何よりもそう思わせるのは沖縄の人々の人情味の温かさにあると思います。沖縄の人々のチムグクルを除いては僕は沖縄を語れないと思います。

スタディーツアーの最高に楽しかった体験学習に参加出来たのも、僕にウチナーンチュの血が流れていたからであり、そうでなければ県の招待に応える事は出来ませんでした。そう思うとウチナーンチュのアイデンティティーが在ることに最大限感謝し、そして、スタディーツアーの運営に携わったスタッフ全員に感謝します。僕の人生の中で最高に楽しかった10日間を与えてくれた事について、この場を借りてお礼申し上げます。

Junior study tour 2006

Mina san konichiwa!, my name is yuji, I'm 17 years old and I came to Okinawa from England.

I really enjoyed the junior study tour 2006 and I thank the people who organised it, they did a great job. Every one was cool and I miss them because it feels like home over there. I liked the fact that we did every thing together, such as the activities and learning the

history and culture of Okinawa. I regret not learning the language properly before going, the next time I come to Okinawa I can speak fully Japanese!!

I liked all the activities we did so much, my favourite has to be the time around the fire when we did the game competition and the dance, I can't dance but its funny to try. On the first night I had a good chance to play guitar in front of a crowd which is something I have never done before, it will give me more confidence in future if I do it again because I got nerves just before I'm meant to do it and even though I messed up im still glad I done it!! Playing guitar is easier than playing shanzin!!

I really liked visiting shirijo castle and to see how it used to be back then. I felt learning the history of Okinawa was interesting, its interesting to hear the story told by a war time civilian, my Okinawan grandparents were in Taiwan when the war was happening, if they were in Okinawa at that time I may not have been around because we learned that one in fore civilians died, so I feel fortunate. I want to learn more of the history of Okinawa. I also want to learn some more Eisa dances! I really enjoyed learning Eisa, it was very hard at first but as we practiced it got easier, I think it's a very cultural dance as well so I would like to learn more, I hope to do it again some day!

I reckon everyone enjoyed the junior study tour 2006, its been a great experience for me and I think it should carry on every summer because its not only fun for the students, it expands their knowledge of Okinawa.

I thank everyone who organised the festival a lot, it was probably the best 10 days of my life! No kidding!!



国吉 明奈

KUNIYOSHI MEINA

中城中学校 3年



心と心がつながって

私がジュニアスタディーツアーを通して一番強く感じたのは、心のつながり合いです。

ツアー初日は、県内参加者だけで集まって話をしたりしていて、海外参加者とはあまり話をしませんでした。でも、「これではいけない。」と思い、思いきって海外参加者に話しかけてみました。私は英語が話せなくて単語をただつなげることしかできませんでした。しかし、海外から来た人達は私が伝えたいことをすぐに理解してくれて、とても助かったし、伝わった時は嬉しかったです。

また、エイサー練習の時も言葉は通じなくても「一つの事をみんなでやりとげる」という目標をみんなが持ち、テンプス館前でエイサーを披露したときには、みんなの心が一つになった事を感じました。一人一人の心がつながっていたからこそできた事だと思います。

また、ジュニアスタディーツアーで学んだ事もたくさんあります。例えば、県内にいる私も知らなかった沖縄のいろいろな歴史、自然の大切さ、沖縄の移民についてなどです。

自然学習を通して「このすばらしい自然を残していきたい。」と思いました。歴史学習では、驚きと発見がいくつもありました。

沖縄の移民については、知らない事ばかりでしたが、どうして移民をしなければならなかったのかなどを知りました。ツアーでやった一つ一つの事が、どれも素晴らしい経験で、今では私にプラスになっています。

ツアー最終日、お互い別れを惜しみながらいつかまた絶対会おうと約束しました。

ツアーを通して感じた事、学んだ事、体験した事は、私の宝物でもあり、沖縄の誇りでもあります。ツアーに参加した以上、この沖縄の誇りをたくさんの人々に伝えていく義務があると思っています。まずは自分の周りにいる人から。そして、伝えていく事で、沖縄の発展につながればと思います。

最後に、このジュニアスタディーツアーに参加させていただいたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。ツアーに参加していなかったら、ここまで成長できなかったと思います。そして、このツアーに参加した人に出会えた事を感謝します。この出会いを大切にしていきたいです。このツアーは終わったんじゃない、世界にいるウチナンチュとのネットワークを広げるための始まりです。皆さんありがとう、テンキュー、グラシアス、オブリガード、ニフェーデービル。



久手堅 憲稀

KUDEKEN NORIKI

西原東中学校3年



ジュニアスタディーツアーを通して

僕は、7月29日から8月8日までの11日間、ツアーに県代表で参加する事になりました。

当日、那覇のシティーコートホテルに集まりました。参加者が次第に集まり、いよいよツアーの幕開けとなりました。最初はみんな初対面とあって、自己紹介をする事になりました。うまく自己紹介をする事が出来て、とても良かったです。

自己紹介を終わり、次は「会ったばかりなので早く友達になろう」という交流プログラムでした。そしてこのプログラムですぐに仲良くなる事が出来ました。けれどもやはり日本語が通じる沖縄の人だけで、外国の人には通じなく、非常に言葉の壁が大きくてとても大変でした。

2日目は渡嘉敷島へ行き、海のレジャーを楽しみました。渡嘉敷島に着くと、そこは透き通る海、高い山が広がっていました。レジャーはシュノーケリングやカヌーや、大型カヌーを体験しました。

そしてこの日からエイサーの練習も入ってきました。エイサーをするのは外国の人達は初めてなので、一緒に頑張っていきたいと思いました。

このように楽しく毎日をすごしていき、このツアーが終わるのが次第につらくなってきました。

エイサーの本番当日、最後の力を出して踊りました。すると、会場からは拍手があちらこちらから飛び交っていました。エイサーが終わるとみんなの目には涙、僕もとても悲しくなっていたの間にか涙が出ていて心に残る思い出になりました。

毎日遊んでばかりだと思うけれど、このツアーで感じた事や学んだ事が多かったです。一日、一日学んだ事はとても大きかったです。とても心に残るいい体験になり良かったです。



県内参加者

比嘉 夏海

HIGA NATSUMI

浦添中学校3年



一生の宝物

私は、学校でこのツアーがあることを知りました。そのツアーの内容とスケジュールを見て、ひとめで参加したいと思いました。申し込みをしてからは、毎日通知を心待ちにしていました。ツアーへの参加が決まった時は、とてもうれしかったです。

ツアーの説明会の時、初めてスタッフや県内参加者と対面し、まったく知らない人と11日間も過ごすなんて、自分にできるのか？と、とても不安になりました。今、思うと11日間はあっという間でした。1日目は、11日間は長いなァ。早く家に帰りたい。と思っていました。しかし、2日目、3日目と時がたつにつれて、ツアー参加者との友情も深まり、もう家に帰りたくない。と思うようになっていました。最初、言葉の壁はとても大きな問題だと思っていました。でも、ボディランゲージや片言の外国語でも、自分が相手に伝えようとすればなんでも伝わる事を、初めて実感しました。

3日目以降は毎日夜中の2時～3時まで起きておしゃべりをしていました。みんな寝てる時間もったいないと言っていました。スタッフにはよく怒られましたが、それも1つの思い出です。

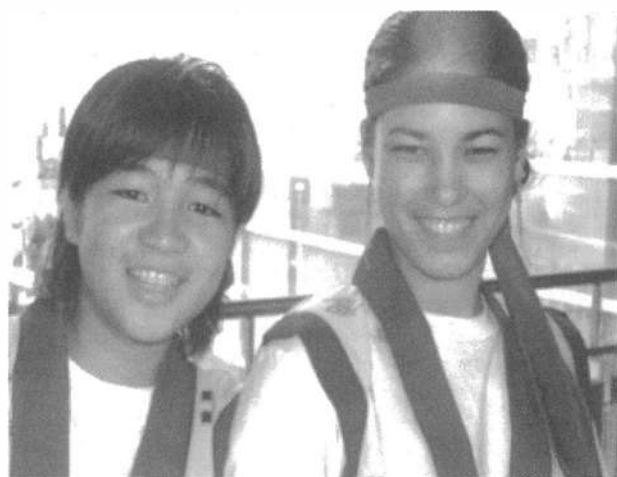
そして、1番勉強になった事は移民についての前原さんの講話とワークショップでした。前原さんの講話は、私が初めて【アイデンティティー】について考えるきっかけになりました。私は、今まで自分はウチナンチュだ。と思った事はあまりありませんでした。なぜかという、私は方言もしゃべれないし、沖縄の伝統芸能ができるわけでもない、これでウチナンチュと言えるのか？と思ったからです。しかし、海外参加者はみんな、「自分はウチナンチュだ。」と思っている事や、沖縄に住んでいる私たち以上にウチナンチュとしての自覚があることに、とても驚きました。

県内参加者の先輩が、「なぜ、海外に住んでいる日系の沖縄人は、ウチナンチュでありたいと思うのか？」という事を、前原さんに質問していました。すると、「移民した1世、2世の人たちが子孫に沖縄のことを伝えているから。」ということと「自分はウチナンチュなのか常に疑問を持ち、それを追求するためにウチナンチュであることを自覚している」という答えが返ってきました。だから、みんなウチナンチュである事を、誇りに思っているんだなあ。と思いました。私は、このプログラムを通して自分のアイデンティティーに向き合う事ができとてもよかったです。私は、将来外国語を学び、沖縄と外国とのかけ橋になれるような、仕事につきたいです。そのために、もっと沖縄の事について学ぶ努力をしないといけないと思います。

そして、忘れられないのがツアー最終日。これからは、みんなそれぞれ自分の国に帰りばらばらになると思うと、涙が止まりませんでした。でも、「必ずまた会おう」と約束し、お互いがこの約束を忘れなければまた会えると、思います。私は、これから先もずっと、海外参加者とメールなどで連絡を取り合い、このツアーでの出会いを失わないようにしていきたいです。このツアーは、私にとって素晴らしい宝物です。

最後に、このツアーに参加した海外参加者、県内参加者、引率者、スタッフみんなダイスキです。楽しい思い出をありがとうございました。

THANK YOU!
GRACIAS!
OBRIGADO!
にふえ〜で〜びる!



富名腰 彩乃

FUNAKOSHI AYANO

首里中学校3年



ジュニアスタディーツアーの感想

私はこのツアーに参加する事ができて、本当に良かったと思っています。このツアーでは、たくさんさんの事を学び、体験してみて「自分は沖縄でずっと暮らしてきたのに、知らない事がまだまだたくさんあったな。」と感じました。それに自分よりも海外参加者の方が沖縄の事について知っている事もあって、少しはずかしい気持ちにもなりました。ですから、これをきっかけに沖縄の事について、もっと詳しく調べようと思います。海外参加者から私はたくさんさんの事を教えてもらいました。アルゼンチンでは、17歳からディスコへ行けると聞いた時は、とても驚きました。そこで他の国の人に聞いてみると、大体が20歳にならなくてもディスコへ行けたり、お酒を飲めるそうです。食事の仕方では、ブラジルではご飯を食べる時はフォークで、デザートを食べる時はスプーンだそうです。やっぱり、他の国の文化を学べた事は良かったけれど、一番良かった事はたくさんさんの友達ができたことです。どこの国の人とも、もちろん県内参加者とも楽しくおしゃべりができたり、ダンスをしたり、ゲームをしたりすることができて、嬉しかったです。このツアーで得た深い絆をもっともっと深くしたいです。そして、この濃い思い出を一生の宝物として心の中にいつまでもいつまでも残しておきたいです。私を選んでくださりありがとうございました。この大切な思い出は一生忘れません。

今後の交流の継続について

絶対にこのツアーは続けるべきです。こんな素晴らしい思い出や体験が出来るのは、私はこのツアーしか知りません。11日間の間だけで、世界一周旅行をした気分です。それに、県人会の人達や沖縄に住んでいる私達が、お互いに、お互いのことを知り、理解を深めるチャンスでもあると思います。そして、それに多くの人々が参加すればもっともっとお互いに理解し合って、きっと国際的にも友好的な関係が作れると思います。是非、続けてください。

県内参加者



豊見山 佐妃

TOMIYAMA SAKI

松島中学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私はツアーを通して、たくさんの仲間と出会い、私にとって最高の宝物を得る事ができました。

このツアーで出会った仲間と、沖縄の素晴らしい場所や文化などを見学・体験する事ができ、ウチナーンチュの私でも知らなかった事を一緒に学べてとても楽しかったです。

最初は言葉が通じないなど、壁があり、コミュニケーションをとるのが大変でしたが、勝連さん、通訳の皆さん、沖縄尚学高校のサポートや、私達みんなが持っているウチナーンチュの心「チムグル・チムチュラサ」のおかげで、すぐに仲良くなる事ができました。

毎日あいさつ「Good Morning」からスタートし、ジェスチャーや単語だけの会話、通訳さんを通しての会話など、話をしていくととても楽しくて、一度仲良くなると、おしゃべりは毎晩遅くまで止まりませんでした。

また、中には日本語が上手な人がいて、ブラジルのエリやボリビアの栄、健などは、逆に相手との日本語の会話を楽しんだり、イギリスの優児やブラジルのマリオとは、日本語に興味を持ってくれたので私が教えてあげたり、逆に英語やポルトガル語、スペイン語を教えてもらったりもしました。

中でも英語が一番身近でわかりやすく、少しずつ理解する事ができましたが、ポルトガル語やスペイン語は初めての体験で、難しく、発音をまねてみるだけで精一杯でした。

また、渡嘉敷島の海では、初めて体験したシュノーケリングに感動しました。きれいな海は泳ぐだけで気持ちよく、ツアーの皆は、沖縄の海に心を魅了されたことと思います。

首里城見学や戦争体験者の話を聞いた時は、感じる事が多く、戦争の恐ろしさを学ぶ事ができました。涙を流して聞いているキューバのキヨミの姿も印象に残っています。

そして一番盛り上がり、体を動かす事で一つになることができたエイサーでは、言葉の違いを乗り越え、皆がウチナーンチュとして接する事ができました。

練習の時は、私自身がエイサーが大好きなので、すぐにテンションは上がったし、初めて踊った人が、「楽しい！！」と言ってくれた時はとても嬉しく思いました。

また、エイサーが難しく困っている人に対して、一緒に動いたり「1, 2 (ワン、ツー)」とリズムを使って教える事ができたことは大きな喜びでした。

そして、沖縄の伝統文化を共に共感・体験した仲間が迎えたエイサー本番では、あいにくの雨でしたが、この日の皆の笑顔が一番輝いていたと思います。

皆、自分だけのパーランクーと衣装を着て踊ったエイサーはすごく格好良かったし、練習を毎日遅くまで頑張った分、本番が一番楽しくてミスをしても気にしないぐらい、自信を持って踊りきる事ができました。

また、この「世界のウチナーンチュ大会」のテーマ曲となった「ニライへの風」を聞いた時、皆でカチャーシーをした時、涙して抱き合った最後はとても寂しくて、このツアーを通じて皆と出会う事ができて、本当によかったと思いました。

同じウチナーンチュの心を持っているからこそ感じる心も同じで、ここまで友情を築く事ができたと思います。

最後のお別れ会では、皆日本語で感情を伝えてくれて、別れを思うと、本当に寂しくなりました。でも、「このメンバーでもう一度会える。絶対もう一度会う！！」と心に決めていたので、寂しさも大きい分、逆に大きな期待を持つ事ができました。

それにこれからも Mail や手紙を通して繋がっていこうと思います。私は今、イギリスの優児と Mail をしていますが、基本的に英語で文章を書いて会話しています。

最初は私も「How are you?」としか書けませんでした。学校で習った文法や辞典を使って頑張っています。

時々優児も日本語を使って返事を書いたりしてくれますが、少し間違いもあり、とても面白いです。また、手紙では摩耶と繋がっています。学校生活の事から私達の夢の事、お互いの事を何でも書いて、「また会おう！！」と約束しています。手紙の中に写真も入れて、お互いの家族や友達を紹介したり

もしています。

これからも mail や手紙で繋がっていこうと思います。そして、将来、たくさんの国へ行ってみたいと思っています。

これからもずっと「We are best friend」として接して、お互いの文化を学び、未来の「世界ネットワーク」に力を入れていきたいと思っています。

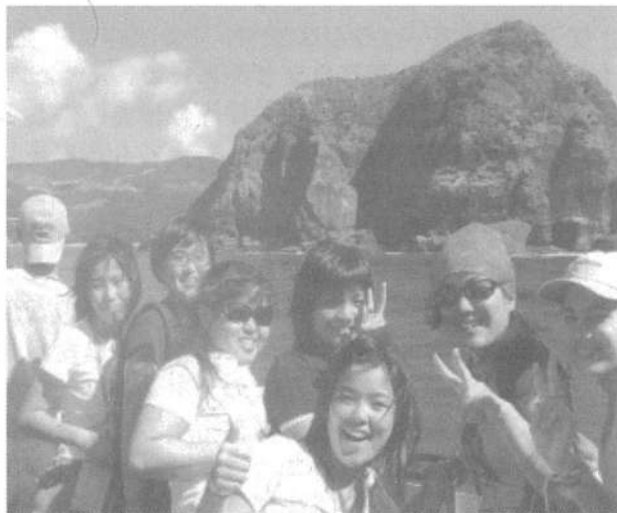
また、私自身、このツアーで皆に出会えたからこそ通訳という将来の夢について、より深く考える事ができました。私以外にも言葉の壁を感じて困っている人や、それを別の形で差別している人がいると思うので、私の言葉が間に入る事により、コミュニケーションがとれるような雰囲気に変える事が、最終的な目標です。

国が違うから、言葉が違うから接する事ができない・・・という壁を壊して、明るく皆で楽しくすごす事のできる未来へ変えていきたいと思っています。

そのためにも今、私にできる事を将来の夢を叶える第一歩として全力で取り組んでいきたいと思っています。

まずは英語を中心に、少しずつポルトガル語やスペイン語も勉強して、私はこれからも頑張りたいと思います。

最後に、このツアーを企画・実行・サポートしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。このツアーは私の中で将来の夢について考える、大きな体験となりました。皆に出会えた事を本当に嬉しく思います。本当にありがとうございました。



前里 雅

MAESATO MIYABI

松島中学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私は、外国の文化に触れてみたい、国際交流をしたいという理由でこのジュニアスタディーツ

アーに参加しました。

ツアー初日に、私は海外参加者と、知っている英単語を使いながら少し会話をしました。でも、周りにいた高校生の人とかは、普通に英語で会話しているのを見て、やっぱり高校生はすごいなと思いました。バーッと英語を喋られると、通訳さんを間にいれないとわかりませんでした。

ツアー2日目に渡嘉敷島に行った時に、初めて体験したシュノーケリングがとっても印象に残っています。海に住む魚や珊瑚をあんなに間近で見て、とっても綺麗だなと思いました。浜辺では大人数でビーチバレーをしました。ビーチバレーではキヨミやアカネとかがたくさん活躍していました。スポーツを通してコミュニケーションをとったりできました。

3日目に稲嶺県知事に表敬訪問に行った時に、みんなで記念撮影をしたのも楽しかったです。その後に、沖縄の伝統芸能を体験したり、みんなでサーターアンダギーを作ったのも一つのいい思い出になりました。ツアー中は、移動とかが多くて途中からバテてきたりしたけど、海外参加者のテンションの高さにおされ、元気になりました。ツアーのメンバーの中でもアッコさんと将吾兄にいのテンションが高かったと思います。

ツアー期間中、いろんなイベントが盛りだくさんありました。ウェルカムパーティーやキャンプファイヤー、エイサー、BBQなどがあって、キャンプファイヤーの時に踊ったダンスも楽しかったし、ゲームも楽しかったです。これも沖尚の皆さんのおかげだと思います。

エイサーでは、国吉兄にいに教えてもらいました。エイサーを教えている国吉兄にいは、普段の顔と全然違って格好良かったです。エイサーを披露した後に、エイサーを終えた感動とテーマ曲で泣いちゃいました。

私は今、ツアーに参加できて本当に良かったと思っています。海外の人と触れあう事で外国の文化や習慣なども知る事ができたし、たくさんの友達もできました。逆に、私から沖縄の事を教える事ができたのかなあと思いました。私は、これから手紙やメールを通して、沖縄のいいところを教えたり、これからの沖縄と海外のウチナーネットワークを広げる架け橋になれるようになりたいです。ツアーで使っていた英語・ポルトガル語・スペイン語を勉強して、実際に使ってみてみたいと思いました。

ツアー中、私達とずっと一緒にいた勝連さん、タイソンさん、太田さん、名渡山さん、仲間さん、国吉兄にいに11日間お世話になりました。この11日間は、絶対に忘れる事のできない思い出だし、またどこかで全員が集まる事を信じています。本当にありがとうございました。



中村 春葵

NAKAMURA HARUKI

長嶺中学校3年



たくさんの感動と思い出

県内参加者

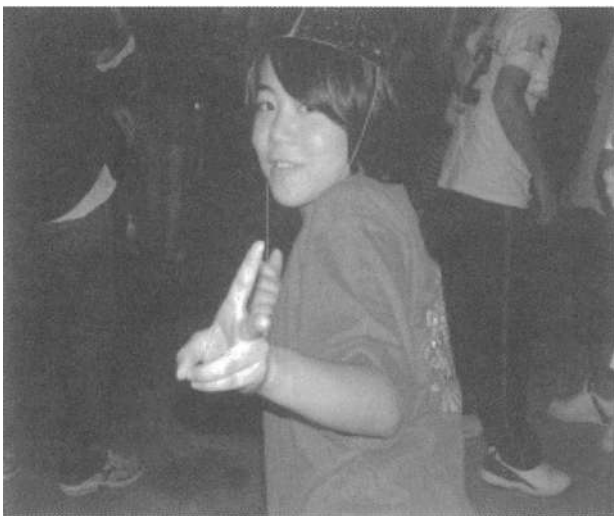
私がこのツアーに参加したかった理由は、国際化と叫ばれている今、どんな形でもいいので、海外の人達と交流をもちたかったからです。また、このツアーに参加する事で、身も心も成長していけたらいいなと思ったからです。今年、受験を控えているので、少し不安を感じながら参加できて本当に良かったと思います。

私がこのツアーで、一番心に残っているのは、まずは、このツアー期間中、外国人の人達とジェスチャーも交えながらだけど、一緒に話してきた事に感動を覚えました。

そして二つ目は、ツアー4日目、この日は夜にキャンプファイヤーをしました。そして、この日が私の誕生日でした。このことを知っていてくれていて、60名近くのツアー参加者のみんなが、私のためにハッピーバースディの歌を歌ってくれたのです。涙が出るほど嬉しかったです。そういうことは、全く予想もしていなかったので、驚きでしたし、みんなと出会ってまだ4日目なのに、ずっと前から友達だったように思えた瞬間でした。

三つ目は、ツアー期間中、三日間は沖縄の歴史について学びました。沖縄戦について、平和祈念資料館で戦争体験者の方が当時の様子をとてもリアルに話してくれました。海外参加者の人達も県内参加者の人達も、みんな泣きながら耳を傾けました。私は沖縄に住み、過去の大戦のことを伝え聞き、当たり前のように沖縄戦の悲惨さを知っています。だから戦争の怖さ、無意味さを知っています。でも、もしかしたら、海外参加者の人の中に沖縄戦の事を初めて聞いた人もいたかもしれないと思いました。衝撃的ではありましたが、沖縄戦を学んだ事で、平和や命の大切さ、戦争の怖さ、沖縄の歴史に通じる何かを学んでくれたと思いました。県系人、四世や五世という人達の涙からそのように感じました。そして四つ目は、ツアーの修了証書を受け取る日の事です。一人一人名前が呼ばれ、私の番になりました。この修了証書を受け取ってしまうと本当にツアーが終わってしまうので、とても複雑な気持ちで受け取ったのを覚えています。

このジュニアスタディーツアーで、たくさんの感動と思い出をいっぱいもらいました。それに、私は確実に成長する事ができました。心の成長は、体の成長よりも難しいと言います。でも私は、心の成長ができたと自信をもって言えます。そんな貴重な体験をさせてくれた学校の先生や、親、そしてツアーのスタッフのみなさんには心からお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。この夏の出来事が、今後の私の向き方を大きく変えてくれたと思います。二度と会う事はないかもしれないツアーの仲間達が、世界のどこかで頑張っているということを感じながら私も頑張っていきたいと思います。



与坂 勇姫

YOSAKA YUKI

玉城中学校1年



またいつか会える日まで

このジュニアスタディーツアーに参加して、初めの1,2日は、とっても不安で、「友達できるかなあ」とか、「他の国の人と上手くしゃべれるかなあ」とか「みんな静かで私だけ浮いちゃったらどうしよう」と思っていました。だけどみんな私が思っていた以上にフレンドリーで、他の国の人も日本語が上手で、私はとっても安心しました。

でもやっぱり日本語が全然ダメな人もいて、質問したりとかやって欲しい事があったら、必死にジェスチャーして伝えるんですけど、その必死さが面白いみたいで、真似されたり、笑われたりして、ちょっと恥ずかしかったから笑われないようにやると、通じなかったりして、この面に関して、とっても苦労しました。

だから、私はこの時「もっともっと英語を勉強しなくちゃ!」と強く思いました。

3日目には、もう打ち解けてきていて、4日目にはうんと友達が増えました。しかもその日はキャンプファイヤーでグループ対抗でのゲームをしたり、ファイヤーおじさんが出てきて、火をつけたり、みんなでダンスをしたりととっても楽しい夜でした。5日目の今帰仁城ではいきなり雨が降ってきて、木の下で雨宿りをしていたら、ガイドの人が「これは私達の先祖が『よく来たね』と歓迎してくれている雨なんだよ、ありがとうと感謝しよう!」みたいなことを言っていました。なぜだかその言葉がとっても印象に残っています。

6日目には二度目の首里織りをしました。二度目といっても、小さなしおりを織っただけで、花瓶敷きみたいに大きいものは織った事がなかったし、道頓織りは初めてなのでほとんど初心者でした。作ってみたら、力の加減が難しくて、模様はキレイに出来ても、周りがボコボコでした。でもエリさんのはとってもキレイに真っ直ぐで、「どうしたらこうなるの?」と聞いたら、「あー、コツをつかんだのが速かったから私はこうなったよ。」と言っていました。私はコツとかじゃなく、単にエリさんは器用なんだなと思いました。その夜は居酒屋海援隊沖縄に行きました。私が座った席には盛り上げ役の将吾にいにいと義弥にいにいの二人と健とミサキさんと明奈さんがいました。後から雅さんも来て大盛り上がりで笑いすぎてアゴが痛くなるくらい楽しかったです。

色々な楽しい事があったけど、やっぱり一番の思いではエイサーです。毎日練習して、今までやった中で一番みんなが一丸となった事だと思いました。みんなとエイサー披露をして私は、「みんなが一つになれたんだ!」と、とても嬉しく思いました。

私はこのジュニアスタディーツアーに参加できて、心から嬉しく思っています。またいつかみんなに会える日を楽しみにしています。ありがとうございました。



比嘉 美幸

HIGA MISAKI

与那原中学校3年



ジュニアスタディーツアーを終えて

7月29日から8月8日の11日間のツアーは長いようで短かった時間でした。

最初は不安な事が多くて、本当に自分は大丈夫だろうかと思いました。しかし、そんな不安はすぐなくなり、毎日楽しく過ごす事ができました。

私は、ジュニアスタディーツアーに参加するにあたって、三つの目標を立てました。

まず一つ目は、多くの人と少しでも仲良くなることです。この目標は達成できたと思います。県外参加者には結構日本語を話す人が多かったので、すぐに仲良くなる事ができました。また、県内参加者ともすぐに話せるようになったと思います。

二つ目は、コミュニケーションをとる事です。これも目標達成したと思います。あのメンバーではお互いの考えを取り入れられていたと思いました。

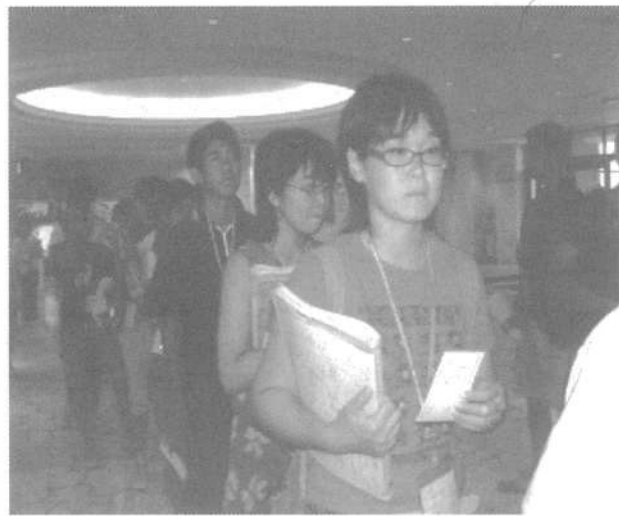
三つ目は、沖縄の文化に興味を持って学習する事です。これも達成できたと思います。自然学習や文化学習、歴史学習、社会学習、平和学習など、さまざまな学習をしてみて、改めて沖縄のすごさがわかりました。私はこのツアーのほとんどが初体験ばかりで、沖縄の文化など、たくさんわかった事もあり、もっと沖縄の文化に興味を持つ事ができたとし、沖縄に住めて、ウチナンチュである事をとっても誇りに思いました。

このツアーは、本当に毎日が楽しくて、なにもかもが勉強になりました。この参加者と出会ってみて、自分の考えや気持ちなどいろいろ変わる事ができました。どこに住んでいてもウチナンチュだし、イチヤリパチョーデーの気持ちを大切にしようと思いました。

このツアーで、本当にいい経験をする事ができました。この体験を今後、色々な事に活かしていければいいなと思いました。

このツアーで出会った参加者との今後の交流の継続は、まず、手紙のやりとりをしようと思います。特に、県外参加者の人とは、これからも手紙のやりとりをして、もっと沖縄の事を知ってもらいたいし、その他の国の事ももっと知りたいので、手紙で今後の交流を深めていきたいと思いました。県内参加者の人とは、手紙のやりとり、メールなどで交流を深めていくつもりです。

最後に、このジュニアスタディーツアーで出会った参加者の皆さん、スタッフの皆さん、沖縄県の方々、そして稲嶺知事などの皆さんのおかげでこのような今まで味わった事のない充実した11日間を経験する事ができたと思います。本当にありがとうございました。



崎原 佑介

SAKIHARA YUSUKE

与那原中学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

僕がこのツアーに参加しようと思った理由は、去年ホームステイで学んだことの1つである「恥ずかしがっているのは、どうにもならない」ということを、再度確認したかったです。

それともう1つ、世界中の人々に沖縄の文化と、日本の文化を、伝えたいと思ったからです。応募当初は、選ばれるかどうかさえ、不安で、自信がなかったのですが、無事選ばれたときは、本当に嬉しくて、友達に自慢してまわったほどです。そのくせに、他の参加者とうまくやっていけるだろうか？ちゃんとまわりに溶け込めるだろうか？と、今更ながら心配している自分がありました。

しかし、始まってみればとても楽しく、みんないい人達ばかりで、そんな不安もすぐに打ち消してくれました。

1日目は、ウェルカムパーティーがありました。舞台発表がとても充実していて、見ていて楽しかったです。ブラジルからの参加者のダンスや、イギリスからの参加者のギター、沖尚の地域交流クラブによるエイサーなど、多彩な内容でした。実際、僕も空手の演武をしました。それを通して、2人の友達もできました。国も文化も言葉も違うけど、何か1つのことを通して、友達になれるというのは、本当なんだな。と、思いました。楽しいウェルカムパーティーも終わり、1日目の日程はこれで終了、2日目からは、いよいよ歴史・自然・平和・文化の各学習が始まります。

2日目の朝早く、フェリーに乗り込み渡嘉敷島に出発です。渡嘉敷島の海はとてもきれいで、楽しみにしていたシュノーケリングは、期待以上のものでした。どこまでもきれいな透明な水が続き、水中に泳いでいる魚が、まるで空を飛ぶ鳥のようにイキイキとしていました。生まれて初めてのシュノーケリングでしたが、なんだか前にも見たことがあるような、ずっと前からそこに居たような、居心地の良さを感じることができました。それから、昼食の後のサッカーも、とても楽しかったです。うまい人がたくさんいてなんだか嬉しかったです。インターナショナルサッカーなんて、誰もが体験できるものではないので、貴重な体験になりました。本当は、もっとたくさんやりたかったです。

5日目の伝統工芸体験は、海外参加者はもちろん、県内参加者のみんなも、初体験の人は、多かったと思います。僕は、琉球漆器を選択しましたが、これも生まれて初めての体験でした。皿に堆金モチを貼る作業でしたが、なかなか難しかったです。でもその分、完成したときの達成感は、大きかったです。

6日目の平和学習では、みんな真剣に取り組んでいました。戦争の体験者から聞かせてもらった貴重なお話しは、皆決して忘れないと思います。それぞれが自分の国に帰っても、戦争を起こしてはならないという考えを持ち続け、そしてその考えを世界中に発信してほしいと思います。

7日目は、移民の歴史学習とワークショップ。移民の歴史について学びました。世界ウチナー紀行で有名な前原さんの話を聴いて、アイデンティティーとは、何だろうと、思い、「自分は、自分。そういうことなのだろうか？」とかがえました。移民の仕送りが県の収入のほとんどだったと聞いたときは、「言語も文化も違うし、苦しかったに違いない。それでもがんばって働いて仕送りしていたなんて、なんだかすまない。」そういう気持ちになりました。

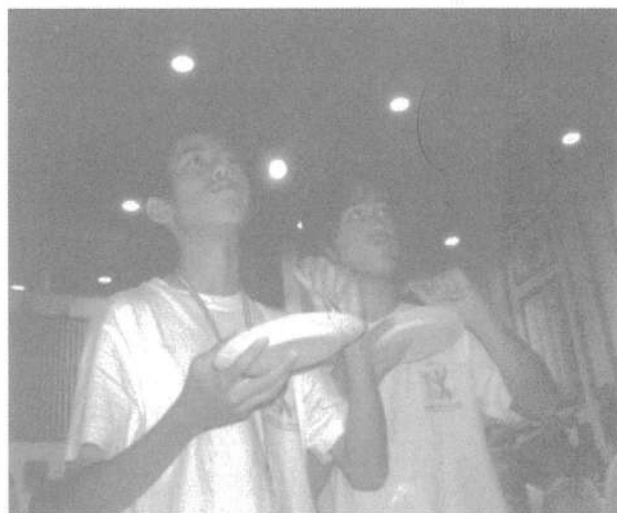
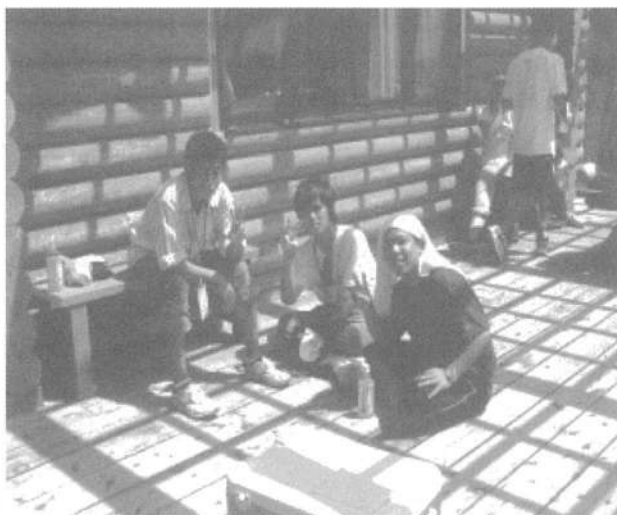
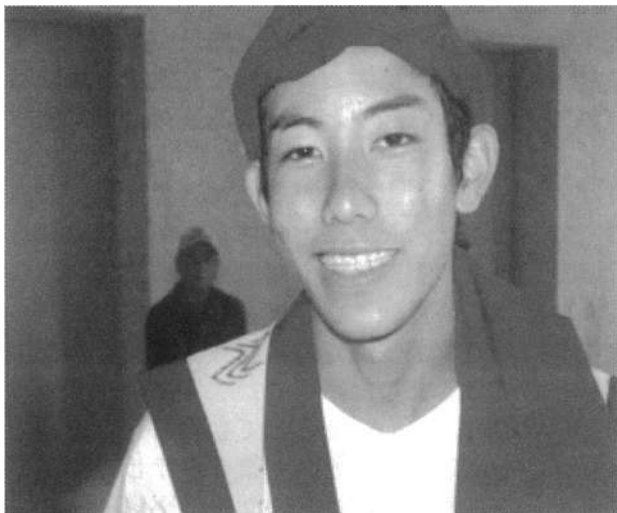
8日目は、テンプス館前で、エイサーの披露です。これまで、毎日練習してきたエイサーを、一心不乱に踊りました。すこしひっかかったところもありましたが、なんとか踊りきれました。踊り終わったあと、第4回世界のウチナーンチュ大会のテーマソングが、流れた時、思わず僕は、泣いてしまいました。「チムグクル、チムチュラサ、未来へ架ける橋 チバリ ニーセーター」なんだか自分達にそういつている気がして誇らしく思いました。県知事に挨拶して退場するときは、これまでに無い位涙が溢れてきました。泣かないと決めていたのに泣いてしまうなんて、何だか悔しかったです。でも、「これでもう終わりだ。」とおもってしまうと止められませんでした。この一週間ずっと一緒だった仲間があと2日でいなくなってしまうなんて信じられませんでした。

そして迎えた最後の日、修了式を終え、さよならパーティーでは、楽しい思い出しか出てきませんでした。スクリーンに映し出される映像を見る度、笑ってばかりでした。その後の舞台発表は、各国のダンスが主でした。今思えば、何度も踊る機会がありながら、僕はあまり踊っていませんでした。が、

さすがにこの日ばかりは、踊らずにいられませんでした。今までで、最高にハジけた瞬間でした。

このジュニアスタディーツアーで1番良かったのは、沖縄の文化をしっかりと伝えられたこと。と、言いたいのですが、やはり、世界中に友達ができたこと、それが、このツアーに参加して良かったと思う1番の理由です。66人の仲間と共にこのツアーで、沖縄の文化を学び、感じる事ができて本当に良かった。これからも、交流を深め、未来のウチナンチュネットワークを担っていきたいです。難しいと思いますが、同窓会も作れたらいいなとおもっています。

最後に、上間さん、勝連さんをはじめ、このツアーの携わっていただいたみなさん、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



島袋 正志

SHIMABUKURO MASASHI

多良間中学校1年



ジュニアスタディーツアーに参加して

僕は、今年の夏休みにジュニアスタディーツアーに参加しました。

参加したきっかけは、世界各国のウチナンチュの方達と交流する事で自分自身が大きく成長できることや、沖縄の文化や歴史を学習する事で沖縄県人としての認識と誇りを知るきっかけになればと思い、応募しました。

最初、緊張と不安でいっぱいでしたが、日にちが立つにつれてツアー参加者とも仲良くなり、徐々に打ち解けていきました。世界各国から集まってきた人達との交流は僕にとってすごく貴重な体験になり、自分自身の視野が広がったと同時に世界のウチナンチュの熱い思いを知る事が出来たので本当に良かったです。

このジュニアスタディーツアーで心に残っている事は、二つあります。まず一つは、渡嘉敷島の自然体験学習です。アルゼンチン出身の宮平レオナルド・マルティンと一緒にオープンカヤックに乗りました。カヤックは中央がガラス張りになっていて、海の景色をのぞき見る事が出来たんですが、たくさんの生き物がいたり、透き通るような青い海を眺めたりと良い経験になりました。

二つ目は、エイサーです。沖縄への熱き思いをエイサーに込めながら世界中に届くようにパーランクーを叩き続けたあの感動は一生忘れる事の出来ない思い出になりました。

このツアーを終えた今、感じている事は生まれる場所や環境が違っていても心は一つに結ばれているんだなあということです。僕自身も沖縄県人だという意識があまりありませんでしたが、今回のツアーをきっかけにして改めて再認識する事が出来ました。そして、沖縄の文化や歴史、伝統芸能などを深く学習する機会に恵まれたおかげで自分の故郷についても興味・関心が芽生え始めています。これからは、沖縄県人だと意識を持ちながら世界中の人達に沖縄の良さを発信できるような人になりたいと思います。

本当に貴重な体験をさせてくださってありがとうございました。



諸見 正太

MOROMI SHOTA

石川高等学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

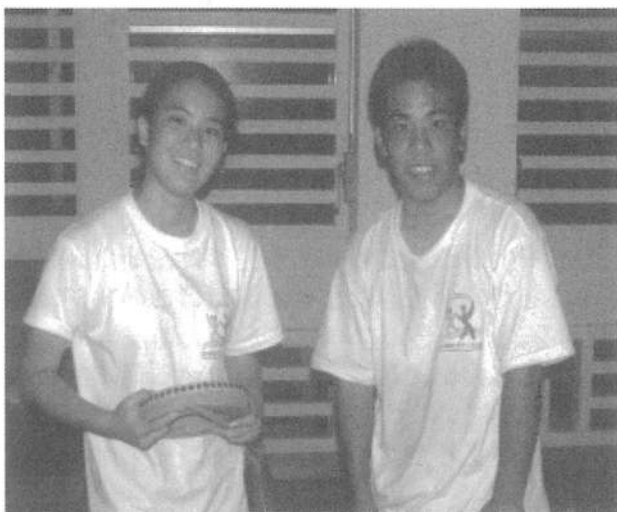
前々から沖縄の歴史や文化などに興味を持っていた私は、世界ウチナンチュ大会のプレイベン

トとして開催されるジュニアスタディーツアーに参加したいと思いました。

このツアーの趣旨は、百年以上も前に沖縄から他の土地を求めて世界中に移民していった人々の子孫である二世から五世の人達が、自分たちの故郷でもある沖縄に来て、沖縄に住んでいる私たち同世代の中高生と一緒に歴史を学び、いろいろな文化に触れたりしてもっと外国に住んでいる人たちに沖縄を知ってもらうためのツアーです。今回のツアーでは世界中の11カ国から二十人以上の中高生の人に参加しました。最初の日の顔合わせの時にはみんな緊張していましたが、すぐに打ち解けてみんな普通に喋れるようになっていました。

2日目は渡嘉敷島に行き、海でシュノーケリング体験などやビーチバレー、ビーチサッカーなどをして親睦を深めました。中には内陸部の国に住んでいる人で海を見たことない人もいました。海外の人はみんななぜか運動神経が抜群でした。次の日から最終日のウンケイの日の道じゅねーのためにエイサーの練習を始めました。海外の人はエイサーとかには無縁かなあと思ったのですが、自分たちの国にある沖縄県人会の集まりなどでやったことがある人や本場の沖縄の人より上手い人もいました。エイサーの練習ではできない人などを、参加者同士で教え合ったりしていました。夜などはほとんどの人が起きていて、いろんな人たちと夢や好きなことなどを語り合ったりしていました。那覇のいつも泊まるホテルに戻ったときもいろんな人の部屋に行ったりして、コミュニケーションを取っていました。みんなまるで修学旅行に来てるかのような雰囲気でした。エイサーの練習も日にちが経つにつれてみんな様になってきて前の日には違う人たちに披露できるぐらいに成熟していました。

最終日のエイサーはこれが最後のみんなとのエイサーだと思うと、感動してみんなで抱き合っ泣いていました。その時はとても充実感がありました。そして、みんなと離れたくないという思いがとても強くなりました。このツアーを通して私は自分がウチナンチュであることを再認識し、また勉強していかなければならないなと思いました。このツアーに参加できたことを忘れないし、参加者であったことを誇りに思います。またみんなが集まって会うことを楽しみにしています。



津波 義弥

TSUHA YOSHIYA

北谷高等学校3年



ジュニアスタディーツアーの感想と 今後の交流の継続について

今、思い返せば夢のような11日間でした。毎日寝食を共にし、夜も遅くまで語り合った日々。言葉が通じなくてもなんとか理解し合おうとする仲間達、そこには学校にはない、部活にもない。大切なかけがえのない時間がありました。

初めて全参加者と顔を合わせたのが、7月29日午後1:00。内心、Fグループのリーダーとして11日間メンバーをリードしていくことができるか不安でしたが、それ以上にこのツアーは私を成長させてくれるだろう、という期待で胸がいっぱいでした。Fグループには、ブラジルから1人、アメリカから2人、ボリビアから1人、アルゼンチンから1人、県内から6人の11名で構成されていました。私はメンバーの顔と名前を覚えるために必死になって、毎晩参加者一覧を見たり、風呂に入っている時に、頭の中でメンバーの顔と名前を一致させようと努力しましたが、ようやく覚えたと思えば、ツアーが4日目に入っていました。ツアーで一番印象に残っている人と言えば、ボリビアの安里健とイギリスの石垣兄弟です。健のウチナー口にはとても尊敬するものがあり、沖縄にいなくてもこんなに方言をしゃべることができるんだなあと思いつつ、沖縄にいながらあんまり方言を知らない自分がとても恥ずかしく思い、「このままではダメだ。もっと方言を勉強しよう」と決心しました。又、石垣兄弟はツアーのメンバーの仲で一番おもしろかったなあと思います。

さて、エイサーの話になりますが、私はエイサーが大好きで特に地元、北谷町のエイサーは県内でもトップレベルだと思っています。しかし、いざ踊るとなると、人一倍努力しないといけない自分は、ツアーの始めから、「やばい」と思っていました。エイサーの練習中も、隣で一緒に練習していたダニエルと同じミスは何回もしたりして、「う～ん、これできな～い。」と二人で頭をかかえたこともありました。必死の練習が功をなし、エイサー演舞前日にはミスもなくなり完璧に踊れたので安心しましたが、本番は、八割ミスして、二割成功という逆転現象がおきました。しかも、ダニエルと一緒に最前列だったので、二人で苦笑いして、「いっぱいまちがえた～」と言いながら肩をたたき合ったのをおぼえています。

今、改めてこのツアーを振りかえせば、私がFグループのメンバーの顔と名前を一致させることができたのがツアー4日目、キャンプファイヤーの交流プログラムで準優勝し、団結力がグループに芽生えたのも4日目、つまり、心と心が初めてグループ全員と繋がった日が4日目でした。それからというもの、月日がたつのもあつという間で、気がつけばツアー11日目の最終日でした。

私は、このツアーを通して、沖縄のいろいろな文化に触れ、自分が知らなかった「沖縄が世界に誇れる文化」があることに気づき、そのすばらしい文化、沖縄を世界にもっと広めたいと思う自分がいることを知りました。

「なぜ私達は出会うことができたのか」

これは私がツアー終了後から考えていることです。でも一生かかっても答えが見つけれない疑問だと思います。唯一言えることが「運命」だったということだけかもしれません。私はこの、ジュニアスタディーツアー2006で出会い、かけがえのない時間を過ごしたメンバー達から大切なものをたくさんもらいました。だから、この繋がりをこれからもずっと大切にしようと思います。何年後になるかわかりませんが、ツアーのメンバーでまた集まろうと考えています。最後になりましたが、このツアーを支えて下さった多くの方々、本当にありがとうございました。おかげさまで、兄弟が70人近くできちゃいました。

以上！

山内 祐奈

YAMAUCHI YUUNA

普天間高等学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私は何ととっても、このツアーでの一番の宝物は、一生涯交流が続くであろうかけがえのない友人たちだと思います。確かに、みんな国籍も違うし、言語も違い、共に過ごした期間も10日間というとても短いものでしたが、過ごした時間に関係なく、共に笑い、泣いた思い出は、そう簡単に忘れられるものではなく、一生思い出に残るものとなりました。

そして、当たり前すぎて、深く考えることのなかった沖縄の伝統や自然、精神文化の素晴らしさを改めて知ることができました。今まで、沖縄に住んでいながら、何も知ってはいなかったんだということを感じさせられました。しかし、みんなと共に、いつもとは違う角度から沖縄を見ることで、沖縄の新しい一面を発見することができ、沖縄の、人も文化も含めたすべてを今までより好きになることができました。

ツアーでは、シュノーケリングや漆器製作など、今まで体験したことがなく、また、普段はあまり経験することのできないようなことを通して、沖縄の自然や伝統、文化に直に触れることができ、とても感動しました。

私は、Eグループのリーダーだったのですが、当然グループ内には、県内参加者以外にも、アメリカやブラジル、キューバにアルゼンチンと、世界各国からの参加者がおり、日本語ができない人もいて、連絡ひとつ伝えるにもとても歯がゆい思いをしました。グループ外でも、ほとんどの人が母国語で話していて、その輪の中に入るのはとても勇気がいりましたが、多くの方が母国語と英語、それに多少の日本語もできたので、日本語で伝わらなくても、英単語やジェスチャーでコミュニケーションをはかることができました。ツアー初日こそ、ルームメイトに質問さえまともにできない自分をとてもふがいなく感じ、本当にこの言葉の壁を乗り越えることができるのかと、とても不安でしたが、こちらが一生懸命伝えようとすると、相手も理解しようと一生懸命になってくれたので、言いたいことが伝わった時には、言い表しようのない感動を覚えました。一番大切なのは、伝えようとする気持ちだと思います。

そして、海外参加者の沖縄への思いはとても強く、自らのアイデンティティを求めにきたというだけあり、沖縄の文化や歴史にとても詳しくて、中には方言が話せる人までいました。私自身、方言はあまり得意ではないので、方言について聞かれた時、答えられずに恥ずかしい思いをしました。

また、母国語以外にも英語を話せる人がほとんどで、中には日本語まで達者な人もいました。その上、自国の伝統芸能はもちろんのこと、沖縄のエイサーや空手をできる人までいて、その意欲や関心の高さ、知識の多さに頭が下がる思いでした。ツアー中も、メモをとったりする人が多く、私もその姿勢を見習い、もっと沖縄について学んでいきたいと思いました。その一方で、英語以外の言語の必要性、重要性を感じ、これから先、英語ができるだけではないのだと強く感じました。

このツアーで学んだ、沖縄の良さ、ウチナンチュであることの誇りを、他のウチナンチュにもどんどん伝えていきたいと思います。そして、学んだまま終わるのではなく、これから、もっともっと知識を増やしていき、県内と海外のウチナンチュを繋ぐ架け橋になっていきたいと思っています。

このツアーに参加して、知識の面だけではなく、人間として一回りも二回りも成長することができたといっても過言ではないと思います。ツアーの参加者、スタッフ、関係者の方々、そして、ウチナンチュの皆さん。ツアーを支えてくれた人、この機会を与えてくれたすべての方々にお礼をいいたいと思います。どうもありがとうございました。

喜納 亜沙美

KINA ASAMI

普天間高等学校3年



「ありがとう、Thank you、Gracias、
Obrigado」

私は、今回このジュニアスタディーツアーに参加して本当によかったと思います。多くのことを学び、すばらしい大切な友達に出会うことができました。私は、このツアーをとっても楽しみにしていたので、みんなと会えた時は少し緊張していましたが、とてもうれしかったです。みんなさすが「ウチナンチュ」！首からさげている国旗を見ないと、どこの国から来たのかぜんぜんわかりませんでした。みんな日本語も上手で初日は驚くことばかりでした。2日目からは、本格的に沖縄の自然や文化や歴史を学んでいきました。私はツアー中、毎日いろんな所を訪れていく中で、自分は沖縄のことについて多少知っているつもりでしたが実際はあまり知っていなかったことに気づかされました。私が思った以上に沖縄にはすばらしい文化や歴史、伝統がありました。また海外参加者と一緒に学ぶことで、沖縄を客観的にみることができたのかなと思います。それと海外参加者が沖縄のことを強く想い、一生懸命沖縄のことについて学んでいる姿にはとても感動しました。私も沖縄に住む人として沖縄についてもっと詳しく知りたいと思いました。

また、世界11カ国というこんな多くの国の人と交流したのは初めてで、みんなが住んでいる国についてあまり知らなかったのですが、みんなそれぞれ自分たちでわかりやすく自国紹介をしてくれて、いろいろな国のことについて学べたのでとてもよかったです。私はこれから、自分の住んでいる沖縄もみんなが住んでいる国についてもいろいろ学びたいです。

そして、毎日続けたエイサー練習。私は、約1週間で2曲を踊れるようになるのかとても不安でした。しかし、エイサー練習が終わってあとの自由時間も自然とみんな集まってきて、みんなで教えあいながら練習したり、祭り太鼓のみなさんも親切に教えてくれたので1週間で覚えることができたんだと思います。今までエイサーを何度か踊ってきましたがこんなに楽しいと思ったのは初めてでした。本番で人前で踊るのは少し緊張しましたが、踊り終わった後には達成感がわきとても感動しました。

みんなで一緒になってひとつのことを成し遂げることはすばらしく、みんなの心をひとつにして絆を深めてくれたと思います。

住む場所は違ってもやっぱりウチナンチュ。まさにイチャリパチョーデーでした。毎晩、寝る間を惜しんでみんなでお話をしたり、遊んだり、本当に楽しくて寝る時間をもったいないと感じました。私は本当にすばらしい仲間に出会えたことがとてもうれしいです。別れるときは本当につらかったです。今はみんなそれぞれ自分の住んでいる場所に帰っていきなかなか会えずとても寂しいですが、連絡をとり続けていつの日かまた必ず再会します。また、今度はみんなの住んでいる国を訪れたいと思っています。また県内参加者の間でも何か会を作ろうと考えているので県内参加者もたまに集まったりしたいです。

ウチナンチュであるという誇り、ウチナンチュでよかったと思わせてくれたみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。なので私はこれから世界のウチナンチュと沖縄に住むウチナンチュをつないでいく人になり、貢献したいと思います。もっと多くの沖縄の人にウチナンチュであるというすばらしさに気づいてもらいたいです。

このツアーは私にとって、一生忘れられないものとなりました。それもツアーを支えてくれたスタッフの方々、エイサーを教えてくれた祭り太鼓のみなさん、沖縄尚学のみなさんなど多くの人の協力があってこのようなすばらしいツアーになりました。特にスタッフのみなさんはツアー中、まともに寝ることができないくらい大変だっただろうと思いますがおかげで私にとってすばらしい経験となりました。本当にありがとうございます。また参加者のみんなにも感謝したいです。

ありがとう、Thank you. Gracias. Obrigado. また必ず会おうね。みんな大好きです。

川節 奈那

KAWASETSU NANA

市原高等学校3年



ジュニアスタディーツアーレポート

ドキドキしながら開講式のある会場へ入ってみたら11カ国から来た県系人の人達がありました。オリエンテーション・交流会・ウェルカムパーティーがあって、いろいろな人達と話をして仲良くなりました。

2日目には渡嘉敷島に行きました。そこでは、海に入ったり、大型カヌーなどがありました。海に入れなかったのを休んでいた人達とバレーや話をしたりできたので良かったと思います。

3日目は、本島に戻って来て県庁に行きました。その後にはむら咲むらで昼食した後、文化学習で三線を選んだら難しくて隣にいた人と大爆笑してしまい、恥ずかしかったです。その後にはサーターアンダギーを作りました。グループの中で私達のグループが一番「おいしそう」と言われました。とてもおいしくできていたので、嬉しかったです。

4日目は、トレッキングで比地大滝に行きました。弁当の包みがトトロに出てきたのに似ていると思いました。川を裸足で歩いていたら、滑って落ちました。

5日目に美ら海水族館に行きました。ジンベイザメやイルカのショーを見れて、とても嬉しかったです。マチグワァー散策では普段見る事が出来ないものが見れて、良かったです。

6日目は歴史学習で首里城から識名園まで学習した後、南風原レストランで昼食をとり、工芸体験では首里織を選んでこういう物なのかと知りました。

7日目には平和学習。地上戦での講話、ビデオを見て、聞いて、知らなかった事もあってさらに怖かったです。

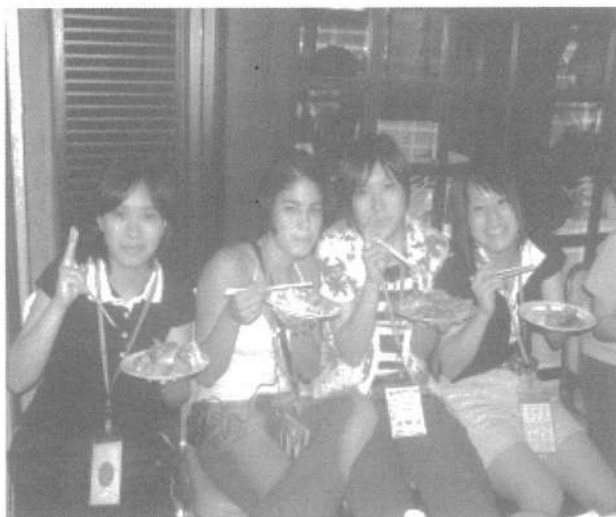
8日目は国際センターに行って移民の歴史の話やゲームをしたりして、移民の事がわかりました。

9日目は平和通りで道ジュネー、テンプス館前広場ではエイサーを披露しました。

最終日に修了式とさよならパーティーをしました。長かった11日間が今日で終わるのかと思うと、とても寂しかったです。

このスタディーツアーで一緒にやってきたメンバーとすごした11日間はもう一度はないと思うけど、このツアーで出来た友達は一生の付き合いになると思います。

今後の交流の継続について、手紙のやりとりや海外に行って交流したいと思っています。



屋比久 まり

YABIKU MARI

浦添工業高等学校3年



ジュニアスタディーツアー 2006に参加して

私が、このジュニアスタディーツアーに参加して得たモノは、本当に私にとって忘れる事の出来ない大切なモノになりました。沖縄の自然に触れ、文化を学び、歴史を知ることが出来たこのツアー。今、振り返ってみて、出会った人々や、ツアーを支えてくださった全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

初めは、英語やスペイン語、ポルトガル語、たくさんの言葉が飛び交っていて、正直、とまどいが大きく、打ち解けられるか不安でしたが、日を増すごとに、その不安は消えていき、すぐに「みんなと離れたくない」と思うようになりました。

さて、このツアーでは、さまざまな体験をする事が出来ました。沖縄の事は、知っているつもりでしたが、実際は、知らない事の方が多く、体験した事全てに、感動しっぱなしでした。まず、自然のすばらしさに改めて気付かされたのは、渡嘉敷島の青い海と、名護の青々しい緑です。本当にキレイで、とても感動しました。

また、平和学習では、戦争体験者の話を聞く事が出来ました。戦争の恐ろしさや、残酷さを感じ、もう二度と戦争をおこしてほしくないし、絶対に起こさせないと胸に誓いました。

さて、ツアー最大のイベントとなったのが、てんぶす館前での、エイサー披露です。初めてやる、本格的なエイサーに、苦戦しながら、それでも本番に向けて、練習の後もホテルに戻り、振り付けを確認したり、みんなこのイベントを成功させようと一生懸命でした。

そして、本番当日は、本当に感動的なものになりました。みんな、フリを間違えても、最後まで笑顔で踊りきることが出来ました。ニライへの風を歌った時は、自然と涙がこみあげてきて、このまま時間が止まればいいのにと思いました。

たった11日間の短い期間でしたが、私にとって、みんなは、友達であり、兄弟です。たとえ、離れていても、ウチナンチュのチムグクルは、国境を越え、世代を越え、変わることはない、固い絆で結ばれているし、繋がっている。私は、沖縄に生まれてこれたこと、みんなと出会えたこと、そして、このジュニアスタディーツアーに参加出来た事を誇りに思います。

最後に、このツアーをサポートしてくれた、みなさん、参加者全員に、感謝の気持ちを込めて。Thank you、グラシアス、オブリガード、にふえーでーびる！みんなが大好きです。ありがとうございました！



運天 美由紀

UNTEN MIYUKI

浦添工業高等学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

ジュニアスタディーツアーを終えて、始めに感じた事は、このツアーに参加して本当によかった

なという事でした。このツアーに参加したからこそ出会えた人達。県内の参加者も海外の参加者の人達もたくさん話したり、遊んだりして、今思い出せばとても幸せな時間でした。

ツアー初日、集合場所だったシティーコートホテルに30分前に着いてしまった私は、ホテルの中に入る事にすごく戸惑って、しばらくホテルの外で一緒の高校から参加した友達と一緒に立ち尽くしていました。しばらくするとこれから一緒に生活していくであろう参加者達がみるみる集まってきて、緊張感が高まっていくのを感じました。県内の参加者はほとんど顔合わせの時に会っていたので、知っている顔もありましたが、海外の参加者と合うのはこれが初めてで、特に緊張しました。これから一緒に生活していく事への期待と不安、両方を抱きながら私はツアーの初日を向えました。でも、想像していた以上に県内参加者とはすぐに仲良くなる事が出来ました。まだ会って2回目だというのにまるで昔からの友達のように、なんの違和感もなく会話をする事ができるのが不思議なくらいでした。そして、ツアーの初日からホテルの廊下で明け方近くまで会話をかわしたりしました。そして、私の不安はどんどん解消されていきました。ですが、私にはもう一つ気にかかる事がありました。それは、私が班長になってしまったという事です。もともとリーダーシップをとるのが苦手な私でした。なので、皆をうまくまとめていける自信というものがありませんでした。けれども、自分に与えられた仕事なので一生懸命努力していこうと思いました。そしたら、少し成長できるような気がしたからです。全員との顔合わせも終わり、次の日は渡嘉敷島に船で向いました。船の中グループの出席をとるときにまだグループの人達の顔をまだ把握していなかったので、いろんな人達の協力を得て、なんとか全員がいる事を確認する事ができました。そして、渡嘉敷島に到着し、それぞれの人たちが大小の荷物抱えて、船から下りました。まず始めに思った事は暑いという事でした。それからバスで移動し、私たちはマリンスポーツをする為に海へと向いました。始めてきた渡嘉敷の海はすごい青でした。この青よりも綺麗な海の青はないのではないかなと思うくらい素晴らしい海でした。でも、ここでも私は少し不安でした。なぜなら、私は泳ぎが得意な方ではなかったからです。でも私は日焼け止めを何度も塗って焼けない対策をして、皆と一緒に海へ飛び出しました。まず始めに体験したのはシュノーケリングで、私は沖縄の海に初めて感動しました。脚がつかない所まで泳いだのは初めてのことでびっくりしたけれど、それ以上にびっくりしたのは海底での魚の多さや生きている珊瑚が美しいと思った事です。17年間沖縄に住んでいて初めて沖縄の美しさが分かった日になりました。その後も大型カメラを皆で力を合わせてこいでみたり、オープンカヤックなどをして海を楽しみました。その後は砂浜でビーチフラッグを引率の先生と海外の参加者と県内の参加者で時間ギリギリまで楽しみました。そして、青年の家に行き、大人の人たちに怒られるまでたくさんの人との交流を楽しみました。部屋に帰っても話す言葉が違う子に県内の子達と協力して、言葉の壁を乗り越えて会話を楽しむ事ができました。

ツアー3日目は渡嘉敷島を出て沖縄本島に戻り、すぐ沖縄県庁で歓迎セレモニーが行われました。県庁でのカメラマンの数にびっくりしました。同時に、このジュニアスタディーツアーにメディアが注目している事をしました。午後にはむら咲むらを訪れ、三味線や空手、琉球舞踊など海外の人たちはもちろん県内の参加者にもいい体験ができたと思います。

4日目はヤンバルの比地大滝に行きました。沖縄の自然を体感し、自然の豊かさと厳しさを覚えました。そして、夕方には沖尚の生徒達がキャンプファイヤーを盛大に盛り上げて賑やかな夜となりました。グループ対抗試合では初めてグループで同じ楽しみを味わって、笑ったり叫んだりして少しずつ信頼関係が生まれたような気がしました。

5日目には美ら海水族館の見学をしました。綺麗な魚や変わった魚がいっぱいいて、目があきませんでした。特に世界最大という巨大水槽にいるジンベイザメやマンタなどの大きさに驚きをかかせませんでした。そんな魚達を背景に皆でたくさんの思い出の写真をいっぱいにとって形に残る思い出を残して行きました。そして、昼すぎには沖縄の観光地、国際通りのマチグラー散策に行きました。私た

ちの地元なので海外の子たちがメインかなと思いきや、私達地元の人にもよく知らない狭くて細い通りばかりを歩いて存分にマチグワー散策をさせてもらいました。

6日目、もうこの頃には全員の名前と顔が一致して、自然に言葉を交わすようになってきました。それが嬉しくて、意味もない言葉のやり取りを楽しむ事ができるようになってきました。この日は首里城をはじめとする沖縄の文化財を歩いて見学しました。そしてその後は工芸体験。皆自分で作った作品を持ち帰る事ができて、とても嬉しそうでした。夜はいつものホテルの食事ではなく、なんと海援隊の居酒屋に皆で行く事になりました。どうして居酒屋に行くのかと不思議でしたが、いざ入ってみるとアルコールは一切入っていないのに店の雰囲気がそうさせるのか皆のテンションはどんどん上がっていくっぽうでした。声を張り上げないと相手の声が聞こえないくらいうるさくて楽しい夕食でした。

そして夜は2日目の夜から每晚取り組んできたエイサーの練習をとまりんの広場で行いました。練習前などは皆ふざけてるくせに、曲が流れ出すと皆真面目に取り組んでてなんかいいなと思いました。そしてホテルでは寝るのが惜しくなってきて、明日の事を気にしながらも深夜まで皆といろいろな話をしました。別れが近づいているという事を悲しく思いました。

そして8日目ついに明日がエイサー本番という日になりました。そして、この日で沖縄の見学も終わりとなりました。夕方、もう習慣になっているエイサー練習、でもこの日は特別な日でした。そう、皆とエイサーの練習ができる最後の日だったのです。いつもより熱が入る練習。皆完璧に踊ろうと指導者の人を必死に見つめて一生懸命覚えようとしていました。そして、外での練習が終わっても、ホテルのフロアで皆で教え合いながら必死に練習していました。いつもは上からただ見下ろしているだけの私だったけれど、その日だけは、友達を誘ってフロアまで降り、一緒にたくさんの人と踊りました。最後の練習なのにすごく楽しく感じました。その日は皆2階の廊下にいっぱい集まって写真撮影の嵐でした。私も皆と一緒に過ごした記憶を写真に残したくて、たくさんの知り合った友達と写真を取り合いました。プレゼントもいっぱいもらいました。悲しみを飲み込んで笑顔で皆と楽しく喋りました。皆も笑顔でした。そしてその日は明日に備える為に徹夜で遊ぶ人はいませんでした。

そして本番当日。朝、荷物を下に降ろしました。そしてバスに乗り込んでエイサー会場に向いました。皆いつも通りでした。私もいつも通り普通に友達とたわいもない話をしていました。テンブスについて、着慣れないエイサーの衣装を身に着けて、外へ出てみると外は雨でした。しばらく雨が弱くなるのを待って、平和通りをエイサーをしながら2列で進みました。私はたまたま一番前の位置にいて、少し緊張しながら進みました。それが終わって、広場で踊る為、テンブスの所で待機して待っていると、どんどんお客さんが集まってきて、イベントはだんだん盛大なものへと変わっていききました。プロのエイサーを見ていると鳥肌が立つくらいカッコよく感じました。そして、ジュニアスタディーツアーのメンバーがエイサーを披露する時間となり、皆緊張した顔立ちで自分の位置へ移動していききました。そして、いきなり聞きなれた曲が流れ始め、演舞開始となりました。一生懸命これまで頑張ってきた成果を示そうと力強く踊りました。そして、最後の曲はなんと生演奏付で大迫力でした。そしてたくさんの喝采と拍手と共に2階へ上がった時、一人ひとりの目に涙が浮かんでいました。一人が泣き始めると、周りに伝染して、ほとんどが大粒の涙を流しました。私は、自分自身なんで泣いているのかわかりませんでした。何か悲しくて嬉しくて、皆で抱き合いながら涙を流しました。そしてその日は過ぎ、1日ごしに皆と再会しました。そして舞台に集まって、一人ずつ、感想をのべていききました。海外の参加者の日本語による感想はとても可愛くて、発表会は笑顔に包まれました。そして、県参加者の感想は、リーダーが代表して発表しました。私はAグループのリーダーだったので、最初に発表しました。あらかじめ考えてあった文章だったのですが、読んでいくうちにだんだん今までの思い出がフラッシュバックして、胸がつまるような思いがしました。Aグループのリーダーとして、グループの出席を毎日とったり、夜は振り返りシートを一人ひとりの部屋に配ったり、朝には全員の回収ができないと朝食も食べれなかったり、でもグループ皆はだんだん自分が回収する前に届けてくれたりして、後半には私が回収しにいかなくても集まるようになりました。ついこの間まで名前も知らなかった人が、今では私の名前を呼んでくれる。そんな事がとても嬉しいと感じました。このツアーに参加したからこそ出会えた友人達、出逢えた喜びを胸に感じ、この企画を考えてくれた関係者の方々に感謝しています。出合いを有難うございました。最高の夏休みの思い出になりました。

池原 ななえ

IKEHARA NANAE

那覇国際高等学校3年



ツアーを終えての感想

は慣れない状況に戸惑うことも多かったのですが、それがあまり気にならないほど楽しかったことがたくさんありました。今でもよく楽しかった事を思い出して笑っています。

私がツアーに参加したきっかけは、移民をしたウチナーンチュの2世、3世と仲良くなりたかったからでした。移民をした1世は日本語や方言を話すことが出来るでしょうが、その子供や孫にあたる人々はどうなのだろう、またその国ではどんな暮らしをしているのだろう。私はそういった興味もあり、ツアーへの参加を決めました。

私が一番勉強になったのは、沖縄国際センターでのワークショップでした。この日、私はたくさん沖縄の移民について学びました。そのなかでも、ブラジルへ移民をした宮里ヤスさんの体験記が印象的でした。私はそれを読んで、会ったこともない相手と結婚し、言葉もわからない外国で暮らし、いろんな苦勞をした人がたくさんいたことを知りました。そんなつらい状況だったからこそ、みんなで助け合える同郷のウチナーンチュが集まり、県人会といったコミュニティーを築いていったんだなあと思いました。また、各国のそれぞれの県人会ではエイサーや新年会を行ったりしているそうで、とても楽しそうでした。

それから、私は改めて沖縄について学んだことがたくさんありました。沖縄のシンボルである首里城のことや、ウチナーグチ、伝統芸能のエイサーなど、今まで知っているようで知らなかったこともありました。なので、もっと沖縄について勉強しないといけないなあと思いました。

そして、私がツアー中、痛切に感じたことは語学の勉強の必要性でした。普段、勉強している英語でさえ、うまく意味が伝えられなかったり、聞き取れなかったりで、悔しい思いをすることもしばしばありました。また、あまり耳にする機会の少ないスペイン語やポルトガル語にも挑戦してみたいです。また、私が得た一番大きな収穫はたくさんの友達と出会えたことでした。県内参加者も、海外からの参加者もみんな素敵で、いい子ばかりでした。特に、私はリーダーをやっていたので、よりたくさんの人と触れ合うことができて、本当にラッキーでした。これから、みんなそれぞれの道に進み、忙しくなるでしょうが、いつか必ずみんなと会いたいです。

最後に、こんなにも素晴らしいツアーに参加させてくれて、ありがとうございます。ツアーをかげで支えてくれた引率の方々や、大会事務局の方々、おもしろく場を盛り上げてくれた沖尚のボランティアのみなさん、また私がお世話になったすべての人々に感謝しています。本当にありがとうございます。

では、ツアー参加者の皆さんまたいつか必ず会いましょう。お元気で！



上間 もえみ

UEMA MOEMI



那覇国際高等学校3年

忘れられない思い出

今年の夏の経験は、生涯忘れられない思い出となりました。約9日間寝食を共にし語り合ったことや、毎日頑張って練習し見事な成功をおさめられたエイサー、楽しくも別れが悲しかったさよならパーティー。みんなみんな忘れられません。そんな毎日に常に感動し、友情を深めあった一週間。私の人生においてこんな素敵な経験は、後にも先にもないでしょう。みんな本当にありがとう。

私は以前から生まれ育ったこの沖縄が大好きでしたが、その割には知らないことや訪れたことのない場所が多くありました。なのでこのツアーの募集要項を目にした瞬間、私の知識欲は駆り立てられました。ツアーに参加したおかげで、より沖縄を知り、好きになりました。

ツアーの中で私が一番印象に残っているのは渡嘉敷島です。スケジュールの都合上ウェルカムパーティーに参加できなかった私にとって、2日目の自然学習は参加者全員と接することができる最初のチャンスでした。私自身久しぶりの海だったので、はしゃいだり水鉄砲で攻撃したりして、とても楽しむことができました。渡嘉敷島でのシュノーケリング体験は初めてで、綺麗な海に感動しました。そして、守らなければいけない自然なのだと思います。宿舎で球技をして、スポーツに国籍は関係ないことを身をもって感じました。そしてクリスのエロス史はこの日の夜から始まった…。

数多くの体験学習や訪問地の中で、琉舞、紅型、比地大滝や今帰仁城跡等は初めての体験、訪問でした。中でもマチグラー散策で近くにあるのになかなか行けずにいた公設市場に行けて良かったです。識名園でガイドさんから琉球政府の知恵のあるエピソードの説明を聞いて、感動しました。

また国際センターで移民について学び、移民初期の頃の辛い話を聞くと、現代の私たちの生活は贅沢だと考えさせられました。ワークショップを通して様々な国の文化を知ることができました。世界に数多く存在する中で、沖縄の伝統文化であるエイサーをみんなで踊れたことはとても感慨深いものでした。

2日目の夜から始めた約1週間の練習で、みんなでひとつのものを作り上げた感動はとても大きく感じました。言葉の壁をこえ、感動を共有しあえたとき、このまま時間が止まってずっとみんなといられたらいいのに、と思い胸がいっぱいになりました。

全員で揃うのは最後の機会になる最終日。ひとりひとりの日本語でのスピーチに感動しました。一週間でみんなの日本語が上達していたことは驚きでした。私も語学の勉強に力をいれて頑張ろうと思います。さよならパーティーでビデオを観て、つい最近のことなのに懐かしがりながら、私は参加できなかったウェルカムパーティーのシーンで泣きそうになりました。でもその後の余興で楽しい時間を過ごせました。

このツアーに参加して、海外参加者から得たもの、沖縄の地から得たものはたくさんあります。言葉では上手く表現できませんが、このツアーでの出来事は私の胸のなかに深く刻まれています。一生忘れません。みんなに出会えたことを心から感謝しています。そしていつか再会できることを信じています。

ありがとう！ Thank you！ Gracias！ Obrigada！ にふえーでーびる！



狩俣 彩乃

KARIMATA AYANO

首里高等学校1年



みんなにありがとう

最初に、私は、文章とか書くのがあんまり得意じゃないから感想じゃなくて、みんなへのありが

どうの手紙を書きたいと思います。

まずは、参加したら？と言ってくれた先生にありがとう。運試しのつमりの申し込み用紙からこのツアーが始まりました。このツアーを企画してくれた人たちにありがとう。なにより、この企画があったこそ私はここまで変わることができました。そして、あの素晴らしい経験をさせてくれて本当に感謝しています。

渡嘉敷島のシュノーケリングは、私の知らない海の世界を教えてくださいました。本当に、感動しました。正直、魚で生まれてもよかったかな？と感じました。カヌー体験も、1人で動かすことのできるものじゃないので、みんなで協力し合うことの大切さを知り、みんなと一気に仲良くなれました。

比地大滝のトレッキングも、最高でした。あんなにマイナスイオンをうけることもできたし、バスのシートをぬらして怒られたけど、あんなにはしゃいで泳いだのはすごかったです。あんなにはしゃげることはもうないでしょう。あと、エイサー体験。本格的なエイサーで、最初は無理だと、思っていたけど、国吉のにいにや琉球國祭り太鼓のみなさんがちゃんと教えてくれて、本番までにできるようになりました。ありがとう。エイサー演舞ができたときは、感動のあまり涙が止まりませんでした。

そして、ツアー参加者のみんなへありがとう。話しかけてくれて、私の話を理解しようとしてくれて、私の言葉の壁という不安を取り除いてくれて、本当にありがとう。うれしかったよ。こんなにも、言葉の壁でもろいんだって感じたの。みんなの話した内容は、各国のいろいろなことばかりで、改めていろいろな国に行ってみたいなって思って、あと考え方も違っていて、日本にしか告白とかないって聞いたときはありえないって思った。

タコスの国ブラジルは、タコライスのことありえないんだよね。なんで、タコスとして食べないの？って逆に聞いてきてびっくりした。でも、うれしかったけど、もっともっと英語、スペイン語とか知らない自分が恥ずかしくなった。だから、わたしは、みんなとまた会うときまでに絶対しゃべれるようになるから、たくさん勉強するから。約束します。

私はこんなにみんなのことが大切です。たった11日しか会えなかったけど、ずっとずっと前からの親友みたいな感じです。ありがとう。

スタディーツアーの修了書は本当はもらいたくなかったです。なんか、これですべてが終わる気がしたから。でも、みんながスピーチのときに、まだ始まったばかりで、これから手紙とかEメールとかでつながっていきこうってだったので、私はそれを信じます。寂しいときは、手紙、メールをするよね。いっぱい写真も送ります。だから、絶対に忘れないでね。

最高の思い出をくれて、ありがとう。たくさんの友達をくれてありがとう。私に言葉の壁の弱さを教えてくれてありがとう。みんなの国に遊びに行きます。

最後に5カ国語でありがとうをいいます。

ありがとう。Thank you. Gracias. Obrigado. ニヘーデービル。



久貝 博文

KUGAI HIROFUMI

小緑高等学校1年



ジュニアスタディーツアー

ジュニアスタディーツアーを終えての感想は、とってもいい時を過ごしたという事です。最初の日は、知り合いもないし、友達できるかなあと不安に思っていました。一日目のウェルカムパーティーでは、とってもおいしそうなお飯が出てきてビックリしました。また、出し物をやっていて、ギターを弾いている子がいて、すごい!と思ったと同時に、あの子と友達になれそうと思いました。ご飯を食べている時、一緒のグループ(Dグループ)の人と話をしました。このウェルカムパーティーでほとんどの人と話が出来て嬉しかったです。初日のホテルの部屋のメンバーは、3人でした。日本語があまり話せない人だったので頑張って英語でコミュニケーションをとりました。その子供たちに「ドラゴンボール知ってる?」と英語で聞くと、「もちろん」と答えてくれました。日本のアニメは、外国でも人気があるので、話が合って良かったと思いました。

2日目は、渡嘉敷島に行きました。そこに行くのは2回目だったけど、何か初めて行く感じがしました。渡嘉敷島にはフェリーで行きました。フェリーの中では、「佑介」と話しました。渡嘉敷島に着くと、自然学習としてシュノーケリングをしに海へ行きました。そこでは、普段体験できない事を体験する事が出来て本当に良かったです。ビーチではビーチサッカーをしました。とっても走りにくい所でした。石が痛かったです。その日の夜、初めてエイサー練習を行いました。曲名は「ミルクムナリ」でした。最初は、ステップの練習をしました。その日の夜は、みんなでトークをしました。

3日目は、県庁へ行きました。そこで、初めて知事に会いました。そこでの思い出は、知事と話した事と、握手した事です。嬉しかったです。次に読谷のむら咲むらという所に行きました。空手も体験でき、サターアンダギーを作る事が出来て良かったです。サターアンダギーを作っている時、自分たちのグループは「新しいサターアンダギー」という事をテーマにして作ってました。

4日目は、比地大滝へ行きました。そこに行くのは2回目だったけど、最初来た時より石が増えてました。その日の夜、バーベキューをしました。おいしかったです。

5日目は、美ら海水族館に行きました。イルカが可愛かったです。それから・・・といきたいところですが、3枚と決まっているのでこれ以上書けば10枚いくのでオーバーしてしまいます。ごめんなさい。本当はもっと書きたいです。作文も好きだし、このジュニアスタディーツアーは本当に一生の宝物です。ありがとうございます。スタッフの皆さん、サポートありがとうございます。自分もそういう仕事がしたいです。ボランティアでもいいからしたいです。



大城 ひろか

OSHIRO HIROKA

那覇西高等学校2年



ジュニアスタディーツアー

ジュニアスタディーツアーでみんなとすごした11日間は、とてもあつという間だったけど、とても楽しかったです。最初はみんなと仲良くなれるか自己紹介の時は不安だったけど、沖尚の人達が司会をしてくれた交流会で場の雰囲気が良くなって楽しかったです。ゲームも良かったし、ダンスは初めてだったんですけど、みんなでやったらすごく楽しかったです。ツアーでは初めての体験が多かったです。県知事の稲嶺さんに会った事、琉球舞踊、比地大滝のトレッキング、美ら海水族館見学など、ツアー期間中はほとんどがやった事がなかったことを体験できたのでとてもいい経験になりました。県知事に会えた事は貴重な経験だったし、琉球舞踊は初めてやって、ゆっくりな動作だったけどきつくて楽しかったし、首里織も初めてやって、記念にコースターができてとても嬉しかったです。

一番思い出に残っている事は、毎日みんなでエイサーを練習した事です。海外参加者がエイサーをやるのは初めてだから頑張りすぎていたと思うのですが、動きがすごく大きくてビックリしました。中にはすごいまい人もいました。それから、ほぼ毎日練習をして、お互いに教え合って頑張った良かったです。ホテルに帰っても練習していてすごく感動しました。一つの目標に向かってみんなで頑張った、一つになれたような感じがしました。披露する時には、みんなともうまくなっていて、みんなで最初から最後まで踊る事が出来て良かったです。ちゃんと頑張れて、とても嬉しかったです。でもマレーシアの摩耶とアリーニと一緒に出来なくて残念だなと思いました。全員揃っていたらもっとよかったなと思いました。

これからは、手紙交換などをたくさんして、ずっと友達でいたいと思います。手紙を続けられるように頑張りたいです。それから、ツアーに参加して、ポルトガル語や英語以外の言語にも興味を持ちました。少しずつ他の言語も勉強して、手紙とかポルトガル語でも書けたらいいなと思います。絶対にみんなとずっと連絡をとっていきたいです。そして、将来、外国へ行った時には会えたらいいなと思います。もっと、沖縄と海外の仲が良くなって、お互いの文化などを知る機会が増えていったらいいなと思います。



岩田 彩

IWATA AYA

那覇西高等学校1年



ジュニアスタディーツアーで学んだ事

私がこの11日間のツアーを通して体験した事、理解した事、学んだ事とたくさんの思い出は、私

の一生の宝物だと思っています。このツアーで得た物は三つあります。

一つ目は、ツアーに参加する前の作文に、もし参加できたら、新しい自分が見つかるかもしれないと書いていました。実際このツアーに参加して、たくさんの人と寝食を共にし、さまざまな体験をさせてもらってすごした11日間で、言葉では言い表せないけれど、どこか違う新しい自分が見つかったと思います。

二つ目は、名前も知らない人達ばかりで、仲良くなれるか心配だったけれど、一つ一つの体験やエイサー練習、みんなで同じ時間を過ごす事で相手について知る事ができ、たくさんの友達ができた事です。別れる事は悲しいし、寂しいけれど、これからどう交流を続けていくか、一人一人が考えないといけないと思います。同じ沖縄に住んでいる33名もこまめに連絡を取り合って、外国の34名ともつながりを持ち続ける事が大切だと思います。なので、相手について理解できる場が必要だと思ったので、みんなで交流できるパソコンや携帯を使って、できるものを作って、それを利用したらいいのではないかと考えました。各国の状況や生活などをお互いに知る事ができるチャンスになると思うのでいいと思います。

三つ目は、自分の住んでいる沖縄について知る事ができたことです。海がきれいとか、人の心があたたかいとは長年住んでいるので感じていました。でも、このツアーでみんなと歴史を学んだり、大滝を見たりして普段とは違う沖縄がわかりました。

しかし、このツアーで一つだけ残念な事がありました。それは、外国からの参加者とうまく会話ができなかった事です。ジェスチャーではなんとか通じ合っていました。ジェスチャーで伝えられるのにも限界があります。何回か相手に理解してもらえず、気まづくなった事もありました。なので、これからちゃんと勉強して、会話ができるようになりたいです。

私の将来の夢は、外国でも働ける看護師になることなので、このツアーでわかった事、学んだ事、これから頑張る事を生かして、立派な看護師になれるように学校でも勉強したいです。いつか会える日になったら看護師になれたよと言えるようにこれから頑張ります。



稲福 奈実子

INAFUKU NAMIKO

那覇商業高等学校3年



ジュニアスタディツアーに参加して

私がこのツアーに参加してわかったことは、沖縄に住んでいる人だけがウチナーンチュではない

んだ、ということです。世界中に移民した人たちの子孫がいて、それぞれがウチナーンチュとしてアイデンティティを持って生活しているのです。今まで知る機会もなかった移民の歴史を知ることができ、実際に世界中に住む二世や三世の同世代のみんなと十日間共に過ごしたことで、「世界のウチナーンチュ」をととても身近に感じられるようになりました。

初めてみんなと会った日は、まずいろいろな人がいるなあと思いました。日本語がペラペラな人もいれば片言なら話せる人、または全く日本語を話せない人、顔もなんとなく日本人っぽい人もいればいかにも外国人という感じの人もあるし、名前に日本名が入っている人もいればそうでない人もいます。県内参加者にも、中学生から高校生まで、地域も様々で、普段ふつうに生活していたら会うことはないだろうなあと思う人がたくさんいました。そんな全く違う環境から来たみんなと知り合えて、ツアーを通して絆を深められたことは、一生の思い出です。十日間本当にいろいろな場所に行って、自然を感じたり、沖縄について学んだりと充実していましたが、特に印象深く残っているのは、ホテルで夜おしゃべりしたり、いろいろ語り合ったり、バスの中でみんなでテーマソングを歌って感動したことです。

また、エイサーの練習も海外の子が沖縄に住んでいる私よりも一生懸命で、それを見て頑張ろうと思いました。ホテルでも夜遅くまで集まって教え合ったりして、本番が近づくとつれて、みんな自分達はウチナーンチュなんだということを実感しながら、エイサーを踊っていたと思います。本番は、雨の影響が心配だったけど、天気も味方してくれたのかなんとか晴れ、お客さんもたくさんいて、九日間毎日練習してきた成果を披露することができました。73人のパーランクーの音が一つになり、重たく心に響いてきて、とても感動しました。全員の心が一つになって踊ったことは、今でも忘れません。

ツアーが終わって、今はみんなそれぞれの国でウチナーンチュとして頑張っていることでしょう。同窓会も発足に向けて進行中だし、これからもメールなどで連絡を取り合って関係を続けていきたいです。県内のみんなとも年に何回かは会いたいし、海外のみんなにもまたいつか絶対会いたいです。大人になって、ウチナーンチュ大会などで会えたらいいなあと思います。第4回ウチナーンチュ大会が開催される記念すべき年に、このツアーに参加者としてみんなと出会えたことを、とてもうれしく思います。将来自分の子どもが生まれたら、「お母さんも昔このツアーに参加したんだよ」と言えるようになるまで、ずっとずっとこのツアーは続けていって欲しいです。



城田 麻莉亜

SHIROTA MARIA

那覇商業高等学校 3年



ジュニアスタディツアーに参加して

約11日間のスタディツアーお疲れ様です。今回初めてこのツアーに参加して、『やっぱりウチナンチュは最高だなあ』と思いました。このツアーに参加した11カ国のメンバーは、色んな国から来ているという事もあり、最初は、『言葉の壁』が大きく立ちはだかっていました。でも、このツアーに参加したメンバーは、みんな国籍も違えば使用言語も違うなかで、唯一共通してたのは、このツアーに参加したメンバー全員に『ウチナンチュ』の血が流れているという事だけでした。お互い言葉の壁はあったけど、確かに心と心は繋がったと思います!!!! このツアーのタイトルでもあった、“ひろがるチムグクルつなげるチムチュラサ”の意味がこのツアーを通してみんな感じ取れたと思います。こんなにツアー参加者のみんなと仲良くする機会を与えてくれた沖尚のボランティアの人たちにも感謝で一杯です。ツアー期間中は本当にみんな昔からの友達に日に日に感じ、初日から仲良くなれたのは本当に凄いと思いました。

メンバーが地域関係なく話し始めたのは2日目の渡嘉敷島からだと思います。グループ関係無しに遊んだスーパーフロートや大型カヌーなど、思い出したらキリがないくらいいろいろなことをして遊んでました。青年の家では、エイサーの足の動きなどを練習して、夜、みんなでロビーに集まってテレビを見たりして遊んだり、体育館でバスケとかして遊んだり…とにかく本当に楽しかった記憶がありません(笑)

3日目に渡嘉敷島から戻ってきてみんなで県庁表敬をして、その後に読谷のむら咲むらで各々が選んだ伝統芸能(サンシン・空手・琉球舞踊)の体験をしたり、その体験の後に地元のおばちゃん達と一緒に作ったサーターアンダーギーは最高に美味しかったです!!!!!!

4日目のキャンプファイヤーでグループはもちろん、全員一気に仲良くなったかなあ~と思います。みんな商品GETの為に一生懸命頑張ってゲームしてたり、最後のダンスでかなり盛り上がってよかったと思います!!!

2日目からエイサーの練習も入ってきてとっても楽しかったです。でもいつも昼間はデジカメ持って歩いてた“とーしーにいにい”がまさか琉球國祭り太鼓の豊見城支部の支部長さんだったなんて…かなりビックリしたのを覚えています!!! (笑) それ以上にビックリしたのは海外参加者のエイサーを踊れるようになりたい!!! という気持ちでした。夜、練習が終わっても『ココどんなだった??』と県内参加者に聞いて、マジで凄い!!!!!! と思いました。琉球國祭り太鼓のメンバーに教えてもらって本当に嬉しかったです!!! テンプス館の前でエイサー披露したときに、日出克さんと平田さんと共演出来たのもビックリしました!!! 『ミルクムナリ』と『クーダーカー』の2曲は絶対に忘れないようにしたいです!!!

このツアーに参加して毎日が楽しくて楽しくて仕方なかったです。特に夜のフリータイムは…(笑) いろんな国の参加者と日本語と英語を使って話しをしたり、一緒に iPod を聞いたり、恋愛相談に乗ったり…とにかく長期の修学旅行みたいで毎日が楽しかったです!!!! (笑) 本当にこのツアーはいろんなことが勉強できました。ウチナンチュの移民について国際センターで勉強したのは、本当に勉強になりました。これからも少しずつ移民について勉強していきたいです。

最後になりましたが、このツアーで仲良くなったメンバーとはこれからも連絡を取り合って、ウチナンチュ大会ごとにみんなで同窓会ができたかなあと思っています!!! 県内参加者の高3を中心に☆ その時は、上間さんを初め、勝連さんなどこのツアーに関わった引率の方々も呼べたらなあなんて思ってるので是非参加してくださいね☆ こんなすばらしいきっかけを作って下さってありがとうございます!!!! このきっかけを無駄にしないことを約束します!!! 本当に約11日間ありがとうございました、そしてお疲れ様でした!!! また10月のウチナンチュ大会でお会いできることを楽しみにしています (= ^ - ^ =) V

謝敷 アリーニ

JASHIKI ALINI

沖縄尚学高等学校1年



ジュニアスタディーツアー 2006に参加して

長いようで本当にあっという間に過ぎていったジュニアスタディーツアー2006。このジュニアスタディーツアーで過ごした10日間は、私にとってまるで夢のようでした。

私はお母さんが日系ブラジル人ということもあり、ブラジルで2年間、また多くの日系ブラジル人が住んでいる愛知県で6年間住んだ経験があります。今回、私はこれらの経験を生かしたいと思い、このジュニアスタディーツアーに参加しました。

最初は「こどぼの違い」というものに不安があり、本当に10日間も一緒にやっていけるのかとても心配でした。しかし、交流プログラムやウェルカムパーティーを通して、そんな不安も一気に消えていきました。みんなとても明るく、積極的に話しかけてくれました。また私は沖縄尚学高校の生徒でもあったので、交流プログラムの司会もやらせてもらい、緊張せずに早く「自分」というものをだすことができ、すぐに県内や海外の参加者と友達になることができました。

このツアーで渡嘉敷島や比地大滝での自然学習、伝統芸能や工芸の文化学習、歴史学習や平和祈念公園での平和学習、実際に見て体験したことは私にとってとてもいい経験になりました。特に平和学習では、貴重な体験談を聞き、同じウチナンチュとして共に平和について考える機会をつくることができ、これからの沖縄、そして世界に平和の大切さを発信するための重要なことだと思いました。これらの体験を通して、私自身沖縄に住んでいながらも、全然沖縄について知らなかったことに気づきました。これを機にこれからは、もっと沖縄について積極的に学んでいきたいと思えます。

このジュニアスタディーツアーで一番印象に残っていることは、ツアー中に毎日練習していたエイサーです。みんな一生懸命練習し、練習の時間以外でも自主的に楽しく練習しました。出来ないところはお互いに教えあいながら、何度も練習をしました。みんなで一緒にエイサーを練習していくことで、共に苦労や喜びを分かち合うことができました。残念ながら、私は当日みんなと出演することができなかったのですが、終わったあとのみんなの顔がとても輝いているのを見て、本当に素晴らしいものになったと実感しました。見た目や言葉、文化も全く違うけれども一人一人の心が一つになった瞬間だったと思えます。

私はこのジュニアスタディーツアーに参加し、いろいろな人と出会い、共に分かち合い、学び、理解し合い、この仲間と過ごしていき、私は新しい自分を見つけることができました。このジュニアスタディーツアーで素晴らしい仲間に出会い、以前よりも視野が広がり、このツアーを通して一番大事なことに気づくことができました。それは、言葉が通じなくても本当に伝えたいという気持ちがあれば必ず相手に伝わるということです。私も実際、ポルトガル語は話せても、英語やスペイン語には全く自信がありませんでした。しかし、私が一生懸命相手に何かを伝えようとすると、相手も一生懸命聞いてくれます。たとえ、完璧な英語やスペイン語でなくても相手に自分の言いたいことを伝える事が出来ました。言葉は言い返せば相手とコミュニケーションをとるためのただの道具なのです。今まで、私は言葉がすべてだとおもっていました。しかし言葉よりも心が一番大事だということを、この仲間と過ごして実感しました。

このツアーも終わり、離れ離れになったけれどもこれからもお互いに連絡を取り合い、これからの沖縄のためにより理解を深めていきたいです。そしていつか私たちが先頭にたち、よりよい沖縄をつくり世界へ発信していけたらいいなと思います。

このジュニアスタディーツアーで出会った仲間とすごした10日間はすべて素晴らしいもので、私の宝です。一生忘れません！！

最後に、このジュニアスタディーツアーを企画・運営してくださった方々、スタッフのみなさん、そしてみんなにとっても感謝しています！本当にありがとうございました。今回、このツアーで経験し、学んだ事をこれからの自分に大いに生かしていき、頑張っていきたいです！！！！

宮城 若名

MIYAGI WAKANA

沖縄女子短期大学附属高等学校2年



ジュニアスタディーツアーレポート

ジュニアスタディーツアーでは、様々な国の人と交流する事ができ、夏休みで最も充実した時間を過ごす事ができました。

ツアー初日は緊張しましたが、交流会では沖尚の皆さんが積極的に盛り上げてくれたので、すぐにみんなと仲良くなる事ができました。また言葉の壁もありましたが、ジェスチャーを交えながら懸命に話すと、相手も真剣に聞いて理解しようとしてくれました。

私の通っている高校は、全校生徒が他の高校のクラスよりも少なく、多くの人に出会える事が楽しみでしたが、大人数での行動は中学以来のことで不安もありました。

長い長い一週間でした。渡嘉敷島では沖縄の青い空と太陽に照らされた砂浜、輝きを放つ青くきれいな海に出会いました。山原では大自然と触れあい、様々な動植物と出会いました。中でもトレッキングで行った比地大滝は堂々としていて見事な美しさでした。

歴史学習では首里の街を歩いたり、移民の歴史などを学びましたが、沖縄の歴史について知らなかった事が多く、自身の勉強不足を実感させられました。また社会学習では、沖縄の代表産物である「琉球ガラス」や「泡盛」の工場を見学させてもらい、沖縄を支えている産物がどのように作られているかを知る事ができ、勉強になりました。

平和学習では、戦争体験者の話を聞きました。現在は多くの観光客が訪れ、楽園というイメージを持たれがちですが、60数年前、ここは戦地だったこと。地獄というこの世で最も最悪な場所であったこと。青い空と海に囲まれた、人が人でなくなる戦争の中でも一番残忍な地上戦が行われた場所。そんな沖縄をもっと多くの人に知って欲しいです。私は、人類最大の不幸と幸せを知っている沖縄だからこそ、強いメッセージを世界中の人々に向けて発せられると信じています。そして、沖縄の光と影が世界から戦争を無くし、平和をもたらすことを願います。

さて、文化学習では沖縄の伝統芸能を学びましたが、どれも独特で自分が選択した芸能だけでなく、全てのものにチャレンジしたかったです。でも、エイサーはみんなと踊ることができ、楽しかったです。練習中は、一週間で二曲覚えるのは無理だと思ったけど、私はみんながいたので最後まで頑張れたのだと思います。本大会でも踊る事が決まったみたいなので頑張りたいです。

最後になりますが、大会事務局の皆さん、スタッフさん、楽しいツアーを企画してくれてありがとうございました。ツアー期間中、体調が悪い時もありましたが、みんなやスタッフさん達のおかげで無事一週間を終える事ができました。海外の皆さんとは手紙などを通してこれからも交流を続けて、「絆」を深めていこうと思います。ツアーでは「仲間」という最高のプレゼントを頂き、本当にありがとうございました。本大会でもよろしくお祈りします！！



下地 由芙子

SHIMOJI YUFUKO

開邦高等学校2年



感想と今後の交流継続について

このジュニアスタディーツアーでの経験は、私にとって大きな財産となった。このツアーでの11日間は、風のように過ぎていき、濃密な時間を過ごす事ができた。今でもこのツアーでの出来事を昨日の事のように感じられる。11カ国の人々と交流できる機会を与えられる人はめったにいない。ツアーに参加できた私は幸せ者だ。

ホテルでの夜、私達はみんなで会話を楽しんだり、各国のダンスを教え合ったりして楽しい時間を過ごした。言葉が違っていても、みんなの伝えようとする心、聞き取ろうとする心があり、言葉の壁は私達にとって関係なかった。片言の英語とダイナミックなジェスチャーでなんとかあった。

私はこのツアーの中で、エイサーをした事が最も印象に残っている。エイサーの練習を終わっても、国吉先生を引っ張り出し、夜の九時まで練習は続いた。私達とスタッフは朝からのハードスケジュールにもかかわらず、エイサー練習を毎日約3時間は楽しんだ。エイサー練習はきつかったが、全然辛くはなかった。逆にとても楽しかった。わからない事があっても、国が違っていても関係なしにお互い教え合った。エイサーを練習している時のみんなのまなざしは、真剣そのものだった。私達は、約一週間で二曲マスターし、テンプス館前で本番を迎えた。マイパーランカーにみんなとおそろいの衣装で今までの練習の成果を出し切るかのように真剣に踊った。私達ツアー参加者は、エイサーを踊りきった後、自然に感動の涙を流していた。私達はお互いの泣き顔を見て笑ったかと思うと、思わず抱きついてきた。私にとってこんな経験は初めてだった。たったの11日間でこんなにも友情が芽生えるものなのかと正直言って驚いた。もうこのまま時間が止まればいいとさえ思った。みんなと別れるのはとても辛かった。

私はこのツアーで沢山の事を学んだ。みんなで体験や学習をした自然学習、歴史学習、文化学習は、初めて学ぶ事が多く、沖縄の新たな一面を知った。そして、私が沖縄の事について無知だった事に気付いた。これを機会に、これからもっと沖縄について学びたいという意志が芽生えた。そして、これから私達が学んだ知識を世界の人々に伝えるためにも苦手な英語をもっと頑張り、話せるようになりたいと強く思った。また、このツアーのおかげでスペイン語、ポルトガル語に興味を持ったので、英語をマスターした暁には勉強してみたいと思った。

私は、このツアーで11カ国の人々と友達になれた。今後もその友人達と手紙やメールで交流し続けたいと思う。そして、いつの日か会いに行き行って再会したい。その時までにはお互いに言語でもコミュニケーションがとれるように成長していきたいと思う。



照屋 美友貴

TERUYA MIYUKI

知念高等学校 2年



ジュニアスタディーツアーに参加して

このツアーに参加する前は、楽しみと不安でいっぱいでした。ツアーに参加する前はオリエン

テーションがあり、初めて顔合わせをしました。その日にみんなとなじめて、いろんな人と話をしたりする事ができ、不安より楽しみでいっぱいになりました。

私がこのツアーでビックリした事は、みんな少しでも日本語が話せるという事でした。みんな少しでも勉強して沖縄に来ているのに、本当に少ししか勉強しないで参加した自分が恥ずかしくなりました。シティーコートホテルでは、私一人以外みんなあまり日本語が話せないという参加者と同じ部屋でした。伝えたい事を動作を使ったり、単語だけで言ってもなかなか伝える事ができず、相手が伝えようとしている事もあまり伝わらず、とても苦労したり悲しくなったりしました。その事を友達に相談したりして、何度も励まされました。それがキッカケでいろんな参加者と仲良くなる事ができました。夜になると、海外の人と一緒に朝まで語り合ったりできて楽しかったし、いろんな国の文化について知る事ができたのでとても貴重な体験をしたと思います。夜はほとんど毎日エイサー練習をしました。最初は覚えるのが大変で、辛かったです。でも最後はとても楽しくエイサーを踊る事ができました。名護でみんなでしたキャンプファイヤーもグループみんなで考えたり、協力したりして、とても楽しくゲームができました。もしもあのキャンプファイヤーがなかったら、私はたくさんの友達を作る事ができなかったと思います。

このツアーで一番印象に残った場所は、平和祈念資料館でした。写真を見てみると人が人じゃなくなった写真や実際に人が着ていた着物とかを見て涙が出てきました。自分が思っていたより本当に残酷でショックを受けました。たった3ヶ月でこんな事が・・・と考えると、とても悲しくなりました。今でもこんな事が続いている国もあれば、始めようとしている国もある。だから、今仲良くなった海外の人達や私達で世界のできるだけの人達にこの戦争は間違っていると伝えたいです。

このツアーに参加できてとても幸せです。また来年も参加したいです。これからはもっと英語を勉強して、もっと話せるように頑張りたいです。このツアーでは、英語・スペイン語・ポルトガル語を使いました。それがキッカケで、色々な国の言葉に興味を持つ事ができました。これからは、いろんな言葉に挑戦していこうと思います。このツアーを企画してくれてありがとうございます。これからもこのツアーをいろんな人に体験して欲しいと思います。



糸数 舞

ITOKAZU MAI

知念高等学校 2年



ジュニアスタディーツアーに参加して

ジュニアスタディーツアーに参加して最初は海外参加者のテンションの高さとスキンシップについていけなくて「自分はここにいてもいいのだろうか??」と自問自答したりしていました。それに加え自分が話せる外国語は英語しかなかったのでボリビアやブラジルなどの国の人も仲良くなれるのだろうか??という不安もありました。しかし日がたつにつれ海外参加者のテンションの高さやスキンシップにも慣れほとんどの人が英語や日本語を少しでもしゃべれる事を知り、多くの人と仲良くなることができました。

みんないろいろな所に行って沖縄の歴史や文化にふれたり一緒にエイサーを習ったりして本当に楽しかったです。みんな国によって文化が違うのでそのことについて質問したりみんなでダンスを踊ったりと色々なことを経験しました。多分このジュニアスタディーツアーがなければ体験できなかったことだと思います。みんな優しくてももしろくてこのツアーがずっと続いたらいいなとも思ったりもしました。

さよならパーティーの時は本当にお別れがつかったです。みんな別れがつかなくてずっと泣いたりしていました。たった9泊11日でしたがそれはみんなにとってかけがえのない時間だったと思います。

もし2011年第5回世界のウチナンチュ大会が開かれるのならそれに参加するメンバーもきっと私達と同じ気持ちになると思います。

私はこの世界のウチナンチュ大会が今後も続けられればいいと思います。

支えてくれたスタッフのみなさん本当にお疲れ様でした。

貴重な体験をありがとうございました。



金城 将吾

KINJYO SYOGO

糸満高等学校3年



ジュニアスタディーツアーを終えて

6月の始め、私は平凡な毎日を繰り返していました。とても退屈で、「自分を変えてくれるもの」を探していました。そのとき先生から勧めていただいたのが、ジュニアスタディーツアーでした。日程を見た時は正直驚きましたが自分の好きなエイサーを通して国際交流ができるなんて素晴らしいと思い、参加しました。

沖縄県のみんなとの初顔合わせの日、私も緊張していました。しかし、時間が経つにつれ緊張もほぐれていき、帰り際声をかけあうようになっていました。グループもその日で分かったので、自分がBグループの長としてうまくやっていけるかどうか、不安が大きかったです。協力していく北谷のよしやとも、この日に初めて話しました。

7月29日、研修が始まる日です。さすがにかなり緊張しました。正直はっきり覚えてないくらいです。でもみんな明るく接してくれました。おかげで「素」の自分を出せた気がします。

研修が始まり、みんなとの協力をするのですぐに仲良くなれました。最初は言葉が伝わらないもどかしさや、文化・習慣の違いで悩みました。でも、カタコトで下手な英語を一生懸命理解しようとしてくれました。とても嬉しかったです。英語も徐々に上達したと思います。夜にみんながうるさくした時、私の発言で寝静めたこともありました。エイサーも、やはり動作だけでは教えるのは難しく、居残り練習などもしながら頑張りました。

私はジュニアスタディーツアーを通し、多くの事を学びました。まず、こんなにも多くの県人会が各国に存在すること。また、人を思いやる気持ち。人々の温かさ。文章では書き尽くせないほどです。また、たくさんの仲間との出会いました。みんないい奴で、出会えたことが私の大切な宝物です。このような体験を高校最後の夏に経験することができてとても幸せです。みんなの顔が今でも忘れられません。

Bグループのわかな、ひろか、みさき、めいな、アメリカのアシュレイ、イーアン、ボリビアの健、ペルーのダニ、ブラジルのイズミ、そしてイギリスの幸夫。みんながいたから楽しかったよ。俺のことを支えてくれて本当にありがとう。何年経っても連絡とろうな！

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。自分自身大きく成長することができたと思います。この旅の思い出と、学んだ事を胸に、私の人生をより良いものにしてみせます。ありがとうございました。



平良 優圭

TAIRA YUKA

久米島高等学校3年



ジュニアスタディーツアーの感想と
今後の交流の継続について

このツアーでの11日間は長いようで短かった、

夢のような期間でした。

初めは友達ができるか、とても不安でしたが、ウェルカムパーティーなどでのゲームのおかげですぐに友達を作ることが出来ました。しかし、英語圏の人たちだけが来ると思っていた私は、英語以外のスペイン語やポルトガル語を話す人たちも来ていることを知り、思った以上の言葉の壁に苦しみました。その時、自分の未熟さを改めて実感し、このツアーが終わったらもっと語学を勉強しよう！と思いました。初め、海外参加者とはあまり話さなかったのですが、このままでは何も始まらないと思い、思い切って話しかけてみました。すると、意外にもみんな日本語が上手く、また、日本語が分からない人とは単語単語やジェスチャーを使って話したり、相手も一生懸命私の言いたいことを理解しようとしてくれたので会話ができるようになりました。

私はこのツアーで沢山の事を学びました。

同じ沖縄に住んでいても行ったことのない所ややったことのないもの、分からなかったこと、そして、戦争の悲惨さをより深く知ることが出来ました。また、海外参加者の住んでいる国についても初めて知ることが沢山ありました。しかし、一番大きく学んだことはツアーでの交流で得た、友情でした。芸能体験の時に踊った琉球舞踊でのカチャーシーやツアー期間中毎日練習したエイサーの本番。この時、みんなの心が一つになったと思います。そして、言葉なんていらなかった瞬間でした。

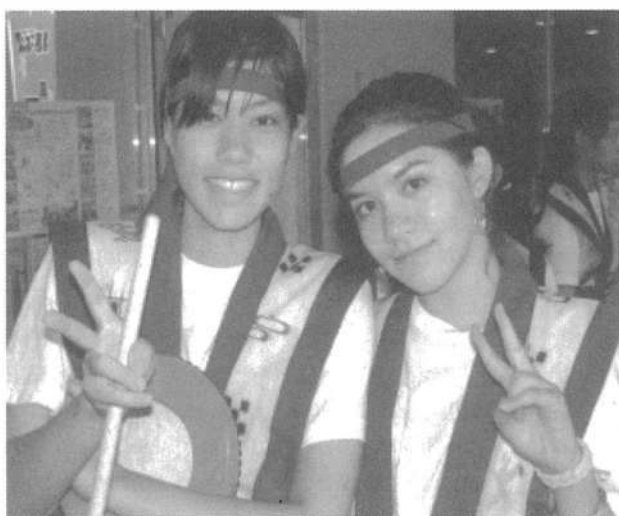
こうしてみんなと過ごしていると、昔から知っている友達のような存在になっていました。ああ、これが『いちゃりばちョーデー』なのかな？と思い、みんなと別れるのが本当に辛く感じました。

今、私はみんなと離れて島にいますが、今でもメールや手紙で連絡を取り合っていて、これからも連絡し合うつもりです。そして、行けるか分からないんですが、県内参加者とは本大会の時、海外参加者とは旅行などで海外に行った時に会えたらいいなと思います。

最後に、このような貴重な体験をさせていただいたスタッフのみなさん、パーティーなどで盛り上げてくれた沖尚のみなさん、本当にありがとうございました。

ここで学んだこと、出会った人のことは絶対忘れません！

また、いつかどこかで会いましょう！





与儀 上原 昭雄

AKEO UEHARA YOGUI

62歳 2世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加して

2006年度南米ブラジルよりジュニアスタディーツアー参加者6名を引率して父母のふるさと沖縄を訪問しました。ブラジル沖縄県人会会長の与儀昭雄です。今年は第4回世界のウチナンチュ大会のプレイベントとしてさまざまなプログラムが県により企画されました。

外国11カ国より34名、国内33名、各地域から13歳～18歳までの若者たちが沖縄に集いました。11日間の素晴らしい体験を通して私を感じたことを述べたいと思います。

はじめに、沖縄県が移住先国の若者たちのためにウチナンチュとしてのアイデンティティの自覚、そして誇りを育むこの制度に対してその恩典を受ける子弟とともに心から感謝申し上げます。

多種多様なプログラムに従い、お陰で私たちは11日間の研修旅行を感激のうちに楽しく過ごすことが出来ました。まず、渡嘉敷島は海の幸がとても豊富であることを知りました、またウミンチュが競い合うハーリー船に乗り実際に漕いでみる体験をしました。

読谷村のむら咲むらでのさまざまな分野の研修で芸能、文化、生活習慣の紹介、そして琉球舞踊、三線、太鼓、空手等の練習が各々体験できすばらしい日を過ごすことが出来ました。

今帰仁の山々、水、生い茂る緑、自然の美しさ、ここでは自然に対する考えを学び、今ブラジルでも課題になっている緑化運動の大切さを勉強できました。今帰仁城では昔を偲ぶたたずまいが感じられ、南山、中山、北山の統一で琉球となり中国との貿易が盛んになった事、また、薩摩の侵攻後、藩が沖縄県になったこと等沖縄の歴史に興味がありました。

沖縄県のお墓の事について私は特に興味がありました。ブラジルのお墓は家族単位であるのに対し沖縄では「むんちゅう墓」親族全ての墓であることでした。沖縄では祖先崇拜の信仰があり祖先を敬い、お互いにイチャリバチョウデー、ユイマールの心を大事にしている事を感じました。私たち2世、3、4、5世はこの心を大事にしていかなければならないと思いました。

今回の体験学習で忘れてはならないことは平和の

礎（いしじ）、平和祈念資料館を訪問した事です。

この大戦で沖縄県だけが唯一地上戦が行なわれ、20万人余の尊い命が失われました。平和の礎（いしじ）には敵味方なく亡くなった人の名前が刻銘されています。

資料館には悲惨を極めた戦争の写真等が展示されてありました。戦争の話聞き、目で見て戦争ほど不幸な惨めな行為はないということです。私たちは沖縄に祖先を持つウチナンチュとしてこのことを忘れることなく戦争の愚かさを語り継ぎ、平和の尊さを訴えつづけなければなりません。

沖縄の親戚の方々には私たちが温かくもてなしてくれました、言葉も満足に話せませんでした、とても親しみのある気持ちでした。

沖縄尚学高校のみなさんは自分たち参加者の為に、いろいろとプログラムを用意してくれて和やかな雰囲気です。皆と打ち解けあい、すぐ友達になれたことも良かったです。

11日間の短い日数で私たちは様々な体験をするなかで、心からウチナンチュとしての誇りを持ち、喜びを感じました。

いよいよ研修最後の日、私たちは笑いと涙で再会を約束し、語り合いお別れしましたがこの感動が忘れられません。

沖縄県が次世代のために実施している、この素晴らしい制度をどうか絶やすことなく継続して欲しいとお願い申し上げます。

私はこのような素晴らしい出会いが将来必ずや移住先国で活かされて沖縄県との大きな架け橋として活躍してくれる事を信じています。

今回参加した子供たちは、今後も沖縄県での体験研修で大きな夢を膨らませたものと思います。その夢をどのようにブラジルで活かしていくか、優秀な子供たちをウチナンチュ大会に招き成果の発表シンポジウム等はできないものかと想像しています。私の希望であります。

沖縄県の皆さんそして関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。Muito Obrigado 有り難う御座いました。

Junior Study Tour 2006

No período de 29 de julho a 9 de agosto de 2006, foi realizado em Okinawa o Junior Study Tour – 2006. Neste ano esse programa foi considerado como pré-evento do IV Festival Mundial Uchinanchu e teve a participação de 67 jovens, sendo 34 estrangeiros, representando 11 países, e 33 representantes de diversas escolas e regiões da Província. Todos os jovens tinham idade entre 13 e 18 anos e eram oriundos ou tinham os seus ascendentes originários da Província de Okinawa.

O Brasil foi representado por 6 jovens estudantes, selecionados e indicados pela Associação Okinawa Kenjin do Brasil – AOKB. Como acompanhante do grupo e convivendo com eles durante os 10 dias de programação dos eventos, pude sentir e testemunhar o esforço que vem sendo realizado pelo Governo de Okinawa para fortalecer a identidade okinawana dos seus descendentes, constituídos em sua maioria de jovens de 3ª e 4ª geração, e também dos jovens estudantes da Ilha.

Cumprindo extensa programação, os participantes puderam apreciar na Ilha de Tokashiki toda a beleza do mar e a sua rica flora e fauna. Nessa ocasião, puderam experimentar a tradicional corrida de barco a remo, o hari.

Na Vila Murashaki puderam sentir a graça e a leveza dos movimentos da dança de Ryukyu e o sentimental e inconfundível som do sanshim; puderam aprender o karatê, esporte iniciado em Okinawa e que hoje é praticado em quase todos os países e saborear também o famoso sata andagui, muito apreciado pelos uchinanchus.

Nas montanhas de Nakijin, os jovens puderam ver e sentir toda a beleza da natureza e a ter consciência da importância das ações voltadas para a preservação da mata e dos animais que as habitam.

Visitando as ruínas do Castelo de Nakijin e do reconstruído Castelo de Shuri, os participantes tiveram a oportunidade de conhecer um pouco da história do Reino de Ryukyu: desde as lutas para a sua unificação, o apogeu do Império quando foi intenso o comércio com os países do Sudeste Asiático, o seu declínio com a invasão pelo Reino de Satsuma e finalmente como Província do Japão com o nome de Okinawa.

Os cemitérios familiares estilo Okinawa e do Tama-dun, mostraram a importância da família, o respeito aos pais, a veneração aos antepassados, costume esse ainda muito arraigado nas famílias de brasileiros descendentes de okinawanos.

Ouvindo o relato de pessoa que vivenciou a guerra e visitando o Museu Memorial da Paz, o Parque Memorial da Paz e a Lápide da Paz, os jovens puderam avaliar o sofrimento da população envolvida na guerra e puderam entender a razão do forte sentimento de paz nutrido pelos okinawanos. Todos saíram convictos da necessidade de lutar pela paz.

A partir da convivência com os familiares através do “home stay”, as caminhadas pelo Heiwa Dori e o contato com a população local, os jovens puderam sentir toda a hospitalidade e a cordialidade do povo de Okinawa, apesar da dificuldade de comunicação.

O treino diário da tradicional arte Eisá, assim como o desempenho dos alunos do Okinawa Shogako que promoveram diversas atividades voltadas para fomentar a integração e estimular a troca de informações, foram fundamentais para que todos se sentissem como velhos amigos.

Apesar do pouco tempo de duração do programa, percebi que todos os participantes, os que vieram do exterior e mesmo os locais, sentiram orgulho de sua descendência fortalecendo a convicção da identidade uchinanchu.

No final do programa, entre lágrimas e sorrisos, foi feito um agradecimento a todas as pessoas que propiciaram aos estudantes essa inesquecível experiência. Houve a promessa de divulgar esse programa no seu país de origem, e incentivar outros jovens a terem a mesma experiência em um novo encontro.

Como sugestão, proponho que seja desenvolvido um programa que incentive o intercâmbio de informações entre os participantes do programa Júnior Study Tour, através do departamento de governo responsável; sugiro ainda que aqueles que mais se destacarem, sejam convidados a participar do Festival Mundial Uchinanchu, como forma de manter sempre vivo o sonho de poder retornar a Okinawa.

Ao finalizar, quero deixar registrado os meus agradecimentos e de toda a delegação brasileira, ao Governo de Okinawa, pela impecável organização do evento e pela atenção dada a todos os participantes. O Junior Study Tour, pela sua formatação e por envolver jovens de 13 a 18 anos de vários países que interagem com os jovens da Província, é sem dúvida nenhuma um programa que promove a melhor e maior integração entre aqueles que serão os futuros dirigentes de suas Associações em seus respectivos países. Recomendo, por isso, que esse programa não apenas seja mantido, mas incentivado e, se possível, ampliado.



譜久原 アントニオ

FUKUHARA ANTONIO

31歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



JST 2006 = 『行逢りば、兄弟』

初めに、努力して6年連続でこの素晴らしいジュニアスタディツアーのプログラムを実行して頂いた沖縄県に感謝を申し上げます。

私が今年のJST引率者として、ペルー沖縄県人会で選ばれたのは今年の3月末の事した。その時点で、私の仕事が始まりました。推薦者の3名に連絡し、準備のスタートラインを踏みました。まずは、必要な書類を記入し、健康診断を受け、参加申込書を郵送しました。やきもきしながら、何週間待って、沖縄から公式な選定結果が届きました。『3名が行ける』との回答でした。

それからは、沖縄の歴史や文化の勉強会を開き、日本語の勉強も始まりました。そして、元JST参加者や元引率者との集まりで、彼らの経験や失敗話を教えてくれました。また、アドバイスもしてくれました。同時に沖縄で見せる予定のペルー伝統舞踊『バリチャ』の練習もやってきました。そして、日本への入国ビザやアメリカの通過ビザの手続きもしました。

それからは、何ヶ月準備して、期待し続けた沖縄への出発日、7月23日(日)がやってきました。無事な旅行の心配、参加者3名への事前学習が足りないという責任感を背負い、お土産いっぱいのお鞆を持ち、もう一度温かい沖縄に居たい気持ちが胸に溢れ、リマの空港を後にしました。そして、31時間以上の長旅で、マイアミ、ダラス、関西経由で7月25日(火)に沖縄・那覇空港に無事到着しました。

やっと祖先の故郷に辿り着いた参加者3名の微笑みを見て、長旅の疲れが吹っ飛んでしまいました。そして、家族、親戚、実行委員会スタッフの皆さん、沖縄ペルー協会の皆さんが歓迎に来てくれるを見て、もう一度沖縄の暖かさを味わいました。

翌日26日は、親戚訪問、祖父にお線香を差し上げた後に、在那覇ペルー共和国名誉領事、呉屋守将さんに表敬し、県人会からのお土産を持って行きました。その後に、沖縄ペルー協会が主催で心地良い歓迎会をしてくれました。

ホームステイ先の滞在が短かったが、充実に過ごしました。この時間を利用し、何名かの友人にも会えま

した。

7月29日(土)が、プログラムの始まりであって、熱狂的に参加したいとの気持ちで、出来る事を協力し、とにかく、スタッフの一員として、このプログラムを成功させたいという気持ちでした。

最初のウェルカムイベントやキャンプファイヤーにおいて、沖縄尚学高校の皆さんが企画してくれた素晴らしい交流プログラムは、このツアーで大きな役割を果たして、皆さんが仲良くするように貢献してくれたと思います。

渡嘉敷島は、参加者の皆さんは沖縄の海が世界で最も美しい海であると気付いてくれた最適的な場所であったと思います。

比地大滝へのトレッキングでは、沖縄の豊かな動物相や植物相を観ることが出来ました。そして、美ら海水族館では、巨大なアクリルやたくさんの魚を飼育している事で感動しました。イルカショーでとにかく楽しめました。

今帰仁城跡、首里城、識名園の見学、そしてガイドさんの親切な説明によって、琉球国時代の偉大さを知り、沖縄が中国、日本そして他の国との貿易を盛んに行っていたと分かりました。

ツアーで一番心を揺さぶった見学先が糸満市にある平和祈念資料館でした。そこでは、生存者の戦争体験話をスペイン語に通訳する難しい使命を受けました。冷静な態度をとりながら、スペイン語圏の参加者がその戦争の恐ろしさを理解するため、体験話を細かく通訳してみました。衝撃を覚えました。参加者は平和祈念資料館で、沖縄県民がなぜ、こんなに平和を愛し続け、戦争のない世界を望んでいるのかを理解できたと思います。

そして、琉球ガラス工場や泡盛工場の見学により、沖縄の産業については、少し分かったと思います。那覇の市場の見学がとても面白くて、沖縄県民の食べ物や普段の商売について、学ぶ事ができたと思います。そして、参加者が毎日、1日の行程を終わった後にエイサーの練習がありました。喜ばせるのは、エイサーの練習時間後に自由時間も使ってエイサーの練習をやり続けていました。なぜならば、稲嶺県知事前でのエイサー演舞の披露を完璧にしたいからです。そし

て、全ての工程が終わった後、ホテルに戻って、参加者は遅くまでおしゃべりしていました。分かち合う時間が短いとい気持ちでした。参加者がおしゃべりしていた頃には、一方、随行スタッフさんが一日で撮った何百枚の写真を選んで、実行委員会のホームページを上げる作業をしていました。そして、翌日の工程の細かい調整を行っていました。素晴らしい仕事振りでした。

そして、ツアーで一番感動を受けたのは、稲嶺県知事前でのエイサー演舞の披露でした。短期間での練習にもかかわらず、素晴らしい披露をして、観客者が楽しめたと思います。

私の一つの心配事は参加者がホームステイ先でのコミュニケーションでした。しかし、参加者と親戚の間では、言葉の壁を乗り越えて、お互いに理解し合っていたようで、安心しました。とても楽しんでいました。空港での別れの涙がそれを物語っていました。プログラムの最後、さよならパーティーでは、沖縄からの参加者の言葉が凄い印象でした。『これは、別れではない。みんなが兄弟である事が分かった。また、会える日を楽しみにしている。』と言いました。『行逢りば、兄弟』という諺で現すウチナーンチュの心だと思います。とても感動しました。これは、ジュニアスタディツアーを通して、一番学んだ事だと思います。異国に暮らしていても、人種や文化のミックスがあっても、違う言葉を話していても、私たちの心には、ウチナーンチュの気持ちが入っていると思います。これは、参加者の皆さんが再確認したと思います。

終わる前に、私を選んだペルー沖縄県人会に感謝を申し上げたいと思います。また、私を信じてくれたペルーからの参加者、ジーミ君、ガブリエラさん、ダニエラさんにありがとうと言いたいです。この素晴らしいプログラムが実現できるために努力している沖縄県には、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、実行委員会の皆さん、スタッフの皆さん、沖縄尚学高校の皆さんへ感謝を申し上げます。それからは、活力、情熱、友情を見せてくれた沖縄や海外からの参加者にも感謝したいと思います。

最後になりますが、参加者には、このツアーで知り合った皆さんと一生の友達になり、ワールドウチナーネットワークを担う次世代のリーダーたちになってほしいと思います。皆さんで形成していくコミュニティーの団結や分かち合い力が手本になり、世界の調和に繋いでいく事を望んでおります。沖縄、ありがとうございました。

JST 2006 = “ICHARIBA CHOUDEE”

Primeramente, agradecer a la prefectura de Okinawa, por el enorme esfuerzo de realizar este tan maravillo

programa por sexto año consecutivo.

Mi trabajo como tutor empezó a fines de marzo, cuando la Directiva de la Asociación Okinawense del Perú me designa como tutor de este año. Así, empezamos a trabajar con los 3 jóvenes que la Asociación había escogido. Empezando con los trámites médicos solicitados y la inscripción para participar en el programa. Luego de algunas semanas de ansiosa espera, llegó la respuesta oficial, donde nos confirmaban la participación de los tres jóvenes.

Luego empezamos con las clases de historia y cultura de Okinawa e idioma japonés. Al igual que las reuniones con los ex becarios y ex tutores, donde nos contaron sus experiencias y nos dieron muchas recomendaciones. Luego, los ensayos de la danza folclórica “Valicha” para la presentación en Okinawa. Al igual que los trámites de visa para ingresar al Japón y para poder transitar por Estados Unidos.

Luego de meses de preparación y espera, llegó el domingo 23 de julio, el día que partimos hacia Okinawa. Con la responsabilidad de llegar a Okinawa sin ningún contratiempo, con algún remordimiento porque todavía faltaba enseñar algo más a los jóvenes participantes antes de viajar, con varias maletas llenas de regalos, y sobretodo con el corazón deseoso de estar nuevamente en la calida Okinawa, partimos de Lima. Después de más de 31 horas de viaje y luego de hacer escala en Miami, Dallas, Kansai llegamos a Okinawa, el martes 25 de julio.

A pesar del cansancio por el largo viaje, me alivió ver las sonrisas reflejada en los rostros de jóvenes, al llegar por fin a la tierra de sus ancestros. Nuevamente pude comprobar la calidez de Okinawa al ver a mi familia, familiares, el staff del Comité Organizador y amigos de la Asociación Peruana en Okinawa, esperándonos para darnos la bienvenida.

Al día siguiente 26, después de las visitas a algunos familiares y poner osenko donde el abuelo, fuimos a visitar al Señor Morimasa Goya, Cónsul Honorario de Perú en Naha para presentar nuestros saludos y llevar algunos encargos de la Asociación Okinawense del Perú. Mas tarde tuvimos una amena reunión de bienvenida por parte de la Asociación Peruana en Okinawa.

Los días en el Home Stay se pasaron rápidos, pero me dio la oportunidad de ver a mi familia y visitar a algunos amigos.

El sábado 29 de julio, empezamos el programa con mucho entusiasmo para apoyar en todo lo posible para cumplir con satisfacción nuestro papel como tutores.

Creo que el aporte que hicieron los alumnos del Colegio de Secundaria Superior Okinawa Shogaku, tanto en las dinámicas del primer día así como en el evento de la Gran Fogata, fue primordial para que los participantes se conozcan más.

La Isla de Tokashiki, fue el lugar perfecto para que los jóvenes comprobaran que Okinawa tiene una de las playas más hermosas del mundo. La rica fauna y flora de Okinawa, lo pudimos ver en la caminata hacia la cascada de Hijiootaki. El acuario de Chura umi, nos impresionó a todos por la grandeza de sus cristales y la cantidad de peces que ahí albergan. El show de los delfines simplemente, nos encantó.

Las visitas a las ruinas de Nakijin, el castillo de Shurijo, los jardines reales de Shikina, y las detalladas explicaciones de los guías, dieron a conocer la grandeza del reino de Ryukyu y el importante papel que cumplía Okinawa en aquellas épocas en el comercio entre China, Japón y otros países.

Una de las visitas más conmovedoras, fue la visita que realizamos al Museo Comemorativo de la Paz en Itoman. Ahí, tuve la dura tarea de traducir al español, el relato de un sobreviviente de la guerra. Tratando de guardar la calma durante la traducción y tratando de explicar cada detalle del relato de este señor, para que los jóvenes de lengua hispana sepan de lo terrible que fue esa guerra. Me causó mucha conmoción. De este museo y las historias que ahí se guardan, los jóvenes pudieron entender las razones del por qué el pueblo okinawense ama la paz, y quiere que no haya más guerras en el mundo.

Con las visitas a las fábricas de vidrio y Amamori, nos dieron una visión de las industrias en Okinawa. La visita al mercado de Okinawa, fue muy divertida y nos dio a conocer más sobre la alimentación de los okinawenses y sobretodo como es el comercio en la vida diaria.

Después de las largas jornadas de las diferentes visitas que realizábamos, los jóvenes tenían las sesiones de Eisa, lo satisfactoria era que terminada las sesiones habituales, los jóvenes se quedaban practicando por su cuenta, para perfeccionarlo y hacer una buena presentación frente al Gobernador Inamine. Ya en el hotel, luego de terminada todas las actividades, muchos se quedaban hasta altas horas de la noche interrelacionando entre ellos. El tiempo es corto para compartir. Mientras esto hacían los jóvenes, en una de las habitaciones del hotel, el grupo de staff de este evento trabajaba para escoger los cientos de fotos tomadas durante el día para ponerlas en la página Web

de la Comisión y también coordinando los detalles para la jornada del día siguiente. Muy buen trabajo.

La actividad más emocionante del Tour fue la presentación de Eisa frente al Gobernador. A pesar de los pocos días de ensayo, los jóvenes realizaron una excelente presentación para el deleite de todas las personas que estuvieron presente.

Una de mis preocupaciones era la comunicación de los jóvenes durante el Home Stay. Pero para mi tranquilidad, los familiares de los jóvenes a pesar de no entender el idioma, pudieron superar esto, y llevarse muy bien. Se divirtieron mucho. Las lágrimas al despedirse en el aeropuerto lo comprobaron.

Al final del programa y durante la fiesta de despedida, lo que me gustó fueron las palabras que dio uno de los participantes de Okinawa: “Esto no es una despedida, nos hemos dado cuenta que todos somos hermanos y que nos volveremos a ver...”. Es el espíritu del okinawense expresada en la frase: “ICHAARIBA CHOOODE”(todos somos hermanos). Fue muy emocionante. Creo que esto es lo más importante de lo aprendido en este programa, a pesar de vivamos en diferentes países, tengamos mezclas culturales y étnicas y hablemos diferentes idiomas, nuestro corazones lleva ese espíritu de uchinanchu, y eso lo han reafirmado estos jóvenes participantes.

Antes de terminar, quiero agradecer a la Asociación Okinawense del Perú, a los participantes de Perú; Jimmy, Gabriela y Daniela por la confianza depositada en mí, a la prefectura de Okinawa por el esfuerzo de cada año por realizar este programa tan maravilloso. A la Comisión Organizadora, al staff, al Colegio de Secundaria Superior Okinawa Shogaku por el esfuerzo de que todo haya salido con buenos resultados. A todos los participantes de Okinawa y de otros países, por esa vitalidad, entusiasmo y hermandad. Solo me queda desear sobretodo a todos los jóvenes participantes, mis mejores deseos para que esta experiencia sea el inicio de una larga amistad y se conviertan en los nuevos líderes encargados de la red mundial Uchina, y sirva de ejemplo de unión y comprensión mutua para otras comunidades y ayude a mejorar el entendimiento mundial. Gracias Okinawa!!



イノウエ 悦子

ETSUKO INOUE

47歳 2世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加報告

ジュニア・スタディー・ツアーで沖縄県を体験することによって、県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う次世代の育成を図るという大きな目的をかかえて立ち上げられたこの事業に、私はこの度ボリビアの参加者4名と、アルゼンチンの参加者3名の引率員として参加するすばらしい機会に恵まれました。

また、ボリビア沖縄県人会の事務を預かる立場から、実際に沖縄県が行っている事業などを見聞し、今後の県人会活動に役立てる、という任務もあり、県人会役員皆様の推薦を受けて引率者として参加することとなりました。

以前にも数回ツアー参加者を見送っておりますが、今般このような機会に恵まれたことにより、今後送り出すツアー参加者の指導についても把握することができたことは、大変大きな収穫でした。

沖縄県について私が身に付けていた知識は、祖父母や両親から聞いていたことと、25年前学生のときに夏休みを過ごしたこと以外、断片的なことでは、今まで自分の祖先の生まれた故郷のことなどを、深く考えたことがありませんでした。

ジュニア・スタディー・ツアーは、歴史、文化、自然、平和の学習を行うことが大きな目的でしたが、この4つの学習を系統立てて日程を組み、自然学習を経て、最後のウチナーンチュのアイデンティティーにつなげる流れの学習には、心から感心しました。

海外参加者34名と県内参加者33名、そして6名の引率員、県庁の方々、スタッフのみなさん、通訳ボランティアのみなさん、そして所要所でツアーを盛り上げて下さった、沖縄尚学高等学校のみなさんと共に過ごした11日間は、本当に充実しておりました。日を重ねるごとに参加者の意欲も盛り上げられ、次はどんな出会いがあるのか、どんな活動が待ち受けているか、期待感に満ちた毎日でした。まるで大河ドラマを見ているような流れの中で、私もその一員としてみんなとすばらしい時間を共有することができました。

おかげさまで、なぜ沖縄の人々はこのように自然を愛するのか、なぜこんなに人情にあつのかを、自分

の身体で実感することができました。かざられた地域の中でこんなに多彩な伝統芸能、工芸、風習、慣例があること、沖縄の人々が長い年月をかけて育んできた生活、信仰、文化、歴史など、沖縄に関する知識、理解を深めることができました。

渡嘉敷の美しい海、ヤンバルの自然、水族館、今帰仁城跡、首里城、平和祈念資料館、平和の礎、国際通り散策、壺屋ヤチムン通り、他に数多くの場所を見学しました。ひとつひとつ取り上げると言葉では言い尽くせないほどたくさんの出会い、発見と、感動がありました。

しかし、その中でも私が最も感動したのは、エイサーの発表でした。ツアーが終了する前日のことです。ウチナーンチュ大会のテーマソングの公開と同時に、ジュニアのエイサーが沖縄県知事の前で披露されたのです。

一つの活動を通じて世界のジュニアが心をつなげて短い期間に仕上げたエイサーは、「感動」の一言に尽きます。

私は、お腹の底までびびく太鼓の音が大好きです。どんなに疲れていても、太鼓の音を聞けば疲れも癒され、ストレスも解消します。パーランクーの「パーラン、パーラン」という乾いた心地よいリズムには、太鼓のような勇ましさはありませんが、音と共に動作が入ることによって心身ともに開放される満足感を感じます。

エイサーを踊るジュニアと、観に来てくださった方々との間には、どのように表現してよいかわかりませんが、心の交流が生じたように思いました。お互いの心が、気持ち、ぴたっと一つになった瞬間のようなものです。

控え室に戻ってみんなで肩を抱き合い、感動のあまり涙を流したことは、一生忘れることができない思い出となることでしょう。

沖縄にはこんなにすばらしい文化があったのだ!と再認識した瞬間でした。

スタッフの一員として参加するつもりでボリビアを出発しましたが、大きな協力はあまりできなかったことが、心苦しいです。

ツアーに参加して得ることができた多くの知識を今後私は県人会の事務を通して、より多くの人々に役立つ

てたいと思っております。また、これからの任務遂行に大きなウエイトを占めることとなるでしょう。

若い世代に沖縄を体験させるジュニア・スタディー・ツアーは、これからの人材育成には欠かせない事業だと思います。多感な年頃に体験したこと、感動などは、一生の思い出となり、参加したジュニアの将来に大きく反映することと思います。

私も、ジュニアほど若くはありませんが、みんなと同じ感動を体験して、そしてウチナーンチュであることを誇りに思ってきました。

ボリビアとアルゼンチン、そして参加した世界のジュニアの今後の活躍は、素晴らしいものであると確信しております。

私もみんなに負けないう、ウチナーンチュの美しいチムグクルを広げられるよう努力を約束します。

今年は第4回世界のウチナーンチュ大会が開催される記念すべき年です。大会に先立ち、素晴らしい出会いをたくさん与えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。





フリエタ フォンテ 伊波

JULIETA FONTE IHA

45歳 3世

キューバ共和国 Republic of Cuba

キューバ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー

時の過ぎ行くままにしていました。そうすることによって多分今回の旅から日常の生活に戻った後に湧きおこってきた、印象、思い出、経験、感動を頭の中で整理してまとめることができました。

それをどうやって伝えていいのか言葉が見つからないと思います。やってみます。

私たちが誰なのか、どこから来たのか、どこへ行くのか、はっきりとわかりました。今までいくら考えてもわからなかった多くのことがわかるようになりました。そして誇りに思い、帰国しました。

この旅をキューバに渡ってきた大部分の一世の方々も永眠している青年の島の墓地で終わらせようと決めていました。ジュニアスタディーツアー中の旧盆のときには輝いていた満月が、こちらでは欠け始めました。この夢の終わりに月が消えていくように。

耳の中には音楽が、胸には踊りが感じられます。博物館や海へ行ったこと、今帰仁城や首里城で学んだ琉球の歴史の一部、比地大滝と渡嘉敷島で体験した美しさと平和、忘れられない平和祈念公園やナガタカツオさんの証言を通じて感じた確かなる反戦への思いを私の日記と記憶の中に残します。この7月にまたひとつ歳をとったにもかかわらず、美ら海水族館では子供に返り、10歳若返ったようでした。おばあちゃんの作ったおかしのようなサターアンダーギーのおいしかったレストランにおいても。

秘密のお土産を持って帰って来ました。種をまこうと約束したシークアーサーです。でも今、もし芽が出なかったら思い出が消えていくようで怖いのです。この約束の証人である王様にどうすべきか相談しました。種をまいた方がいい、ここで育てるためにリスクを冒した方がいいと言ったように聞こえ、私もそう思い、そうします。

こんなに沢山のことを私にくれてどうもありがとうございます、沖縄。素晴らしい日々を決して忘れません。そして、学んだことを広め、あなたの夢を支持し、源を保ち、あなたの人々、彼らの勇気、純真さ、偉大さが好きであなたの周りにいる人々に教え伝えることを誓います。お盆の度、月が出る度、お祭りや記念日ごとに私が外

国人と感じなかった、そして昔からの知り合いのような参加者、家族、友達とともに過ごしたこの場所に戻るでしょう。行くのではなく帰る場所に。さよならは言わずにまた今度といいます。

このすばらしいプロジェクトがいつまでも続くことを願い、稲嶺恵一県知事をはじめとする皆様、とても役に立ち完璧なプログラムを組んで下さったジュニアスタディーツアーのスタッフの皆様、第4回世界のウチナーンチュ大会実行委員会の皆様、そして家族、友人、全ての沖縄の人々、参加者の方々のお幸せとご成功、幸運を祈っています。この学生ツアーや子孫たちの出会いが広がり強まりますように。愛しています、会いたいです、沖縄。

Junior Study Tour 2006

Querida Okinawa.

Tuke ya hijamitin, tiru chichi ya hituchi
Aman nagamiyura, kiyu nu sura.

Aunque el océano ancho nos separe, hay sólo una luna en el cielo
¿Mira usted la luna en el cielo esta noche?

Con toda intención he dejado correr el tiempo...
Quizás así logre que imágenes y recuerdos, vivencias y emociones, vayan ordenándose y se establezca un equilibrio que me permita evaluar, un poco desde afuera, que sucedió conmigo después de esta gira, y regresar en armonía a mi vida cotidiana.

Cómo expresarlo, creo que no existen palabras, pero lo intentaré.

He ganado en claridad sobre quiénes somos, de dónde venimos y hacia dónde vamos. He encontrado respuestas a muchos por qué, hasta ahora desconocidos, y regreso orgullosa de estas razones.

He cumplido la promesa de concluir viaje en el cementerio de la Isla, lugar donde reposan los restos de la mayor parte de los issei que se establecieron en

Cuba. Todavía con la luna que vi llenarse durante la jornadas del Junior y brillar plena en el Obón Antiguo, y que ya aquí comenzaba a menguar, como si se vaciara también al final de este sueño.

Tengo en mis oídos la música y los bailes en el alma. Guardo en mi diario y memoria, recuerdos de museos y playas, fragmentos de la historia de Ryukyu en los Castillos de Naikijin y Shurijo, la belleza y la paz experimentada frente a Hiji no otaki y la Isla de Tokashiki, la inolvidable visita al Heiwaa kinen koen y el fuerte sentimiento de rechazo a la guerra vivenciado a través del testimonio de Kasuo Nagata san. He vuelto a ser niña frente a Chura umi suizokukan y aunque he cumplido un año más en este inolvidable Julio, he regresado con dos lustros menos y en el paladar el delicioso sabor de unas sataandaguí como las de la abuela.

Traje conmigo un regalo secreto, un chikuasa que he prometido sembrar. Sin embargo, siento ahora el temor de perderlo como recuerdo, si no llegara a germinar. He intentado consultar al Rey, testigo de esta promesa, y me ha parecido escucharle que es preferible sembrarlo y correr el riesgo para cultivarlo aquí. También así lo siento y así lo haré.

Te doy mil gracias Okinawa, por regalarme tanto. Nunca olvidaré estos maravillosos días, te prometo multiplicar lo aprendido, defender tus sueños, preservar las raíces, enseñar a quienes nos rodean a quererte por tu gente y sus valores, por su sencillez y grandeza.

Volveré en cada obón y luna, en cada festival y aniversario, a este lugar en el que no me sentí extranjera y conviví con participantes, familiares y amistades como si les conociera de toda una vida. A donde no diré voy, sino regreso. No diré adiós, sino hasta pronto.

Felicidades y toda suerte de éxitos para el Gobierno a nombre del Sr Keiichi Inamine y el deseo de que este hermoso proyecto se mantenga, al Staff del Junior Study Tour por tan eficaz y completo programa, a la Comisión Organizadora del IV Festival Mundial Uchinanchu, a los familiares y amistades, a cada okinawense, a cada participante.

¡ Porque esta gira de estudios y este encuentro entre descendientes se amplíe y fortalezca cada vez más. Carii!!!

Te quiero así de grande. Te extraño... Okinawa.





ジャネット 亜希子 山内
 JANET AKIKO YAMAUCHI
 21歳 2世
 アメリカ合衆国
 United States of America
 北米沖縄県人会



チムチュラサ

君のチムグクルは何ですか。私たちはツアーの始まりと終わりとしてこの質問をされました。もし私が今度のツアー中に私のチムグクルということで進展をみるなら確かに変化がありました。最初に、引率者を頼まれた時、なぜ自分が推薦されたのか驚きでした。本当の事を言えば、申し出を受け入れた時、私は尻込みと興奮とこれから何に向かっていくのかを知らないで困惑しました。しかし、那覇空港に足を踏み入れた瞬間、私はサポーター、メディア、スタッフの皆さん、そして家族による暖かい歓迎を受けて、我が家に来たような安らぎを感じました。この素晴らしくユニークなプログラムは、私がこれまで期待していた以上に、多くの事を得る事を可能にしてくれました。

オリエンテーションの間中は参加したメンバー達に感動させられました。見回してみると、若いウチナンチュ達皆彼らのルーツについて学ぼうとしているのが感じ取れました。高校生のボランティアが、私達をお互いに精通させるためにゲームをアレンジしていた時、私の体の中をウキウキした気分が大急ぎで通り抜けました。私の最初の渡嘉敷島での経験は素晴らしいものでした。活気に満ちた海が空に光っていて美しい珊瑚礁は実に忘れられませんでした。その日私は「青年の島」として知られている数ヶ所の島がある事を学びました。偶然にも参加者の一人にキューバの「青年の島」のシスターアイランドから来た人が居ました。加えて、私は21才になるまで滝を見たことが無かったので比地大滝（ひじおおたき）にはただただ驚かされました。私は自分の目の偉大な滝に畏敬されました。私達を囲む自然の美に感謝するチャンスを与えてくれたにも関わらず、異なった生き物について学ぶことはとても教育的でした。そしてさらに、歴史と社会学習の講座は大成功でした。私は彼のレクチャーでの戦争体験を今日まで覚えています。人々の第二次世界大戦中の体験を知って非常に感情的になりました。私は土豪の中で半日以上も夜になるのを待つなんて想像することさえ出来ません。加えて、OTV ニュースキャスターのお話もとても感動するものでした。そこにはこの研修中、彼らが誰であるか、誰になりたかったか、

どんな夢を持っていたか等々学生について発見し得るたくさんのインフォメーションがありました。全てのゴールが達成すべきなのを聞くのは胸が高鳴りました。最後に、沖縄の歴史・社会・自然そして文化的な面を学ぶのはすごく教育的でした。

プログラムの最後に沖縄の知事の前で踊るエイサーを習うというのもツアーの計画に入っていました。勤勉に沖縄の文化の一部を習おうとし、ウチナンチュとしての誇りを示し、また沖縄への愛着を表現しようとする生徒達を見て非常に心が温まりました。エイサー練習は生徒達皆の心と魂を沖縄に近づける一つの方法でした。付け加えるとそれがまた生徒達を親密にしました。毎晩、エイサー練習が終わった後で自分を含めてたくさんの生徒と一緒にその日に習ったことを復習し、自分達の経験を披露し合いました。私は学生達が自国と帰るとき、彼らのお国に持ち帰りそして人々と共有できるもう一つのものとしてエイサーの練習を続けることを提案しました。

その他に、私が学んだ多くの技能の中で一番の収穫は、断然リーダーシップの技能でした。私はリーダーシップの秘訣は、相手に敬意持ち相手を認めながらコミュニケーションをとることであるということに気がきました。良きリーダーシップには他の多くの構成部分があると思いますが、私はこれらが私のスタディーツアーを成功に終わらせたものだと解りました。私は毎日できるだけ多くの生徒たちに話しかけました。生徒達はいろんなタイプがいて、何人かは恥ずかしがりやで、何人かは開けっぴろげでそして何人かはうるさい生徒がいるのを知りました。全体で言えば皆は大変近づきやすかったです。毎晩、私は一握りの学生たちに彼らがどう感じていたかを知るために話をしました。基本的には彼らを知るために任意な質問を浴びせました。これらの会話は友情を伴った尊敬にいたりしました。しかし私は、それが肯定的である事に気付いた時は必要に応じて厳密でありました。もし彼らが無作法なら彼らを正すことも出来ました。さらに、私は生徒達への友情と尊敬があったからこそ学生たちが私の言うことを聞くということが解りました。どんなに尊敬されていてもコミュニケーションなしには良いリーダーにはなれないことを学びました。コミュニケーションは大事だが、

良いリーダーになるためにはコミュニケーション・尊敬・肯定の三つ共にしなければならぬことです。思い返せば、学生たちが彼らの問題で私のところに来た事がたくさんありました。私は彼らが抱えているどんな問題でも直す芝刈り機同様に誇り高く感じました。そしてそれが私を彼らの大きいお姉さんのような気分にしました。

相互交流は私たちが皆克服しなければならぬもう一つの垣根でした。もし、学生たちが日本語を知らなかったなら、その分英語をよく知っていました。しかし、それは1つの言語しか詳しくなかった人たちの難問でした。私は幾人かの学生たちが手でジェスチャーを使って交流し、また知っていた数少ない言葉で理解し合うのを見ました。そしてもし彼らがそれでもお互いに理解が出来ない時、付き添い係りが彼らの助っ人でした。ハンドジェスチャーがとても効果的な言葉だと知った事は奇妙な事でした。私はよく使われる会話を4言語（日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語）で表示した小さな会話集を提供してくれたことに感謝しました。私はそれがとても実用的だと気付きました。

相互理解の他にも、私は学生達がどれだけ大人のレベルに到達したかについても気付く事ができました。それは短い11日間でしたが、家族や同輩たちそしてジュニアスタディーツアーのスタッフや係りの方が、どれだけ若い参加者達の心に影響を与えることができるかという事に気付き、驚嘆しました。非常に行儀の悪い一人の生徒がいましたが、その生徒は終始大人げなく尊敬できない行動をしていて、私はもうそれに対応できない状態になってしまいました。しかし、勝連さんが全員の前でお話しされて以来、その生徒は聞き入れない事や子供じみた行動をしなくなりました。私は好奇心が強いのでなぜこんなに行動が変わったかと聞きました。彼の答えは、自分がどうしてこのプログラムに参加したか、そしてサポーターやスタッフの方たちに対して自分がどんなに大人げなかったかをついに悟ったということでした。この機会を通して私は人は望みさえすれば自分を変えることが出来ることを気づかされました。

最後に、ジュニアスタディーツアーは素晴らしい経験でした。私はかつて沖縄とウチナーンチュについて、こんなに少ない時間でこんなに多くのことを習ったことはありませんでした。どの日のどの場所がもっとも思い出に残ると言うのは難しいです。どちらも等しく楽しくて参加する意義がありました。

さて、あなたのチムグクルは何ですか。私のチムグクルはウチナーンチュである事と沖縄の文化に関わったのを誇りに思う事と自分の家族や友人を愛する事などから成り立っています。私は全てのチムチュラサとチムグクルは繋がっていると思います。このツアーを通じて、ウチナーンチュはどこにいてもチムグクルで

繋がっているという深い理解をしっかりと掴むことが出来ました。

最後に、このプログラムを成功に導いた関係者、スタッフ、サポーターの方々皆に感謝の気持ちを捧げます。私はこのツアーで私が想像していたよりもっと多くの知識や誇りや友情を得ることが出来ました。私は自分の経験と学んだことをアメリカにいるウチナーンチュの友達の皆さんと分かちあいたいと思います。

私はウチナーンチュの皆さんにこのプログラムを推薦します。

PS. 「チムチュラサ」とは沖縄方言で「心美しい」とか「心優しい」とかの意味です。

「チムグクル」とは沖縄方言で「真心」という意味です。

CHIMUCHURASA

What is your chimugukuru? We were all asked this question in the beginning and end of the tour. If I were to observe my progression throughout the tour about my chimugukuru, there was a definite change. Initially, when asked to be a chaperon, I was surprised at first as to why they recommended me. To tell you the truth, when I accepted the offer I felt a mixture of hesitation, excitement, and overwhelmed of not knowing what I was getting myself into. But as soon as I set foot on the Naha airport, I felt right at home, welcomed, a sense of comfort by all staff, supporter, media, and family. This wonderfully unique program enabled me to gain much more than what I've ever expected.

During orientation, I was mind-blown as to the number of participants that attended. As I looked around, I saw all these young uchinanchu ready to learn about their roots. A feeling of exhilaration rushed through my body as one of high school volunteers arranged games to familiarize ourselves with one another. My first experience in Tokashiki island was amazing. The vibrant ocean shinning upon the sky, filled with beautiful corals was just unforgettable. That day I learned that there are several island recognized as being a 'seinen-no-shima'. Coincidentally, one of the participants happens to come from sister island of the 'seinen-no-shima' in Cuba. In addition, Hiji otaki was just astonishing in that I've never seen a water fall in my 21 years of life. I was awed by the great waterfall falling in front of me. It was educational to learn about the different living creatures yet it gave me the opportunity to appreciate the natural beauty that surrounds us. Moreover, the history/social study

session was very successful. Till this day, I could remember the lecturer telling his life experience about the war. It was very emotional knowing what people went through during the World War II. I can't even imagine sitting in a hole in the ground for more than half the day waiting for night to come. In addition, the OTV news caster's speech was very inspirational as well. There was much information I was able to discover about the students through this workshop; such as, knowing who they are, what they want to be, what their dreams are, etc. it was exciting to listen to all the goals to be achieved. Finally, learning about the historic and social, nature, and cultural aspect of Okinawa was very educational

The tour also consisted a portion where students learned Eisa which was to be performed at the end of the program in front of the governor of Okinawa. Watching the students diligently wanting to learn a part of their uchinanchu culture, demonstrate their uchinanchu pride, and wanting to express their love for okinawa was very heart-felting. I Learning Eisa is one way that brought okinawa closer to everyone's heart and soul. In addition, it brought students closer together as well. Every night, after Eisa practice, many students including myself got together to go over what we learned that day and share our experience. I recommend continuing the Eisa portion in that it provides one more thing students are able to bring back and share to their home country.

On a different note, among the many things I learned, my leadership skill is by far the most I've gained. I discovered that communication is the key in leadership followed by respect and being affirmative. I am aware that there are many other components, but I found that these were what got me through the junior study tour successfully. Everyday I attempted to approach as many students as possible. I found that some were shy, open, and very loud. In all everyone was very approachable. Every night I would talk to a handful of the student to see how they were feeling; basically I asked random questions in order to get to know them better. These conversations grew a sense of respect with one another which was then followed by friendship. But whenever it came down to being affirmative, I was strict as needed. If they were misbehaving, I was able to set them straight. Moreover, I realized that students listened more because of the friendship/respect we had. I learned that no matter how much respect there is, without communication one can not become a good leader. Although communication

is important, all three components: communication, respect, and affirmation must work together to become a good leader. Reminiscing, there were many incidents where students would come up to me about their problem. I felt proud as well as edger to fix whatever troubles they were having which made me feel like their big sister.

Interaction was another barrier that we had to all overcome. If students didn't know Japanese most likely they pretty much knew English. But it was challenge for those that were only acquainted with one language. I would see some students trying to interact by hand gestures and spiting out what ever words they knew made sense. And if they still couldn't understand each other, chaperons were their resort. It's bizarre to know that hand gesture is a very effective language. I appreciated the fact that this program offered little translation phrases for the most common used phrases in all four languages. I found it very useful.

In addition to interaction, I was also able to observe the maturity level in some of the students. Even though, it was a short 11 days, I was amazed in realizing how much family, peers, and junior study staff/chaperon can influence a young mind in that short amount of time. There was a situation in which a certain student acted immature and un-respectful constantly; I was at a point where I couldn't handle it anymore. But then after a speech from Katsuren-san; from that day forward, the student was no longer the kid that wouldn't listen nor acted childish. Curious as to how differently he acted, I asked why you changed. His answer included with him rethinking why he participated in this program and finally realizing how immature he was towards the staff and supporters. Through this opportunity, I was able to perceive that people can change if they desire. Lastly, the junior study tour was an awesome experience. I never encountered to learn so much in so little time about Okinawa and about being uchinanchu. It's hard to say which day or place was the most memorable. I thought they were equally enjoyable and worth attending.

So, what is your chimugukuru? My chimugukuru consists of being uchinanchu, being prideful that I'm involved in Okinawa culture, and loving my family/friends. I believe all chimuchurasa chimugukurus are connected. Through this tour, I was able to grasp a strong understanding that all uchinanchu no matter where we are, are connected from our chimugukuru.

In conclusion, I would like to give much thanks to all staff and supporters that were affiliated with the junior

study tour and that made this program successful. I was able to gain more knowledge, more pride, more friendship, and much more from this tour than what I'd expect. I would like to share my experience and what I have learned to my fellow uchinanchu in America. I highly recommend this program to all uchinanchu out there.

引率者





上原 さやか

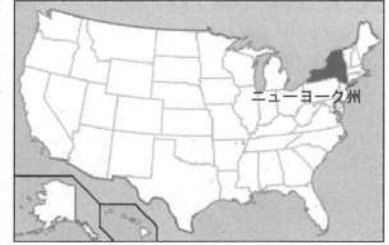
SAYAKA UEHARA

27歳 1世

アメリカ合衆国

United States of America

ニューヨーク沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーの影響

ツアーでは沖縄を含め12カ国から参加しているということもあり個性多様な子供達に来ていた。しかし私がここで注目したいのは引っ込み思案な子供達である。短い期間ではあるが、私は子供たちに何かを教えるという機会があり、その経験を通して内気な子供達はツアー当初からとても気になっていたのである。社交的でハキハキしている子は、自分の気持ちを他人に伝えることが上手な子が多い。反対に、内気な子というのは他人と多く交流をしないため自分の気持ちを伝えるのが苦手な子が多いのだ。何も発言しないからといって彼らが他人の言っていることを理解していないだとか、何も感じていないというわけではない。彼らの頭の中や心の中では嵐のように考えや感情が同じように吹き荒れているのだ。

そういった点で、沖縄からの参加者にはツアーの始まりから終わりまで気になる子が何人かいた。歓迎会で、他国の子と挨拶を交わして自己紹介をするというゲームが行われた時、ほとんどの子供達は積極的に参加していたのに対し、何人かは自分から行動ができずジッとしている子供がいたのだ。その内の何人かは、日が経つにつれ他の子供達とも打ち解けてきて友達もできたようであった。友達同士で楽しく会話をしている様子も伺えた。しかし、以前として表情があまり無く楽しそうにしている様子がみえない子がいた。声をかけても一言で会話を返したりしていたのだ。そんな時である。たまたま彼女がバスで私の隣に座ったのだ。将来何の仕事をしたのかと聞いたら、最初は言葉を濁していたのに最後には正直に打ち明けてくれた。そこで、どれ程ジュニアスタディーツアーが彼女に影響を与えたのかを知ったのである。事務も営業もサービス業もどんな仕事も嫌だと言っていたのに、彼女は何か国際的に関わる仕事がしたいと言ったのである。ツアーに参加していろんな国の子に会うことができ、英語がわかればもっと意思が通じるのになと思ったそう。でも、通じたときは嬉しくて嬉しくて仕方がなかったそうである。

取り越し苦労の心配だったのかもしれないが、彼女も彼女なりに、やはりいろんなことを感じているのだ。

それまでは、あまり笑顔がみられなかったのに「嬉しかった」って言ったときは少しはにかみながら本当に嬉しそうにしたのだ。やりたい事よりもやりたくない事が多かった彼女にジュニアスタディーツアーは少しだけ道を開いてくれたのだと思う。何かをやりたいてきかけを与えたのだ。このツアーは確実に子供達に影響を与えているし、これからも影響を与えていくのだと思う。関係者は子供達のためにと一生懸命企画をたて運営したのだろうが、やはりこのツアーが決めてとなるのは子供達なんだと思う。何も言わない子供も、言葉でうまく自分の気持ちを言えない子供にもツアーは確かに影響を与えたのだ。今はまだ目に見えない成果かもしれない。でも将来それが形となって現れるかもしれないのだ。

次のツアーにいかすこと

プロジェクトを企画して運営するのは大変な仕事である。ツアーの最中は子供達の安全のため何時間もコインランドリーの前で立っていたり、毎日目が赤くなるほど遅くまで仕事をしていたりして運営者には頭が下がる思いで一杯である。彼らが体を壊さないのが不思議なほどである。しかし、残念なことに外部の者にはなかなか彼らの努力が伝わることが多いのが現状だ。企画に携わってない者はどれほど関係者が努力しているかわからないから簡単に文句が言えると思う。大切なのは彼らの努力を認め、あら捜しのように欠点だけをいうのではなくこれからどうすればいいかを考えるべきである。

ツアー関係者のうち一人の方が言っていたが、毎年ツアーの中身は似ていても順番を違えたりして毎回毎回がいわば実験のように取り組まれているそうである。前年までのツアーのスケジュールがどのようなよう組まれていたかはわからないが、今年は11日間で24もの項目を学び体験をしたことになる。それは、限られた時間の中でたくさんの事を子供達に学んで欲しい、そして様々な活動に参加して欲しいという主催者側の気持ちであったのだろう。特に海外から来ている子供たちには広い分野での沖縄を知って欲しいとの気持ちが汲み取れる。しかし今回のスケジュールはあまりにも

詰め込みすぎではなかっただろうか。「広く浅く」の方針自体はよかったが、スケジュールが詰まりすぎているためゆっくりと学ぶことができず、いつも時間に追われていたのである。「息をつく暇がない」という表現がぴったりくるような忙しさであった。子供達側からも、あまりにもやる事がたくさんありすぎるとい声はでていたのだ。もう少し何もしない時間を与えて欲しいと。その自由時間を子供達だけで交流する時間に使用したいと言う子もいた。交流する時間がなかったとは思わないが、実際スケジュールがきついという声があったのは事実である。

私はタイトスケジュールがジュニアスタディツアーの目的の一つである（沖縄についての）学習に対し逆効果を与えたのではないかと思う。しっかりここで学ばなければいけない時に時間がおしているからといって学ばなかったり、何かを感じているのにそこでうやむやになってしまったということはないだろうか？子供達が積極的に参加している - Active Engagement - なのではなく受身のまま - Passive Engagement - なのである。そこには主体性が感じられないのだ。言われたことをそのまま受け入れて、入ったものに対してどうこうするということがないのだ。確かに一般的に「ツアー」というもの自体が、短い期間で集中していろんなことするという風に構成されている。しかし、参加しているのが十代という多感で自個を作り上げていく時期の子供達だからこそ私は特に言いたい。頭に入れた情報を整理する時間は必要だ。自分達が学んだことに対しての感想なり意見を交換しあったりして、まずはお互いに話しあいをするべきである。大勢で話あうのが苦手というなら少人数でもいい。とにかく何かを学んだ後で時間を設けるというのは大事なことである。人間なのだから情報を頭に入ればそれに対して思うことはあるだろう。一方的に情報を押し付けるのではなく、頭に入れた情報がどういったことなのかを時間をあげ、子供達なりに考えさせてやるべきだ。

沖縄移民について学んだ後の、自分のアイデンティティを考えるときのことである。一人の子が「アイデンティティってよく言われているけど実際何ね？」と聞かれたのである。子供達はこんな風に疑問を感じてたりするのだ。私はその時私が思うアイデンティティの意味を答えたのだが、今思うと子供達に逆に質問をし、考えさせてあげればよかったと思う。しかし、全体的に沖縄国際センターでの学習の仕方は一番よかったと思う。移民について学んだ後は、自分達で感想をいいあったりできたからだ。話あう機会を作るためにはプログラムを削っても私はいいと思う。例えば、石畳を歩いたことや琉球ガラス村や泡盛工場での見学である。子供達の反応をみているとそのことが印象に残っているのは少ないのではないか。ジュニアスタディー

ツアーでは自然学習、文化学習、歴史学習、社会学習、平和学習と全てに「学習」とついている。では、その学習を効率的にするにはどうしたらいいかが次のツアーでの考えるところだ。

県人会でできること

引率者は良くも悪くも自分達が連れてきた子供達のこと一番目に入るものだと思う。その証拠に引率者の一人が、自分が連れてきた子が気になり自分が口うるさくなっていると嘆いていたが、それは私にしたって同じことである。北米と南米から来た子供達を比べると、北米から来た子供達は学ぼうという意識が低かったように思われる。（南米といって違う国から来た子供達を、ひとまとまりにしてしまうのも問題だと思うし個人差もあるとは思のだが、それを踏まえた点であえて南米と書かせてもらう。）ボリビアの子供達だったと思うが各国紹介の時も一生懸命メモをとって他国のことを学ぼうという姿勢が見られた。平和学習にしたってそうである。北米の子供達がどんどん先に進んでいく中、最後まで時間をかけて注意深く資料を見てメモを取っていたのは南米の子達（と正太君）だったのだ。

南米の子供達は日本語を上手に喋れる子が多くて、特にボリビアの子供達は沖縄の参加者と言ったっておかしくないほどだった。彼らの日本語能力の高さと沖縄のことを学ぼうという意識の強さを関連づける気はないのだが、彼らを送り出す側、つまり県人会に注目したいと思う。南米の子供達は県人会がツアーに参加したい子供達を募り、たくさん応募を集めてそこから選出するのだ。だから必然と日本語を一生懸命学べば有利になる。北米と南米の大きな違いとは参加者の決め方である。もちろん文化的・歴史的背景が違うため住んでいるウチナンチュの意識も県人会のあり方も違うのは当然である。だが北米の場合、参加者は県人会で積極的に参加している人の子供なり孫だったりするケースが多いと思う。ツアーに参加する前に子供達の保護者と電話で連絡をとりあったのだが、話を聞いているとどうやら会長の子供だったり理事会メンバーの孫だったりするのだ。県人会長が個人的に子供達を知っていて推薦しているのがほとんどのようである。

北米の子供たちは沖縄文化に触れることが少ない。だから子供達がこのツアーに参加することで沖縄に興味をもってくれたらということで県人会長は推薦するのもかもしれない。あるいは、県人会のために一生懸命活動してくれるから感謝の気持ちとして子供や孫を優遇してあげているのかもしれない。それが情があるウチナンチュらしい気持ちでもあるのだろう。現に今回北米から参加した子のように、沖縄のことについて全然知らなかった子がツアーに参加することでこれか

ら沖縄に関わっていきたくって思うことだってある。しかしそれは、県人会メンバー全員に声をかけた後でもいいのではないかと思う。もしかしたら沖縄に対し強い情熱を持った子がいるかもしれないからだ。でも住んでる場所が県人会が集まる場所より遠くて活動に頻繁に参加できないのかもしれない。理由はなんであれ、今の北米の参加者の決め方を見ていると公平に子供達を選出できてないのだ。南米のように意識の強い子が集まる率が低いわけである。私だって自分の連れてきた子はかわいいし、みんな素直な子供達だったから連れてこなければ良かったって思う子は一人としていない。それに私も県人会に所属していて、県人会長も理事会の人もメンバーも大好きである。だからこそ、きつい言い方かもしれないが、税金を払っている県民に対し、自分の子供達を沖縄にただ遊ばせに行かせましたなんて失礼である。ツアーに参加して楽しかったで終わってしまっはいけないのだ。ある意味、子供達の意識の前に、送り出す側の意識の高さも必要とされるのだ。だって送り出す人はこの機会を作ってくれた県と県民に対して感謝の気持ちを忘れてはならないからだ。一生懸命企画をしてくれる主催者にも税金を払っている県民にも送り出すほうは誠意で答えなければならない。私は一人で北米全部の県人会を変えることはできないが自分の県人会で一つずつ行動を起こしていければと思う。次の機会にはメンバー全員に声をかけ応募をつのりたい。そして積極的に沖縄のことを学びたいという子供をジュニアスタディーツアーに送り出したいのだ。

ツアーで得たこと

このツアーは子供達が主役のツアーであった。関係者は全てサポートにまわったし子供達優先で事を運んできた。子供達を第一にと思い行動してきたつもりだったが、結果的に私は子供達から得たものが多かったのではないかと思う。ツアーを通して、そして子供達との交流から私は自分というのを知ることができ、向き合うことができたのだ。先生達がよく言うように、「教えるより教えられることが多かった」のだ。もしかしたら私が子供達に何かをしてあげたというよりは、子供達が私にしてくれたと言った方がいいのかもしれない。自分自身に反省することが多かったことや葛藤したことなども含め、違った視点から自分を見る機会を作ってくれた子供達に感謝である。このツアーは子供達に影響を与えたのではなく私にも大きな影響を与えたのだ。

いっぺーにふえーでーびたん。



資 料 編

受 入 実 績

(1) 海外参加者・引率者の国別内訳 【() はそのうち引率者の人数】

国名 \ 年度	H13 (ウチナーンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナーンチュ大会)	計
ボ リ ビ ア	5(1)	2	3(1)	2	2	5(1)	19(3)
ブ ラ ジ ル	7(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	5(1)	23(5)
ク (カンボグランド)	3(1)	1	2(1)	1	1	2	10(2)
ア ルゼンチン	5(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	3	19(4)
ペ ル	5(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	4(1)	21(6)
ベネズエラ	2(1)	0	0	0	0	0	2(1)
メキシコ	3(1)	0	0	0	0	1	4(1)
キューバ	0	2(1)	2(1)	2(1)	0	2(1)	8(4)
フランス	2(1)	0	0	0	0	0	2(1)
イギリス	2(1)	0	0	0	2(1)	2	6(2)
ド イ ツ	2(1)	0	0	0	0	0	2(1)
米 国 (ハワイ)	0	2	3(1)	1	0	1	7(1)
ノ (グアム)	1	0	2(1)	0	0	0	3(1)
ク (本土)	20(4)	6(2)	5(2)	5(1)	6(1)	11(2)	53(12)
カナダ	6(2)	2(1)	1	1	1	2	13(3)
フィリピン	4(1)	3(1)	3(1)	1	1	1	13(3)
シンガポール	0	2(1)	0	0	0	0	2(1)
マレーシア	0	0	0	0	0	1	1
計	67(17)	29(9)	28(9)	22(5)	22(5)	40(6)	208(51)

(2) 海外参加者内訳
世 代 別

国名 \ 年度	H13 (ウチナーンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナーンチュ大会)	計
1 世	0	0	0	1	2	1	4
2 世	26	5	6	6	3	14	60
3 世	21	8	10	8	9	13	69
4 世	3	7	3	2	3	5	23
5 世	0	0	0	0	0	1	1
計	50	20	19	17	17	34	157

男 女 別

国名 \ 年度	H13 (ウチナーンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナーンチュ大会)	計
男 子	30	9	5	7	6	15	72
女 子	20	11	14	10	11	19	85
合 計	50	20	19	17	17	34	157

(3) 県内・県外参加者内訳
学 校 別

国名 \ 年度	H13 (ウチナーンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナーンチュ大会)	計
小 学 生	9	0	0	0	0	0	9
中 学 生	24	13	7	5	4	11	64
高 校 生	17	11	18	15	15	22	98
計	50	24	25	20	19	33	171

男 女 別

国名 \ 年度	H13 (ウチナーンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナーンチュ大会)	計
男 子	15	6	4	4	5	7	41
女 子	35	18	21	16	14	26	130
合 計	50	24	25	20	19	33	171

平成18年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	学年	性別	学 校 名	
1	国吉明奈	KUNIYOSHI MEINA	3	女	中城村立中城中学校
2	久手堅憲稀	KUDEKEN NORIKI	3	男	西原町立西原東中学校
3	比嘉夏海	HIGA NATSUMI	3	女	浦添市立浦添中学校
4	富名腰彩乃	FUNAKOSHI AYANO	3	女	那覇市立首里中学校
5	豊見山佐妃	TOMIYAMA SAKI	3	女	那覇市立松島中学校
6	前里雅	MAESATO MIYABI	3	女	那覇市立松島中学校
7	中村春葵	NAKAMURA HARUKI	3	女	豊見城市立長嶺中学校
8	与坂勇姫	YOSAKA YUKI	1	女	南城市立玉城中学校
9	比嘉美幸	HIGA MISAKI	3	女	与那原町立与那原中学校
10	崎原佑介	SAKIHARA YUSUKE	3	男	与那原町立与那原中学校
11	島袋正志	SHIMABUKURO MASASHI	1	男	多良間村立多良間中学校
12	諸見正太	MOROMI SHOTA	3	男	石川高等学校
13	津波義弥	TSUHA YOSHIYA	3	男	北谷高等学校
14	山内祐奈	YAMAUCHI YUUNA	3	女	普天間高等学校
15	喜納亜沙美	KINA ASAMI	3	女	普天間高等学校
16	川節奈那	KAWASETSU NANA	3	女	西原高等学校
17	屋比久まり	YABIKU MARI	3	女	浦添工業高等学校
18	運天美由紀	UNTEN MIYUKI	3	女	浦添工業高等学校
19	池原ななえ	IKEHARA NANAE	3	女	那覇国際高等学校
20	上間もえみ	UEMA MOEMI	3	女	那覇国際高等学校
21	狩俣彩乃	KARIMATA AYANO	1	女	首里高等学校
22	久貝博文	KUGAI HIROFUMI	1	男	小禄高等学校
23	大城ひろか	OSHIRO HIROKA	2	女	那覇西高等学校
24	岩田彩	IWATA AYA	1	女	那覇西高等学校
25	稲福奈実子	INAFUKU NAMIKO	3	女	那覇商業高等学校
26	城田麻莉亜	SHIROTA MARIA	3	女	那覇商業高等学校
27	謝敷アリーニ	JASHIKI ALINI	1	女	沖縄尚学高等学校
28	宮城若名	MIYAGI WAKANA	2	女	沖縄女子短期大学附属高等学校
29	下地由美子	SHIMOJI YUFUKO	2	女	開邦高等学校
30	照屋美友貴	TERUYA MIYUKI	2	女	知念高等学校
31	糸数舞	ITOKAZU MAI	2	女	知念高等学校
32	金城将吾	KINJO SHOGO	3	男	糸満高等学校
33	平良優圭	TAIRA YUKA	3	女	久米島高等学校

平成18年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	世代	国 名	県 人 会 名							
1	ガブリエレ エリ 比嘉	15	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会							
	GABRIELLE ERY HIGA												
2	カリナ イズミ 具志堅	15	女	3世			ブラジル	ブラジル沖縄県人会					
	KARINA IZUMI GUSHIKEN												
3	カレン ユミ 宮城	16	女	4世					ブラジル	ブラジル沖縄県人会			
	KAREN YUMI MIYASHIRO												
4	レチシア チエミ 高良	17	女	3世		ブラジル					ブラジル沖縄県人会		
	LETICIA TIEMI TAKARA												
5	マリオ セルジオ いさお 小波津	16	男	3世			ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会					
	MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU												
6	レナタ ちえみ 城間	17	女	3世					ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会			
	RENATA TIEMI SHIROMA												
7	宮平 レオナルド マルティン	17	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会							
	LEONARDO MARTIN MIYAHIRA												
8	新垣 あかね	17	女	1世			アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会					
	AKANE ARAKAKI												
9	喜納 パウラ ミカエラ ミユキ	16	女	3世					アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会			
	PAULA MICAELA KINA												
10	新垣 金城 ジーミ ホルヘ	17	男	4世		アルゼンチン					在亜沖縄県人連合会		
	JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO												
11	具志堅 大城 ガブリエラ イサベル	17	女	3世				ペルー				ペルー沖縄県人会	
	GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO												
12	渡嘉敷 国頭 ダニエラ	16	女	4世						ペルー			ペルー沖縄県人会
	DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI												
13	比嘉 さゆり	13	女	3世	ボリビア						ボリビア沖縄県人会		
	SAYURI HIGA												
14	眞榮城 弥生	13	女	3世			ボリビア	ボリビア沖縄県人会					
	YAYOI MAESHIRO												
15	安里 健	13	男	2世					ボリビア	ボリビア沖縄県人会			
	KEN ASATO												
16	ホカマ 栄	14	男	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会							
	SAKAE HOKAMA												
17	イダルゴ カネド フランシスコ エイジ	18	男	4世			メキシコ	メキシコ沖縄県人会					
	FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO												
18	キヨミ トレス ゴンザレス	18	女	4世			キューバ	キューバ沖縄県人会					
	KIYOMI TORRES GONZALEZ												
19	高田 シャンテル 真由美	16	女	5世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会							
	CHANTELLE MAYUMI TAKATA												
20	ダニエル マコト バンバード	17	男	2世		アメリカ	北米沖縄県人会						
	DANIEL MAKOTO BOMBARD												
21	又吉 まりこ リン	16	女	2世			アメリカ	北カリフォルニア沖縄県人会					
	MARIKO LYN MATAYOSHI												

海外参加者名簿

22	ウェットセル ミッシェル ケイコ	17	女	2世	アメリカ	ワシントン州沖縄県人クラブ
	MICHELLE KEIKO WHETSELL					
23	デイヨ アレン シュルライン	15	男	3世		中西部沖縄県人会
	DALE ALLEN SCHLEHLEIN III					
24	アシュレイ 紀子 シャンコーズ	14	女	2世		ニューメキシコ沖縄県人会
	ASHLEY KIKO SHANKLES					
25	イーアン トーマス ダグラス	14	男	3世		ニューヨーク沖縄県人会
	IAN THOMAS DOUGLAS					
26	フエングラー 美花	13	女	2世		アトランタ沖縄県人会
	MIKA LEILANI FENGLER					
27	アーシリー ブルック シングルトン	17	女	3世	ジャクソンビル沖縄県人会	
	ASHLIE BROOKE SHINGLETON					
28	クリストファー ジェフリー エドワーズ	14	男	2世	ミシガン沖縄県人会	
	CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS					
29	パターソン アンドリュー 義輝	15	男	2世	バンクーバー沖縄県友愛会	
	ANDREW YOSHIKI PATTERSON					
30	比嘉 史	13	男	2世	トロント球陽会	
	NICHOLAS CHIKASHI HIGA					
31	ブライアン メヒア ヤキテン	16	男	3世	フィリピン沖縄県人会	
	YAQUITEN BRYAN MEJIA					
32	比嘉 麻耶	16	女	2世	マレーシア沖縄会	
	MAYA HIGA					
33	石垣 幸夫	13	男	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会
	SACHIO LUCIAN ISHIGAKI					
34	石垣 優児	17	男	2世		
	YUJI ISHIGAKI					

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	AKEO UEHARA YOGUI				
2	譜久原 アントニオ	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
	FUKUHARA ANTONIO				
3	イノウエ 悦子	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
	ETSUKO INOUE				
4	フリエタ フォンテ 伊波	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
	JULIETA FONTE IHA				
5	ジャネット 亜希子 山内	女	2世	アメリカ	北米沖縄県人会
	JANET AKIKO YAMAUCHI				
6	上原 さやか	女	1世	アメリカ	ニューヨーク沖縄県人会
	SAYAKA UEHARA				

平成17年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名	
1	具志堅 靖 知	GUSHIKEN YASUTOMO	男	沖縄市立コザ中学校
2	城 間 ひかる	SHIROMA HIKARU	女	那覇市立石嶺中学校
3	伊 地 侃 海	ICHI TADAMI	男	与那原町立与那原中学校
4	又 吉 奈保子	MATAYOSHI NAOKO	女	石垣市立伊原間中学校
5	金 城 千 尋	KINJO CHIHIRO	女	北部工業高等学校
6	幸 地 長 治	KOUCHI CHOUJI	男	名護高等学校
7	金 城 エリナ	KINJO ERINA	女	読谷高等学校
8	大 城 奈 々	OSHIRO NANA	女	具志川高等学校
9	玉 城 美 優	TAMAKI MIYU	女	具志川高等学校
10	山 城 杏 奈	YAMASHIRO ANNA	女	普天間高等学校
11	宇 根 あみ菜	UNE AMINA	女	浦添高等学校
12	大 城 李理子	OSHIRO RIRIKO	女	那覇高等学校
13	斉 藤 愛 里	SAITO AIRI	女	那覇国際高等学校
14	又 吉 扶	MATAYOSHI TASUKU	男	那覇国際高等学校
15	上 原 麻 衣	UEHARA MAI	女	小禄高等学校
16	小那覇 祥 子	ONAHA SHOKO	女	豊見城高等学校
17	番 園 亨	BANZONO TORU	男	糸満高等学校
18	翁 長 琴 乃	ONAGA KOTONO	女	久米島高等学校
19	伊良部 夏 美	IRABU NATSUMI	女	宮古工業高等学校

平成17年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	大城 直美 マヤラ MAYARA NAOMI DE ALCANTARA OSHIRO	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	宮城 明子 ベアトリス BEATRIZ AKIKO MIYASHIRO	女	3世		
3	川波 エンリッケ ケンジ HENRIQUE KENJI KAWANAMI	男	3世		カンポグランデ沖縄県人会
4	屋宜 宣広 アレハンドロ ALEJANDRO DANIEL YAGI	男	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	岸本 ユカリ YUKARI KISHIMOTO	女	1世		
6	仲里 国頭 エミ カロリーナ EMY CAROLINA NAKASATO KUNIGAMI	女	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	亀甲 亀甲 たかし アレハンドロ TAKASHI ALEJANDRO KAMEGO KAMEKO	男	3世		
8	親川 千草 カサンドラ CHIGUSA CASANDRA OYAKAWA	女	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	ジャンニ ブラジル JANNY BRASIL TAMASHIRO	女	3世		
10	ヤマシロ ミッシェル MICHELLE ALEXANDRA YAMASHIRO	女	4世	アメリカ	北米沖縄県人会
11	イタリアーノ チャンス ケンイチ CHANCE KENICHI ITALIANO	男	1世		ユタ州沖縄県人会
12	イーズリー マケーナ ヴィカーシャ MCKENNA VIKASHAA EASLEY	女	2世		ワシントンDC沖縄県人会
13	ラックエル 笑美 コンドン RAQUEL EMI CONDON	女	3世		インディアナ沖縄県人会
14	クリストファー ジョシア ワールターズ CHRISTOPHER JOSHUA WALTERS	男	3世		フロリダ沖縄県人会
15	ジョーダン カミオ サワダ JORDAN KAMIO SAWADA	男	4世	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会
16	ジャスミン マリー ドフレド デ ヘスス JASMINE MARIE DE JESUS	女	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
17	ゴンザレス 優子 エリザベス YUKO ELIZABETH GONZALES	女	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	松堂 忠顕 CHUKEN MATSUDO	男	1世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ファビアナ カルメン FABIANA CARMEN SHINZATO	女	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	安座間 喜屋武 シェイラー パトリシア SHELLAH PATRICIA AZAMA KIYAN	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	牧志 啓和 HIROKAZU MAKISHI	男	1世	アメリカ	ユタ州沖縄県人会
5	伊敷 久子 HISAKO ISHIKI	女	1世	イギリス	イギリス沖縄県人会

平成16年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名
1	棚 原 琴 希 TANAHARA KOTOKI	女	宜野湾市立宜野湾中学校
2	糸 数 梨 乃 ITOKAZU RINO	女	那覇市立小禄中学校
3	国 吉 美 樹 KUNIYOSHI MIKI	女	久米島町立具志川中学校
4	高 原 茉 奈 TAKAHARA MANA	女	平良市立平良中学校
5	前上里 李衣奈 MAEUEZATO LIINA	女	石垣市立伊原間中学校
6	幸 地 美 琴 KOUCHI MIKOTO	女	名護高等学校
7	平 良 槇 子 TAIRA MAKIKO	女	石川高等学校
8	小 谷 仁 人 KOTANI KIMIHITO	男	石川高等学校
9	池 原 春 奈 IKEHARA HARUNA	女	読谷高等学校
10	又 吉 毅 MATAYOSHI TAKESHI	男	美里高等学校
11	上 原 唯 UEHARA YUI	女	球陽高等学校
12	崎 濱 優 希 SAKIHAMA YUUKI	女	与勝高等学校
13	沖 吉 ハンナ OKIYOSHI HANNA	女	普天間高等学校
14	運 天 美 里 UNTEN MISATO	女	首里高等学校
15	久銘次 美奈江 KUMEJI MINAE	女	那覇国際高等学校
16	謝敷 エミリー JASHIKI EMILY	女	那覇国際高等学校
17	金 城 のぞみ KINJOU NOZOMI	女	那覇西高等学校
18	許 田 卓 史 KYODA TAKAFUMI	男	興南高等学校
19	金 憲 禎 KIM HUNJUNG	男	沖縄尚学高等学校
20	細 田 愛 HOSODA MANA	女	豊見城高等学校

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名		
1	比嘉 理恵 デボラ DEBORA LIE HIGA	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会		
	知念 まゆみ クリスチーナ CRISTINA MAYUMI CHINEN						
2	城間 ロドリーゴ シゲイロ RODRIGO SHIGUEIRO SIROMA	男	3世		アルゼンチン	カンボグランデ沖縄県人会	
	又吉 アンドレス MATAYOSHI ANDRES PABLO						
4	米須 ノルマ ビルヒニア KOMESU NORMA VIRGINIA	女	3世			在亜沖縄県人連合会	
6	エスコバル 伊礼 ジョアナ エツコ ESCOBAR YREY JOHANNA ETSUKO	女	4世		ペルー	ペルー沖縄県人会	
	比嘉 シンボ エリック ハビエル HIGA SHIMBO ERIC JAVIER						
7	中村 稲嶺 真由美 NAKAMURA INAMINE MAYUMI	女	2世	ボリビア			ボリビア沖縄県人会
9	新垣 サトル ARAKAKI SATORU	男	2世				
10	サユリ ゴンザレス ナカソネ GONZALEZ NAKASONE SAYURI	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会		
	ミッシェル ミヨリ パニス PANIS MICHELLE MIYORI						
11	ウィリアム ウォルター ストレリー STRALEY WILLIAM WALTER	男	2世	アメリカ	ペンサコーラ沖縄県人会		
12	コラオ クリスタル CORRAO CRYSTAL MARIE	女	2世		シカゴ沖縄県人会		
	13				新城 アントニ 大陸男 ARASHIRO ANTHONY MUTSUO	男	2世
15	ジェシー・マイ カイアオ ア カマラニ・ホリ HORI JESSIE MAI KAIAO A KAMALANI	女	4世		ハワイ沖縄連合会		
16	喜久川 可奈 KIKUKAWA KANA	女	1世	カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会		
	レンド ジャン ボニファシヨ BONIFACIO RHEND JAN						
17	レンド ジャン ボニファシヨ BONIFACIO RHEND JAN	男	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会		

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	与儀 上原 昭雄	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新垣 アリエル	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	松田 美津江	女	2世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	ミユキ イトカズ モラレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	光江 上原 コーチ	女	1世	アメリカ	シカゴ沖縄県人会

平成15年度 国内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名
1	宮 本 詩 織 Miyamoto Shiori	女	港川中学校
2	島 袋 希 Shimabukuro Nozomi	女	首里中学校
3	山 城 貴 徳 Yamashiro Takanori	男	糸満中学校
4	比 屋 根 安 尚 Hiyane Yasunao	男	南星中学校
5	長 嶺 一 司 Nagamine Kazushi	男	南星中学校
6	古 波 蔵 直 子 Kohagura Naoko	女	南星中学校
7	比 嘉 淳 子 Higa Junko	女	八重山農林高等学校
8	吉 村 苑 華 Yoshimura Sonoka	女	読谷高等学校
9	高 良 南 Takara Minami	女	球陽高等学校
10	玉 城 幸 Tamaki Miyuki	女	浦添高等学校
11	安 次 富 紗 綾 香 Ashitomi Sayaka	女	浦添商業高等学校
12	比 嘉 こ な み Higa Konami	女	首里高等学校
13	安 里 み ち よ Asato Michiyo	女	首里東高等学校
14	新 垣 怜 子 Arakaki Reiko	女	那覇高等学校
15	新 崎 奈 央 Arasaki Nao	女	那覇高等学校
16	前 田 那 美 子 Maeda Namiko	女	那覇国際高等学校
17	大 本 紗 哉 Ohmoto Saya	女	那覇国際高等学校
18	金 城 美 菜 Kinjo Mina	女	那覇商業高等学校
19	大 城 桃 香 Oshiro Momoka	女	沖縄尚学高等学校
20	真 栄 城 智 恵 美 Maesiro Chiemi	女	沖縄尚学高等学校
21	稲 福 陽 香 Inafuku Haruka	女	興南高等学校
22	村 吉 梨 華 子 Murayoshi Rikako	女	興南高等学校

県外参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名
1	金 城 幸 代 Kinjo Sachiyo	女	兵庫県立宝塚私立高司中学校
2	上 原 勝 也 Uehara Katsuya	男	兵庫県立宝塚高等学校
3	小 山 奈 未 Koyama Nami	女	日本福祉大学附属高等学校

平成15年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	新城 真由美 Monica Mayumi Arashiro	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	仲村 カロリーナ みどり Carolina Midori Nakamura	女	2世		
3	新里 チエミ アンネ Anne Thiemy Suzuki Shinzato	女	3世		カンポグランデ沖縄県人会
4	井口 セシリア ミドリ Iguchi Cecilia Midori	女	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	諸喜田 マリネ Shokida Marine	女	3世		
6	仲本 山城 ダニエラ Nakamoto Yamagusuku Daniella	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	渡慶次 山城 マリア ガブリエラ Tokeshi Yamagusuku Maria Gabriela	女	3世		
8	神谷 ナオミ Kamiya Pedraza Naomi	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	比嘉 浩二 Higa Koji	男	2世		
10	アレマン レオナルド ホルヘ エルネスト Aleman Leonard Jorge Ernesto	男	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	キャサレン アーヌ シロマ Katharine Anne Shiroma	女	4世	アメリカ	ハワイ沖縄県人会
12	タイ ジン コバシガワ Ty Jin Kobashigawa	男	4世		北米沖縄県人会
13	玉城 由美 Tamashiro Yumi	女	2世		ワシントン州沖縄県人会
14	柳田 コリン タケシ Yanagida Colin Takeshi	男	2世		ニューヨーク沖縄県人会
15	アシュリー フリック Ashley Frick	女	3世	カナダ	カルガリー沖縄県人会
17	ディナマエ エロイ リエゴ Llego Dinahmae Eroy	女	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
18	パトリシア レジーナ ノセダ ロベス Lopez Patricia Resyna Noceda	女	3世		
19	レドナ ジェニファー 祐紀 Redona Jennifer Yuki	女	3世	アメリカ	グアム沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	屋富祖 正一	男	1世	ブラジル	カンポグランデ沖縄県人会
2	安座間 平敷 ファン 喜勝	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	比嘉 次雄	男	1世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	上間 大兼久 ホルヘ	男	2世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	タランティニ 裕子 伊波	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	曾野 知雄	男	2世		ニューヨーク沖縄県人会
7	島袋 カオル ネイディー	女	2世		ハワイ沖縄県人会
8	アセルデン マリア コラソン エバンヘリオ	女	2世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	奥濱 レドナ 悦子	女		アメリカ	グアム沖縄県人会

平成14年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名
1	宮 里 諒 哉 Ryoya Miyazato	男	名護市立大宮中学校
2	奥 間 友里恵 Yurie Okuma	女	金武町立金武中学校
3	與那城 美姫乃 Mikino Yonashiro	女	沖縄市立安慶田中学校
4	伊良波 一 美 Kazumi Iraha	女	沖縄市立山内中学校
5	嘉 数 真 菜 Mana Kakazu	女	浦添市立浦西中学校
6	比 嘉 麻 臣 Asami Higa	女	那覇市立松城中学校
7	平 敷 綾 Aya Heshiki	女	那覇市立小禄中学校
8	山 城 信 裕 Nobuhiro Yamashiro	男	与那原町立与那原中学校
9	杉 山 星 河 Seika Sugiyama	女	豊見城市立伊良波中学校
10	川 平 一 之 Kazuyuki Kawahira	男	城辺町立福嶺中学校
11	宮 城 聖里香 Serika Miyagi	女	辺土名高等学校
12	大 城 奈津紀 Natsuki Ohshiro	女	石川高等学校
13	山 城 夢 乃 Yumeno Yamashiro	女	美里高等学校
14	宮 里 あすか Asuka Miyazato	女	宜野湾高等学校
15	嵩 本 哲 也 Tetsuya Takemoto	男	西原高等学校
16	西 筋 理 奈 Rina Irisuji	女	那覇高等学校
17	玉 城 智 佳 Chika Tamaki	女	沖縄女子短大附属高等学校
18	國 場 雄 作 Yusaku Kokuba	男	豊見城高等学校
19	又 吉 香穂利 Kahori Matayoshi	女	糸満高等学校
20	石 井 雄 大 Takehiro Ishii	男	八重山高等学校

県外参加者名簿

	氏 名	性別	学 校 名
1	川崎 麻奈美 Manami Kawasaki	女	鶴見中学校
2	金城 香奈 Kana Kinjo	女	鶴見中学校
3	與那嶺 美香 Mika Yonamine	女	大阪市立天下茶屋中学校
4	糸洲 久美子 Kumiko Itosu	女	明浄学院高等学校

平成14年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県 人 会 名
1	当間 嗣栄 マウリシオ Mauricio Shiei Touma	男	4世	ブラジル	ブラジル 沖縄県人会
2	高良 グラウシヤ ネンシー Glauca Nancy Takara	女	3世		
3	志良堂 ジャケリネ Jacqueline Shirado	女	4世		カンポグランデ 沖縄県人会
4	米須 トマス Tomas Komesu	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人 連合会
5	島袋 エリアーナ ビルヒーニア Eliana Virginia Shimabukuro	女	3世		
6	広中 山城 ルイス フェルナンド Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	男	4世	ペルー	ペルー 沖縄県人会
7	ゴンザレス 平良 ハイメ Jaime Gonzales Taira	男	3世		
8	仲里 秋奈 Akina Nakazato	女	2世	ボリビア	ボリビア 沖縄県人会
9	ロニー ヴェレス 真栄城 Rony Velez Maeshiro	男	3世		
10	ナリマン ピーニャ フォンテ Narryman Piña Fonte	女	4世	キューバ	キューバ 沖縄県人会
11	清本・伊舎良 マッシュー 誠 Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	男	4世	アメリカ	ハワイ 沖縄県人会
12	伊良波 クリストファー マイケル Christopher Michael Iraha	男	4世		
13	比嘉 クリスティン ミヨシ Cristan Miyoshi Higa	女	4世		
14	バウチャー 飛鳥 Asuka Christine Boutcher	女	2世		
15	ジョナサン サンダース Johnathan David Saunders	男	3世		
16	ジョセフ リー バザード Joseph Lee Buzzard	男	3世		
17	藤田 エリザベス 由利子 Elizabeth Yuriko Fujita	女	2世	カナダ	トロント 球陽会
18	ミシェル アベダニア ペベニト Michelle Abedania Pebenito	女	3世	フィリピン	フィリピン 沖縄県人会
19	ジョネロベス コメロス イグナシオ Jonerobeth Comeros Ignacio	女	3世		
20	照屋 なつ子 Natsuko Teruya	女	2世	シンガポール	星琉会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国 名	県人会名
1	具志堅 ジーナ 美千代	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ダニエル エステバン	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	赤嶺 光弘	男	1世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	エステル タマキ トーレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	呉屋 君子	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	大城 順市	男	1世		北加沖縄県人会
7	藤田 みどり	女	1世	カナダ	トロント球陽会
8	エステーラ アレホ アドルフォ	女	2世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	橋本 真理	女	1世	シンガポール	星琉会

平成13年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏名	学 年	性別	学 校 名	
1	知名倫子	Rinko China	小学4年	女	宜野座小学校
2	仲田尚仁	Naohito Nakada	小学4年	男	南風原小学校
3	又吉椎菜	Shiina Matayoshi	小学5年	女	漢那那小学校
4	平良久美子	KuIniko Taira	小学5年	女	志真志小学校
5	仲本達郎	Tatsuro Nakamoto	小学5年	男	城西小学校
6	新垣史織	Shiori Arakaki	小学5年	女	知念小学校
7	目取真輔	Tasuku Medoruma	小学5年	男	北玉小学校
8	城間祥大	Shoudai Shiroma	小学6年	男	若狭小学校
9	照屋寛佳	Hiroyoshi Teruya	小学6年	男	城南小学校
10	玉城匠	Takumi Talnaki	中学1年	男	コザ中学校
11	知念鈴奈	Suzuna Chinen	中学1年	女	伊江中学校
12	仲間良成	Yoshinari Nakama	中学1年	男	越来中学校
13	牧山梨紗	Risa Makiyama	中学1年	女	沖繩尚学中学校
14	仲程祐介	Yusuke Nakahodo	中学1年	男	古蔵中学校
15	成底徹	Toru Narisoko	中学1年	男	港川中学校
16	仲里彩夏	Ayaka Nakazato	中学1年	女	知念中学校
17	屋嘉比梢	Kozue Yakabi	中学1年	女	東風平中学校
18	玉城彩衣	Ai Tamaki	中学1年	女	那覇中学校
19	松本佳子	Yoshiko MatsuInoto	中学1年	女	那覇中学校
20	東江真理子	Mariko Agarie	中学2年	女	伊江中学校
21	与那嶺悠	Haruka Yonamine	中学2年	男	伊良波中学校
22	古謝ちひろ	Chihiro Koja	中学2年	女	嘉手納中学校
23	比嘉紗苗	Sanae Higa	中学2年	女	鏡が丘養護学校
24	仲程若菜	Wakana Nakahodo	中学2年	女	古蔵中学校
25	平田吉郎	Yoshiro Hirata	中学2年	男	佐敷中学校
26	比嘉彩賀	Ayaka Higa	中学2年	女	松城中学校
27	比嘉亜樹	Aki Higa	中学2年	女	興南中学校
28	古堅葵	Aoi Furugen	中学3年	女	安田中学校
29	佐久川俊介	Shunsuke Sakugawa	中学3年	男	沖繩尚学中学校
30	謝花千夏	Chinatsu Jahana	中学3年	女	宮里中学校
31	普天間一樹	Kazuki Futenma	中学3年	男	小禄中学校
32	玉那覇優香	Yuka Tamanaha	中学3年	女	西原東中学校
33	宮城鮎子	Ayuko Mayagi	中学3年	女	西原東中学校
34	高田真奈美	Manami Takada	高校1年	女	小禄高等学校
35	翁長里美	Satomi Onaga	高校1年	女	小禄高等学校
36	上原恵理佳	Erika Uehara	高校1年	女	昭和薬科大学附属高等学校
37	与那覇恵梨	Eri Yonaha	高校1年	女	石川高等学校
38	德里麗華	Reika Tokuzato	高校1年	女	石川高等学校
39	中村晴枝	Harue Nakamura	高校1年	女	那覇国際高等学校
40	伊計美希	Miki Ikei	高校2年	女	宮古高等学校
41	仲宗根智世	Tomoyo Nakasone	高校2年	女	宮古農林高等学校
42	佐久田智世	Tomoyo Sakuda	高校2年	女	宮古農林高等学校
43	川口真未	Mami Kawaguchi	高校2年	女	首里東高等学校
44	池原理一	Riichi Ikehara	高校2年	男	普天間高等学校
45	宝蔵寺祐司	Yuji Hozoji	高校2年	男	普天間高等学校
46	仲間明奈	Akina Nakama	高校3年	女	宮古高等学校
47	茶畑美加	Mika Chabata	高校3年	女	小禄高等学校
48	新崎舞	Mai Arasaki	高校3年	女	小禄高等学校
49	比屋根恵美	Megumi Hiyane	高校3年	女	南風原高等学校
50	真謝絵美	Emi Maja	高校3年	女	名護高等学校

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	国 名	県人会名	引 率 者
1	与儀 エリカ ERIKA YOGI	女	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	松堂 ひろみ
2	太田 ダイゴ DIOGO TAKAKE OTA	男			
3	知花 ムリロ MURILLO CHIBANA	男			
4	諸見里 春美 KARINEHARUMI MOROMIZATO	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 VICTORTA TSUYURI SAKIMA	男			
6	宮里 昌宏 MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA	男			
7	宮城 ガストン GASTON MIYASHIRO	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ
8	比嘉 フェルナルド FERNANDO EZEQUIEL HIGA	男			
9	玉那覇 ノルベルト NORBERTO TAMANAHA	男			
10	大城 ノエリア NOELIA OSHIRO	女			
11	伊芸 ヘラルド GERALDO IGEI KOHATSU	男	ペルー	ペルー沖縄県人会	仲宗根 吉修
12	亀甲 マサル MASARU ARTURO KAMEGO	男			
13	山城 イサベル ISABEL YAMASHIRO NAKACHI	女			
14	比嘉 盛繁 HECIOR ALEXANDER HIGA SHIROMA	男	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	安谷屋 敬
15	比嘉 恵理子 ERIKO CAROLINA HIGA YAMASHIRO	女			
16	大城 ニカリ NIKARI OSHIRO MURARA	女			
17	中田 弘喜 FERNANDO HIROKI NAKATA	男	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	中村 イルマ スネス
18	仲村 美恵子 MIEKO NAKAMURA SOKEI	女			
19	仲村 ミツオ JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO	男	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会	具志堅 弘
20	仲村 ヤスヒロ YASUHIRO NAKAMURA OROZCO	男			
21	島田 バグネル 和良 WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA	男	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	古謝 いそえ
22	具志堅 ノブユキ ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN	男			
23	古謝 景士 RAUL KEISHI KOJA	男	カナダ	バンクーバー沖縄友愛会	仲宗根 功
24	宜保 亜由美 カレン AYUMI KAREN GIBO	女			
25	嶺井 真実 MELISSA MAMI MINEI	女			

海外参加者名簿

26	金城 茜 MARGARET AKANE KINJO	女	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会	浦崎 ジョージ
27	目取真 ジャネル ミホコ JANELLE MIHOKO MEDORUMA	女			
28	玉栄 チャールズ CHARLES MASATOMO TAMAE	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)
29	ジョセフ ジョーンズ JOSEPH FREDRIC JONES	男		サンディエゴ 沖縄県人会	
30	ブライアン デイビス BRYAN KIYOSHI DAVIS	男		ユタ州沖縄県人会	
31	デイビット レイモンド DAVID RICHARD RAYMOND	男		ワシントン沖縄県人会クラブ	トシコ バートリー
32	アリシア 恵子 ブレンズ ALICIA KEIKO BERENZ	女		シカゴ沖縄県人会	洋子 サンダリン (シカゴ沖縄県人会)
33	テイル リチャーズ DALE KAORU RICHARDS	男		遊友会	
34	ティファニー フィドラー TIFFANY FIEDLER	女		オハイオ 沖縄友の会	
35	比嘉 龍児 RYUJI HIGA	男		米国東海岸沖縄県人会	
36	落合 北斗 HOKUTO CREIG OCHIAI	男		ニューヨーク沖縄県人会	
37	ロバート ファンチェス ROBERT JAMES FUNCHES	男		ワシントン DC沖縄県人会	
38	ケイラ ケンプ KAYLA RENEE CAMP	女	アトランタ沖縄県人会		
39	アンディー ライダー ANDY KIYOSHI RIDER	男	D FW 沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)	
40	キム ビセット KIM BISSETTE	女	ジャクソンビル沖縄県人会		
41	マイケル ハーカー MICHAEL ALAN HARKA	男	フェイエットビル沖縄県人会		
42	クリスタル スワンソン CRYSTAL LYNN SWANSON	女	ペンサコーラ沖縄県人会		
43	テレサ マリコ モートン TERESA MARIKO MORTON	女	フロリダ沖縄郷友会(がじまる会)		
44	クリストファー ポーティン CRISTOPHER PORTIN	男	グアム沖縄県人会	引率者無し	
45	マリア ジェイリン ディキアツコ MA. JAYLYNC. DIQUIATCO	女	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	トヨコ照屋エリセオ
46	チヨミ サンタローサ ランセス CHIYOMI STA. ROSA RANCES	女			
47	嶋崎 妙恵美 TAEMI SHIMAZAKI	女			
48	知念 賢吾 KENGO CHINEN	男	フランス	フランス沖縄県人会	知念 睦子
49	石垣 優児 YUJI JOE ISHIGAKI	男	イギリス	イギリス沖縄県人会	石垣 栄康
50	松川 ルカ LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA	男	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	松川 力

ウェルカムパーティー式次第

日時：平成18年7月29日（土）

場所：ホテルシティーコート3階 パティオ

18:00	開 会	司会：仲村 裕子（実行委員会事務局）
18:02	歓迎の挨拶	第4回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会幹事長 沖縄県観光商工部観光交流統括監 松本 真一
18:07	宣 誓	高田 シャンテル 真由美（アメリカ）
18:10	乾杯の音頭	沖縄ブラジル協会 会長 西原 篤一
	食事・懇談	
18:30	司会挨拶	司会 沖縄尚学高校地域国際交流クラブ
18:35	かぎやで風	与坂 勇姫（玉城中学校）
18:40	空手	崎原 佑介（与那原中学校） クリストファー ジェフリー エドワーズ（アメリカ） イーアン トーマス ダグラス（アメリカ）
18:55	エイサー	比嘉 夏海（浦添中学校）
19:00	エイサー	ウェットセル ミッシェル ケイコ（アメリカ）
19:05	ギター演奏	石垣 優児（イギリス）
19:10	サンバ	ガブリエレ エリ 比嘉（ブラジル） カリナ イズミ 具志堅（ブラジル） カレン ユミ 宮城（ブラジル） レチシア チエミ 高良（ブラジル） マリオ セルジオ いさお 小波津（ブラジル） レナタ ちえみ 城間（ブラジル）
19:20	国場エイサー	沖縄尚学高校地域国際交流クラブ
19:30	終 了	

知 事 表 敬 式 次 第

日時：平成18年7月31日（月）

場所：県庁1階 県民ホール

司会：照喜名 一（実行委員会事務局次長）

11：30	開 会	司会
11：32	参加者紹介	司会
11：37	歓迎の挨拶	第4回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会会長 沖縄県知事 稲嶺 恵一
11：42	参加者代表挨拶	海外参加者代表 フェングラー 美花 (アトランタ沖縄県人会) 県内参加者代表 稲福 奈実子 (那覇商業高等学校)
11：50	閉 会	司会
11：55	写真撮影（中庭）	

第4回世界のウチナーンチュ大会 68日前プレイベント式次第

日時：平成18年8月6日（日）

15：00～15：45

場所：那覇市ぶんかテンプス館前ポケットパーク

司会：金城 秀美

15：00	オープニング 舞踊四つ竹と太鼓の競演	今帰仁子供太鼓いまじん
15：06	主催者挨拶	第4回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会会長 沖縄県知事 稲嶺 恵一
15：11	大会テーマソング発表	平田大一&レキオスバンド
15：18	エイサー演舞 「久高まんじゅーす」	ジュニアスタディーツアー参加者、 琉球國祭り太鼓メンバー
15：21	エイサー演舞 「ミルクムナリ」	ジュニアスタディーツアー参加者、 日出克、琉球國祭り太鼓メンバー
	「ミナトーマ」	日出克、琉球國祭り太鼓メンバー
	「唐船ドーイ」	日出克、琉球國祭り太鼓メンバー
15：33	大会テーマソング合唱	平田大一&レキオスバンド
15：45	終了	

修了式次第

日時：平成18年8月8日（火）

場所：那覇市ぶんかテンプス館 4階ホール

司会：照喜名 一（実行委員会事務局次長）

11:20	開 会	司会
11:22	主催者挨拶	第4回世界のウチーヌ大会 実行委員会副会長 沖縄県副知事 牧野 浩隆
11:27	修了証授与	第4回世界のウチーヌ大会 実行委員会副会長 沖縄県副知事 牧野 浩隆
11:55	引率者紹介	司会
11:57	感謝状授与	第4回世界のウチーヌ大会 実行委員会副会長 沖縄県副知事 牧野 浩隆
12:00	閉 会	司会

さよならパーティー次第

日時：平成18年8月8日（火）

場所：那覇市ぶんかテンプス館 4階ホール

司会：仲村 裕子（実行委員会事務局）

12：30	開会	司会
12：32	乾杯の音頭	第4回世界のウチナーンチュ大会 実行委員会幹事長 沖縄県観光商工部観光交流統括監 松本 真一
	食事・懇談	
	県人会への物品寄贈	国吉（琉球国祭り太鼓）
13：00	司会挨拶	司会 沖縄尚学高校地域国際交流クラブ
13：05	舞踊（權の鳩間節）	アーシリー ブルック シングルトン（アメリカ）
13：10	フィリピン部族舞踊	ブライアン メヒアヤ キテン（フィリピン）
13：15	楽器演奏・ダンス	喜納 パウラ ミカエラ ミユキ（アルゼンチン） 新垣 あかね（アルゼンチン） 宮平 レオナルド マルティン（アルゼンチン）
13：30	ボリビア民族楽器サンポーニャ演奏 「エル・コンドル・パーサ」	比嘉 さゆり（ボリビア） 眞榮城 弥生（ボリビア） 安里 健（ボリビア） ホカマ 栄（ボリビア）
13：35	ダンス	キヨミ トレス ゴンザレス（キューバ）
13：40	ペルー伝統舞踊 「バリーチャ」	新垣 金城 ジーミ ホルヘ（ペルー） 具志堅 大城 ガブリエラ イサベル（ペルー） 渡嘉敷 国頭 ダニエラ（ペルー） 普久原 アントニオ（ペルー）
13：45	パフォーマンス	津波 義弥（北谷高等学校） 金城 省吾（糸満高等学校）
13：50	サンバ	ガブリエレ エリ 比嘉（ブラジル） カリナ イズミ 具志堅（ブラジル） カレン ユミ 宮城（ブラジル） レチシア チエミ 高良（ブラジル） マリオ セルジオ いさお 小波津（ブラジル） レナタ ちえみ 城間（ブラジル）
14：00	フィナーレ 「島んちゆぬ宝」 「ニライへの風（大会テーマソング）」	参加者全員
14：30	終了	司会

ジュニアスタディーツアーグループ表

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
1	カレン ユミ 宮城 (女) KAREN YUMI MIYASHIRO ブラジル	カリナ イズミ 具志堅 (女) KARINA IZUMI GUSHIKEN ブラジル	ガブリエレ エリ 比嘉 (女) GABRIELLE ERY HIGA ブラジル
2	新垣 金城 ジミ ホハ (男) JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO ペル	渡嘉敷 国頭 タニエラ (女) DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI ペル	具志堅 大城 カブリエラ イハベル (女) GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO ペル
3	比嘉 さゆり (女) SAYURI HIGA ボリビア	安里 健 (男) KEN ASATO ボリビア	イダルコ カネ フランシスコ エイシ (男) FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO メキシコ
4	ウエットセル ミッシェル ケイコ (女) MICHELLE KEIKO WHETSELL アメリカ	アシュレイ 紀子 シャンクス (女) ASHLEY KIKO SHANKLES アメリカ	比嘉 史 (男) NICHOLAS CHIKASHI HIGA カナダ
5	ハタソン アンドリュ 義輝 (男) ANDREW YOSHIKI PATTERSON カナダ	イアン トマス タグラス (男) IAN THOMAS DOUGLAS アメリカ	又吉 まりこ リン (女) MARIKO LYN MATAYOSHI アメリカ
6	ブライアン ルア ヤキテン (男) YAQUITEN BRYAN MEJIA フィリピン	石垣 幸夫 (男) SACHIO LUCIAN ISHIGAKI イギリス	石垣 優児 (男) YUJI ISHIGAKI イギリス
7	鳥袋 正志 (男) MASASHI SHIMABUKURO 日本	国吉 明奈 (女) MEINA KUNIYOSHI 日本	豊見山 佐妃 (女) SAKI TOMIYAMA 日本
8	中村 春葵 (女) HARUKI NAKAMURA 日本	比嘉 美幸 (女) MISAKI HIGA 日本	与坂 勇姫 (女) YUUKI YOSAKA 日本
9	上間 もえみ (女) MOEMI UEMA 日本	大城 ひろか (女) HIROKA OSHIRO 日本	諸見 正太 (男) SHOTA MOROMI 日本
10	照屋 美友貴 (女) MIYUKI TERUYA 日本	宮城 若名 (女) WAKANA MIYAGI 日本	糸数 舞 (女) MAI ITOKAZU 日本
11	※運天 美由紀 (女) MIYUKI UNTEN 日本	※金城 将吾 (男) SHOGO KINJYO 日本	※稲福 奈実子 (女) NAMIKO INAFUKU 日本
12	平良 優圭 (女) YUKA TAIRA 日本		
	男4名、女8名 合計12名	男4名、女7名 合計11名	男4名、女7名 合計11名
引率	与儀 上原 昭雄 ブラジル	譜久原 アントニオ ペル	ジヤネット 亜希子 山内 アメリカ

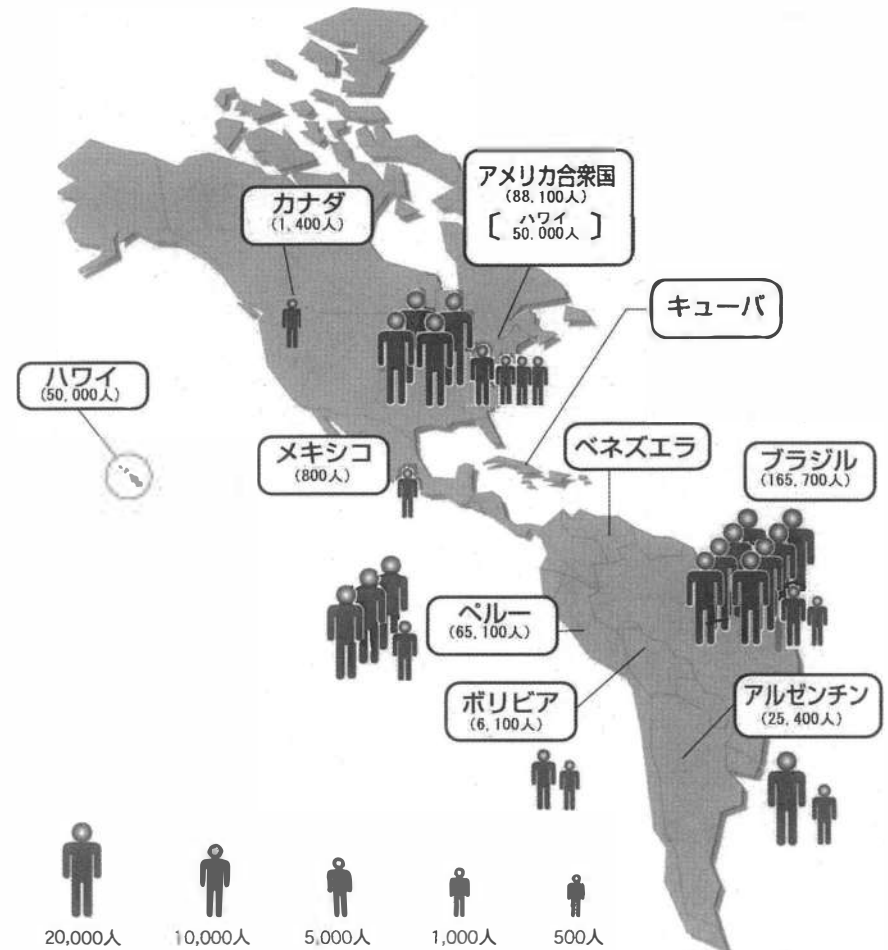
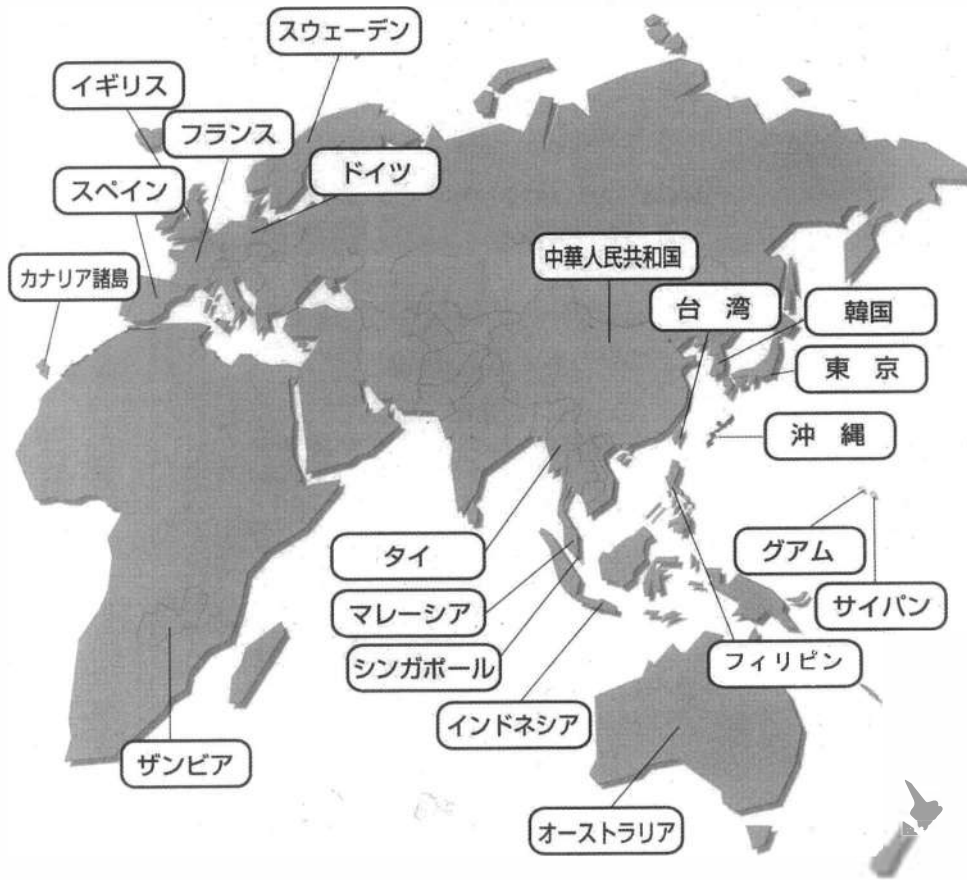
※はグループリーダー

ジュニアスタディーツアーグループ表

	D グループ	E グループ	F グループ
1	レタ ちえみ 城間 (女) RENATA TIEMI SHIROMA ブラジル	マリオ セルジオ いさお 小波津 (男) MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU ブラジル	レチシア チエミ 高良 (女) LETICIA TIEMI TAKARA ブラジル
2	宮平 レナルド マルティン (男) LEONARDO MARTIN MIYAHIRA アルゼンチン	新垣 あかね (女) AKANE ARAKAKI アルゼンチン	喜納 パウラ ミカエラ ミキ (女) PAULA MICAELA KINA アルゼンチン
3	眞榮城 弥生 (女) YAYOI MAESHIRO ボリビア	キヨミ トレス コンサレス (女) KIYOMI TORRES GONZALEZ キューバ	ホカマ 栄 (男) SAKAE HOKAMA ボリビア
4	クリストファー シェフリ エドワーズ (男) CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS アメリカ	高田 シャンテル 真由美 (女) CHANTELLE MAYUMI TAKATA アメリカ	ダニエル マコト バンバード (男) DANIEL MAKOTO BOMBARD アメリカ
5	アшли ブロック シングルトン (女) ASHLIE BROOKE SHINGLETON カナダ	デイル アレン シュレイン (男) DALE ALLEN SCHLEHLEIN アメリカ	フェングラ 美花 (女) MIKA LEILANI FENGLER アメリカ
6	比嘉 麻耶 (女) MAYA HIGA マレーシア	崎原 佑介 (男) YUSUKE SAKIHARA 日本	比嘉 夏海 (女) NATSUMI HIGA 日本
7	久手堅 憲稀 (男) NORIKI KUDEKEN 日本	富名腰 彩乃 (女) AYANO FUNAKOSHI 日本	前里 雅 (女) MIYABI MAESATO 日本
8	屋比久 まり (女) MARI YABIKU 日本	川節 奈那 (女) NANA KAWASETSU 日本	狩俣 彩乃 (女) AYANO KARIMATA 日本
9	久貝 博文 (男) HIROFUMI KUGAI 日本	岩田 彩 (女) AYA IWATA 日本	謝敷 アリニ (女) ALINI JASHIKI 日本
10	下地 由美子 (女) YUFUKO SHIMOJI 日本	喜納 亜沙美 (女) ASAMI KINA 日本	城田 麻莉亜 (女) MARIA SHIROTA 日本
11	※池原 ななえ (女) NANAE IKEHARA 日本	※山内 祐奈 (女) YUUNA YAMAUCHI 日本	※津波 義弥 (男) YOSHIYA TSUHA 日本
	男4名、女7名 合計11名	男3名、女8名 合計11名	男3名、女8名 合計11名
引率	上原 さやか アメリカ	ワレタ フォンテ 伊波 キューバ	イノウエ 悦子 ボリビア

※はグループリーダー

世界で活躍するウチナーンチュ



国際交流関連業務概要より抜粋

(財) 海外日系人協会事業概要の海外日系人数 (1997年) 及び外務省大臣官房領事移住部「海外在留邦人調査統計」における海外日系人数 (2002年) に基づく県系人の推計。



第4回 世界のウチナーンチュ大会

The 4th Worldwide Uchinanchu Festival

歴史・文化・自然まるごと鑑

伝統にふれ 心を癒す



琉球の歴史・文化の里 琉球王国城下町

沖縄県指定
博物館
相当施設

赤瓦の民家で本格工芸体験
紅型・はた織・あい染・陶器・歌すき・琉球ガラス

30万の年が創り上げた大自然の造形美「玉泉洞」をはじめ、首里城の城下町として伝統を今に伝える「琉球王国城下町」。熱帯果樹園、ミネラル豊富な長寿の水を使用した地ビールやテレビで話題となったヘビとマンゴースの爆笑対決が見れる沖縄唯一の「ハブ博物館」。歴史・文化・自然そして、沖縄のグルメまで！まるごと楽しめる沖縄県最大のテーマパークへ「めんそ〜れ」。

おきなわ **文化王国** **玉泉洞** **ワールド**

南城市玉城字前川1336 TEL.098-949-7421

○カーナビをご利用の場合は電話番号を入力してください。

おきなわワールドクチコミ情報 玉泉洞の中で長期貯蔵する「秘蔵酒」っていうのがあるんだよ！

<http://www.gyokusendo.co.jp>

今に伝える琉球



音色と舞踊



ヘビとマンゴースの爆笑対決
「わくわくドッキリショー」

沖縄随一！15,000ステージ突破
10年連続公演を達成し、現在も記録更新中のエイサー団「真南風」。獅子舞、アンガマ、棒術など沖縄の民俗芸能を余すことなく堪能でき、その白熱の群舞は日々進化を続けています。リピート率No.1のステージは必見！



最新情報



プレゼント特典あり

恩納村エリア

国際通り

約30分

約40分

おきなわワールド

年中無休・駐車場完備

日本一の鍾乳石群



天然記念物「玉泉洞」

ヤンバルの大自然体感鑑

これが地球だ！神々の巨大彫刻群



●奇岩巨石が林立する。世界最北端の熱帯カルスト。

初公開！世界遺産規模の雄大なロケーション

ヤンバルの原生林を背景にカルストの石林を歩く

本島最北端に新観光名所発見

金剛石林山（こんごうせきりんざん）は、2億年前の石灰岩が長い時を経て形成された日本唯一の熱帯カルスト地形です。様々な景観が楽しめるよう、奇岩巨石コース・絶景（聖地）コース・森林コースを設けており、各30分程度でご見学いただけます。また、ご年配の方や車イスの方も大自然を満喫していただける、バリアフリーコースも加わりました。



山頂から与論島を望む



バリアフリーコース完成

北部観光情報



プレゼント特典あり

オクマビーチ

水族館

約25分

約80分

金剛石林山

年中無休・駐車場完備

とみさき **金剛石林山**

国頭村字辺戸973 TEL.0980-41-8111

○バリアフリー遊歩道600m完備、お年よりも楽々見学。

金剛石林山クチコミ情報 山頂で通り雨にあった時、運が良いと眼下に虹を見ることができるよ！

<http://www.kongo-sekirinzan.com>

Thank you! Gracias! Maharo! ありがとう! Grazie! Merci! にへ〜で〜びる! Obrigado!
We are looking forward to being able to meet you again.



A N T I Q U E
DFSギャラリー・沖縄限定

CHURATAMA SUKUGARASU
那覇空港ビルディング限定

株式会社ココスアイランドオキナワは、
人気の「ちゅら玉」シリーズを始めとする
夢にあふれたアクセサリーを手がけ、
沖縄ならではの土産品として全国から訪れた観光客や
地元・沖縄の皆様に喜ばれています。
今後、沖縄のお土産品から発信する、沖縄のジュエリーブランドとして、
確立していけるよう邁進して参ります。
どうぞ宜しくお願い致します。



株式会社 **ココスアイランドオキナワ**

沖縄県那覇市おもろまち4-20-31 TEL.098-869-0880 FAX.098-869-0881

FOR YOUR HAPPY TIME
Orion

ORION DRAFT BEER

オリオンドラフトビール



飲酒は20歳になってから。
お酒は、おいしく、適量に。あき缶はリサイクル。

オリオンビール株式会社
www.orionbeer.co.jp



りゅうせきネットワーク会議

(株)りゅうせき

(株)りゅうせき建設

東亜運輸(株)

(株)りゅうせき低温流通

(株)オートプラザ琉石

(株)りゅうせきエネルギー

(株)りゅうせきビジネスサービス

(株)りゅうせきロジコム

りゅうせき商事(株)

(株)りゅうせきエネプロ

◎お客様の期待にお応えする。(社長 外間) ◎お客様が欲しい物を、
 欲しいときに、欲しいだけ。それが私の理想のサービスです。
 ◎お客様の笑顔のために日々努力
 (伊波部・比嘉) ◎お客様が楽しんで喜んでくれるような
 力をしています。(クリエーティブワークセクション・
 デザインを提案し作る事。(クリエーティブワーク
 花城) ◎業務のなかでお客様を好きになること。(生産
 セクション・機子名) ◎お客様の経営、商品の販売
 管理を、管理) ◎こちらの都合や、アランメントなどは、お客様には関係の
 拡大を常に考えずに取り組み、良いも
 ない事なので、スムーズにお客様の希望や予定にお応えする事
 のづくりの信頼されるパート
 が大事じゃないかと思っています。(クリエーティブワークセクション・山崎) ◎お客様の
 満足度の向上を常に考えています。満足度とは、1.お客様の期待値以上のもの(品質、
 コスト、納期等)を届ける。2.お客様にメリットをもたらす事と信頼。共存共栄の誠実な
 信頼構築が大事です。(伊波部・大野) ◎お客様の立場のおがままを聞くのではな
 くて、お客様のものうけにつながることを業界の立場から教えていくということ
 を意識しています。と語っています。(クリエーティブワークセクション・文雄) ◎「お客様」に喜んでもらう為
 に「お客様のお客様」にも喜ばれるものを。(クリエーティブワークセクション・山崎) ◎顧客
 との一体感を常に目指しています。(伊波部・村山) ◎良いもの創り、良い人材を育て、
 お客様第一主義を貫き、貴社先発印刷は永久に不滅です。(伊波部・誠實) ◎誰にふれないことなら
 なんでもやるつもりで頑張ります。(クリエーティブワークセクション・大野) ◎満足度 =
 smile!! お客様が smile になる仕事をする! (伊波部・大城) ◎お客様の立場に
 立てて考えること。まずは自分が納得できるものをつくることで信頼を築いていけ
 たらと思います。(クリエーティブワークセクション・貴田) ◎お客様が一番に求めているものを常に、最優
 先でその達成に向け行動すること。(伊波部・真常田) ◎まずは知りたいと思う
 こと。恋愛と同じですね。(伊波部・伊藤) ◎上っ端だけではない、日本のことだけでない、
 深く考えられ、もっと先の未来まで見据えたお客様へのサービスでありたい
 と思っています。(クリエーティブワークセクション・佐藤山) ◎クライアントが満足する
 デザインコミュニケーションを心がけます。(クリエーティブワークセクション・神谷)
 ◎「ありがとう」と感謝される行動を自覚体で継続すること。(伊波部・真良)
 ◎お客様の思いを込めた広告を作ります。(伊波部・大城) ◎お客様と
 の信頼関係の中で、ベストのイメージを合致させ、共につくり
 あげていくこと。つまりは、コミュニケーションを大切にしていることな
 ことかな。すべての基本ですね。(クリエーティブワークセクション・
 石原) ◎感動を与える商品の提供、まかせ
 て安心な信頼関係の構築。(伊波部 上城)
 ◎貢献。どれだけ自分が社会に貢献して
 いるか、どれだけお客様が社会に貢献
 しているか、その手助けにど
 れだけ貢献できるのか。
 (伊波部 真)

お客様第一主義



光文堂印刷株式会社

代表取締役社長 外間 政春

本 社 〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地 東京支店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-13 ダヴィンチ飯田橋9F
 TEL:098-889-1121 FAX:098-835-6111 TEL:03-3239-8900 FAX:03-3239-8902

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で、郷土をつくる。



琉球セメント株式会社

代表取締役会長 東 明勝

代表取締役社長 西村 聡

本 社 〒901-2123 沖縄県浦添市西洲2丁目2番地2
 TEL098-870-1080

屋部工場 〒905-0001 沖縄県名護市宇安和1008番地
 TEL0980-53-8311

好奇心いっぱいの瞳は、輝いている。



人と人をうるおす *Coca-Cola*

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 OKINAWA COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <http://www.okinawa.ccc.co.jp>
Coca-Cola、コカ・コーラ、CokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です。〈コカ・コーラ指定会社〉

想い、空へ

Taking off, dreaming..

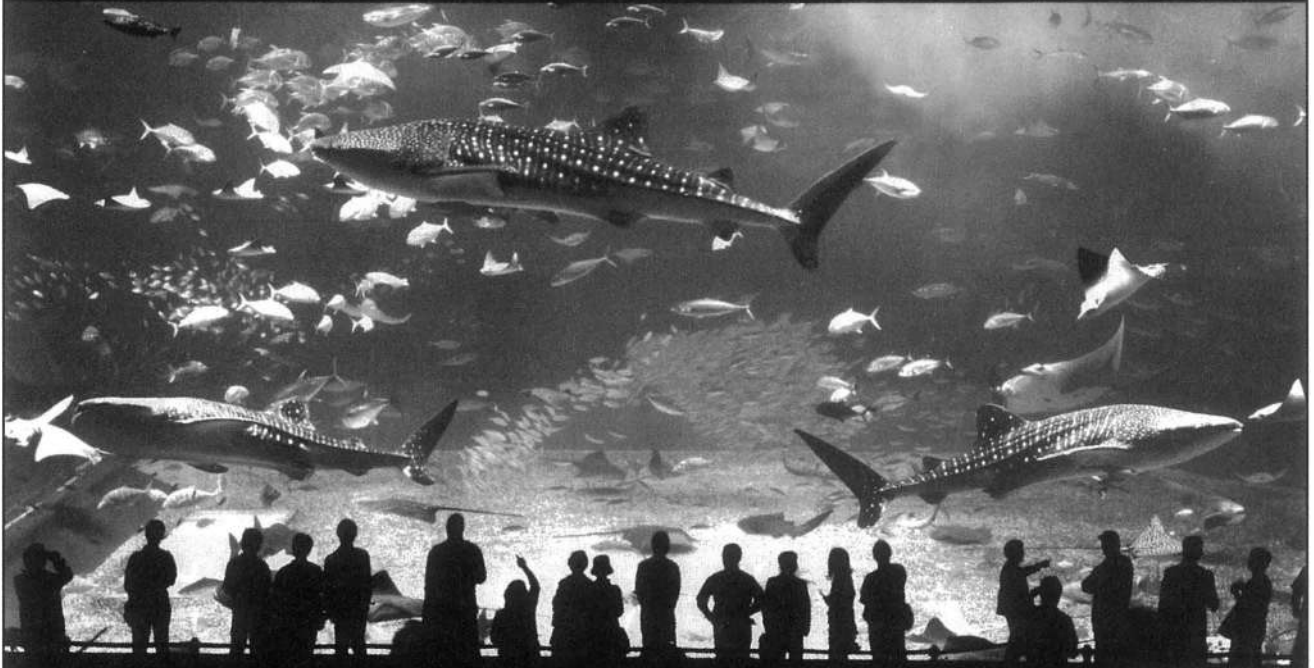
世界の空をつなぐ国際交流への玄関、那覇空港。

日本の南の玄関口、那覇空港は国際及び国内路線の拠点となる空港として年間1,200万人の乗降客で賑わう全国でも主要な空港の一つです。

当社は、公共性、安全性、機能性、利便性及び快適性の確保はもちろん、次世代への資産となる国際交流拠点の形成や観光、リゾート産業等の振興に貢献する、重要な基盤施設として空港ターミナルビルを管理・運営してまいります。



那覇空港ビルディング株式会社
NAHA AIRPORT BUILDING CO., LTD.



www.kaiyohaku.com

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium

ゼフアー

まつりに貢献する!!

沖縄県出店業事業協同組合

理事長 友利日出夫 副理事長 政田 幸男

専務理事 角 達也 事務局長 桃原 秀男

イベント遊具・リース取り扱っています。

TEL (098)933-8801 〒904-0034 沖縄市山内1-8-19

キヤノンカラー複合機(コピー・FAX・プリンター・スキャナ)
『カラー・スキャナー搭載:電子文書、文書管理システムをご提案いたします』



株式会社 **加島事務機**

<http://www.kashimajimuki.co.jp/>

お問い合わせは

本 社 0 9 8 - 8 7 0 - 1 2 5 5

中部支店 0 9 8 - 9 3 7 - 3 5 1 5

北部支店 0 9 8 0 - 5 3 - 3 6 5 3

郷土の損害保険会社

△大同火災

取締役社長 宮良 直人

〒900-8586 那覇市久茂地1丁目12番1号

代表(098) 867-1161

またお会いしましょう！

See you again!

¡Hasta la proxima!

The 4th World Wide Uchinanchu Festival

KANEHIDE GOLF & HOTEL RESORTS
KISE COUNTRY CLUB

 金秀グループ

株式会社 金秀本社 〒900-0029 沖縄県那覇市旭町12番地1 ☎098(868)6611 URL <http://www.kanehide.co.jp/>



“光”ひろがる。ひびきあう。

NTT西日本沖縄支店

光ブロードバンドで
豊かな社会を実現する



「農」と「共生」の
世紀づくりをめざして

JAグループ沖縄

JA沖縄中央会

JA共済連沖縄

JAおきなわ

沖縄協同ガス㈱
㈱農協直販
沖縄県協同ビジネス㈱
㈱くみき
㈱サザンプラント
㈱沖縄県食肉センター
㈱しんれんサービス
㈱沖縄県農協電算センター
JAおきなわSS
しんれんリース㈱



楽園のテラス



www.terrace.co.jp

とくとく
サービス!!



りゅうぎんポイントサービス

お取引に応じてサービスいろいろ!



ポイントサービスとは!

日頃の借越になっているお振込額に對しまして、毎月のお取引内容もポイント化し、その合計ポイントに応じて金利手数料優遇等の特典が受けられるサービスです。

シルバーコース
50point以上

ゴールドコース
100point以上

エクセレントコース
200point以上

とくとく特典

- 特典1 トラベラースチェック発行手数料割引!
※最低手数料500円はかかります。
- 特典2 各種個人向けローンの金利優遇
(0.5%~1%優遇)
- 特典3 通帳・証書・キャッシュカードの
再発行手数料が無料
- 特典4 ATM・インターネット振込手数料割引
- 特典5 海外送金の手数料割引
- 特典6 ATM時間外手数料が無料



ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。

お問い合わせは琉球銀行 営業統括部

0120-19-8639まで

http://www.ryugin.co.jp



平成18年11月7日現在

新型「セルボ」イメージキャラクターアルベルト城間

祝

第4回 世界のウチナーンチュ大会
大成功!おめでとうございます!!

SUZUKI

軽自動車のあたらしい風

Cervo

Feel so Good!
—イイカンジー—



スズキ
セルボ誕生。

アルベルトからみんなへ
スズキ新型セルボを伝える!

PHOTO:TX

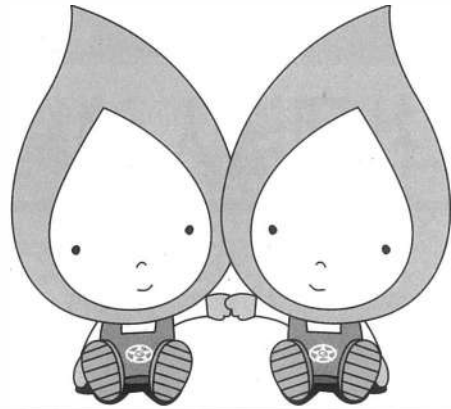
めぞそう! 交通楽園 (株)スズキ自販沖縄

本社:〒902-0073 沖縄県那覇市上間531-1
TEL.098-855-6111 FAX.098-834-1359 <http://www.sj-okinawa.jp>



沖縄ガスは

お客様が期待する
エネルギーとサービスを
提供し続けます。



代表取締役社長 湧川 昌秀

〒900-8605 沖縄県那覇市西3-13-2 TEL(098)863-7730 FAX(098)863-7748 <http://www.okinawagas.co.jp>

沖縄を緑の島に 緑と花で心に安らぎを!

OKINAWA

KAIHO

海邦銀行

頭取 嘉手納 成 達

<http://www.kaiho-bank.co.jp/>

おかげさまで

おきぎん

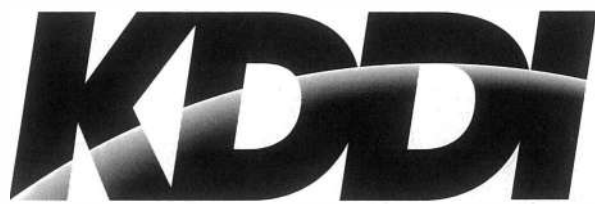
創立50周年

頭取 安里昌利

〒900-8651 那覇市久茂地3丁目10番1号
TEL(098)867-2141

Ⓞ 沖縄銀行





Designing The Future

第4回世界のウチナンチュ大会を私達も応援しました。

社団法人 沖縄県建設産業団体連合会

会 長 吳 屋 守 将	副 会 長 島 袋 公 功
副 会 長 津 波 古 勝 三	副 会 長 根 路 銘 安 弘
副 会 長 照 屋 義 実	専 務 理 事 安 慶 名 正 行

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8 TEL(098)876-5211 FAX(098)870-4565

未来へつづくカタチ



TAISHIN

大晋建設株式会社

TAISHIN CONSTRUCTION CO.,LTD.

〒900-0024 那覇市古波蔵3丁目6番5号 Tel.098-831-7777(代) Fax.098-831-7889

<http://www.taishinkensetsu.co.jp>



ミオトップシリーズ
賃貸マンションならミオトップ(賃貸マンション事業)



ミオビエントシリーズ
豊かな暮らしにミオビエント(分譲マンション事業)

NTT
Do Co Mo



もっともっと、いいケータイへ。

藍は、世界でますます充実。
ドコモの国際サービスもさらに充実。

いつもの番号が140以上の国と地域で話せるWORLD WING。対応端末ぞくぞく登場！

海外用のケータイのお申込みは、ドコモショップ、キーロード、パソコン、お電話にて受付しています。

WORLD WING.

世界へ、ドコモと！

NTT DoCoMo 沖縄

おかげ様で創立 55 周年

皆様の気持ちに支えられ
これまでも、そしてこれからも
県民のくらしに奉仕いたします

 **福山商事株式会社**

代表取締役社長 福山 弘隆
代表取締役副社長 福山 俊行

本社 / 沖縄県浦添市牧港四丁目14番17号
TEL (098) 876-1111 FAX (098) 876-4094

南風原本店 / 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
TEL (098) 889-1177 FAX (098) 889-3000

建設汚泥リサイクルセンター / 沖縄県中頭郡読谷村字大木下518-2
TEL (098) 956-3712 FAX (098) 956-3712

宮古営業所 / 沖縄県宮古島市平良字西里1085-1
TEL (0980) 73-0408 FAX (0980) 73-0409

八重山営業所 / 沖縄県石垣市字平得124番地の1
TEL (0980) 83-3111 FAX (0980) 83-3110

私たちが世界のウチナンチュ大会を応援しています。



琉球ガラス材
琉球ガラス工芸協業組合
糸満市宇福地169番地
TEL (098) 997-4784~6

~よろこびを、色と形に~
琉球ガラス材グループ

GLASSHOUSE IN FOREST

森のガラス館

名護市字為又478
TEL (0980) 54-2121

糸満市西崎町4丁目8番8

TEL (098) 995-1486

那覇市辻1-6-5
TEL (098) 869-3648

Château Hillis
シャトーヒルズ

糸満市西崎町4丁目8番8
TEL (098) 994-3117

私たちは創造・成長・共生を目指します

こおそく

沖縄高速印刷株式会社



本社/工場 〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577番地
TEL 098(889)5513 FAX 098(889)5527

名護営業所 〒905-0017 沖縄県名護市大中3丁目1番地
TEL 0980(54)8100 FAX 0980(54)8101



ISO9001
認証取得

www.kohsoku.co.jp



Value-added sign company

株式会社 タム

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町5丁目12番22

☎ 098-852-3120 📠 098-994-5234 ✉ tam@ryukyu.ne.jp

社団法人 沖縄県造園建設業協会

会長 渡嘉敷 正彦 副会長 屋比久 勉 副会長 喜屋武 忠信

〒903-0118 沖縄県西原町字小波津357-1
TEL (098) 946-0843 FAX (098) 946-9783

MONDE SELECTION 2006
2006国際品評会最高金賞受賞

株式会社 久米島の久米仙
本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町宇江城2157 TEL.098-985-2276 (代)
営業本部/沖縄県浦添市旭川1丁目3番3号 TEL.098-878-2276 (代) www.k-kumesen.co.jp

右端は20歳に達してから、紅梅の歌を唱へて、人生を謳歌する。

株式会社 **サンシャイン**
SunShine Inc.

沖縄伊藤園
沖繩で育ち 25年。
今年、沖繩伊藤園は 25周年

NEW! 新
さんぴん花茶

口に広がる 茶の味わい
爽やかな花のにおり
どこか懐かしさを じる...
然の香りをそのままに
味わい深い本格さんぴん茶に
仕上げました

伝えた、味と香り

25th ANNIVERSARY

空容器の散乱防止、リサイクルにご協力ください。

沖繩のコンピュータの歴史です

OCC

<http://www.occ.co.jp/>

TEL.098-876-1171 FAX.098-876-6980

地元と ともに

コザ信用金庫

理事長 山口 善 永

専務理事 宮 良 靖 興

常務理事 島 袋 隆 司

〒904-0031 沖縄市上地2丁目10番1号 TEL (098) 933-1137 (代表)
<http://www.kozashinkin.co.jp>

ここに帰る 旨さがある。

HONBA AWAMORI KIKUNOTSUYU

沖縄の技、淡麗旨口、愛情品質。

菊之露酒造株式会社

株式会社沖縄丸一食品

株式会社おきなわ屋

有限会社エス・プロジェクト

株式会社アイレント

株式会社西むら本舗

株式会社ホット沖縄

社団法人沖縄県レンタカー協会

(株)ラグナガーデンホテル

医療法人タピック
沖縄リハビリテーションセンター病院

有限会社ユーズ

株式会社大成ホーム

総合紙器株式会社

株式会社オキジム

株式会社沖縄ゼネラルサービス

葉葉社リーブス有限会社

株式会社琉球メモリアルパーク

株式会社ジェイアンドエス
インターナショナル

医療法人 白寿会 ハートフルクリニック

冒険王株式会社

座波菓子店

第一印刷株式会社

株式会社ラッキー自動車商会

新星出版株式会社

大平堂印刷

丸正印刷株式会社

有限会社ジョブネットワーク

アクトプラン

ステーションホテル牧志
(株)サンテック開発

有限会社デンエイシャクラフト

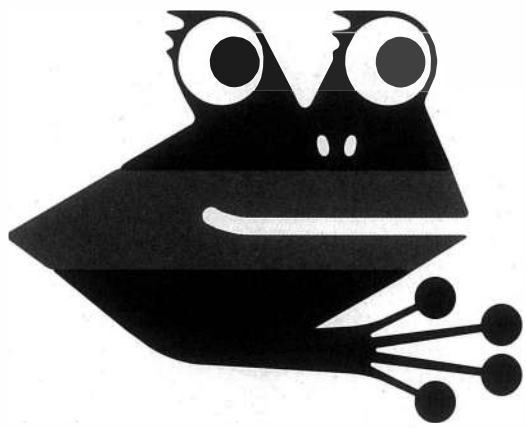
有限会社大平シール印刷

(株)パラダイスプラン

南風堂株式会社

財団法人沖縄電気保安協会	株式会社ヴァクビジョン
社団法人沖縄県電気管工事業協会	有限会社オフィスアイシーシー
沖縄県自動車販売協会	株式会社旭堂
沖縄県印刷団地(協)	チユーリップ・フード・カンパニー ジャパン株式会社
新城工作所	リザンシーパークホテル
前田産業	沖縄ワタベウェディング株式会社
株式会社屋部土建	株式会社エル建築設計事務所
ナゴパイナップルパーク	ホテルパームロイヤルNAHA
那覇バス株式会社	特殊建装工業株式会社
株式会社アシスト	株式会社アカネ商事
沖食スイハン株式会社	POP企画室
株式会社日本旅行	沖電水工事株式会社
株式会社パック	南西空調設備株式会社
株式会社スカイ企画	リユーセロ株式会社
沖縄ゼロックス株式会社	有限会社ジオ・ネット
有限会社錦屋旗店	那覇シャッター
株式会社守礼堂	安次嶺ガラス
有限会社サン印刷	沖縄ツーリスト株式会社
琉球物流株式会社	(有)ウェブキャスト・エコ
沖縄県電気工事業工業組合	デイゴホテル
砂辺松福テント株式会社	

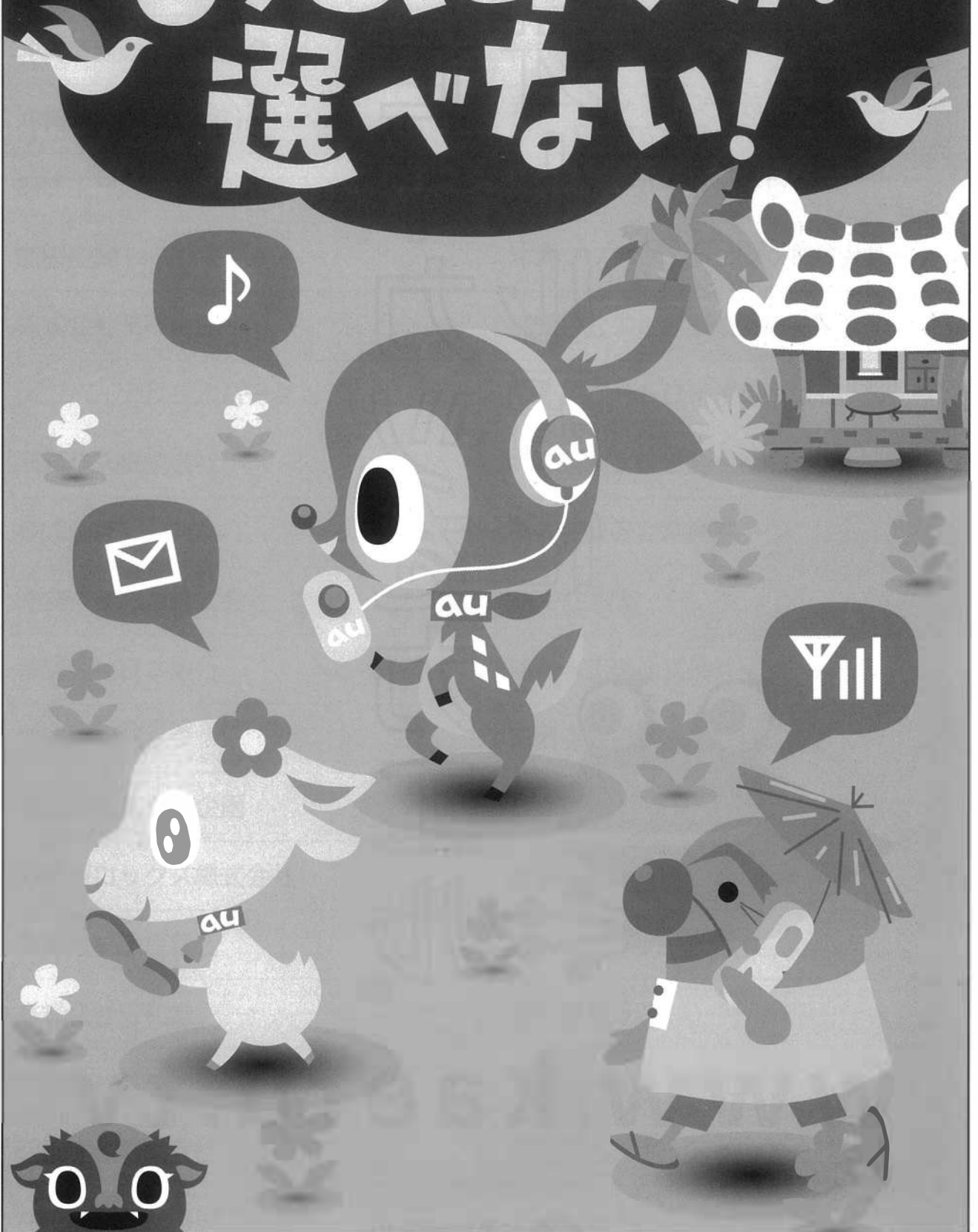
セイカツをカエル
オール電化



www.kaeru.tv



もうauシカ! 選べない!



au 沖縄セルラー電話
OKINAWA CELLULAR
<http://www.au.kddi.com/>

日本旅行の
新しい旅のテーマです。

「自然にやさしい旅」
「からだにやさしい旅」
「こころにやさしい旅」



第4回世界のウチナーンチュ大会
ジュニアスタディーツアー報告書

2006年10月発行

編集・制作 第4回世界のウチナーンチュ大会実行委員会事務局
発 行 第4回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

事 務 連 絡
平成19年 3月30日

ジュニアスタディーツアー
ホームステイ受入先の皆さま へ

「ジュニアスタディーツアー報告書」の送付について

拝啓、時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

本県の国際交流・協力事業につきましては、平素より多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年実施しましたジュニアスタディーツアーの際は、多大なるご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。このたびツアー報告書が完成しましたので、送付させていただきます。

皆様の協力に対し、心より感謝申し上げますとともに、今後とも沖縄県の国際交流事業に御協力くださいますようお願い申し上げます。

第4回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会事務局 上間
TEL：866-2479
FAX：869-9073
担 当：上間
Email:uemaktsm@pref.okinawa.jp